



大野市文化財保存活用地域計画

(案)

令和〇年〇月

福井県大野市

例言

- 1 大野市文化財保存活用地域計画（以下、特に断らない限り「大野市地域計画」という。）は、文化財保護法、文化庁の定める「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定に関する指針」（平成31年（2019）4月）に基づき、大野市における文化財に関する保存・活用のマスタープラン及びアクションプランとして作成した計画です。
- 2 大野市地域計画作成に当たって、大野市文化財保存活用地域計画策定協議会及びワーキンググループによる協議を行い、文化庁地域文化創生本部及び福井県教育庁生涯学習・文化財課から助言をいただき、大野市教育委員会事務局生涯学習・文化財保護課が事務局を担当しました。
- 3 大野市地域計画の編集及び執筆は、大野市教育委員会事務局生涯学習・文化財保護課が行い、作成の一部を株式会社イビソクに委託しました。
- 4 地域の特性を考慮し、昭和・平成の合併前地域の区割りにより計画に記載します。
- 5 図表にあるデータは、大野市地域計画発行の○年（○）○月時点のものです。
- 6 大野市地域計画では、文化財保護法で定められた文化財とともに、大野市で生まれ現在に継承されてきた地域特有の多様な歴史や文化を物語るさまざまな事象や美しく豊かな自然環境を「文化財」とします。
- 7 大野市地域計画は、令和元年度（2019年度）～○年度（○年度）に文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）を受けて作成しました。



目次

第1章 文化財保存活用地域計画作成の目的と位置付け	1
第1節 文化財保存活用地域計画作成の背景と目的	1
第2節 文化財保存活用地域計画作成の体制と経緯	2
第3節 文化財保存活用地域計画の位置付け	3
第4節 計画期間	9
第2章 大野市の歴史文化の総合的把握	10
第1節 自然環境	10
1. 位置	10
2. 地形・地質	10
3. 水系	13
4. 気候	15
5. 植生	16
6. 動物	17
第2節 歴史環境	18
1. 歴史的変遷	18
2. 地名	30
第3節 社会環境	41
1. 交通	41
2. 産業	43
3. 人口	43
4. 土地利用	45
第3章 大野市の文化財の特徴と概要	47
第1節 歴史文化の特徴	47
第2節 文化財の概要	49
1. 大野市の文化財の概要	49
2. 指定文化財	51
3. 未指定文化財	53
4. 埋蔵文化財	55
第4章 文化財の保存・調査研究・活用に関する基本理念・方針・措置	58
第1節 保存・調査研究・活用の基本理念	58
第2節 保存・調査研究・活用の現状と課題	60
1. 保存に関する現状・課題	60
2. 調査研究に関する現状・課題	61
3. 活用に関する現状・課題	63

第3節 保存・調査研究・活用の方針.....	64
1. 保存に関する方針.....	64
2. 調査研究に関する方針.....	64
3. 活用に関する方針.....	65
第4節 保存・調査研究・活用の措置.....	66
第5章 関連文化財群の設定と措置.....	78
第1節 関連文化財群の設定.....	78
第2節 関連文化財群のストーリーと構成文化財.....	79
第3節 関連文化財群の保存・活用に関する措置.....	120
第6章 推進体制.....	132
第1節 庁内の運営体制.....	132
第2節 市民などとの協働体制.....	133
1. 市民グループとの協働.....	133
2. 文化財の保存・継承団体との協働.....	133

資料編

大野市市民憲章

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と、雪国特有の粘り強さとで、今日の繁栄を築いてきました。私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目指して、市民憲章を定めます。

① **みずみずしさあふれるまちに**

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

② **小さな芽が伸びるまちに**

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

③ **大きくはばたくまちに**

私たちは、働くことに喜びを持ち、強度の発展につとめます。

④ **あたたかい心のかようまちに**

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

⑤ **明るくやすらぎのあるまちに**

私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きます。

(昭和 53 年 10 月 告示)

大野市教育理念

～ 明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人 ～

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切に、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

(平成 21 年 3 月 大野市教育委員会)

大野市の花・木・鳥・魚

花

コブシ

木

ブナ

鳥

ウグイス

魚

イトヨ

第1章 文化財保存活用地域計画作成の目的と位置付け

第1節 文化財保存活用地域計画作成の背景と目的

大野市は福井県東部に位置し、総面積 872.43 km²と県内で最も広い面積となっています。大野市は、昭和 29 年（1954）7 月 1 日、当時の福井県大野郡^{おおの}大野町^{おおの}、下庄町^{しもしょう}、上庄村^{かみしょう}、五箇村^{ごか}、阪谷村^{さかだに}、富田村^{とみた}、乾側村^{いぬいかわ}、小山村^{おやま}、以上 2 町 6 村の合併により誕生しました。以後、昭和 45 年（1970）には大野郡^{にしだに}西谷村、平成 17 年（2005）には大野郡^{いずみ}和泉村をそれぞれ大野市に編入し、現在の「大野市」となっています。

大野市の歴史は縄文時代にまでさかのぼり、長い歴史の中で豊かな文化を育んできました。大野市には、国指定重要文化財「旧橋本家住宅」^{かみしょう}（上庄地区）や県指定史跡「越前大野城跡」^{おの}（大野地区）、県指定名勝「南専寺庭園」^{しもゆいの}（下唯野）^{とみた}（富田地区）、七間通り（大野地区）や寺町通り（大野地区）に代表される伝統的な町並み、国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」^{ほんがんしょうず}（大野地区）など、数多くの文化財が良好に保存されています。令和 4 年（2022）3 月現在、大野市における国・県・市指定及び国登録文化財の総数は 143 件、周知の埋蔵文化財包蔵地は 160 件となっています。国・県・市指定文化財の保護とともに、大野市独自の取り組みとして、地区や集落で継承されてきた伝統文化を「おおの遺産」として認証・支援する制度を創設し、令和 4 年（2022）3 月現在、19 件の年中行事や伝統芸能、風習を認証しています。このような支援や取り組みにより、大野市では、歴史を伝えるさまざまな文化財や美しい歴史的・自然的景観を受け継いできました。

しかしながら、大野市では、少子化・高齢化や過疎化の進行に伴う人口減少と、地域コミュニティの衰退といった状況が認められ、文化財の保存・継承やそれらを取り巻く環境にも深刻な影響を及ぼしています。さらに、育んできた文化への理解や関心の低下により、文化財のき損・滅失、担い手の減少が起こっていることから、新たな人材の育成をはじめとした文化財の保存・活用への対策は、喫緊^{きつぎん}の課題です。

そこで大野市では、文化庁の定める「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定に関する指針」（平成 31 年（2019）4 月）に基づき、文化財に関する保存・活用のマスタープラン及びアクションプランとなる「大野市文化財保存活用地域計画」を作成することとしました。大野市地域計画では、市内に所在する多種多様な文化財を幅広く捉え、周辺環境まで含めた文化財の一体的な保存・活用の取り組みの方向性を明確化し、行政と市民が協働で文化財の保存・継承や整備活用を進め、歴史文化を生かしたまちづくりを推進する基本方針を示します。

1 第2節 文化財保存活用地域計画作成の体制と経緯

2 大野市地域計画は、大野市域に所在するさまざまな分野の文化財の特徴を的確に捉える
3 とともに、文化財の保存・活用について市民の理解と協力が得られる内容とする必要があ
4 ります。このため、「大野市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱」を定め、当該要
5 綱に基づき、市民、学識経験者及び行政関係者より13名の委員を委嘱し、「大野市文化財
6 保存活用地域計画策定協議会」（以下、特に断らない限り「策定協議会」という。）を設置
7 しました。策定協議会は、令和元年度（2019年度）から令和3年度（2021年度）の3カ年
8 で計8回開催し、大野市地域計画の協議を行いました。また、文化財の保存・活用につい
9 て全庁的な取り組みが進められるよう、庁内関連部局職員によるワーキンググループを設
10 置して協議を行いました（詳細は資料編1、2、3、4、5を参照。）。

11 市民の文化財の保存・活用に関する意識を把握するとともに、地域の文化財について理
12 解を深め、地域の文化財の掘り起こしを行うため、各地区で地域住民を対象にワークショ
13 ップなどの意見集約を実施したほか、文化財の保存・活用についての理解を深めてもら
14 うためシンポジウムを開催しました。

15 さらに、文化財保護に関する専門的な分野については、大野市文化財保護審議会から意
16 見聴取を行いました。

17 このような取り組みを通して作成した大野市地域計画の素案についてパブリックコメン
18 トを募集し、意見などを踏まえた結果を教育委員会の議決を経て、「大野市文化財保存活用
19 地域計画」として取りまとめました。

20

1 **第3節 文化財保存活用地域計画の位置付け**

2 大野市地域計画は、平成 31 年（2019）4 月に改正施行された文化財保護法に基づく、法
 3 定計画として認定を受けることを目標とし、法令や条例、福井県の大綱である「福井県文
 4 化財保存活用大綱」（令和 2 年（2020）3 月策定）、大野市の長期的・総合的な市政運営の
 5 指針となる「第六次大野市総合計画」（令和 3 年（2021）2 月策定）をはじめ、各種関連計
 6 画とも整合性を図りながら作成を進めてきました。

7 大野市地域計画で
 8 は、総合計画に掲げた
 9 大野市の将来像やま
 10 ちづくりの基本目標
 11 に基づき、文化財の保
 12 存・活用施策の展開に
 13 向けた基本的な考え
 14 方を示します。また、
 15 全庁的な文化財の保
 16 存・活用への取り組み
 17 が進められるよう、市
 18 各部局が作成した関
 19 連計画や関係施策と
 20 の連携・整合性に配慮
 21 し、各施策が文化財の
 22 保存・活用に資するこ
 23 とができるよう、支援
 24 方策としての役割を
 25 担うものとします。さ
 26 らに、大野市地域計画
 27 に沿った施策を持続
 28 可能な開発目標であ
 29 る S D G s と関連付
 30 けて実施します。

31 主な上位計画・関連
 32 計画の概要は次のと
 33 おりです。

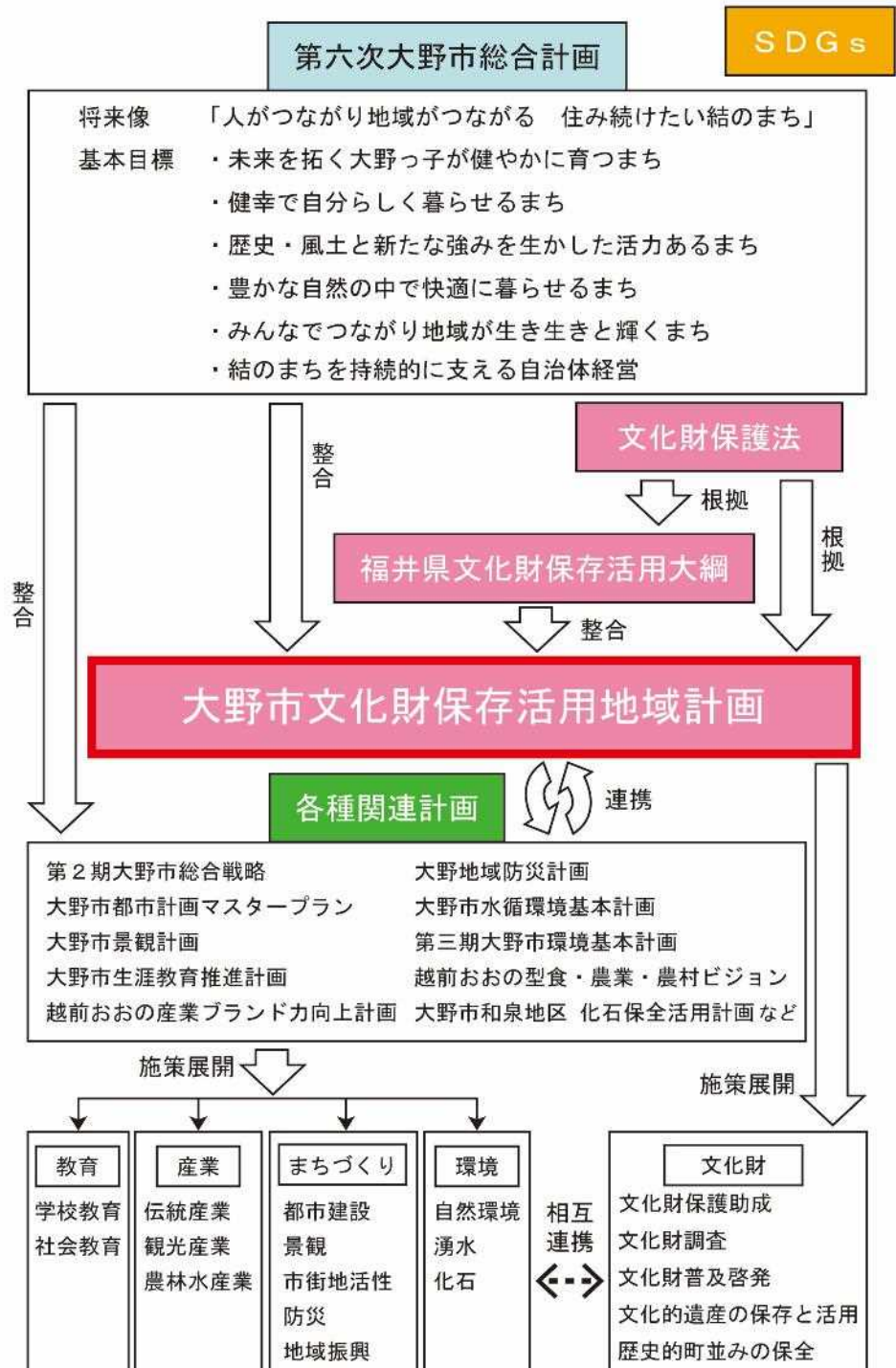


図 1 文化財保存活用地域計画の位置付け

1 <上位計画>

2 **【第六次大野市総合計画】**（令和3年（2021）2月策定）

3 計画期間：令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）の10年間

4 第六次大野市総合計画は、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）ま
5 での10年間を期間とした、まちづくりの目標と方向を示した大野市の最上位計画であ
6 り、市民や各種団体などが主体的にまちづくりに取り組む上での指針であるとともに、
7 国や県などとの連携を図るための指針でもあります。

8 この総合計画では、大野市民憲章と大野市教育理念を恒久的なまちづくり、人づくり
9 の理念としながら、令和12年（2030）までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標
10 であるSDGsの考えを取り入れ、私たちが目指す10年後のまちの将来像を「人がつ
11 ながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」としています。

12 文化財の保存・活用については、前期基本計画に次の3つの施策が掲げられています。

- 13 1 文化芸術の振興と継承を推進します
- 14 2 文化遺産・自然遺産を保護し活用します
- 15 3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します

16 <関連計画>

17 **【第2期大野市総合戦略】**（令和3年（2021）2月策定）

18 計画期間：令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）の5年間

19 地域の人口動向や産業実態などを踏まえ、人口減少対策に特化した施策の実現を目的
20 として策定されました。「地域経済を活性化し、安定した雇用を創出する」、「新しいひ
21 との流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に
22 合った活力ある地域をつくり、地域と地域を連携する」を施策の方向性とし、人口減少
23 対策や地方創生に戦略的に取り組んでいくこととしています。

24 **【大野市都市計画マスタープラン】**（平成9年（1997）策定、平成23年（2011）改訂）

25 ※見直し中、公開され次第更新予定

26 計画期間：平成23年度（2011年度）～平成42年度（2030年度）の20年間

27 社会情勢や地域的特性を踏まえ、大野市の都市計画に関する目標や基本方針を示すこ
28 とで、魅力あるまちづくりを実現させることを目的として策定されました。大野市の歴
29 史資産や自然環境資源を生かすことで、市民が誇りを感じ、市外からの移住者や来訪者
30 が増え、交流が育まれる元気な都市づくりを目指しています。

1 **【大野市景観計画】**（平成 19 年（2007）策定）

2 市内の歴史的資源や田園風景、自然景観を保全・継承し、市街地・田園地帯・山地地
3 域の各地域の景観づくりに生かすことで、市民や観光客が魅力を感じる景観形成を行う
4 ことを目的として策定されました。景観計画区域は大野市全域であり、歴史的資源につ
5 いては大切に保存・継承するとともに、歴史の積み重ねが感じられる街並みづくりを進
6 めることとしています。

7
8 **【大野市生涯学習推進計画】**（令和 4 年（2022）策定）

9 計画期間：令和 4 年度（2022 年度）～令和 8 年度（2026 年度）の 5 年間

10 人生 100 年時代、全ての人に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会をつくり、
11 生涯にわたり必要な知識や技能、技術を学び、人生を豊かに生きることができる生涯学
12 習社会の実現が求められています。全市民を対象として、生涯を通じて学び合い、協力
13 し合い、次代の地域社会を支える人づくりを目指した生涯学習を推進することとしてい
14 ます。

15
16 **【越前おおの産業ブランド力向上計画】** ※策定中

17 計画期間：令和 4 年度（2022 年度）～令和 8 年度（2026 年度）の 5 年間

18 歴史・文化・伝統、自然環境など、各分野のブランド化を進めてきた「越前おおのブ
19 ランド戦略」と、観光誘客に取り組んできた「越前おおの観光戦略ビジョン」を統合し、
20 地域資源のブランド力を高めつつ、観光などの視点を取り入れながら、事業者の「稼ぐ
21 力」の向上につなげていくこととしています。

22
23 **【大野市地域防災計画】**（昭和 38 年（1963）3 月作成、令和〇〇年改訂） ※改訂中

24 災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、市民の生命、身体及び財産を災害から保護
25 するとともに、市民参加による地域防災力の強化を図り、社会秩序の維持と公共の福祉
26 に資することを目的として策定されました。共通編では、文化財を火災から守るための
27 予防対策や防火指導、防火対策を実施することや、災害発生時の応急対応を進めること
28 としています。

1 **【大野市水循環基本計画】**（令和3年（2021）2月作成）

2 計画期間：令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）の10年間

3 国の水循環基本法（平成26年（2014）施行）や水循環基本計画（令和2年（2020）6
4 月改定）の趣旨を踏まえ、大野の恵まれた水循環を守り、未来に引き継いでいくため、
5 大野市のさらなる水循環の健全化に向けた総合的な計画として策定されました。「『健全
6 な水循環による、住み続けたい結のまちの実現』-九頭竜川源流域の豊かな水環境を次
7 世代へ-」を基本理念としています。

8
9 **【第三期大野市環境基本計画】**（令和3年（2021）3月改訂）

10 計画期間：令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）の10年間

11 大野市環境基本計画は、平成10年（1998）3月に制定された大野市環境基本条例の
12 基本理念を実現するため、良好な環境の保全はもとより、より良い環境の創造を目指し、
13 平成12年（2000）3月に策定されました。

14 さらに、第六次大野市総合計画の基本目標の一つでもある「豊かな自然の中で快適に
15 暮らせるまち」を実現するため、第三期大野市環境基本計画が策定され、「地球温暖化な
16 どの気候変動への対応」や「廃プラスチックの削減」、「食品ロスの削減」といった新た
17 な課題に対応することとしています。

18
19 **【越前おおの型食・農業・農村ビジョン】**（令和4年改訂予定）

20 計画期間：令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）の5年間

21 令和4年（2022）に越前おおの型食・農業・農村ビジョンと越前おおの食育推進計画
22 が統合されました。越前おおの型食・農業・農村ビジョンの中で、食と農のつながり
23 を見直すため、農業・農村と並んで食育を一つの柱として捉えています。

24 この「食育」は、大野市の食文化の伝承、食べ物の安全・安心などのさまざまな課題
25 の解決に向けた、総合的な取り組みを推進していくこととしています。

26
27 **【大野市和泉地区 化石保全活用計画】**（平成25年（2013）3月策定）

28 化石が貴重な天然資源であることをもっと市内外に広くアピールし、地域の活性化に
29 つなげ、長期的かつ総合的見地に立って保全や活用を図るためのマスタープランとして
30 策定されました。和泉地区から発見される化石の特色を整理し、地域の貴重な資源であ
31 る化石を保全・活用していくための具体的な施策を挙げています。

32 基本方針として、学術分野では「化石及び地層に関する資料の保全と充実」、教育分野
では「小中学校の児童生徒や成人を対象に化石に対する理解を深める事業の実施」、観光
分野では「化石をテーマとした体験型イベントなどによる交流人口の拡大を図る」こと
としています。

1 <文化財の防災に関わるガイドラインなど>

2 **【国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン】**

3 (令和元年(2019)9月2日策定、令和元年(2019)12月23日改訂)

4 国宝・重要文化財(建造物)や史跡などに所在する建造物の所有者などが総合的な防
5 火対策を検討・実施できるように文化庁が作成しました。各文化財の特性ごとに想定さ
6 れる火災リスク、防火についての基本的な考え方、必要な点検事項と手順、対応策をま
7 とめています。

8 国宝・重要文化財(建造物)や史跡などに所在する建造物の所有者などにおいては、
9 本ガイドラインを活用し、当該建造物の燃焼特性(脆弱性)を理解するとともに、防火
10 設備の整備、訓練の充実、その他の防火対策について検討・実施し、具体的な防火対策
11 プランを作成することとしています。

12
13 **【国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン】**

14 (令和元年(2019)9月2日策定、令和元年(2019)12月23日改訂)

15 国宝・重要文化財を保管する博物館などにおいて整備が必要となる防火設備など
16 を把握し、総合的な防火対策を検討・実施できるように文化庁が作成しました。防火管
17 理体制や日常管理体制における火災予防、各種設備のあり方、設備の点検や消防訓練な
18 どについての基本的な考え方を示しています。

19 そして、本ガイドラインの基本的な考え方に基づき点検を行い、対策の不十分な点や
20 課題点が明らかになった場合、管理体制の見直しや設備の整備・増設、消防訓練の充実
21 などの今後の対応策をまとめることとしています。

22
23 **【世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画】**

24 (令和元年(2019)12月23日文科科学大臣決定)

25 計画期間：令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)の5年間

26 日本の貴重な国民的財産である文化財を確実に次世代に継承するため、総合的・計画
27 的な防火対策を重点的に進めることを目的として策定されました。国宝・重要文化財(建
28 造物)や国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館、史跡などに所在する建造
29 物などの防火対策に係る基本的な考え方を示し、各重点整備対象を定め、重点整備内容
30 (ハード)や重点取組内容(ソフト)などを挙げています。

31 基本的な考え方として、「防火対策ガイドラインに基づく点検結果を踏まえ、各文化
32 財の特性、管理体制、防火に係る専門的見地からの意見などを総合的に勘案して検討・
33 実施し、対策の進捗状況を適時確認」することとしています。

1 **第4節 計画期間**

2 大野市の最上位計画である第六次大野市総合計画と整合を図るため、大野市地域計画
3 は、今後9年間（令和4年度（2022年度）～令和12年度（2030年度））を計画期間とし
4 ます。計画期間のうち、令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）を前期、令
5 和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）を後期とし、各期の最終年度に見直し
6 を行います。

7 見直しに当たっては、個々の事業評価及び計画全体の評価を行い、必要に応じて変更
8 や修正を行います。認定を受けた大野市地域計画を変更する場合は、軽微な変更を除き、
9 文化庁長官による変更の認定を受けます。軽微な変更を行った場合は、当該変更の内容に
10 ついて、県を経由して文化庁へ情報提供します。「軽微な変更」とは、以下以外の変更を
11 指します。

- 12 ・ 計画期間の変更
- 13 ・ 大野市内に存する文化財の保存に影響を与える恐れのある変更
- 14 ・ 大野市地域計画の実施に支障が生じる恐れのある変更

15
16 なお、見直しに当たる組織や方法などについては、改めて検討いたします。



図2 大野市地域計画の計画期間

第2章 大野市の歴史文化の総合的把握

第1節 自然環境

1. 位置

大野市は福井県東部に位置し、加越山地・越前中央山地・越美山地と、南北約9km、東西約7kmの大野盆地より形成されています。南北・東西とも約38kmある市域の面積は県内最大の872.43km²で、その約87%は山林となっています。また、北は勝山市と石川県白山市に、東と南は岐阜県高山市、同県郡上市、同県関市、同県本巣市、同県揖斐郡揖斐川町に、西は福井市、今立郡池田町と、県内外の多くの自治体と市域を接しており、古くからこれら隣接する地域とさまざまな交流が行われています。



図3 大野市の位置図
(国土数値情報「行政区域」、基盤地図情報を使用)

2. 地形・地質

大野盆地の北と東は加越山地、西は越前中央山地、南は越美山地に接し、大野盆地は火山性台地、河岸段丘、谷底低地、扇状地、崖錐、氾濫原などがあります。

大野市には九頭竜川、真名川、清滝川、赤根川の4河川が盆地内を並行して北流し、そのうち九頭竜川は岐阜県境を源としています。九頭竜川水系は上流部で九頭竜峡などの峡谷、盆地内で扇状地や河岸段丘、低湿地を形成しています。特に赤根川流域の牛ヶ原は

1 大野市は西南日本内帯の東部に位置しており、地質構造を詳しく見てみると、北から南
 2 へ飛騨帯、飛騨外縁帯、美濃帯の順で帯状に配列しています。飛騨帯は、古い順に、主に
 3 飛騨片麻岩類(先カンブリア時代)、九頭竜層群・手取層群(ジュラ紀中期～白亜紀前期)、
 4 おもだにりゅうもんがん 面谷流紋岩類(白亜紀後期)、新生代火成岩類から構成されています。九頭竜層群・手取
 5 層群からは、中生代に繁栄したアンモナイトや恐竜、陸生植物などの化石が発見されてい
 6 ます。九頭竜層群は、主に海で堆積した泥岩や砂岩、礫岩から構成され、手取層群は、主
 7 に河川や河口付近で堆積した泥岩や砂岩、礫岩から構成されています。九頭竜層群貝皿層
 8 が分布する下山(和泉地区)は、明治15年(1882)に日本で最初にジュラ紀のアンモナイ
 9 ト化石が発見された場所として有名です。手取層群伊月層が分布する下半原(和泉地区)
 10 は、平成8年(1996)に国内最古級のティラノサウルス類の歯化石が発見されていること
 11 から、日本のティラノサウルス類の起源を解明する上で重要な恐竜化石産地として注目さ
 12 れています。飛騨外縁帯は、主に泥岩、砂岩、礫岩、凝灰岩、石灰岩、千枚岩、緑色岩、
 13 結晶片岩から構成されています。伊勢(和泉地区)に分布する石灰岩層は、全国的に見て
 14 珍しいデボン紀を示す三葉虫やハチノスサンゴなどの化石が産出することで知られていま
 15 す。美濃帯は、主に泥岩、砂岩、チャート、緑色岩、メランジェから構成されています。
 16 小沢(西谷地区)に分布する赤色チャート層からは三畳紀中期～ジュラ紀前期を示す海洋
 17 プランクトンの放散虫化石が報告されています。

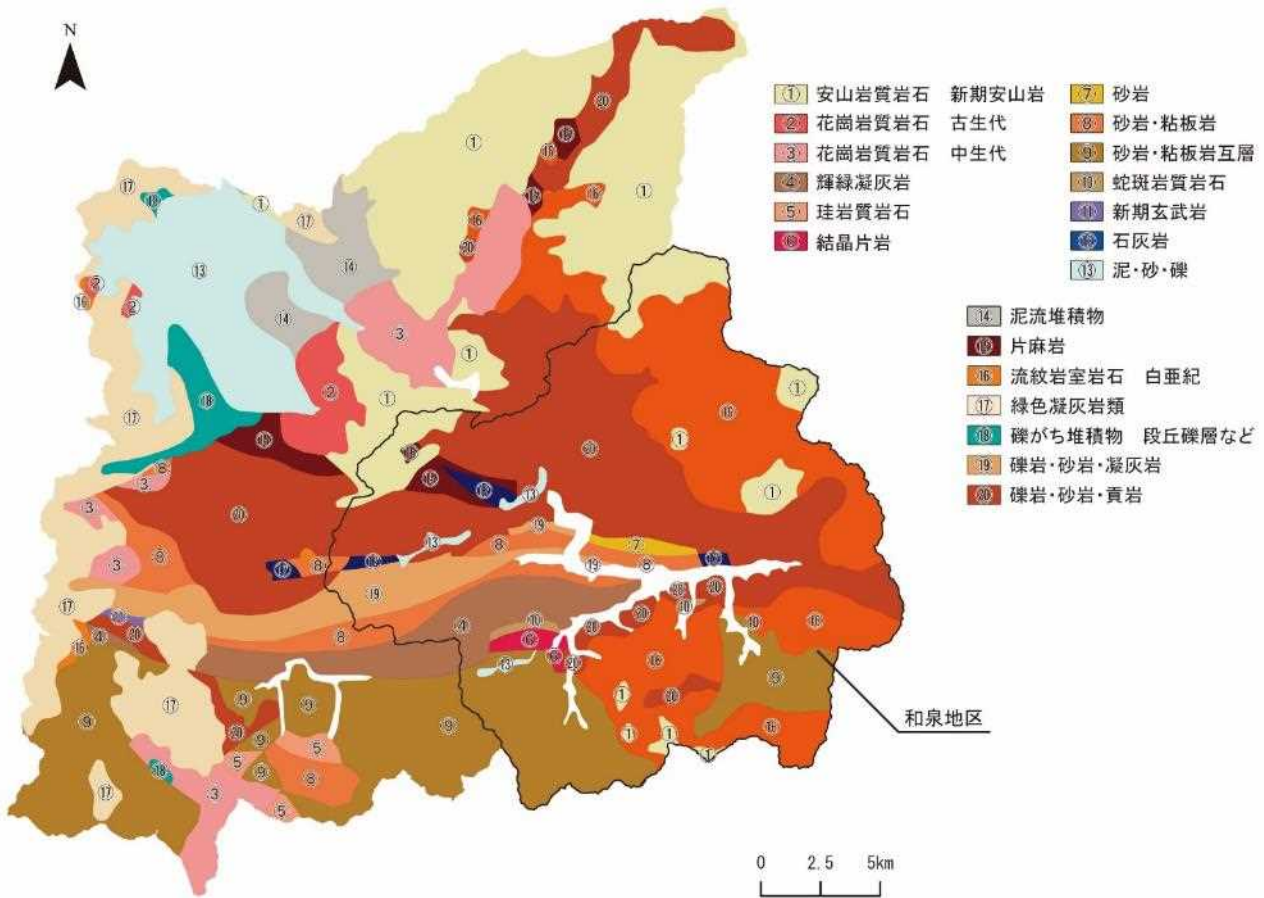


図5 表層地質図
 (20万分の1土地保全基本調査 表層地質図「福井県」、GISデータを使用)

1 (2) 清水^{しょうず}

2 豊富な降水は地下水となり、各所に
3 湧出しています。大野では湧水のこと
4 を「清水」と呼び、親しんできました。
5 清水^{しょうず}には、古くは奈良時代からのいわ
6 れを持つものもあり、人々に大切に利
7 用されてきたことが分かります。
8 「清水^{しょうず}」を中心とした人々の生活の営
9 みは、大野市の文化を構成する要素の
10 一つです。

11
12
13

表 1 清水の一覧

清水名	所在地	備考
御清水	泉町	名水百選
本願清水	糸魚町	平成の名水百選
新堀清水	泉町	
お馬屋池	城町	
義景清水	泉町	
中野清水	中野	
馬清水	篠座町	
上荒井清水	上荒井	※個人宅
木本薬師堂の霊泉	木本	
殿様清水	右近次郎	
化物清水跡	右近次郎	
こせき清水	泉町	
中荒井の清水	中荒井	
みくら清水	犬山	
ふくべ清水	春日	
存実の清水	八町	
阿難祖地頭方の清水	阿難祖地頭方	
山王神社の堀	日吉町	
弥生公園の清水跡	弥生町	
篠座神社の御霊泉	篠座町	
坂戸の白水	牛ヶ原	
伊月の湧水	伊月	
蝶の水	東市布	

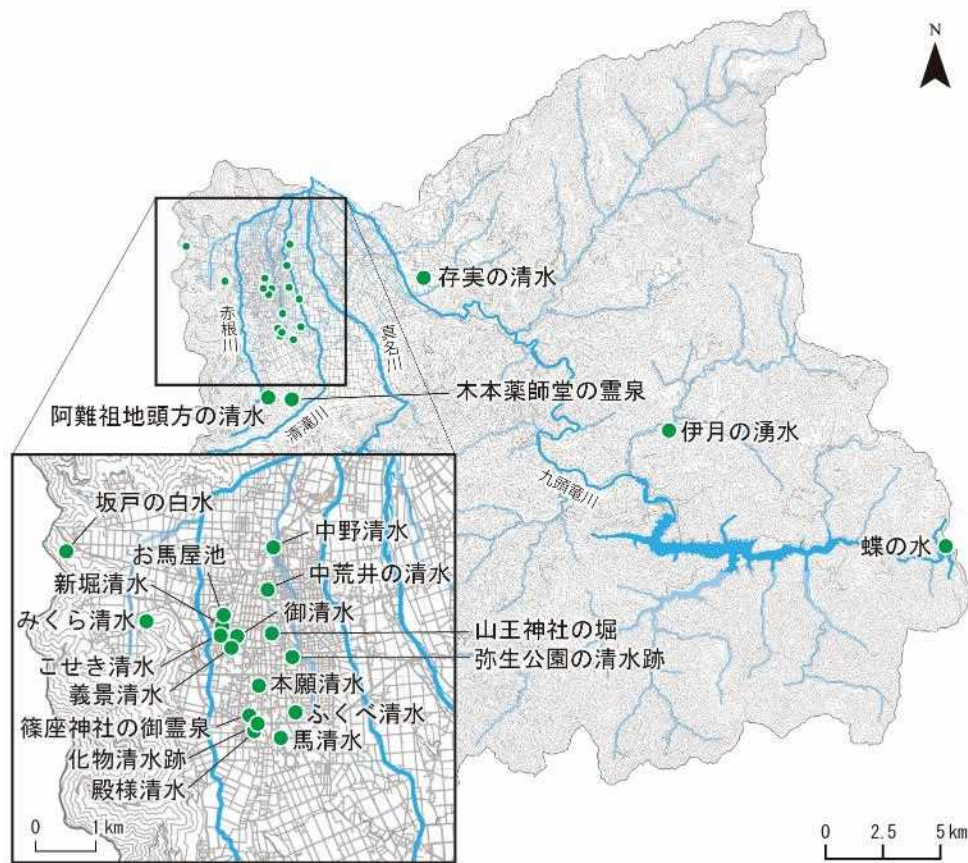
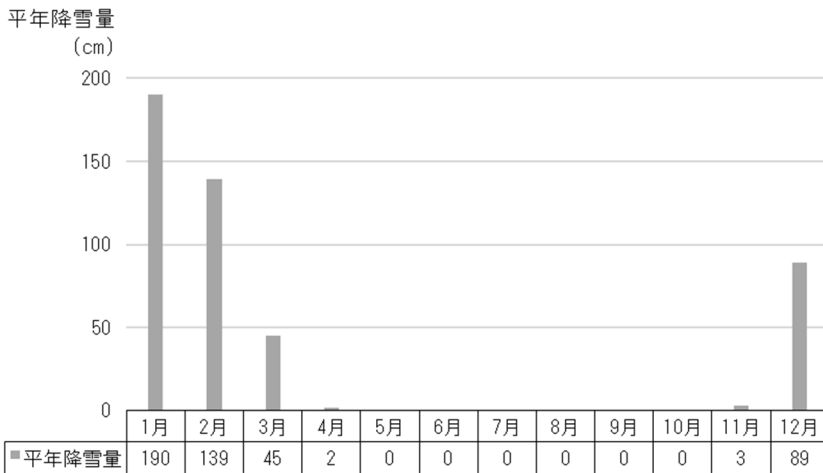


図 7 清水の分布図
(基盤地図情報を使用) ※個人情報に関わるものは分布図には表示していません。

1 **4. 気候**

2 福井県東部の内陸部に位置する大野市は日本海側気候に属し、地形や季節風の影響によ
 3 り冷涼で降雪量が多い北陸山地型の気候となっています。このため、全域が特別豪雪地帯
 4 に指定されており、平成 30 年（2018）2月の記録として、降雪量は九頭竜で 301 cm、大
 5 野で 177 cmとなっています。特に九頭竜での降雪量は、福井地方気象台が同地の計測を始
 6 めた昭和 57 年（1982）以降最多を記録しました。

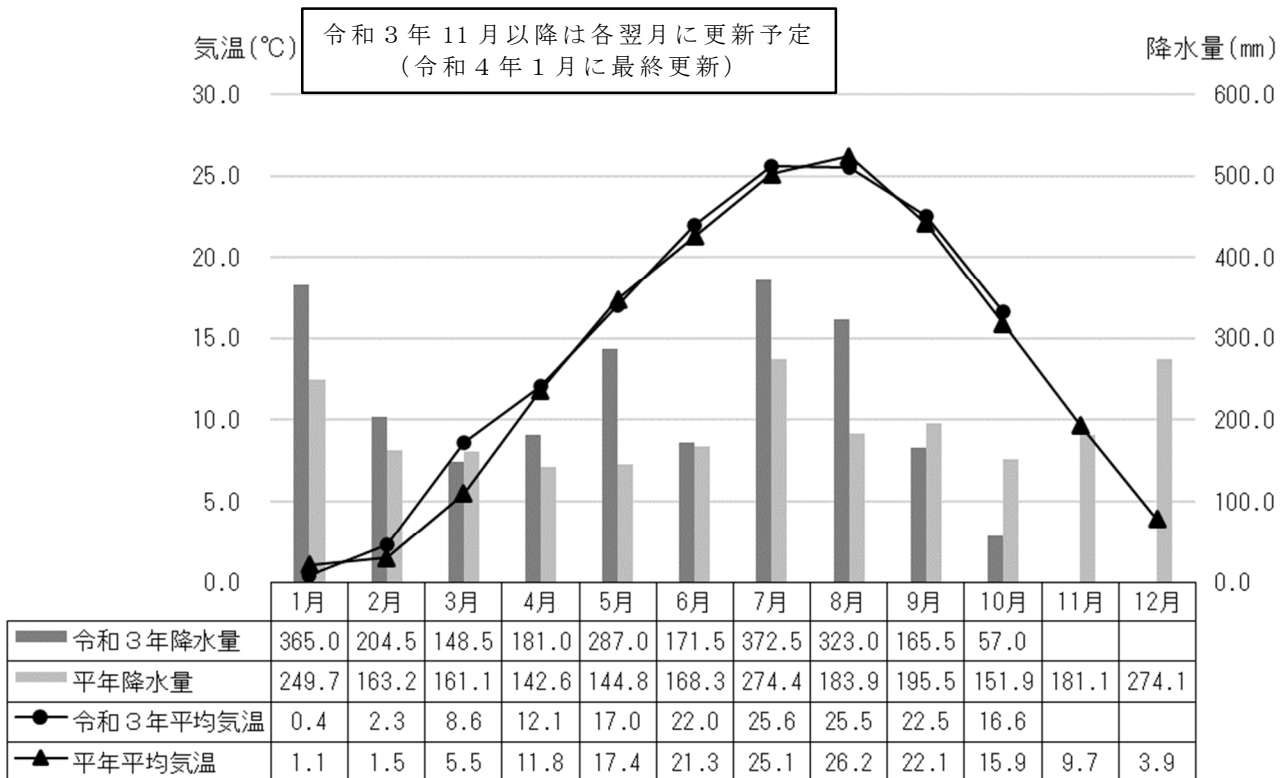
7 気候は文化財の保存に大きく影響します。平成 29 年（2017）の降雪で国指定重要文化財
 8 「旧橋本家住宅」（上庄地区）の茅葺屋根が崩落した事例をみても、文化財の災害に対する
 9 備えを検討しておくことが大切です。



17 写真 1 旧橋本家住宅の
 18 雪降しの様子

19 **図 8-1 大野市の降雪量**

（気象庁・過去の気象データ「大野」より作成、平年値は 1991～2020 のデータ）



31 **図 8-2 大野市の降水量・平均気温**

32 （気象庁・過去の気象データ「大野」より作成、平年値は 1991～2020 のデータ）

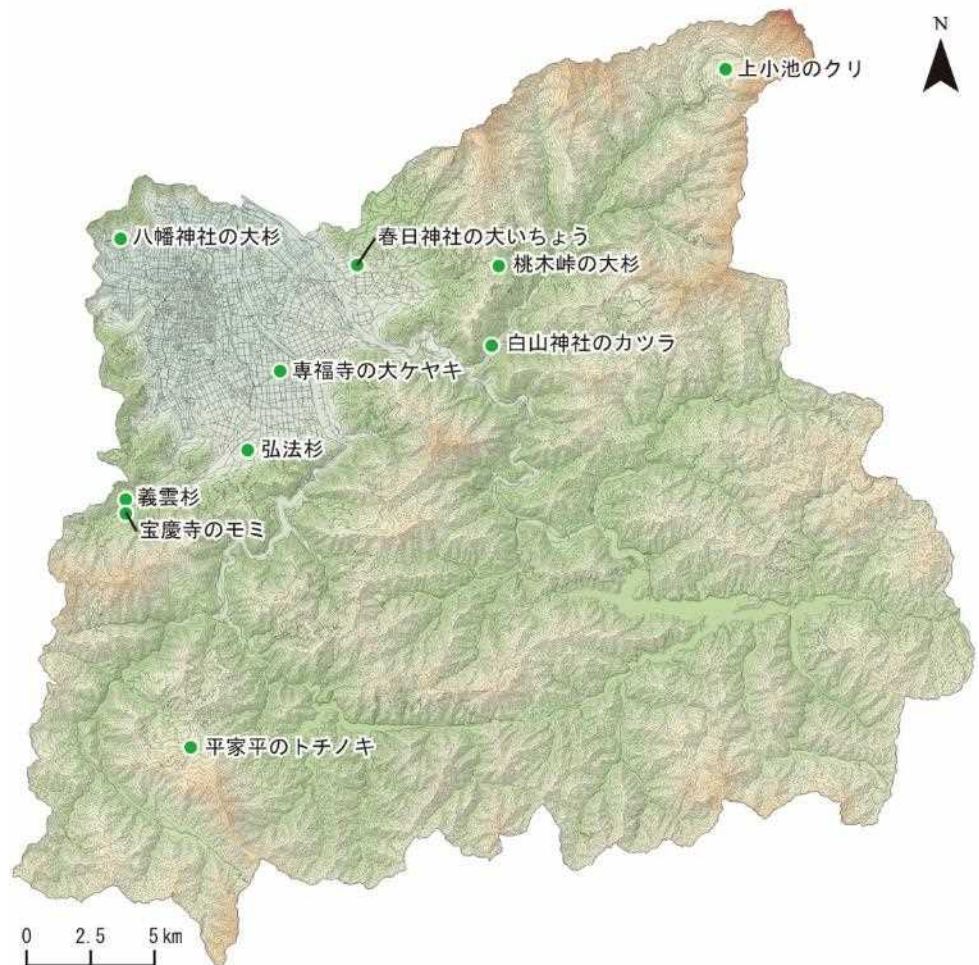
1 **5. 植生**

2 大野市は、標高約 2,080mの三ノ峰避難小屋付近から標高 150～250mの大野盆地まで、
3 約 1,900mの標高差を持ち、わが国に自生する維管束植物約 5,300 種のうち 32%が生育し
4 ています。シラカシやコウゾなどの常緑広葉樹林、ミズナラやブナ、ケヤキなどの夏緑広
5 葉樹林、山地のオオシラビソなどの亜高山針葉樹林、キハダなどの落葉広葉樹林、オウレ
6 ンなどの多年生草本など、幅広い垂直分布の植物相が認められ、植物学上重要な地域とな
7 っています。

8 これら大野市の豊かな植物相は、古代より建築資材や燃料、食用、薬用、^{なりわい}生業などさま
9 ざまな分野で利活用され、歴史文化形成の重要な構成要素となっています。また、白山国
10 立公園や奥越高原県立自然公園への指定や、^{すいげんかんようりん}水源涵養林として保護管理されてきました。

11 中でも、「^{かみしょう}専福寺の大ケヤキ」(上庄地区)は国指定天然記念物として、「白山神社のカツ
12 ラ」(^{ごか}五箇地区)は福井県指定天然記念物として、「^{へいげだいら}平家平のトチノキ」(西谷地区)や「春
13 日神社の大いちょう」(^{さかだに}阪谷地区)、「^{もものきとうげ}桃木峠の大杉」(^{ごか}五箇地区)、「^{ぎょうん}義雲杉」(^{かみしょう}上庄地区)、
14 「^{いぬいかわ}八幡神社の大杉」(乾側地区)は大野市指定天然記念物として、それぞれ指定されていま
15 す。未指定文化財としては、「^{かみしょう}宝慶寺のモミ」(上庄地区)や「^{かみしょう}弘法杉」(上庄地区)、「^{ごか}上小
16 池のクリ」(^{ごか}五箇地区)などの巨樹があります。

17 しかしながら近年
18 は、帰化植物の繁殖
19 域の拡大や開発・乱
20 獲による在来植物の
21 生態系の破壊などが
22 進んできていること
23 から、地域にとって
24 重要な植生を大野市
25 の文化を育んできた
26 基礎の一つとして、
27 適切な保全を進めて
28 いく必要があります。
29



30 **図9 記念物樹などの分布**
31 (背景に基盤地図情報を使用)

1 **6. 動物**

2 大野市には、国特別天然記念物の（ニホン）カモシカや、国天然記念物のイヌワシやヤ
3 マネをはじめとした多様な動物が生息しています。また、国指定天然記念物「本願清水イ
4 トヨ生息地」（大野地区）は淡水型イトヨの生息域の南限として、国指定天然記念物「ア
5 ラレガコ生息地」（^{とみた}富田地区、^{しもしょう}下庄地区）は九頭竜川^{くずりゅう}阪谷橋より下流域がアレガコ生息
6 地として、それぞれ地域を定めて国天然記念物に指定されています。

7 福井県レッドデータブックによると、オジロワシは絶滅の危機に瀕している「県域絶滅
8 危惧Ⅰ類」に、ヤマネは、生息・生育条件の変化によって絶滅危惧に移行する可能性のあ
9 る「県域準絶滅危惧」にそれぞれ選定されています。個体数の減少理由として、いずれも
10 都市化や開発行為に伴う環境改変、人口減少にともなう里地里山の荒廃などによる生息環
11 境の悪化及び餌となる魚類や昆虫類の個体数の減少が考えられます（大野市に生息する動
12 物については資料編6を参照。）。



20 **写真2 本願清水イトヨ生息地（天然記念物）**



21 **写真3 アラレガコ生息地（天然記念物）**

22
23

1 第2節 歴史環境

2 1. 歴史の変遷

3 (1) 歴史前夜

4 ^{いずみ}和泉地区には、古生代と中生代の貴重な化石を産出する地層が広く分布しており、約3
5 億年に渡る地球の歴史が眠っています（詳細は資料編7を参照。）。

6 古生代（約5億4100万年前～約2億130万年前）の化石は、飛騨外縁帯から産出し、
7 三葉虫、フズリナ、サンゴ、ウミユリ、腕足類などの海の生き物の化石が発見されていま
8 す。

9 中生代ジュラ紀（約2億130万年前～約1億4500万年前）の化石は、九頭竜層群から
10 産出し、ベレムナイト、イノセラムスなど海の生き物の化石が発見されています。また、
11 下山地系の谷山谷で明治15年（1882）に日本最初のアンモナイト化石が発見され、大野
12 市とチベットの2カ所でしか発見例のない「シュードニューケニセラス・ヨコヤマイ」と
13 名付けられたジュラ紀のアンモナイト化石の産出地となっています。大野市は中期ジュラ
14 紀（約1億6600万年前）から後期ジュラ紀（約1億6000万年前）にかけてのさまざまな
15 アンモナイトの産出が知られるようになり、現在ではアジアの重要なアンモナイト研究の
16 拠点として国際的に評価されています。

17 中生代白亜紀（約1億4500万年前～約6600万年前）の手取層群から、恐竜や貝、シダ
18 の葉など陸上に生息した動植物の化石が発見されています。平成8年（1996）には当時世
19 界最古級とされたティラノサウルス類の歯の化石が、平成21年（2009）にはカルノサウ
20 ルス類（獣脚類）の歯の化石も発見され、北陸の重要な恐竜化石産出地として注目を浴び
21 ています。

22 また、令和元年（2019）には手取層群から国内最古級の哺乳類の歯が付いた顎骨の化石
23 が発見されました。新種の可能性もあり、研究が進められています。

24 このように大野市では明治時代から現在に至るまで地質や化石を対象とした調査研究
25 が行われています。日本の土台が大陸縁辺に存在していた時期の海洋と陸上の歴史をひも
26 とく上で重要な場所です。

27

1 (2)原始(縄文時代から古墳時代)

2 ①人々の活動のはじまり(縄文時代)

3 市域で確認できる人々の活動の始まりは縄文時代草創期(約12,000年前)です。なお、
4 市域には33カ所の縄文時代の遺跡の所在が明らかになっており、出土した土器などの特
5 徴から、北陸地方はもとより、関西地方や東海地方、信越地方などとも交流を持っていた
6 ことが推定されています。

7 縄文時代の遺跡は、九頭竜川や真名川など、主要な河川の段丘上に形成される傾向が認
8 められ、縄文時代を通して複数の集落が営まれていたことが分かっています。

9 市内縄文時代の遺跡調査は、戦前の上田三平氏による温見遺跡(西谷地区)の現地踏査
10 に始まります。この後、小谷堂遺跡(和泉地区)が昭和41年(1966)に福井県考古学研究
11 会により発掘調査され、県内で最初に縄文時代の竪穴住居跡が発掘された事例として知ら
12 れています。また、角野前坂遺跡(和泉地区)は、昭和44年(1969)・同46年(1971)に
13 若狭考古学会が発掘調査を行い、複式炉を持つ竪穴住居跡5棟を発掘するなど、県内
14 の縄文集落研究の先駆的事例となっています。

15



図10 縄文時代の遺跡分布
(背景図に基盤地図情報を使用)

1 ②人々の交流の発展(弥生時代)

2 市域には 21 カ所の弥生時代の遺跡の所在が明らかになっており、内訳としては、集落跡
3 が 6 遺跡、土器などの遺物を確認した遺物散布地が 15 遺跡となっています。

4 特に、中部縦貫自動車道建設に伴う発掘調査の結果により、弥生時代の遺跡は、従来の
5 赤根川流域以外に真名川や清瀧川の流域でも所在が確認されるようになりました。また平
6 成 10 年(1998)、同 11 年(1999)に、圃場整備事業に伴い実施した右近次郎西川遺跡(小山
7 地区)の発掘調査では、奥越地域では初となる、緑色凝灰岩を石材とする管玉を中心とし
8 た玉づくり跡を発見しました。

9 さらに、弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡では、大野市への鉄器文化の流入を示
10 す鉄鏃やヤリガンナなどの鉄器が出土した上舌遺跡(小山地区)や、弥生時代後期から古
11 墳時代前期にかけて近江地方とのつながりを強く示す犬山遺跡(乾側地区)など、県内に
12 おける重要な発見が続きました。

13

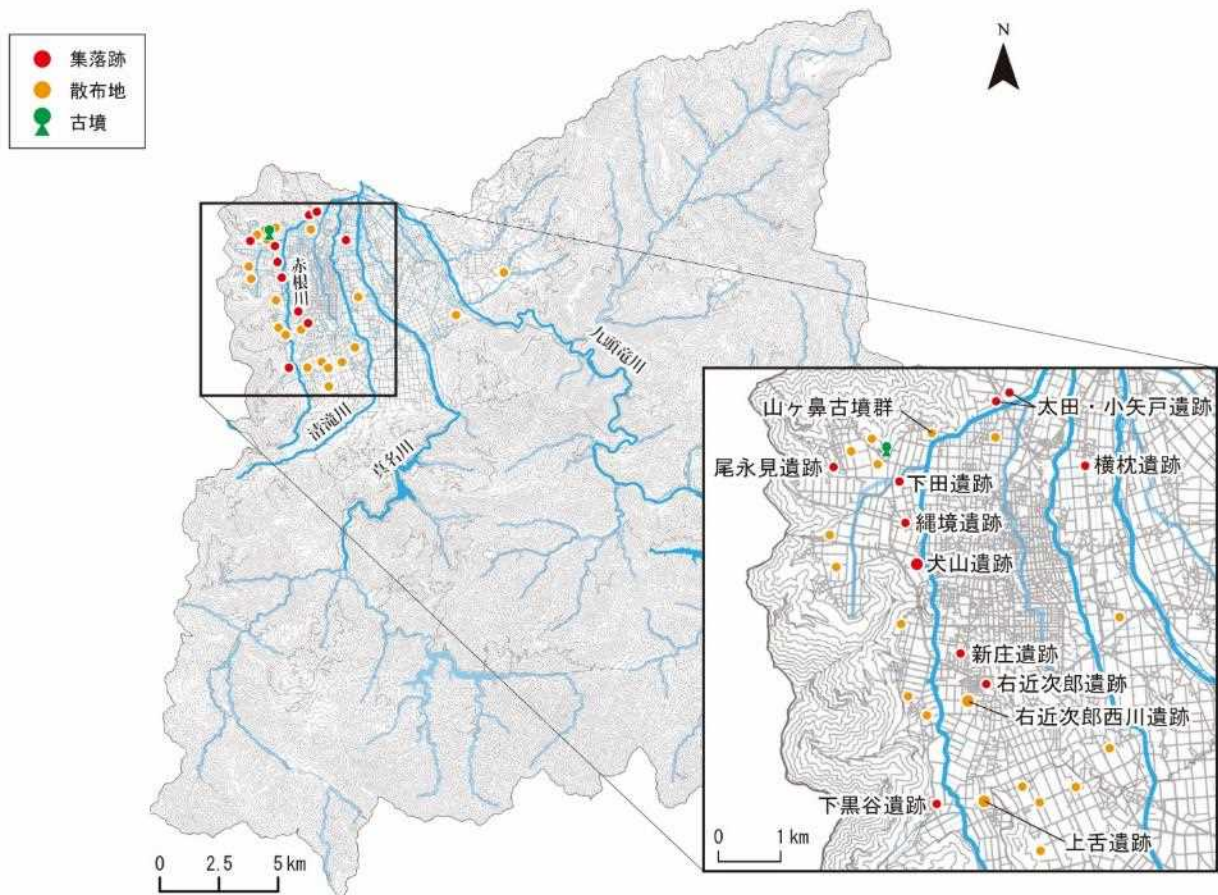


図 11 弥生時代の遺跡分布
(背景図に基盤地図情報を使用)

1 ③有力首長の台頭(古墳時代)

2 大野市の古墳は、赤根川左岸の丘陵上に多く、このほかにも赤根川右岸、真名川と清滝
3 川の扇頂部にも分布が認められます。昭和 53 年(1978)に発掘調査を行った山ヶ鼻 6 号墳
4 (下庄地区・乾側地区)は、埋葬施設に割竹型木棺を持つ全長 36m の前方後円墳で、当地
5 の首長墓と考えられています。なお、同古墳に続く首長墓の流れは、盆地内最大の円墳で
6 ある御茶ヶ端古墳群(下庄地区)、さらに下舌三ツ塚古墳群(小山地区)に続くと考えられ
7 ています。

8 古墳時代の集落遺跡として、現在、福井県立大野高等学校の敷地となっている赤根川右
9 岸の新庄遺跡(小山地区)があります。同遺跡の発掘調査では、掘立柱建物 19 棟が確認さ
10 れており、建物の方位などからこれら建物群は 3 時期に分けられ、各時期 10 棟前後の建物
11 で構成されていたと推定されています。

12

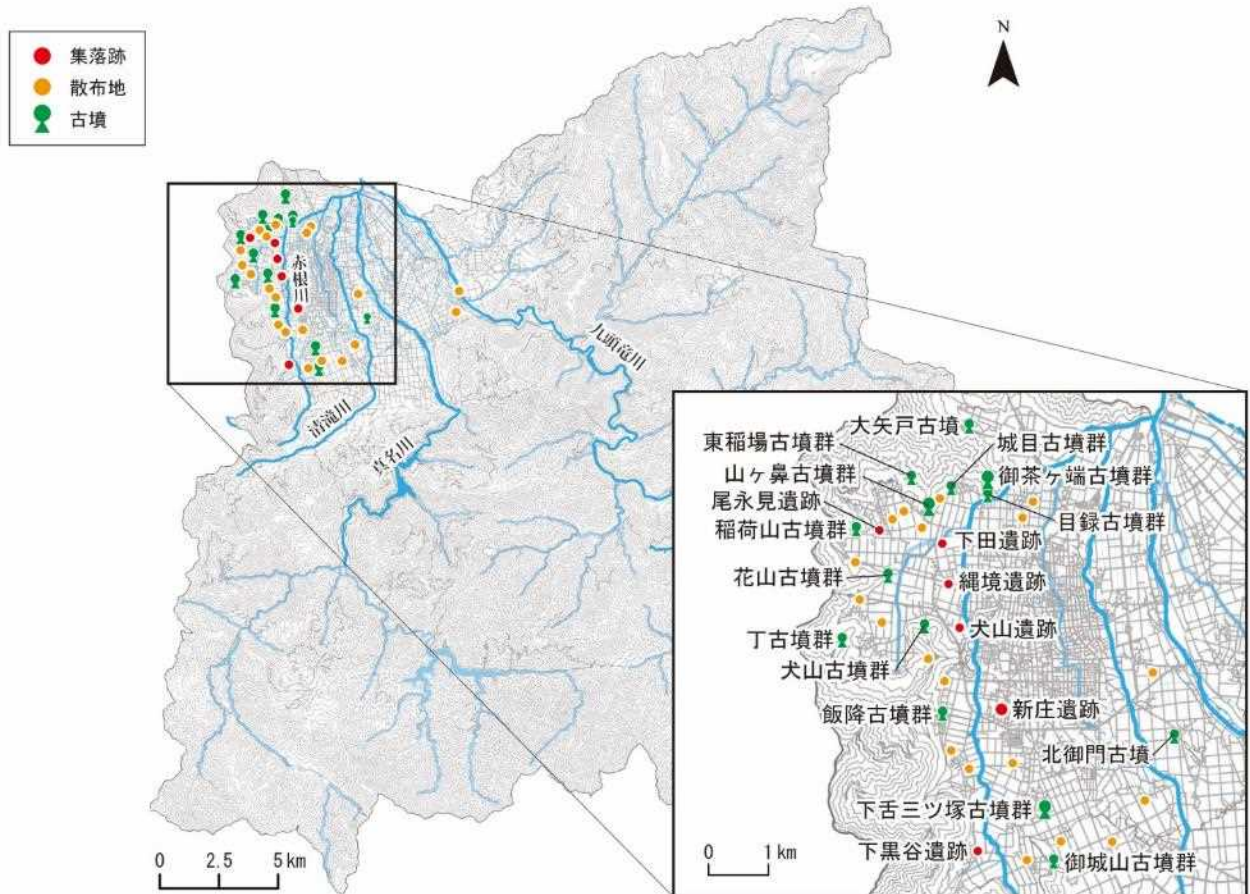


図 12 古墳時代の遺跡分布
(背景図に基盤地図情報を使用)

1 (3) 古代(奈良・平安時代)

2 ①律令制と大野

3 奈良時代の大野は、天平元年（729）銘の平城京跡出土木簡から「越前国大野郡」として
4 位置付けられていたと考えられています。また、長岡京跡出土木簡には、「上郷」、「大山郷」、
5 「大沼郷」という地名があることから、律令制による郡や郷が大野に存在していたことが
6 判明しています。さらに牛ヶ原（乾側地区）や犬山（乾側地区）には、条里制に基づく地
7 割や地名が確認されています。

8 平安時代になり、中央の有力寺院などによる荘園制が発達していく中、大野では、牛ヶ原
9 （乾側地区）を中心に、醍醐寺子院円光院の所領である「牛原荘」が成立しました。白河
10 院政期（1086-1129）には牛原荘のみであった荘園も、鳥羽院政期（1129-1156）には小山
11 荘や泉荘などその数を増やしており、郡内の荘園化が急速に進んだことが分かります。一
12 方、荘園をめぐる国司と領主との争いなどが顕在化してきており、平安時代末期における
13 土地所有形態の変化による古代の終焉を、大野でも確認することができます。

14

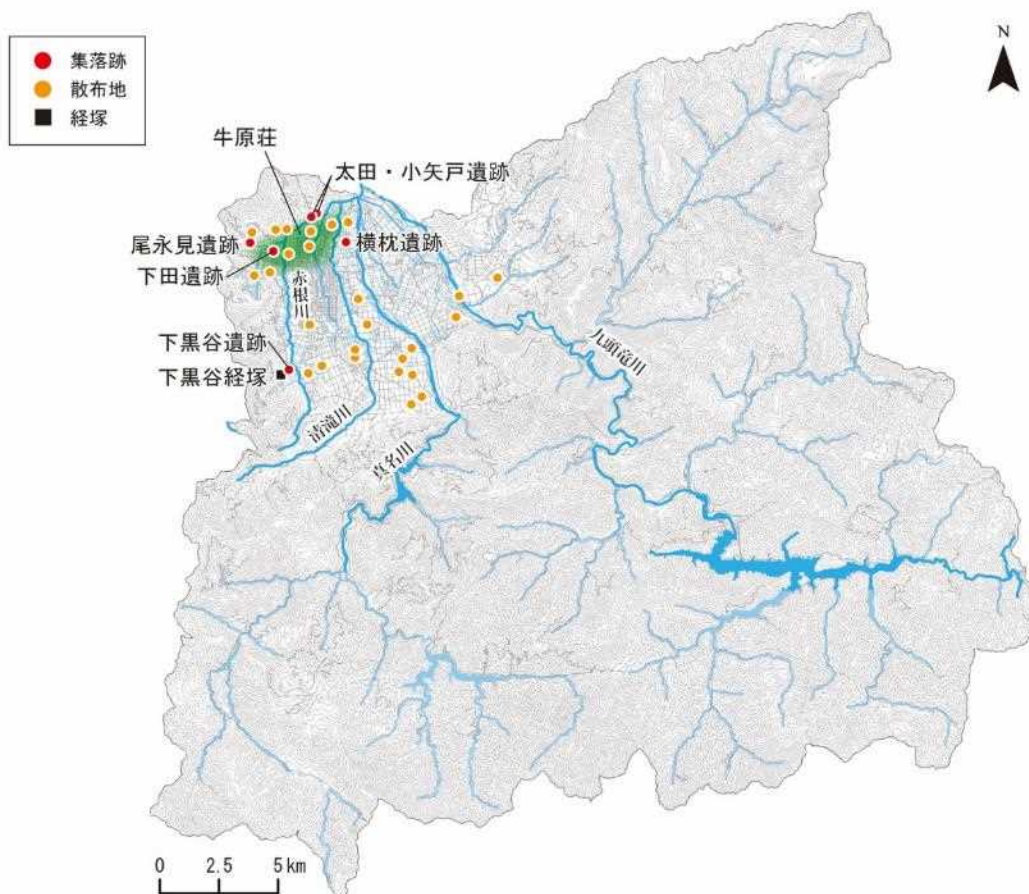


図 13 古代の遺跡分布
(背景図に基盤地図情報を使用)

1 ②白山信仰のはじまりと発展

2 白山とは、御前峰（2,702m）、大汝峰（2,684m）、別山（2,399m）の3山の総称です。白
3 山は大野の人々に信仰の山としてあがめられてきました。泰澄が養老元年（717）に開山
4 したことが、白山信仰の始まりとされています。その後、平泉寺（勝山市）から白山への
5 登頂ルート「越前禅定道」が整備され、平泉寺は越前における白山信仰の拠点として発展
6 しました。また、長滝白山神社（郡上市）からは石徹白（郡上市）を經由する「美濃禅定
7 道」が整備され、大野市の岐阜県との県境にある一ノ峰、二ノ峰を通っています。

8 白山は、白山信仰の広がりとともにわが国を代表する霊場の一つとして広く知られるよ
9 うになり、その後の大野をはじめとする周辺地域の歴史文化形成において重要な要素とな
10 っていました。

11 白山信仰に関わるさまざまな痕跡は、大野の各地で認めることができます。

12

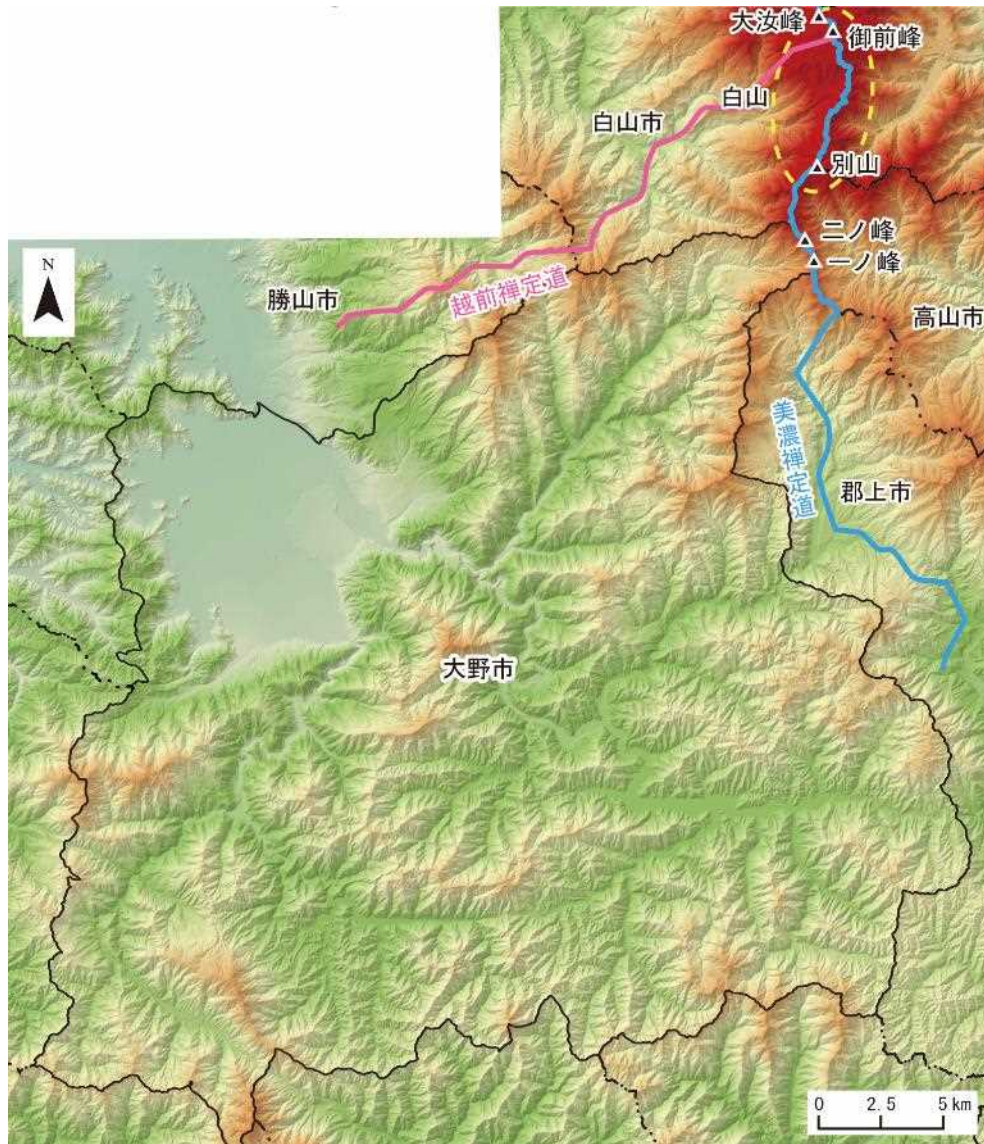
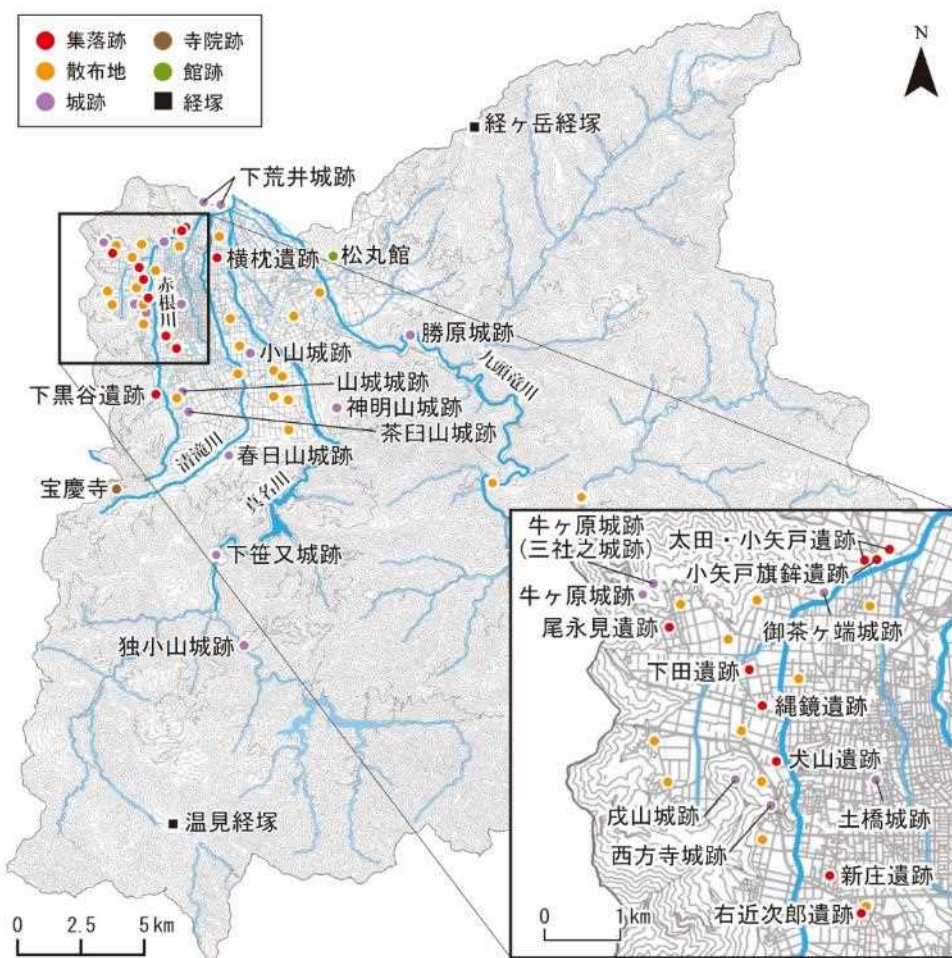


図 14 白山などの位置
(背景図に基盤地図情報を使用)

1 (4) 中世(鎌倉～安土桃山時代)

2 ①律令国家から武家社会へ

3 大野には、「源氏」
4 と「平家」にゆかり
5 のある場所がいく
6 つかあります。巢原
7 (西谷地区)には県
8 指定無形民俗文化
9 財の「平家踊」が、
10 朝日(和泉地区)に
11 は源頼朝の兄であ
12 る源義平が残して
13 いったとされる「青
14 葉の笛」が今に伝わ
15 っています。また、
16 平家の落人が隠れ
17 住んだと言われる
18 平家平(西谷地区)
19 などの地名の起源
20 は、源平の争乱によ
21 るとされています。



22 図 15 中世の遺跡分布
(背景図に基盤地図情報を使用)

23 源頼朝による武

24 家政権が鎌倉に誕生すると、大野の社会も大きな変化が生じることとなりました。すなわ
25 ち、大野には地頭や荘園領主などの諸権力による支配が存在し、民衆間にさまざまな緊張
26 を強いていました。その一端は、牛原荘において地頭又代官と一族が、牛原荘の荘官や百
27 姓らによって殺害される事件に表れることになりました。

28 ②戦乱の時代と城郭群の形成

29 鎌倉幕府に陰りが見え始めると、後醍醐天皇を中心に倒幕の動きが活発化しました。大
30 野でも平泉寺衆徒が反幕府の兵を挙げ、牛ヶ原(乾側地区)の地頭の淡河右京亮時治を攻
31 め、赤根川の「鞍ヶ淵」(下庄地区)で自害させた件は、『太平記』を通して広く知られて
32 います。

33 鎌倉幕府倒幕後の世情の混乱が収束に向かう中、足利一門の斯波高経が越前国の守護に
34 任じられたことから、斯波氏が大野に影響を及ぼすことになります。その一族である持種
35 は、大野盆地西部に位置する山に戊山城(乾側地区)を築城し、大野の支配を行うように

1 なりました。亥山城（大野地区）とあわせ、義種系斯波氏による大野支配の軍事的・政治
2 的拠点として機能しました。その後、斯波氏一族の中で発生した家督争いは、やがて応仁
3 の乱の一因になりました。

4 大野では戊山城（乾側
5 地区）や亥山城（大野地
6 区）、小山城（上庄地区）、
7 将監城（五箇地区）など
8 の山城が築城されたこと
9 が、文献や遺構で判明
10 しており、現在も堀など
11 を確認することができます。
12



13 戦国の世に入ると
14 斯波氏の力は衰え、代わ
15 って朝倉氏が越前全域
16 を支配することとなり、
17 大野も朝倉氏の支配下に入り
18 ました。朝倉氏は文明3年（1471）に越前の実質的な守護と
19 なり、同7年（1475）には越前支配を確立しました。しかし、それまで大野を支配してい
20 た斯波氏や甲斐氏、二宮氏らは、朝倉氏からの越前支配権奪回を目指して幾度の反撃を試
21 みています。朝倉氏は本拠地を一乗谷（福井市）に構え、領内の重要な地には一族を置い
22 ていました。交通・軍事上の重要拠点であった大野には郡司が置かれ、朝倉孝景の弟・光玖
23 を郡司として配置しました。その後、郡司は朝倉景高、景鏡へと引き継がれています。
24 尾張の戦国大名、織田信長が美濃より天下統一を目指して北陸地方に侵攻すると、朝倉
25 氏や一向衆との間で激戦を交わすこととなりました。結果、北陸地方の争乱は信長の勝利
26 で幕を閉じ、大野は信長の家臣である金森長近が治めることとなりました。

13 戦国の世に入ると
14 斯波氏の力は衰え、代わ
15 って朝倉氏が越前全域
16 を支配することとなり、

17 大野も朝倉氏の支配下に入り
18 ました。朝倉氏は文明3年（1471）に越前の実質的な守護と
19 なり、同7年（1475）には越前支配を確立しました。しかし、それまで大野を支配してい
20 た斯波氏や甲斐氏、二宮氏らは、朝倉氏からの越前支配権奪回を目指して幾度の反撃を試
21 みています。朝倉氏は本拠地を一乗谷（福井市）に構え、領内の重要な地には一族を置い
22 ていました。交通・軍事上の重要拠点であった大野には郡司が置かれ、朝倉孝景の弟・光玖
23 を郡司として配置しました。その後、郡司は朝倉景高、景鏡へと引き継がれています。

24 尾張の戦国大名、織田信長が美濃より天下統一を目指して北陸地方に侵攻すると、朝倉
25 氏や一向衆との間で激戦を交わすこととなりました。結果、北陸地方の争乱は信長の勝利
26 で幕を閉じ、大野は信長の家臣である金森長近が治めることとなりました。

27 ③戦乱期の民衆の生活

28 絶え間ない戦乱が続いたこの時期、西日本を中心に、農村の自治組織である「惣村」が
29 形成されていきます。惣村では寄合によって掟が定められ、入会地や灌漑用水などの共同
30 管理や年貢納入を請け負っていました。大野市では具体的な「惣村」の動きを示す史料は
31 確認されていませんが、下打波（五箇地区）やおおつき（阪谷地区）などに惣村が形成されて
32 いたと推察される痕跡が認められます。
33

1 ④多様な信仰形態の始まりと民衆への影響

2 鎌倉時代に入り白山信仰の拠点である平泉寺が地域の有力寺院として成長していく中、
3 後に永平寺を拠点に曹洞宗を広めた道元が大野の禪師峰（下庄地区）で、弟子の寂円が銀杏
4 峰（上庄地区）で活動したと言われており、さらに北陸地方に強大な勢力を形成すること
5 となる浄土真宗も穴馬谷（和泉地区）で布教活動を始めていました。これは、浄土真宗が
6 多く信仰されている美濃や近江と近接する大野の地理的特性が大きく影響を及ぼしている
7 と考えられます。

8 戦国時代には、浄土真宗が多くの信者を得て巨大な勢力を形成し、在地領主や朝倉氏に
9 対し一向一揆を起こすなど武力で対抗するようになりました。

10

11 ⑤城下町の形成

12 長近は亀山（大野地区）に大野城（大野地区）を築くとともに、
13 亀山の東側で城下町の建設を進めました。城下町を東西、南北各
14 6筋の道により区画し、武家屋敷や町屋敷を配置しました。また、
15 豊富な地下水を利用した城下の整備を進め、大野城の堀や池には
16 湧水がたたえられ、城下町を南北に通る各街路には湧水を利用し
17 た上水路を設置しました。各屋敷の背中合わせの境には、「背割
18 り水路」（大野地区）と呼ばれる生活排水用の下水路を設置しま
19 した。

20 このように現在の大野市街地の原型となる城下町の整備が進
21 められ、今に至る大野繁栄の礎がここに誕生しました。

22

23



写真4 金森長近の銅像

1 (5) 近世(江戸時代)

2 ①土井氏の治政

3 江戸に幕府を開いた徳川家康は、次男
4 の結城秀康を越前国に封じ、大野を含む
5 越前国 68 万石を治めさせています。その
6 後、寛永元年(1624)、5 万石で大野藩が
7 成立しました。

8 天和 2 年(1682)、大野藩主であった松
9 平直明の明石(兵庫県)移封により、下野
10 国足利(栃木県)から転封してきた土井
11 氏が新たな大野藩主となり、以後、明治
12 維新を迎えるまでの約 190 年間、大野は
13 土井氏によって治められることとなりま
14 した。土井氏の治世の間、特に 7 代藩主

15 の利忠は、幕末の動乱期の中で、藩校「明倫館」(大野地
16 区)の創設と藩内の人材育成、西洋医学の普及、蝦夷地
17 開拓、地場産品の販路拡大や洋学振興などの諸政策を行
18 い、藩の発展に尽力しました。これら利忠による藩政改
19 革では、内山良休・隆佐の兄弟が尽力し、大野藩の財政
20 再建に大きな功績を残しました。

22 ②大火の記憶

23 大野市街地では、江戸時代中期から明治時代中期にかけて、大火が 8 回発生した記録が
24 残っています(詳細は資料編 8 を参照)。

25 このうち、城下町の広域が焼失する大火は 6 回発生しました。特に、安政 4 年(1775)
26 の大火は江戸時代において大野城下最大級の火災であり、亀山の山頂部にあった大野城の
27 本丸も焼失しました。これら江戸時代の火災による被害を受け、さまざまな防火対策がな
28 されました。

29 一例を挙げると、棟割長屋には延焼を防ぐために袖壁を付けたほか、角地の外壁に消火
30 器を設置するなどしました。袖壁や消火器は、今では大野市街地の各所で認められる防火
31 対策の景観となっています。

32 さらに、城下町の寺院や町家は初期消火用に「用心池」(大野地区)を設け、城下町を南
33 北に走る道の中央に通っていた上水路は初期消火用水にもなりました。また、町屋敷の出
34 火が武家屋敷地に延焼することを防ぐため、「本町と七間の角」から「曹源寺」までの区
35 間の西側を「火除け地」として空き地としました。

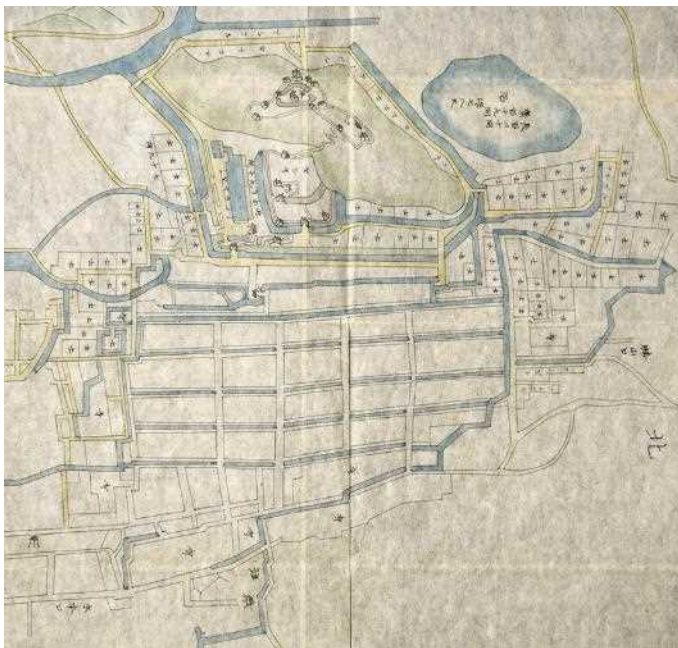


図 17 大野町絵図(年不詳・大野市博物館蔵)



写真 5 明倫館

1 特に、城下町南側からの出火は、荒島^{あらしま}おろしと呼ばれた南風に煽られ大火になりやすい
2 ため、防火を目的に寺院や村の移転が行われました。一例を挙げると、現在、錦町にある
3 浄勝寺はかつての金塚村（現在の天神町周辺）から風下の現在地に移転したものです。火
4 災の火元になることが多かった野口村は移転し、現在の「新町」などになっています。

5 明治 21 年（1888）及び明治 32 年（1899）の大火では、当時の市街地の広域が焼失し、
6 大きな被害を受けました。

7 大野市では、明治 21 年（1888）の大火を記念し、大火の発生した 4 月 8 日を「消防記念
8 日」としています。毎年この日には、防火パレードを行うなど、市民の火災予防意識の醸
9 成に努めています。明治 32 年（1899）の大火以降には、延焼を防ぐために六間通り（大野
10 地区）と石灯籠小路（大野地区）を拡幅し、茅葺きから瓦葺き屋根に変更することを推奨
11 しました。

12 このように、大火に悩まされてきた大野市街地ではさまざまな防火対策を講じており、
13 市民一人一人に防火意識が浸透していると言えます。

14

15 (6) 近現代(明治時代～平成時代)

16 ①福井県の誕生と大野の発展

17 明治維新を迎えると、大野藩は明治 4 年（1871）7 月
18 に大野県となり、同年 11 月には福井県に編入されまし
19 た。福井県はその後、足羽^{あすわ}県への改称（明治 4 年（1871））、
20 敦賀県への編入（明治 6 年（1873））、敦賀県の分割と石
21 川県・滋賀県への編入（明治 9 年（1876））などの再編を
22 経て、明治 14 年（1881）に嶺北・嶺南の合併によって今
23 日の福井県が誕生しました。



写真 6 航空写真
(大野盆地などを北東から撮影)

24 明治時代の^{おおの}大野町には、有終^{ゆうしゅう}小学校（明治 7 年（1874））、区裁判所（明治 10 年（1877））
25 や大野警察署（明治 14 年（1881））が置かれました。一方、産業面では大野桑園会社や大
26 野製糸合資会社が設立され、市域内で養蚕・製糸が盛んとなっていきます。また、麻^{ちよま}・苧麻^{ちよま}・
27 蚊帳の生産、葉タバコなどの換金作物の栽培や生産、^{おもだに}面谷（和泉地区）で銅山の開発が行
28 われるようになりました。

29 このほかにも乾田馬耕の普及など、近代農業の導入により収穫量が増大し、さらには新
30 田野（大野地区）や木本原^{かみしょう}（上庄地区）などの開墾が進むなど、市域全体で活況が見られ
31 るようになりました。

32

33 ②戦後から現代へ

34 戦後、大野市には、九頭竜^{くずりゅう}川水系に九頭竜^{くずりゅう}ダムなどが作られ、ここで作られた貴重な電
35 力は、わが国の高度経済成長期を支えることとなりました。

1 大野市の戦後の公共交通機関を見てみると、昭和 35 年（1960）に、それまで貨物駅であ
2 った南福井駅（福井市）を起点²に、勝原駅（五箇地区）までの区間 43.1km をつなぐ「越美北線」
3 が開業され、その後、昭和 47 年（1972）には九頭竜湖駅（和泉地区）までの 10.2km が延
4 伸開業しました。同線は、開業以来、通勤や通学など重要な交通手段として利用されてき
5 ました。特に、平成 16 年（2004）の「平成 16 年 7 月福井豪雨」により福井市域で橋脚が
6 流失した際には、地域住民の強い要望により、九頭竜湖駅（和泉地区）から美山駅（福井
7 市）までの区間は 2 カ月という短期間で復旧がなされるなどしており、地域の重要な交通
8 機関であることが分かります。北陸新幹線の金沢～敦賀間開業を令和 5 年度（2023 年度）
9 末に控え、高規格鉄道網との接続による同線のさらなる誘客利用が期待されるところです。

10 また、モータリゼーションの発達により自動車道の整備も進み、特に近年は、中部縦貫
11 自動車道の大野 IC の開設と岐阜県側への延伸工事による北陸圏、関東圏、中京圏を結ぶ広
12 域ネットワークの構築に期待が持たれています。

13

14 ③自然の厳しさと共に生きる大野

15 大野市における自然災害としては、暴風雨・地震・降雪・洪水による災害が中心となっ
16 ています（詳細は資料編 8 を参照。）。

17 風水害では、昭和 34 年（1959）の伊勢湾台風、昭和 36 年（1961）の第 2 室戸台風、昭
18 和 40 年（1965）の奥越豪雨が、また、雪害では、昭和 38 年（1963）や昭和 56 年（1981）、
19 平成 18 年（2006）などの豪雪、さらに地震災害では、明治 24 年（1891）の濃尾地震や昭
20 和 23 年（1948）の福井地震、昭和 36 年（1961）の北美濃地震などにより、人命や家屋な
21 どに被害が発生したことが知られています³。また、山地では山崩れ、土砂崩れ、崖崩れな
22 ども発生しています。

23 また、上記の自然災害以外にも、火災などの人為的災害があります。豪雪地帯である大
24 野市では、いったん火災が発生した場合、積雪などによって消火活動が困難となる場合も
25 多く、実際、昭和 56 年（1981）には豪雪下で火災が多発し、火災非常事態宣言が発表され
26 るなどしています。

27 下黒谷（小山地区）には、雪崩防護のための高さ 15.5m、全長約 300m にも及ぶ防雪防護
28 擁壁（黒谷の防雪壁）があります。防雪防護擁壁（黒谷の防雪壁）には、永遠の無事故と
29 安全を願った壁画が描かれています。最近では地区ごとの自主防災組織の立ち上げにより、
30 防災意識や能力が高まってきています。

² 昭和 62 年（1987）、越前花堂駅に起点を変更。

³ 「大野市地域防災計画資料編」 大野市

1 **2. 地名**

2 大野市は旧大野郡

3 おおの町、同^{しもしょう}下庄町、同

4 いぬいかわ村、同^{おやま}小山村、同

5 かみしょう上庄村、同^{とみた}富田村、同

6 さかだに^{ごか}阪谷村、同^{いずみ}五箇村、同

7 いずみ村、同^{にしたに}西谷村の2

8 町8村を基に、大野地

9 区・^{しもしょう}下庄地区・^{いぬいかわ}乾側地

10 区・^{おやま}小山地区・^{かみしょう}上庄地

11 区・^{とみた}富田地区・^{さかだに}阪谷地

12 区・^{ごか}五箇地区・^{いずみ}和泉地

13 区・^{にしたに}西谷地区の10地

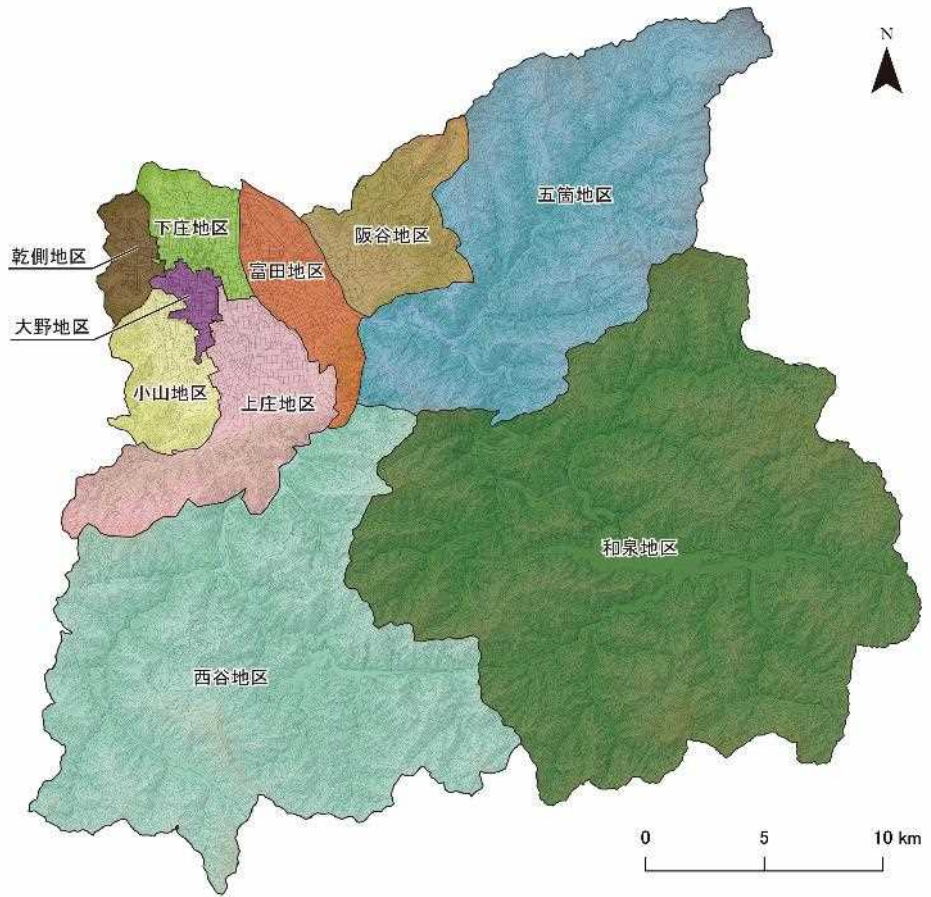
14 区から構成されてい

15 ます。大野市地域計画

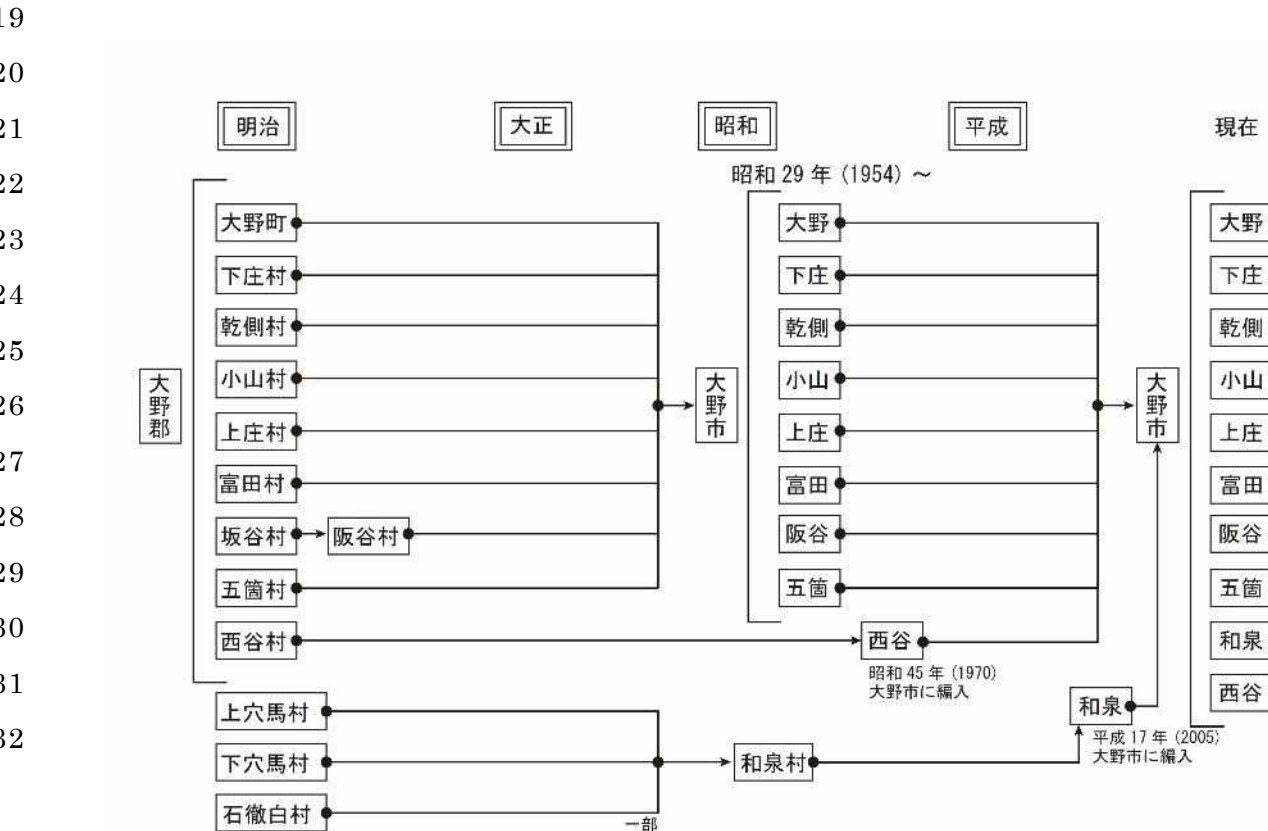
16 における地区区分も

17 これに準ずることと

18 します。



19 **図 18 大野市域と地区区分**
(背景図に基盤地図情報を使用)



20 **図 19 各地区における地名の変遷 (市制町村制施行以降)**

1 各地区の地勢・地名の由来・略史などは次のとおりです。

2

3 (1)大野地区

4 市街地が広がっており、その南側には木本扇状地の地下を流れた伏流水が地表に表れて、
5 本願清水・義景清水・御清水など幾つかの湧水池を作っています。

6 地名の由来は、「大沼の転化」と「大きな野原があった」の二説があります。『大野市史』
7 地区編では、かつて「大野」は郡名で「大沼」は郷名だったものが、金森長近によって城
8 下町が建設されたことにより大野郡の中心的な存在となったため、郡名をそのまま称する
9 ようになったと考察しています。

10 古代から中世初期にかけての大野地方の政治・経済の中心は、都の寺社や貴族の荘園が
11 所在した小山地区や乾側地区にあり、大野地区には数村があったのみでした。中世中期に、
12 今の日吉神社の場所に土橋城が築かれると、周囲に小規模の市街地（城下町）が形成され
13 たようです。天正3年（1575）、織田信長より大野郡の3分の2を与えられた金森長近は、
14 亀山に大野城を築き、東麓に居館を構え、その居館の東側に東西南北六条の通路を持つ矩
15 形の城下町を建設しました。これが、現在の大野市街の原形となりました。

16

17

18

19

20

21

22



23 大野町全景



23 越前大野城



23 七間商店街

24

24 写真7 大野地区

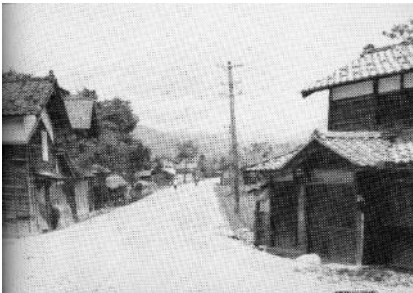
25

1 (2) ^{しもしょう}下庄地区

2 地域のほとんどは平坦部で、北部に標高約 600mの禪師王子連山があります。この山地
3 のどの峰からも白山が一望できることから、山岳宗教に結びつく遺跡が所々で確認されて
4 います。当地区で合流する4つの河川、九頭竜川・真名川・清滝川・赤根川は、農業灌漑
5 用水の重要な取水源となっています。

6 地名の由来は、明治22年(1889)の町村制の施行に伴い、中野村のほか16村の合併に
7 より誕生した「^{しもしょう}下庄村」によります。『^{わみやうるいじゆしょう}和名類聚抄』(承平年間(931-938) ^{へんきん}編纂)にある「資
8 母(しも)郷」がこの地区に該当すると考えられており、大野盆地の河川の下流域として
9 の立地環境による認識や呼称は古くからあったようです。

10 大野盆地の低位を流れる^{あかね}赤根川は、肥沃な泥土を多く含んだ流れであったことから、流
11 域には早い時代から農耕を主体にした集落があったようです。中世には^{なかばさみ}中夾(中挾)や^{しょう}庄
12 ^{はやし}林が牛原荘に含まれ、醍醐寺の荘園の一部となりました。



14
15
16
17
18
19 県道大野勝山線



20
21
22 米の入庫



大矢戸の風景

写真8 下庄地区

1 (3) 乾側地区

2 北・西・南の三方を山に囲まれ、その山麓に各集落があります。

3 地名の由来は、明治 22 年（1889）の町村制の施行に伴い、牛ヶ原^{うしがはら}ほか 5 村の合併により
4 誕生した「乾側村^{いぬいかわ}」によります。これは、当地が大野地区から乾（北西）の側にあること
5 から名付けられました。

6 中央の平野部は大野盆地の中でも低位の湿地帯であり、水稻耕作の容易な地域であった
7 と考えられ、飯降山^{いふりやま}より北に延びる支脈上や山麓には、数多くの古墳が集中して造られて
8 います。平安時代になると醍醐寺円光院領として牛原荘がおかれしました。現在の大字牛ヶ原^{うしがはら}
9 よりも広域で、大野地区・下庄地区^{しもしょう}・乾側地区^{いぬいかわ}のほか、上庄地区^{かみしょう}の一部にも及んでいまし
10 ました。

11

12

13

14

15

16



17 山ヶ鼻古墳（昭和 53 年）



18 三社神社の祠堂



19 下丁左義長

18

19

写真 9 乾側地区

1 (4) ^{おやま}小山地区

2 大小の高山丘陵に囲まれ、そのうち飯降山（884.3m）は通称を「おたけさん」（大岳・
3 御岳）といい、山岳信仰の山としてあがめられてきました。阿難祖の南方山地を源とする
4 赤根川は地区の中央を北流し、流域集落の灌漑用水の水源として重要な役割を果たしてい
5 ます。

6 地名の由来は、明治22年（1889）の町村制の施行に伴い、^{しもした}下舌のほか11村の合併によ
7 り誕生した「^{おやま}小山村」によります。『^{わみやうるいじゆしやう}和名類聚抄』にある「大山（おおやま）」をこの地区
8 に該当させる説がありますが詳細は不明で、直接は平安末期から戦国時代にかけておかれ
9 ていた^{おやま}小山荘の荘名から採られました。

10 昭和49年（1974）に発掘された^{うこんじろう}右近次郎遺跡は、縄文中期から晩期にかけての複合遺
11 跡であり、確認されている縄文時代の遺構としては最大です。また、比較的緩やかな流れ
12 であった^{あかね}赤根川流域を中心に多くの古墳が確認されています。阿難祖地頭方・阿難祖領家
13 の大字名は、鎌倉時代中期から後期にかけて行われた「^{したじちゆうぶん}下地中分」（地頭と荘園領主による
14 荘園の分割統治）の痕跡を留めています。



22 赤根川



22 黒谷の民家



22 共同田植え

23 写真10 小山地区

1 (5) ^{かみしやう}上庄地区

2 地区内を、^{まな}真名川と^{きよたき}清滝川の2河川が北流しています。^{まな}真名川は、山間部から平地部に
3 移行する五條方から下流域にかけて広大な扇状地を形成しています。^{きよたき}清滝川も同様の扇状
4 地を形成しており、その扇端部に当たる大野地区では、地下に浸透した水が多量の伏流水
5 となって湧出し、生活用水や^{かんがい}灌漑用水として利用されています。

6 地名の由来は、明治22年(1889)の町村制の施行に伴い、^{しやうごう}稲郷村のほか25村の合併に
7 より誕生した「^{かみしやう}上庄村」によります。『^{わみやうるいじゆしやう}和名類聚抄』(承平年間(931-938) ^{へんきん}編纂)にある「加
8 美(かみ)郷」がこの地区に該当すると考えられており、大野盆地の河川の上流域として
9 の立地環境による認識や呼称は古くからあったようです。

10 佐開をはじめ、地区内には多くの縄文遺跡が確認されています。また、北御門の円墳は
11 朝倉時代に大野郡司となる朝倉^{こうきやう}光玖によって、経塚に転用されたと言われています。森政
12 地頭と森政領家、木本地頭と木本領家、平沢地頭と平沢領家の地名は、鎌倉時代中期から
13 後期にかけて行われた「^{したじちゆうぶん}下地中分」(地頭と荘園領主による荘園の分割統治)の痕跡を留め
14 ています。また、かつては佐開も地頭方と領家に分かれていたことが史料中に出てきます。



宝慶寺山門



堀兼遊泳場



木本の風景

写真 11 上庄地区

1 (6) ^{とみた}富田地区

2 ^{あらしただけ}荒島岳山麓より北西方向に傾斜の緩やかな放射状の台地が地区中央まで広がり、^{つか}塚
3 ^{はらの}原野・^{くりはらの}栗原野の二大原野を形成しています。

4 地名の由来は、明治 22 年（1889）の町村制の施行に伴い、上野ほか 15 村の合併により
5 誕生した「^{とみた}富田村」によります。これは、当地が^{くすりゅう}九頭竜川・^{まな}真名川に挟まれた島地である
6 ことから、古くから「^{とみた}飛田」と称されていたことから名付けられました。

7 ^{つかはらの}塚原野は、^{きょうがたけ}経ヶ岳火山噴出物や泥流の末端部分が堆積してできた地形とされ、南北 3.4km、
8 東西 2.8km にも及ぶ広大な地域です。所々に点在する大小無数の塚により「千塚野」とも
9 呼ばれ、江戸時代には塚の間の湿地にある湧水を利用して開田が行われました。昭和 20 年
10 （1945）、食糧事情の悪化や復員者の対応措置として政府によって緊急開拓事業実施要領
11 が施行され、同年 11 月から入植が行われました。昭和 22 年（1947）10 月には、昭和天皇
12 による視察が行われています。



19 田植え



富田小学校全景



塚原の開墾

20
21 写真 12 富田地区

1 (7) ^{さかだに}阪谷地区

2 三方を山に囲まれた丘陵地帯は起伏に富んでいます。約 100 万年前に起きた ^{きょうがたけ}経ヶ岳噴火
3 により発生した火災泥流によって運ばれた溶岩の巨大なブロックが、現在も地区内に点在
4 しています。また、六呂師高原は約 1 万年前に起きた ^{きょうがたけ}経ヶ岳山頂部の崩壊によって形成さ
5 れました。

6 地名の由来は、明治 22 年（1889）の町村制の施行に伴い、伏石ほか 17 村の合併により
7 誕生した「坂谷村」によります。これは、戦国時代の「坂谷村」や江戸時代の「坂谷郷」
8 に因んだものです。表記が「^{さかだに}阪谷」に変更された時期は不明ですが、明治 20 年（1887）か
9 ら 30 年（1897）にかけて公文書に登場します。

10 六呂師は、元は ^{ろくろ}轆轤師と表記されており、宗教都市を形成していた平泉寺（勝山市）の
11 職工の一つである木地師にゆかりがある地名と考えられています。このほかにも、『福井縣
12 ^{さかだにごかみ}坂谷五箇村誌』では、平泉寺に関わると思われる地名・坊名が多く挙げられており、深い
13 関係を示しています。また、慶長 16 年（1611）頃に小黒見近辺で金山が発見されると、鉾
14 山師によって鉾山町が形成されました。今も大字名「金山」としてその名を留めています。



21 六呂師スキー場



22 不動堂の風景



23 阪谷橋

24 写真 13 阪谷地区

1 (8) ^こ ^か **五箇地区**

2 白山 (2,702m) の支脈が連なり、三ノ峰 (2,128m) より南走する二ノ峰 (1,962.3m)、
3 一ノ峰 (1,839.0m)、願教寺山 (1,690.9m) など、1,600m以上の高峰が連なっています。
4 また、南西には日本百名山の ^{あらしただけ} 荒島岳が ^{かみしよう} 上庄地区、 ^{いずみ} 和泉地区との境になっています。

5 地名の由来は、明治 22 年 (1889) の町村制の施行に伴い、 ^{かみうちなみ} 上打波ほか 4 村の合併により
6 誕生した「 ^こ ^か 五箇村」によります。これは、江戸時代の「五ヶ村」に因んだもので、 ^{かみうちなみ} 上打波・
7 ^{しもうちなみ} 下打波・ ^{かどはら} 東勝原・ ^{かどはら} 西勝原・ ^{ほとけはら} 佛原の 5 村の総称です。

8
9
10
11
12
13
14
15
16
17



渡船



神子踊



上打波の風景

写真 14 五箇地区

1 (9)和泉地区

2 九頭竜川の上流に位置し、周囲を高山に囲まれています。面谷をはじめ、地区内のい
3 たるところで鉱山が開発されていました。また、古くから化石が産出されることで有名
4 で、大字名「貝皿」は蛭貝の化石に由来するとされており、江戸時代には既に室内の装飾
5 用として貝の化石が採取されていたようです。明治になると、国内で初めてアンモナイト
6 の化石が発見されました。

7 明治22年(1889)の町村制の施行に伴い、東市布ほか11村が合併した上穴馬村と、朝
8 日ほか14村が合併した下穴馬村が誕生しましたが、明治29年(1896)、下穴馬村から石徹
9 白村が分離独立しました。その後、昭和31年(1956)、上穴馬村と下穴馬村が合併して和泉
10 村が誕生しました。「和泉」の地名・表記は、合併両村の和を祈念し、また、九頭竜川をは
11 じめとする諸河川の水源地を意味する泉を合わせたものです。

12 平安末期、源平の戦を逃れた源義平(頼朝の長兄)が朝日に落ち延び、その際に遺児に
13 残したという「青葉の笛」が今も伝えられています。また、石山本願寺が織田信長と争っ
14 た際、困窮した本願寺法主顕如への救援として物品を届けたことから、穴馬の門徒が直参
15 (九ヶ同行・西本願寺系)になったと言われています。一方、徹底抗戦を続けた教如の救
16 援のために参戦した穴馬門徒も直参(六ヶ八ヶ同行・東本願寺系)になりました。



24 シュードニューケニセラス
25 ・ヨコヤマイ



26 下山の風景



27 大納中学校全景

写真 15 和泉地区

1 (10) ^{にしたに}西谷地区

2 ^{のうごう}能郷白山をはじめとする山岳地帯に位置し、地区内を^{まな}真名川の源流に当たる^{きそう}笹生川や雲
3 川、^{ぬくみ}温見川が流れています。耕作地は非常に限られていたことから、鉱山業や紙すきなど
4 の産業が行われていました。また、漢方薬として重宝された^{おうれん}黄蓮は、高冷地である当地区
5 の気候に適していたことから盛んに栽培され、換金作物として重要な収入源となっていま
6 した。

7 地名の由来は、明治 22 年（1889）の町村制の施行に伴い、中島ほか 10 村の合併により
8 誕生した「^{にしたに}西谷村」によります。「^{にしたに}西谷」の名は、^{くずりゅう}九頭竜川上流域に位置する^{いずみ}和泉地区を
9 「南山中東の谷」と呼んだのに対し、^{まな}真名川流域に位置する当地区を「南山中西の谷」と
10 呼んだことに由来します。

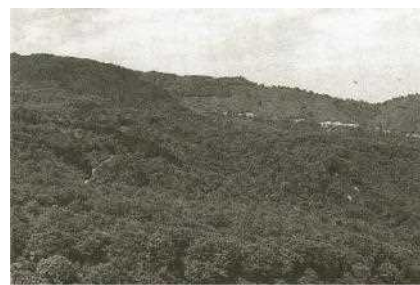
11 昭和 40 年（1965）9 月に地区を襲った風水害による被災と^{まな}真名川ダム建設による集落
12 の水没のため、全住民の集団離村が決定され、昭和 45 年（1970）に大野市と合併しました。



20 下秋生の風景



21 平家踊



22 平家平

写真 16 西谷地区

1 第3節 社会環境

2 1. 交通

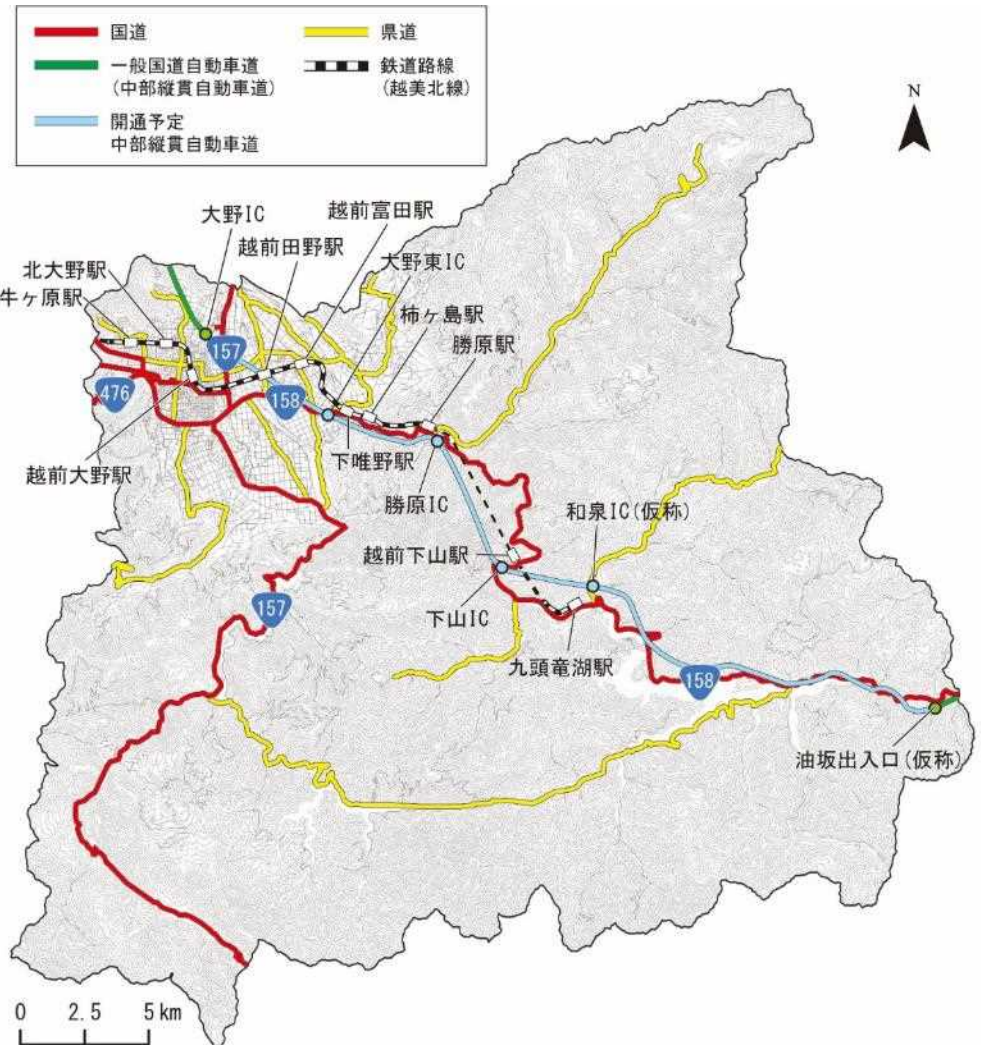
3 【公共交通】

4 JR越美北線（九頭竜線）が国道158号と平行して走り、越前花堂駅（福井市）にてJR北
5 陸本線に接続しています。

6 市街地中心部をまちなか循環バスが運行しています。また、市街地と周辺地域を結ぶ乗
7 合タクシーや、市街地と山間部を結ぶ市営バスを運行しているほか、市内と市外を結ぶ広
8 域路線バスが運行しており、市民の重要な交通機関となっています。

9 【自動車道】

10 国道158号は市
11 内を東西に走り、東
12 海北陸自動車道に
13 連絡しています。ま
14 た、国道157号は市
15 内を南北に走り、一
16 般国道自動車専用
17 道路である中部縦
18 貫自動車道に連絡
19 しています。中部縦
20 貫自動車道は、令和
21 〇年(〇)〇月現在、
22 大野ICまで永平寺
23 大野道路が開通し、
24 今後大野IC～和泉
25 IC(仮称)は令和4
26 年度(2022年度)、
27 和泉IC(仮称)～油
28 坂出入口(仮称)は
29 令和8年(2026)春
30 に通予定です。開



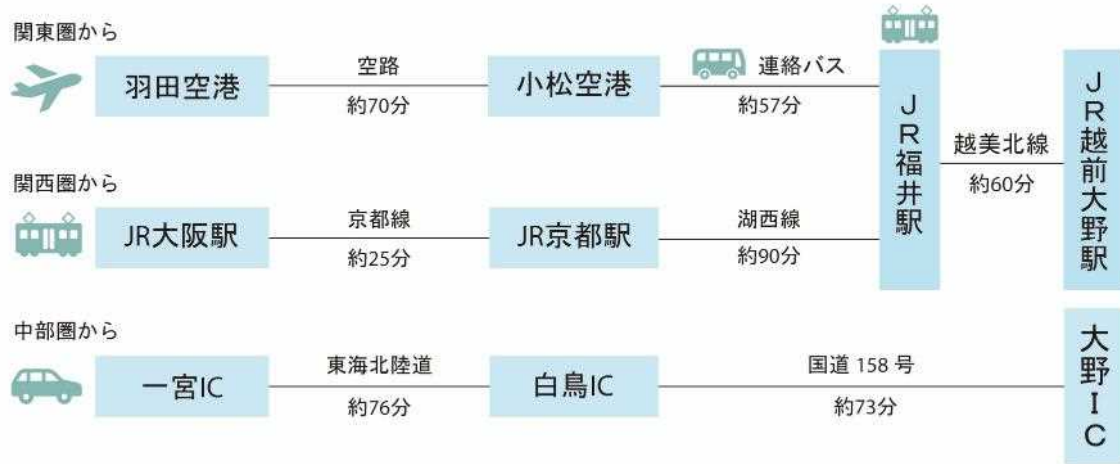
31 図20 大野市の主要幹線交通網
32 (国土数値情報「緊急輸送道路」、「鉄道」、背景図に基盤地図情報を使用)

33 通することで、特に名古屋などの中京圏へのアクセスが向上し、大野市を訪れる人々のさ
34 らなる増加や安定した物流ルート確保につながります。これにより、多方面の市町との
35 交流や経済交流の発展が期待されています。このほかにも国道364号、国道418号、国道
476号があります。なお、国道364号は国道158号と、国道418号は国道157号と、大野
市内では重複して供用されています。

1 【そのほか】

2 大野市では、「大野市自転車を活用したまちづくり計画」（平成 24 年度（2012 年度）策
3 定）により、駐輪場や自転車道などのハード整備を行い、自転車利用の促進を図っていま
4 す。

5
6
7



16 図 21 大野市までのアクセス図 ※各エリアからの最短ルートを示しています。

17
18

19 大野市は福井県内で最も広い面積を有しており、市内各所に多くの文化財を有していま
20 す。大野市の文化財の活用を積極的に進めていく上でも、大野市までの交通アクセスと市
21 内交通の整備に努めていく必要があります。

22
23

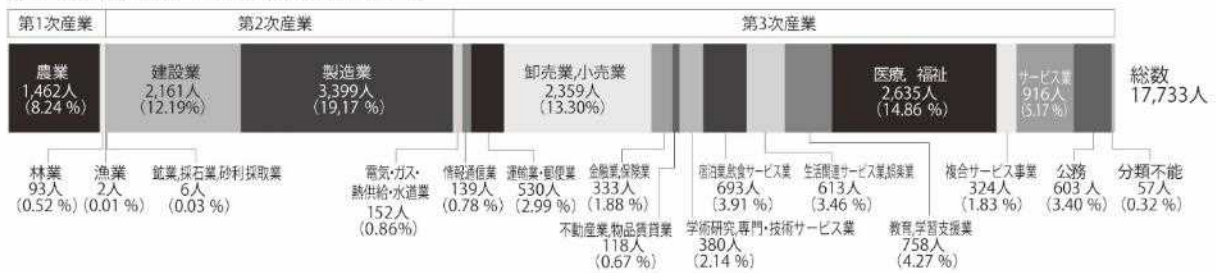
1 **2. 産業**

2 平成 27 年（2015）国勢調査や 2015 年農林業センサスなどの統計調査結果に基づく産業
3 の就業別人口比からみた大野市の産業構造は、第 1 次産業約 9 %、第 2 次産業約 32 %、第
4 3 次産業約 59 %となっています。

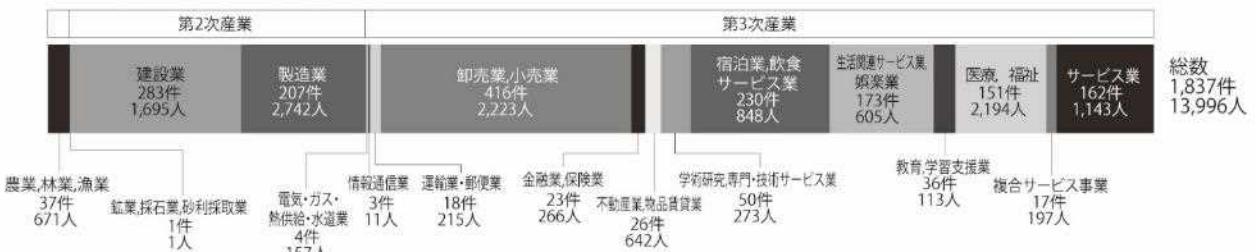
5 このうち第 1 次産業では農業が中心ですが、農家は平成 27 年（2015）には 1,658 戸で、
6 平成 17 年（2005）からの 10 年間で約 31 % 減少しています。次に第 2 次産業では、従業
7 員数は平成 27 年（2015）で 5,566 名、平成 17 年からの間で約 21 % の減少となっているほ
8 か、製造品出荷額は平成 27 年（2015）には 4,456 千万円あり、約 21 % 増加しています。
9 次に第 3 次産業では商店数は平成 26 年（2014）には 360 店舗あり、平成 19 年（2007）か
10 らの 7 年間で約 36 % 減少しています。

11 大野市で古くから親しまれ、受け継がれてきたものとして、サトイモやナスなどの伝統
12 野菜、豊富な地下水を利用した醸造業などがあります。

13 産業別就業者の構成 (平成27年 国勢調査)



19 産業別事業所数・従従業員数 (平成28年6月1日現在 経済センサス活動調査)



25 **図 22 産業別就業者の構成**
26 (出典：「大野市勢要覧 Ver. 2014、2018 資料編」より引用)

28 **3. 人口**

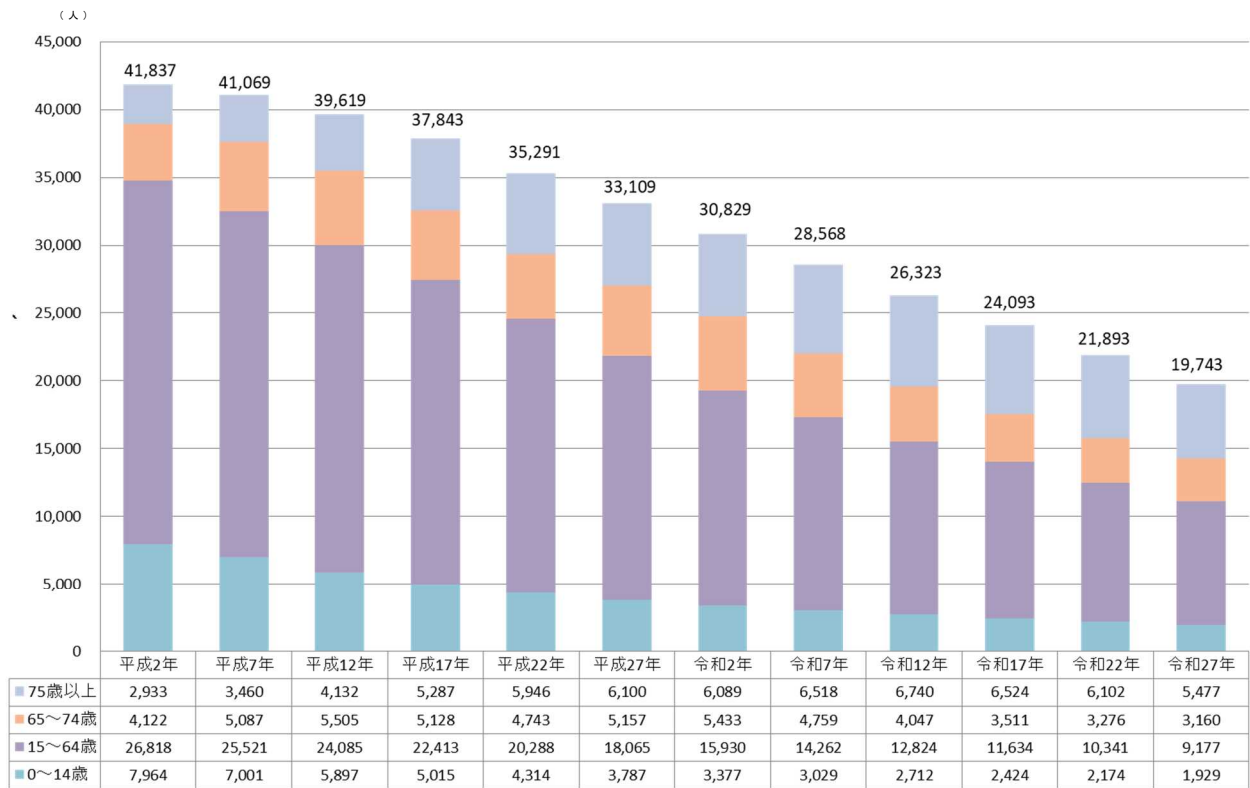
29 令和 2 年（2020）の国勢調査速報値によれば、大野市の総人口は 31,324 人で、5 年前の
30 総人口 33,109 人と比較し 1,785 人減少（約 5.4 % 減）しています。

31 これは、出生よりも死亡人口が多い自然的要因、転入よりも転出が多い社会的要因の両
32 方の要因が考えられます。

33 大野市では、人口減少が全国的な傾向よりも速いペースで進んでおり、国立社会保障・
34 人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年（2018）推計）」によれば、大
35 野市の将来推計人口は令和 27 年（2045）には 19,743 人となり、平成 27 年（2015）の 33,109

1 人に比べ 13,366 人減少すると予測されています。

2 人口減少による文化財保護の担い手や後継者の不足などが懸念されることから、新たな
3 担い手などの確保が喫緊の課題となっています。



20

21 【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）「日本の地域別将来推計人口」

22 【追記】
平成 27 年（2015）までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、令和 2 年（2020）以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。

23

24 図 23 人口推移
25 （出典：「大野人口ビジョン（令和 2 年度改訂版）」より引用）
26

1 4. 土地利用

2 (1)土地利用の概況

3 大野市は福井県東部に位置し、加越^{かえつ}山地・越美^{えつみ}山地・越前中央山地と、南北約 9 km、東
4 西約 7 km の大野盆地より形成されており、市域の約 87% が山林です。

5 天正 3 年（1575）から織田信長の家臣金森長近が整備した城下町が、現在に続く中心市
6 街地の骨格となっています。

7 城下町は、明治維新後、大野郡庁や裁判所が設けられ、地域の行政の中心地となってい
8 ます。

9 先述のとおり、明治以後、大野市域では養蚕・製糸・刻みたばこ・羽二重などの生産に
10 より活況を呈し、政治・経済の中核として発展を見ることとなります。高度経済成長期の
11 昭和 40 年代になると、城下町を中心としたコンパクトな市街地は、南部と東部を中心に拡
12 大しました。その後、国道 157 号の整備や JR 大野駅開駅（当時国鉄）など広域的な交通網
13 の整備によって大野市街地はさらに拡大しました。

14 市街地は奥越地域の中心都市として、機能的かつ市民にとって良好な都市環境が創出さ
15 れるよう、各種都市機能の集積する拠点を目指した都市づくりに努めています。「第六次大
16 野市総合計画」では、令和 12 年度（2030 年度）までに、中部縦貫自動車道県内全線開通
17 などの社会基盤の整備に伴い土地の利用にも変化が予測されますが、効率的かつ安全で安
18 心な、自然環境に配慮した土地利用を図ることとしています。

19 その基本方針は、①自然災害に対応する土地利用、②健全な水循環の維持と回復に向け
20 た土地利用、③自然環境と開発が調和した土地利用の 3 点とします。

21

22 (2)その他の主な法規制

23 大野盆地では、市街地を除く多くの地域が農業振興地域に指定されています。また、山
24 林の多くが保安林に指定されており、国有林も阪谷^{さかだに}地区、五箇^{ごか}地区、上庄^{かみしょう}地区、小山^{おやま}地区、
25 和泉^{いずみ}地区、西谷^{にしたに}地区の一部に分布しています。

26 大野市の自然公園としては、白山国立公園と奥越高原県立自然公園があり、公園の範囲
27 は特別地域と普通地域に細分されています。白山国立公園は 4 県からなる白山山系の山岳
28 公園であり、大野市は五箇^{ごか}地区の一部が特別保護地区に指定されています。奥越高原県立
29 自然公園は勝山市にまたがる白山山系の山岳公園で、上庄^{かみしょう}地区、阪谷^{さかだに}地区、五箇^{ごか}地区、和泉^{いずみ}
30 地区、西谷^{にしたに}地区の一部が特別地域もしくは普通地域に指定されています。以上のように、
31 山地では地形や動植物の生息環境、景観の保全が図られ、良好な自然環境が維持されてい
32 ます。

33

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

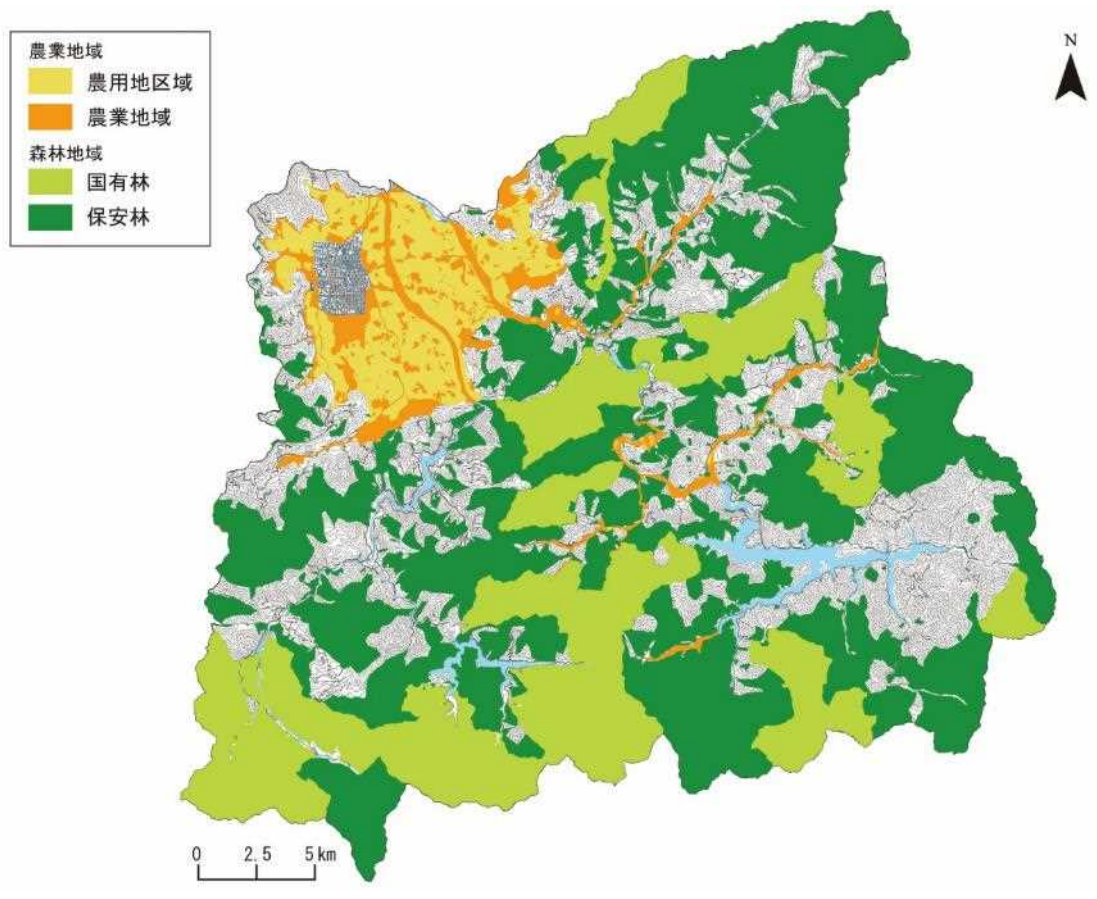


図 24 農業地域・森林地域
(国土数値情報「農業地域」「森林地域」、基盤地図情報を使用)

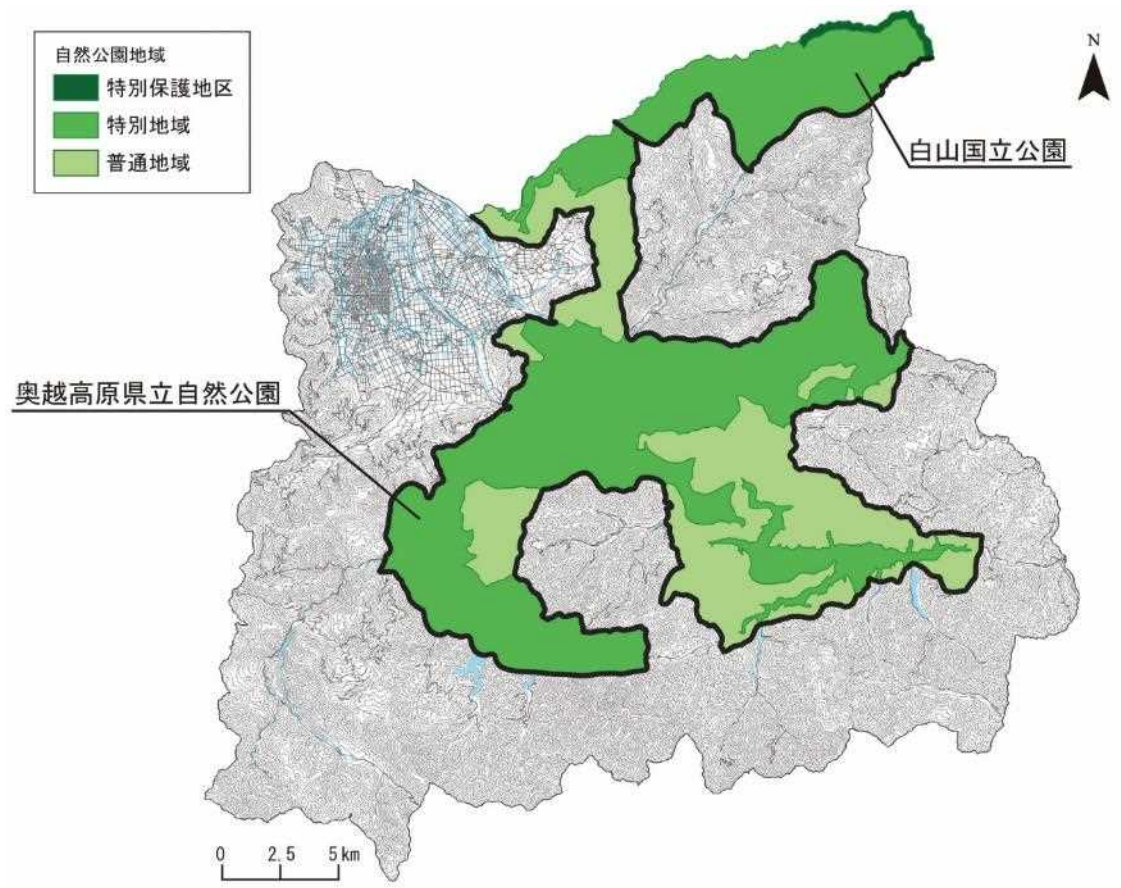


図 25 自然公園地域
(国土数値情報「自然公園地域」基盤地図情報を使用)

第3章 大野市の文化財の特徴と概要

第1節 歴史文化の特徴

大野市地域計画における歴史文化の特徴とは、多種多様な大野市の文化財とその歴史的背景、そしてそれらを取り巻く環境の総体を意味します。豊かな自然環境に恵まれた大野市には、地質時代から現代に至るまで、各時代における多くの歴史的な事象が積み重なっています。大野市の歴史文化を語る上で重要な各時代のキーワードを、以下のように整理しました。

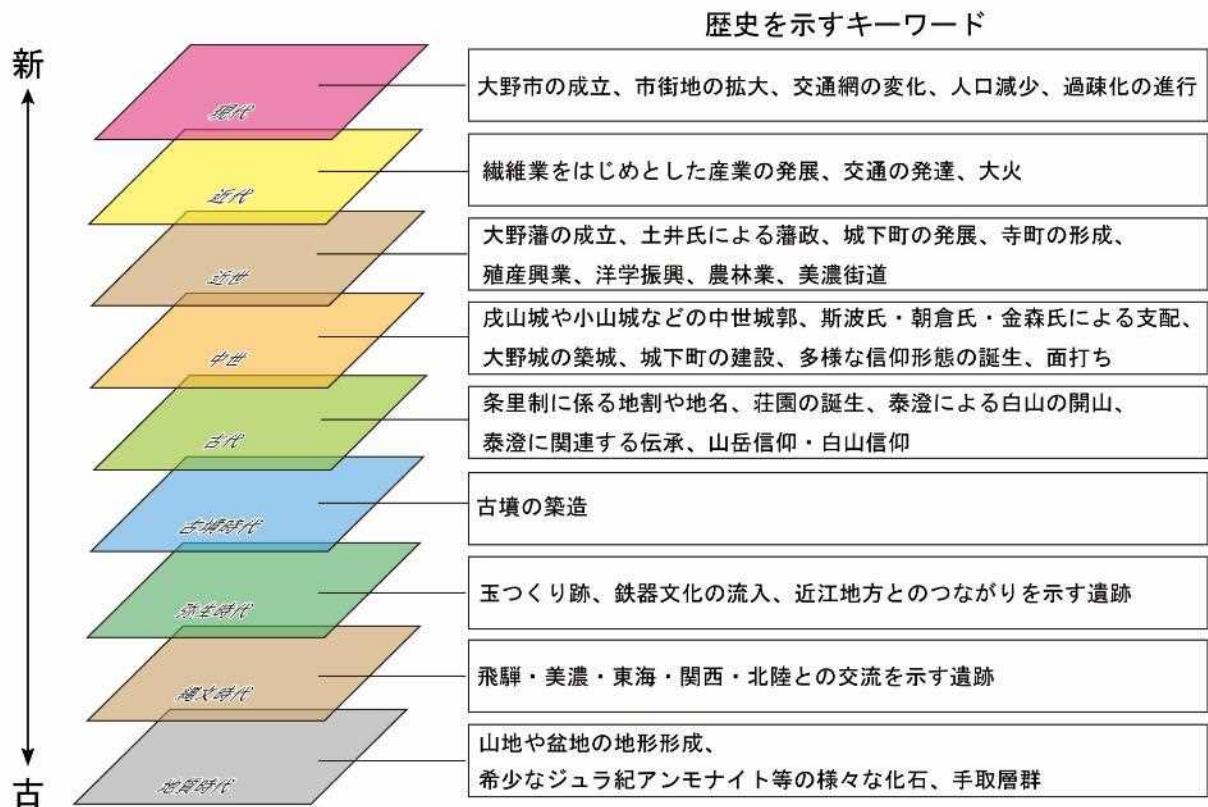


図 26 大野市の歴史を示すキーワード

第2章にまとめた大野市の自然・歴史・社会環境といった地域性や、歴史を示すキーワード、そして本章第2節以降に整理した各種文化財を踏まえると、歴史文化の特徴(=「大野らしさ」)は、図27(次ページ)のとおり5点に整理することができます。これらの特徴は、文化財の保存・活用の取り組みや体制確立、計画期間中に実施する具体的な措置の基盤となるものです。また、市民が大野の魅力や文化財の価値について再認識するための拠り所となるものです。

歴史文化の特徴		
①	人と地域がつなが 「交流の文化」	大野では縄文時代以降、各地と交流しながら人々が暮らしてきました。中世以降は街道を通じて、人や物資の往来も盛んに行われました。江戸時代後期には、土井利忠などの取り組みにより全国各地との積極的な交流が行われました。
②	戦時の城から 泰平の大野へ 「城・城下町の文化」	金森長近は大野城を築城し、城下町を整備しました。大野藩の成立後も、大野城を中心に城下町が発展し、奥越地方における商工業や文化の中心地となりました。
③	今も息づく 「祈りと祭りの文化」	大野では古くから山岳信仰が息づき、中世以降はさまざまな信仰形態も誕生しました。まちや村では、豊作や安全を思う中から生まれた祭礼・芸能が今も受け継がれています。
④	自然と共に生きる 「暮らしの文化」	山林や河川、湧水などから、豊かな自然の恵みを享受し、時に雪害や風水害などの災禍を乗り越えてきた経験は、大野の生活に息づいています。
⑤	大野に残る 「太古の記憶」	地形や化石には、大地の成り立ちを示す太古の記憶が刻まれています。山地や河川が紡ぐ豊かな自然環境は、大野の歴史文化の基盤であり、美しい自然景観を生み出しました。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15



図 27 歴史文化の特徴 概念図

1 第2節 文化財の概要

2 1. 大野市の文化財の概要

3 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」(大野地区)や国指定天然記念物「専福寺の
4 大ケヤキ」(上庄地区)に代表されるように、豊かな自然環境に恵まれた大野市は、その実
5 りを享受し、古くから人々が暮らしていく中でさまざまな活動が営まれてきました。一方
6 で、豪雪地帯に位置することから建造物の雪害対策は重要でした。特に屋根雪下ろしが容
7 易ではない蔵に対しては、「方杖」と呼ばれる部材を設置して、雪の重みによる軒の折損を
8 防いでいました。「大野蔵」とも別称されるこの蔵は、大野を特徴づける景観の一つになっ
9 ています。

10 江戸から明治にかけて数度の大火に見舞われた大野地区では、明治をさかのぼる建造物
11 は少なく、指定を受けている国指定重要文化財「旧橋本家住宅」(上庄地区)、県指定有形
12 文化財「南専寺山門」(富田地区)、市指定有形文化財「大野市民俗資料館」(大野地区)、
13 市指定有形文化財「伝 越前大野城不明門」(乾側地区)のうち、大野市民俗資料館を除く
14 3棟がそれぞれ上庄地区・富田地区・乾側地区に建っているのも、そうした経緯によるも
15 のです。一方で、明治以降も城下町としての繁栄を引き継いだ大野地区の中心市街地には、
16 大火後の建築による国の登録有形文化財建造物が集中しています。

17 大野市は戦災や大規模な震災に遭っていないことから、大野地区を含め美術工芸資料は
18 多く残されており、特に寺院や神社に所蔵されています。内容は多岐にわたりますが、本
19 尊像や祖師像など宗教関連資料のほか、岩佐又兵衛の作品なども所蔵され、寺社が担って
20 いた地域文化の担い手としての役割が良く現れています。また、宝慶寺(上庄地区)の県
21 指定有形文化財「絹本著色 道元禅師図像」や善導寺(大野地区)の市指定有形文化財「絹
22 本 土井利忠筆菊花図幅」、柳廼社(大野地区)の市指定有形文化財「絹本著色 土井利忠
23 画像」や「大野丸船図絵馬」、洞雲寺(大野地区)の市指定有形文化財「観音菩薩立像」は、
24 美術工芸資料としてのほかに、その寺社の来歴を物語るものとしても貴重です。また、富
25 田地区に点在する地蔵群は、旅人が狐に騙されるのを防ぐために建てられたと言い伝えら
26 れており、かつて広がっていた原野と、そこを横断する美濃街道の様子を今に伝えていま
27 す。

28 朝日(和泉地区)の「青葉の笛」は、平安末期に平治の乱に敗れて都から逃れてきた源
29 義平(頼朝の長兄)と里の娘との悲恋を伝えるもので、笛の演奏活動を通じた市民活動も
30 盛んであり、篠笛は当地区を特徴づけるアイテムの一つになっています。また、県指定無
31 形民俗文化財「神子踊」、県指定無形民俗文化財「平家踊」、県指定無形民俗文化財「扇踊」
32 は平家の落人に由来するという説があり、大野市南部における「源氏」と「平氏」にまつ
33 わる文化圏を思わせます。

34 鎌倉時代末期の元弘の乱では、北条氏の一族である淡河右京亮時治が牛ヶ原の地頭とし
35 て「牛ヶ原城」(乾側地区)を拠点に戦いました。また、市指定史跡「戊山城址」(乾側地

1 区)は室町幕府の管領家の一族・斯波義種しほよしたねが築城したと伝わっており、以後、市指定史跡
2 「玄山城址いやまじょう」(大野地区)や市指定史跡「小山城址こやまかみじょう」(上庄地区)とともに大野郡統治の拠
3 点となりました。「戌山城いぬやまじょう」は戦国時代には朝倉氏(大野郡司)の居城となり、畝状堅堀な
4 どが整備されました。朝倉氏滅亡後、織田信長の家臣として大野郡を与えられた金森長近
5 も、当初は「戌山城いぬやまじょう」を居城としていました。このように、中世の大野が中央権力や有力
6 武将に近い武将によって治められているのは、宗教都市を築き大きな軍事力を有した平泉
7 寺(勝山市)への抑えや、美濃街道の越前側の玄関口となる立地によると考えられ、こう
8 した山城の存在は大野の重要性を物語っています。

9 また、時代はさかのぼりますが、大野市には、五箇地区ごか・和泉地区いずみを中心に古生代から
10 中生代にかけて地層が分布しており、新種の化石や恐竜化石など全国的に貴重な化石が発
11 見されています。

12

2. 指定文化財

令和4年（2022）3月時点で、大野市には、文化財保護法、福井県文化財保護条例、大野市文化財保護条例に基づく指定・登録文化財が計143件あります（詳細は資料編9を参照。）。このうち国指定が4件、国登録が15件、県指定が19件、市指定が105件となっています。文化財の種別ごとにみると、有形文化財は建造物19件、美術工芸品91件（絵画17件、彫刻20件、工芸品6件、書跡11件、典籍3件、古文書20件、考古資料9件、史料5件）があります。民俗文化財は有形民俗文化財1件、無形民俗文化財5件があります。記念物は遺跡14件、名勝地1件、動物、植物、地質鉱物12件があり、一方で無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術は0件となっています。

表2 指定・登録文化財の件数内訳

（令和4年（2022）3月現在）

類型・種別		国指定	国登録	県指定	市指定	合計	
有形文化財	建造物	1	15	1	2	19	
	美術工芸品	絵画	0	0	9	8	17
		彫刻	0	0	1	19	20
		工芸品	0	0	0	6	6
		書跡	0	0	2	9	11
		典籍	0	0	0	3	3
		古文書	0	0	0	20	20
		考古資料	0	0	0	9	9
		史料	0	0	0	5	5
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	0	1	1	
	無形民俗文化財	0	0	3	2	5	
記念物	遺跡（史跡）	0	0	1	13	14	
	名勝地（名勝）	0	0	1	0	1	
	動物、植物、地質鉱物 （天然記念物）	3	0	1	8	12	
合計		4	15	19	105	143	

有形文化財

① 建造物

② 美術工芸品…絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料

無形文化財…演劇、音楽、工芸技術など

民俗文化財

① 有形民俗文化財…無形民俗文化財に用いられる衣服、器具、家屋など

② 無形民俗文化財…衣食住・生業・信仰・年中行事などに関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術

記念物

① 遺跡…貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅など

② 名勝地…庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳など

③ 動物、植物、地質鉱物

文化的景観…地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地

伝統的建造物群…周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群

文化財の保存技術…文化財の保存に必要な材料や用具の生産・製作、修理、修復の技術など

埋蔵文化財…土地に埋蔵されている文化財 ※後述

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34

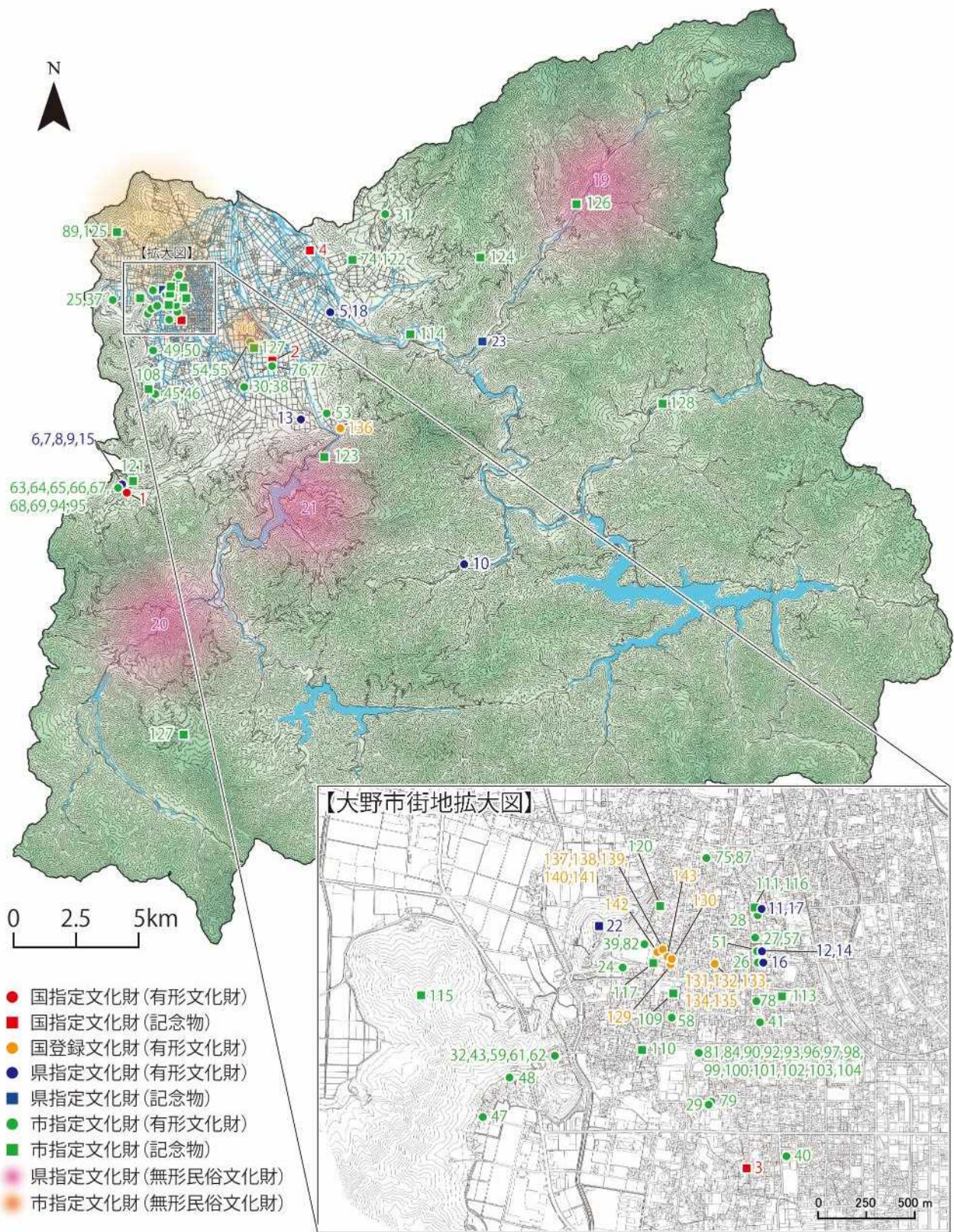


図 28 指定等文化財の分布 ※図内の数字は、資料編 9 の通し番号を示しています。
(背景図に基盤地図情報を使用)

3. 未指定文化財

(1) 未指定文化財の把握

指定や登録、独自の制度や文化庁以外の省庁などから選定された文化財のほかにも、大野市の歴史文化を特徴付ける重要な文化財が数多く存在しています。未指定文化財の把握を行うために、以下の方法で収集を行いました。

・既存の文献資料による収集

『大野市史』をはじめ、これまでに刊行された各種資料や報告書などを参照し、未指定文化財の収集作業を行いました。

・ワークショップや聴き取りによる収集

市内全地区の公民館のほか、集会所などでワークショップの実施や聴き取りにより、地域内の未指定文化財の収集作業を行いました。

収集した未指定文化財は、992件となっています（詳細は資料編 16 を参照。）。場所が特定できないもの、複数の地区にまたがるものを除く、未指定文化財の件数内訳は表 3 及び図 29 のとおりです。

文化財の種別ごとにみると、有形文化財は建造物 333 件、美術工芸品 393 件（絵画 15 件、彫刻 47 件、工芸品 29 件、書跡 15 件、古文書 282 件、考古資料 5 件）です。民俗文化財は有形民俗文化財 18 件、無形民俗文化財 92 件です。記念物は遺跡 53 件、名勝地 18 件、動物、植物、地質鉱物 30 件です。

文化財保護法に規定のある文化財類型に該当しませんが、大野市の歴史文化を特徴付ける重要な文化財を「そのほか」（景観、清水・水路）として分類しました。「そのほか」の文化財は 42 件となっています。

(2) おおの遺産など

未指定文化財の保存・継承に向け、大野市では、独自の制度として「大野市結の故郷伝統文化伝承条例」を平成 26 年（2014）に制定し、地域に根付いた年中行事や伝統芸能、風習などを「おおの遺産」として認証しています。令和 3 年 11 月現在の認証件数は 19 件です（詳細は資料編 10 を参照）。

そのほか、文化庁以外の省庁や団体の制度により、5 件が選定されています（詳細は資料編 11 を参照。）。

1 表3 収集した未指定文化財の件数内訳

類型・種別		大野	下庄	乾側	小山	上庄	富田	阪谷	五箇	和泉	西谷	全域	合計	
有形文化財	建造物	93	60	31	22	44	41	27	9	5	0	0	332	
	美術工芸品	絵画	11	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	15
		彫刻	6	4	1	10	7	13	6	0	0	0	0	47
		工芸品	21	1	0	2	3	0	0	0	1	0	1	29
		書跡	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	15
		古文書	114	44	13	12	39	32	19	1	6	1	0	281
		考古資料	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
民俗文化財	有形	衣服	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11
		民具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		芸能用具	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	無形	食文化	0	1	0	2	3	0	0	2	27	0	29	64
		生業	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	1	6
		風俗慣習	4	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	9
		民俗芸能	3	0	0	1	2	1	0	3	3	1	1	15
記念物	遺跡(史跡)	8	2	1	2	15	6	6	6	2	5	0	53	
	名勝地(名勝)	2	0	1	2	2	1	4	5	0	0	0	17	
	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	1	2	0	2	2	3	0	0	20	0	0	30	
その他	景観	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
	清水・水路	15	2	2	2	1	0	1	0	2	0	0	25	
合計		325	118	51	58	123	100	63	27	68	7	45	985	

2 ※表3、図29では場所が特定できないもの、複数の地区にまたがるものについては反映していません。

3

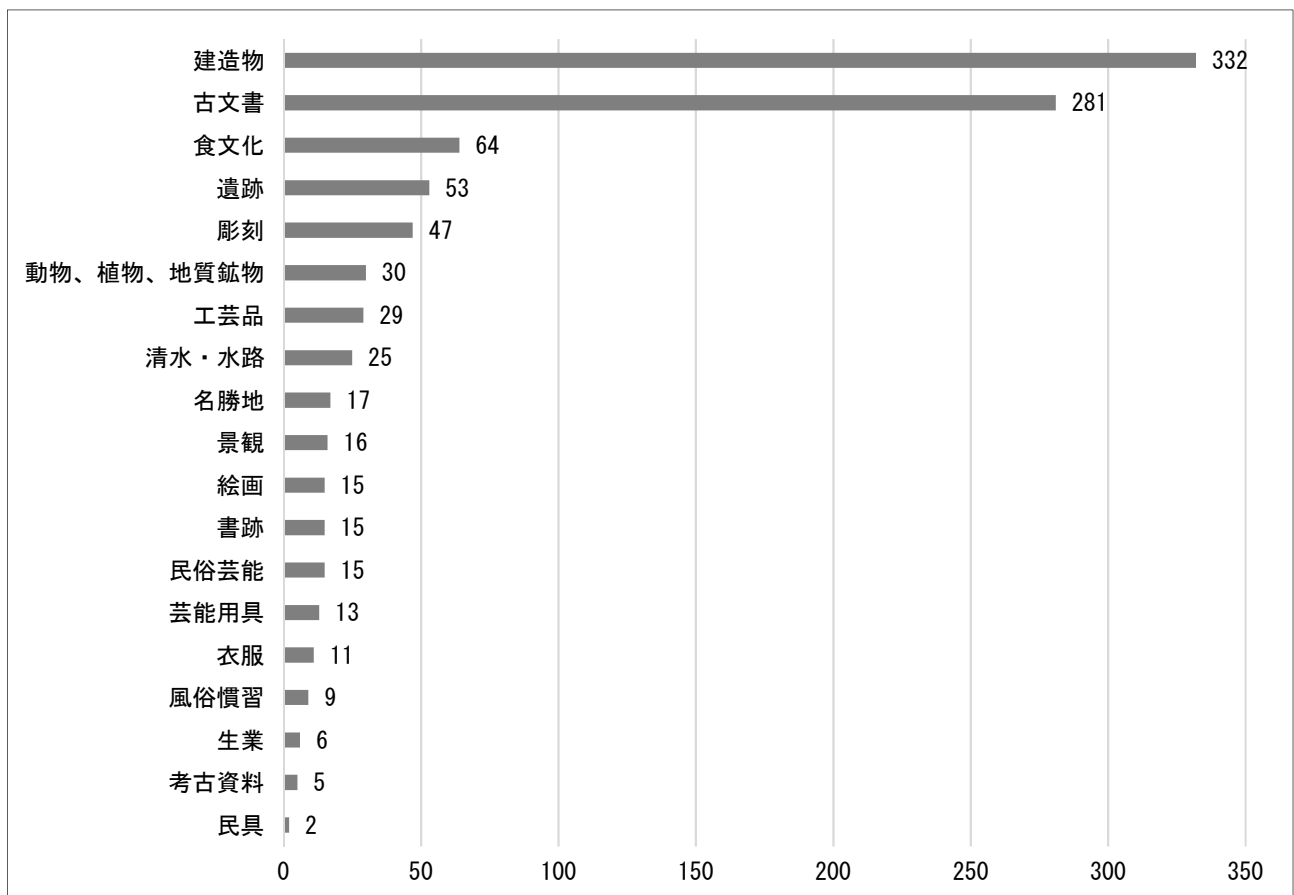


図29 未指定文化財種別件数

1 4. 埋蔵文化財

2 大野市には、160カ所の埋蔵文化財包蔵地
 3 が所在します（詳細は資料編12を参照。）。
 4 このうち、右近次郎遺跡（小山地区）のよう
 5 に遺跡の内容が判明している遺跡もありま
 6 すが、図30のとおり、大野市に所在する埋
 7 蔵文化財の70%は必ずしも内容などが明ら
 8 かでない遺物散布地です。埋蔵文化財包蔵
 9 地内において開発行為などが行われる際に
 10 は、試掘調査などにより、順次、遺跡の内容
 11 の把握や解明を行う必要があります。

12 また、地区別の埋蔵文化財分布を見たとき、
 13 上庄地区の37遺跡を筆頭に、小山地区
 14 （31遺跡）、下庄地区（30遺跡）、乾側地区
 15 （26遺跡）となっており（図31）、地区ご
 16 とでの埋蔵文化財件数に多寡が認められま
 17 す。これは、各地区での調査密度の度合い
 18 や地理的環境などが大きく関係していると
 19 見られます。

20
 21
 22
 23
 24
 25

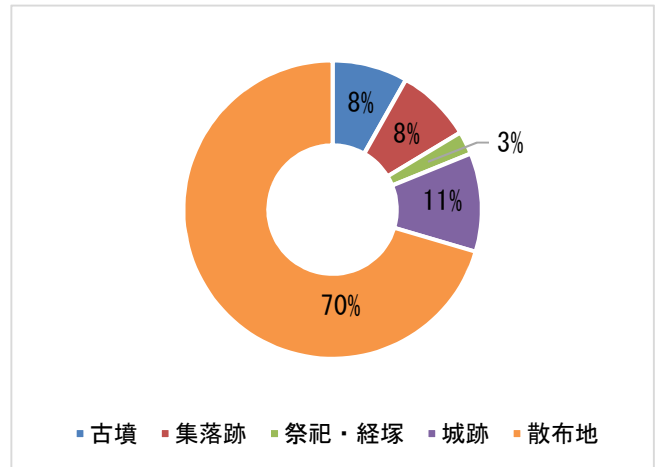


図30 埋蔵文化財包蔵地内訳

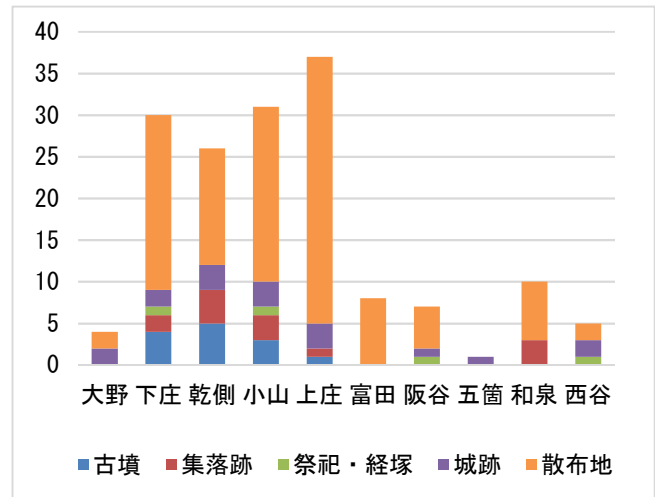
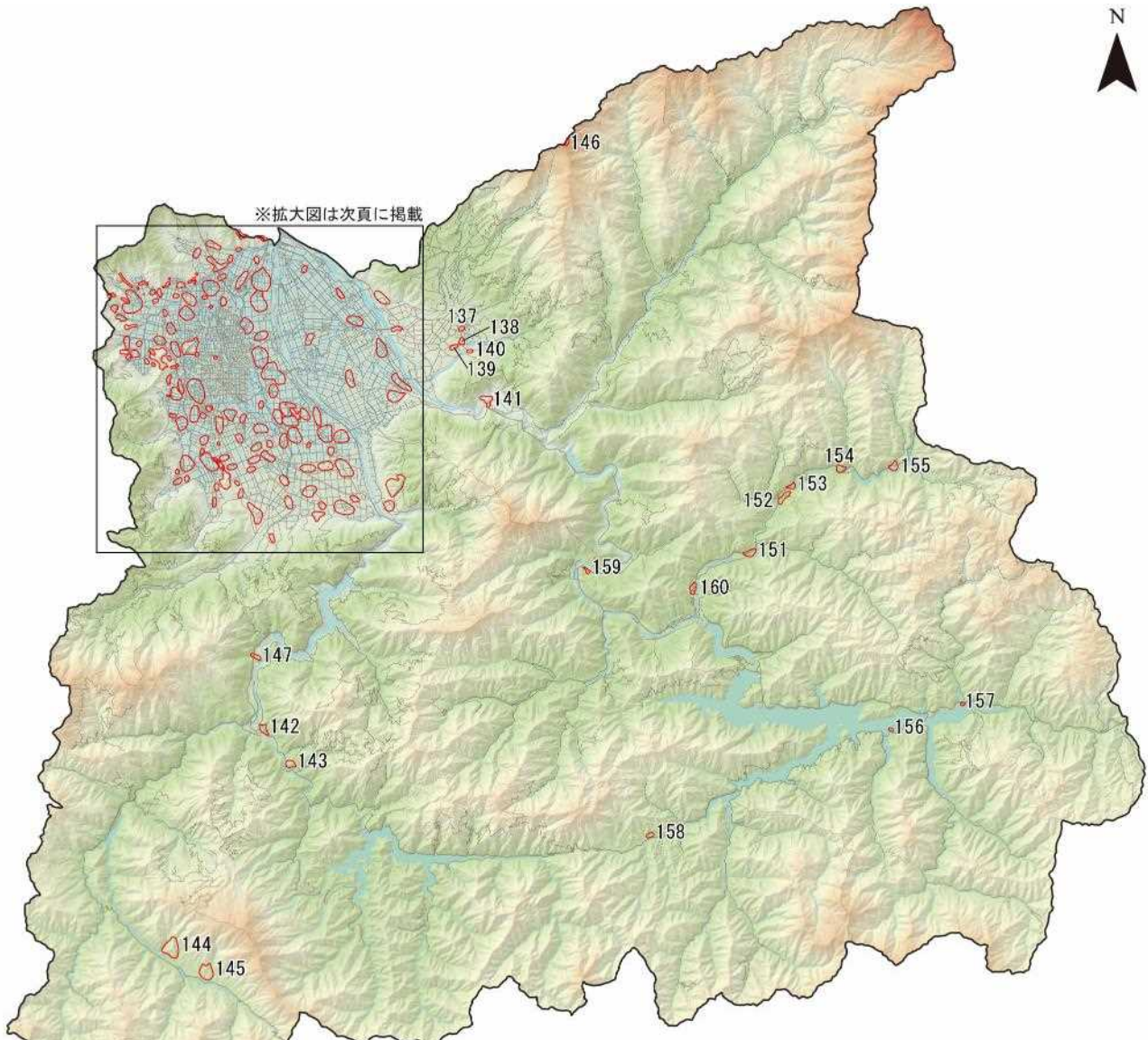


図31 地区別埋蔵文化財件数

※図30・図31では、複数の地区にまたがるものについては反映していません。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35



1	大矢戸古墳	31	坂戸遺跡	61	飯降古墳群	95	北御門城山遺跡	129	田野遺跡
2	大矢戸遺跡	32	花山古墳群	62	新庄遺跡	96	北御門古墳	130	土打遺跡
3	小矢戸九紋目遺跡	33	滝本遺跡	63	深井江尻遺跡	97	猪島塚田遺跡	131	花房遺跡
4	太田・小矢戸遺跡	34	寺町遺跡	64	深井春日前遺跡	98	医王寺遺跡	132	松丸館跡
5	太田下遺跡	35	下田遺跡	65	右近次郎桜町遺跡	99	小山城跡	133	七坂遺跡
6	御茶ヶ端古墳群	36	矢狭間遺跡	66	右近次郎西川遺跡	100	北御門高土井遺跡	134	新塚原遺跡
7	御茶ヶ端城跡	37	西市遺跡	67	右近次郎遺跡	101	森政地頭塚ノ上遺跡	135	下唯野遺跡
8	目緑古墳群	38	中野遺跡	68	春日野遺跡	102	千歳南田遺跡	136	蔵生遺跡
9	矢前田遺跡	39	庄林大尾遺跡	69	南春日野遺跡	103	阿難祖地頭方平田遺跡	137	衰道遺跡
10	城目古墳群	40	庄林広繁遺跡	70	大塚遺跡	104	阿難祖地頭方柴桑遺跡	138	落合遺跡
11	矢西畑遺跡	41	中津川阿弥陀遺跡	71	下舌荒井遺跡	105	櫻親首堂遺跡	139	伏石遺跡
12	山ヶ鼻古墳群	42	下丁遺跡	72	下舌三ツ塚古墳群	106	榎遺跡	140	中谷遺跡
13	六反田遺跡	43	丁古墳群	73	下舌遺跡	107	中掘鳴林遺跡	141	勝原城跡
14	東稲場古墳群	44	中丁堂ノ下遺跡	74	下黒谷遺跡	108	中掘江添遺跡	142	下秋生遺跡
15	中大門遺跡	45	中丁乗上遺跡	75	下黒谷経塚	109	中掘遺跡	143	独小山城跡
16	天神堂遺跡	46	中丁堂明下遺跡	76	上黒谷大門遺跡	110	下郷遺跡	144	温見遺跡
17	尾永見遺跡	47	犬山村下遺跡	77	上黒谷重馬遺跡	111	森政地頭門前遺跡	145	温見経塚
18	庄林西小柴遺跡	48	縄境遺跡	78	上舌遺跡	112	友兼遺跡	146	経ヶ岳経塚
19	庄林深見遺跡	49	犬山遺跡	79	御城跡山古墳群	113	御給遺跡	147	下笹又城跡
20	下荒井城跡	50	大野城跡	80	山城城跡	114	開発遺跡	148	牛ヶ原城跡 (三社之城跡)
21	磐座神社遺跡	51	犬山古墳群	81	千歳遺跡	115	東山遺跡	149	春日山城跡
22	西大月遺跡	52	戌山城跡	82	阿難祖地頭方藪田遺跡	116	福郷鋤折遺跡	150	明倫遺跡
23	南新在家縄手遺跡	53	上丁畔遺跡	83	茶白山城跡	117	野中遺跡	151	後野遺跡
24	中津川黒之上遺跡	54	上丁荊原遺跡	84	阿難祖領家岸ノ下遺跡	118	五条方遺跡	152	角野前坂遺跡
25	南新在家松本遺跡	55	清滝遺跡	85	横枕遺跡	119	掘遺跡	153	朝日前坂遺跡
26	森目遺跡	56	西方寺城跡	86	友江遺跡	120	木本大塚遺跡	154	三面遺跡
27	富島遺跡	57	土橋城跡	87	中保坪ノ内遺跡	121	木本大抽遺跡	155	小谷堂遺跡
28	牛ヶ原城跡	58	鎌掛東山遺跡	88	中保小政戸遺跡	122	西山一ツ屋遺跡	156	持穴遺跡
29	稻荷山古墳群	59	鎌掛穴田遺跡	89	菖蒲池遺跡	123	西山宮ノ下遺跡	157	下半原遺跡
30	坂戸下遺跡	60	飯降遺跡	90	古遺跡	124	岩田遺跡	158	中伊勢遺跡
				91	下掘遺跡	125	平沢領家遺跡	159	下山遺跡
				92	下掘新堂野遺跡	126	今井遺跡	160	貝皿遺跡
				93	中掘西川遺跡	127	神明山城跡		
				94	西掘遺跡	128	佐開遺跡		

图 32 埋蔵文化財包蔵地（全体図）

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26

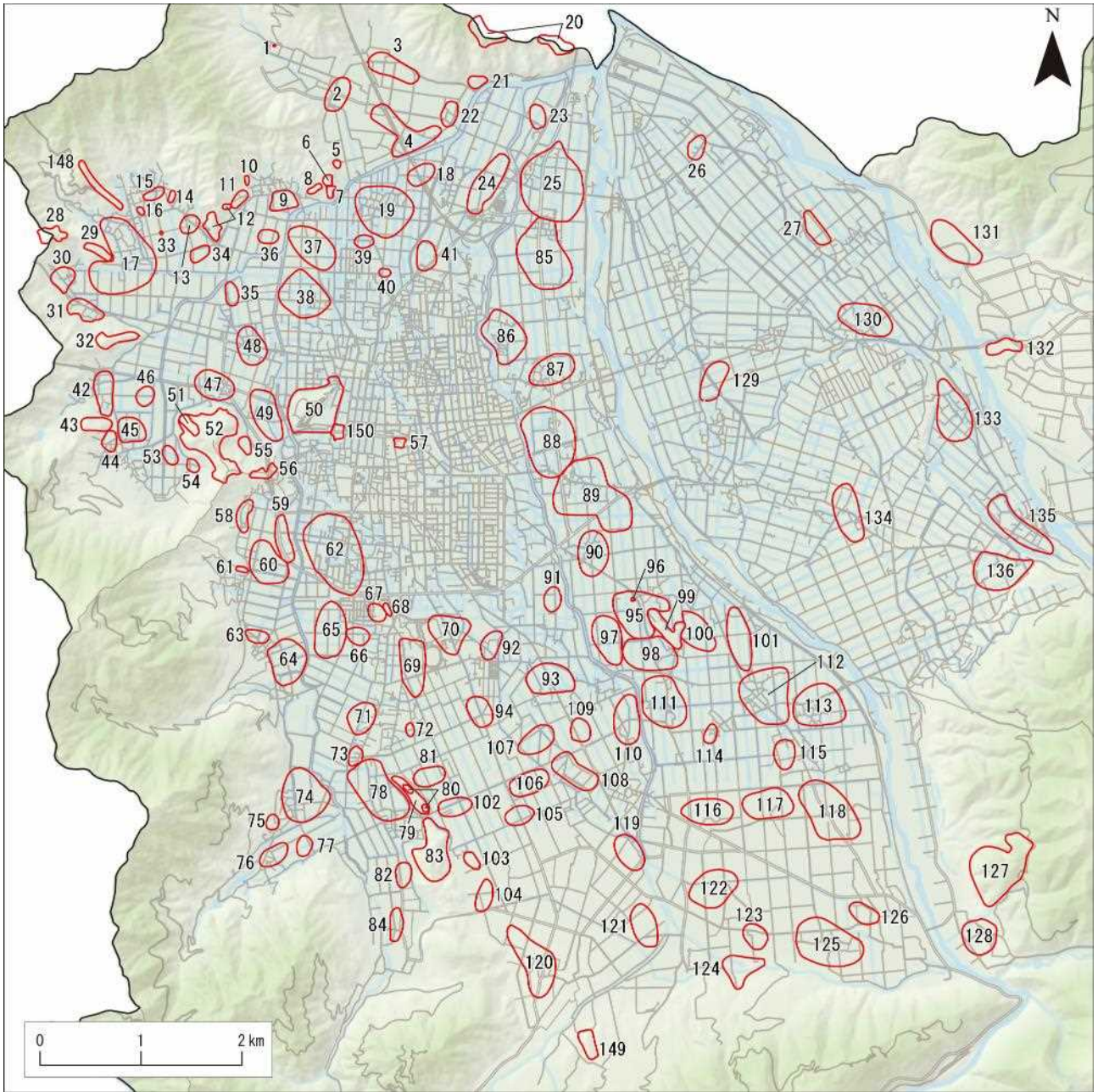


图 33 埋蔵文化財包蔵地（拡大図） ※番号は图 32 下方を参照

第4章 文化財の保存・調査研究・活用に関する基本理念・方針・措置

第1節 保存・調査研究・活用の基本理念

第3章で整理したとおり、大野市にはさまざまな文化財があります。これら文化財は、そのものだけの情報や価値にとどまらず、それらを生み出した背景にある豊かな自然や風土、先人たちの活動や願い、紡ぎだした英知などが反映されたものであり、大野市の歴史や文化を理解する上で重要なものです。しかし昨今、生活様式や社会情勢は急速に変化しており、多くの文化財にとって保存・継承に課題が生じていることから、後世に伝えるための取り組みが必要となっています。そのため、なぜその文化財が大野市にとって重要なのかを正しく理解しなくては、後世に伝えることはできません。こうして得た情報をさまざまな形で活用することで、文化財を通じた郷土に対する愛着へとつなげていくことができます。大野市は、大野市地域計画を軸として、文化財の保存・調査研究・活用をこれまで以上に推進させていきます。

こうした取り組みは、文化財の所有者が単独で行うには負担も大きく、活動にも限界があります。また、行政だけの取り組みでは、市民の共有財産としての価値を広げることは極めて困難です。そこで、産官民が一体となった体制を作り取り組んでいくことが重要です。

また、地域の文化財は市民の生涯学習にとって重要な教材となります。しかし、従来のように市民が個々に文化財への理解を深めるだけに留めるのではなく、文化財を通して大野市をより深く理解した市民が、各地域の文化財の保護・継承の核となるよう育成に取り組む必要があります。特に住民の団結と協力によって成立する地域の伝統文化などの風習は、これらを活性化させることで地域の活性化につなげることができます。また、民間における文化財の活用が進むことは、観光業のみならず各種産業への波及が期待できます。

これらを実現させる取り組みを進めるため、大野市の文化財の保存・調査研究・活用の将来像として次のように基本理念を掲げます。

大野市 文化財の保存・調査研究・活用の基本理念

文化財を生かした人づくり・まちづくり

大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。

基本理念を達成するための課題と方針の関係は、次ページに示すとおりです。課題の詳細は第2節、方針の詳細は第3節にて示します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9

基本理念

文化財を生かした人づくり・まちづくり

大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。

各課題

保存に関する課題

住民の高齢化や減少、後継者不足、不十分な管理状況によるき損や滅失、防犯や防災対応の弱体化などに伴う文化財への影響が懸念され、保存・継承する新たな担い手の確保が課題として挙げられます。

調査研究に関する課題

市内の歴史文化を物語る貴重な文化財の保護に向け、文化財の内容や価値を把握するための調査を進めていく必要があります。

活用に関する課題

現在の活用は、限定された施設や文化財を主としたものであることから、未指定文化財を含むさまざまな文化財について活用方法の検討を進めていく必要があります。

保存・調査研究・活用の方針

① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし

② 指定文化財の上位指定や未指定文化財の指定、「おおの遺産」の認証など

③ 維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、災害復旧に向けた体制整備

④ 児童・生徒の郷土愛及び文化財愛護意識の醸成

⑤ 市民の文化財に対する関心や保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出

⑥ 無形民俗文化財の保護の推進

⑦ 観光や地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討

⑧ 文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討

1 第2節 保存・調査研究・活用の現状と課題

2 大野市では、これまで述べてきたように、人口減少や人口流出により、地域の文化財を
3 取り巻く環境が大きく変化し、これまで地域の人々の手により守られてきた文化財の保存・
4 調査研究・活用のあり方も大きく変化しようとしています。

5 本節では、大野市の文化財の保存・調査研究・活用を取り巻く現状や、基本理念を達成
6 するための課題を整理します。

7

8 1. 保存に関する現状・課題

9 大野市地域計画では、143件の指定等文化財と992件
10 (令和4年(2022)3月時点)の未指定文化財を把握し
11 ています。これら文化財については、先述のとおり、所
12 有者や地域の人々の手により守られ続けてきました。ま
13 た、「大野市結の故郷^{ゆい}伝統文化^{くに}伝承条例」により、「お
14 の遺産」への認証と活動を支援する制度を創設し、保存
15 や継承に努めています。



写真17 おおの遺産 蕨生里神楽

16 人口が集中する市街地では城下町を中心とした文化財
17 の保存・調査研究・活用が進んでおり、多くの来訪者があるなど、観光などに資するもの
18 となっています。一方、山間部は人口流出が進み、文化財の保存・調査研究・活用を図る
19 ための基盤づくりが必要となっています。

20 さらに、地域を支えてきた住民の高齢化や減少、後継者不足からくる不十分な管理状況
21 などによるき損や滅失、さらに地域の防犯や防災への対応の弱体化などに伴う文化財への
22 影響が懸念され、文化財を保存・継承する新たな担い手の確保が課題として挙げられます。
23 また、保存に向けて管理状況を把握するための調査が必要となっています。

24

25

26

2. 調査研究に関する現状・課題

大野市では、昭和 43 年（1968）3 月 30 日付けで大野市文化財保護条例を施行して以降、本条例に基づくさまざまな文化財の調査研究や保護の取り組みを進めてきました。文化財類型ごとに文化財調査を実施し、その成果は「埋蔵文化財発掘調査報告書」や各種研究論文・報告書にまとめられ、特に重要な文化財について指定の措置を講じてきました。さらに、博物館などで特別展や企画展を開催するとともに、展示資料に関する文化財の調査を進めてきました（詳細は資料編 13、14 を参照。）。

また、昭和 50 年度（1975 年度）から平成 30 年度（2018 年度）にかけて、大野市史を編纂してきました。本事業では、通史編の刊行に先立って、まず貴重な文書などの史料を調査収録、整理する基礎作業から着手しました。その後、市内の自然環境や方言、民俗、新聞資料など、多岐にわたる歴史資料の調査収録も実施しました。これらの成果は各巻に網羅的に記述・収録されており、地域の歴史や史料を幅広く把握できるようになっています。また、旧西谷村と旧和泉村でもそれぞれ村史が編纂されており、合わせて平成 30 年度（2018 年度）までに目録を含め計 22 冊を刊行しています。

表 4 大野市史及び旧村誌・旧村史一覧

発行者	巻数	書名	刊行年
大野市	第 1 巻	社寺文書編	昭和 53 年 3 月
	第 2 巻	諸家文書編一	昭和 53 年 3 月
	第 3 巻	諸家文書編二	昭和 56 年 3 月
	第 4 巻	藩政資料編一	昭和 58 年 3 月
	第 5 巻	藩政資料編二	昭和 59 年 3 月
	第 6 巻	史料総括編	昭和 60 年 3 月
	第 7 巻	図録文化財編	昭和 62 年 3 月
	第 8 巻	地区編	平成 3 年 3 月
	第 9 巻	用留編	平成 7 年 3 月
	第 10 巻	新聞資料編	平成 12 年 3 月
	第 11 巻	自然編	平成 13 年 3 月
	第 12 巻	方言編	平成 18 年 5 月
	第 13 巻	民俗編	平成 20 年 5 月
	第 14 巻	通史編 下巻	平成 25 年 5 月
	第 15 巻	通史編 上巻	平成 31 年 3 月
旧西谷村	第 1 輯	史料所在目録	昭和 53 年 3 月
	第 2 輯	史料所在目録	昭和 53 年 3 月
	第 3 輯	史料所在目録	昭和 56 年 3 月
	第 4 輯	土井家史料目録	昭和 58 年 3 月
旧西谷村		西谷村誌 上巻	昭和 45 年 10 月
		西谷村誌 下巻	昭和 45 年 10 月
旧和泉村		和泉村史	昭和 52 年 3 月

ほか、大野市文化財保護審議会では『奥越史料』にその研究成果をまとめています。

以上のように、大野市では、市史などの編纂や調査報告書の刊行に伴い、文化財の調査を進めてきましたが、調査が不十分な文化財があります（表 5 を参照。）。特に、美術工芸品や無形文化財、動物・植物・地質鉱物、文化的景観、伝統的建造物群、文化財保存技術については、未調査もしくは地区・内容ともに一部のみの調査となっています。

大野市の歴史文化を物語る貴重な文化財の保護に向け、今後とも文化財の内容や価値を把握するための調査を進めていく必要があります。



写真 18 大野市史

1 表5 文化財調査の実施状況（令和4年（2022）3月時点）

		原始以前	原始	古代	中世	近世	近代	現代	
有形文化財	建造物	—	—	—	●※1				
	美術工芸品	絵画	—	—	○※2				×
		彫刻	—	—	○※2				×
		工芸品	—	—	○※2				×
		書跡・古文書・典籍	—	—	○※2※3※4				×
		考古資料	—	○※2				—	×
		歴史資料	—	—	○※2				×
無形文化財	演劇・音楽	—	—	—	×	△※5		×	
	工芸技術	—	—	—	×	×	×	×	
民俗文化財	有形	衣食住	—	—	▲※2※5※6※7				
		生業	—	—	▲※2※5※6※7				
		信仰	—	—	▲※2※5※6※7				
		祭り・年中行事	—	—	▲※2※5※6※7				
		民俗芸能	—	—	▲※2※5※6※7				
	無形	衣食住	—	—	▲※2※5※6※7				
		生業	—	—	▲※2※5※6※7				
		信仰	—	—	▲※2※5※6※7				
		祭り・年中行事	—	—	▲※2※5※6※7				
		民俗芸能	—	—	▲※2※5※6※7				
記念物	遺跡	遺跡	—	▲※8※9				—	
		城跡	—	—	▲※8※9				—
		旧宅	—	—	○※9				—
	名勝地	景勝地	—	—	○※2				
		庭園	—	—	○※2				
	動物、植物、地質鉱物	動物	—	—	—	—	—	—	△ ※7※10
		植物	—	—	—	—	—	—	△ ※7※10
		地質鉱物	△ ※7※10	—	—	—	—	—	—
文化的景観		—	—	—	×	×	×	×	
伝統的建造物群		—	—	—	×	×	×	×	
文化財保存技術		—	—	—	×	×	×	×	
埋蔵文化財		—	▲※8				—		

2 凡例

- 3 ●：全地区を対象に悉皆調査 ▲：全地区を対象に一部調査
 4 ○：一部地区を対象に悉皆調査 △：一部地区を対象に一部調査
 5 —：対象無し、存否不明 ×：未調査

- 6 ※1「歴史的建造物の総合調査」 ※2『大野市史』図録文化財編
 7 ※3『西谷村誌（上下巻）』 ※4『和泉村史』
 8 ※5『奥越前の民俗芸能』 ※6『大野市史』民俗編
 9 ※7『ふるさと和泉』シリーズ（生活文化、方言、地質と化石、あそび、唄・民謡、埋蔵文化財）
 10 ※8『福井県遺跡地図』 ※9『大野市史』地区編 ※10『大野市史』自然編
 11
 12
 13
 14

3. 活用に関する現状・課題

大野市では、博物館・文化施設を利用し、企画展や見学会、観察会、化石発掘体験などの取り組みを通じて歴史文化に関する情報を発信しています（詳細は資料編 14 を参照。）。

また、博物館の図録や各種調査報告書を刊行し、関係機関への配布や市民などへ頒布を行うことで、大野市の文化財の情報発信に努めています。このほか、市内小中学校での校外学習や公民館での講演活動など、学校教育や社会教育の場での文化財の活用を図っています。令和 2 年度（2020 年度）には、「心をひとつにおどり結び事業」を実施し、市内の踊りの動画を撮影・配信することで、発表の機会を提供し、活動の継続を促進しました。

さらに、大野市では、国登録有形文化財「旧内山家住宅」（大野地区）や市指定史跡「田村又左衛門家屋敷」（大野地区）、国登録有形文化財「平成大野屋」（大野地区）の整備を進めてきました。しかし、現在の活用は、限定された施設や指定等文化財を主としたものであることから、広く市民に大野市の文化財の保護について意識醸成を図ることができるよう、未指定文化財も含めたさまざまな文化財についての活用方法の検討を進めていく必要があります。

表 6 博物館・文化施設一覧

分類	名称
大野市博物館 (2館)	大野市歴史博物館
	大野市民俗資料館
そのほか	和泉郷土資料館
	笛資料館
	越前大野城
	武家屋敷旧内山家
	武家屋敷旧田村家
	本願清水イトヨの里 大野市化石発掘体験 センター



写真 19 田村又左衛門家屋敷の整備

1 第3節 保存・調査研究・活用の方針

2 本節では、前節の課題を受け、基本理念を達成するための方針を設定します。

3

4 1. 保存に関する方針

5

① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	作成したデータベースを基に市内の文化財について系統的かつ計画的な管理状況を把握するための調査を進めます。
② 指定文化財の上位指定や未指定文化財の指定、「おおの遺産」の認証など	把握した文化財の価値に基づき、指定文化財の上位指定や未指定文化財の指定、「おおの遺産」認証などを行います。
③ 維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、災害復旧に向けた体制整備	文化財の盗難や防災に向け、所有者の防災への意識の醸成を図るとともに、災害復旧に向けた体制整備を進めます。
⑤ 市民の文化財に対する関心や保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出	大野市の文化財に対する市民の関心や保護意識の醸成を図れるよう、現在の講演会活動を中心とする取り組みを継続するとともに、来訪者が楽しく文化財に「見て・触れて・学べる」機会の創出を進めていきます。
⑥ 無形民俗文化財の保護の推進	民俗芸能をはじめとする地域の歴史文化を色濃く反映する無形民俗文化財の保護に向け、後継者育成支援とともに映像による記録化を進め、その価値を広く周知します。
⑦ 観光や地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討	文化財を観光や地域づくりに活用できるよう関係機関と調整を進め、文化財を活用した新たな取り組みを検討します。
⑧ 文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討	文化財を保存・継承する担い手を確保するため、関係機関と調整し、新たな人材づくりについての取り組みを検討します。

6

7

8 2. 調査研究に関する方針

9

① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	作成したデータベースを基に市内の文化財について系統的かつ計画的な調査を進め、文化財の価値の把握と掘り起こしを進めます。また、関連文化財群ごとの調査を検討します。
---------------------------------	--

1 3. 活用に関する方針

2

①系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	さまざまな文化財の調査成果を公開し、市民に地域の文化財が持つ価値を理解していただきます。
③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、災害復旧に向けた体制整備	文化財の盗難や防災に向け、所有者の防災への意識の醸成を図るとともに、災害復旧に向けた体制整備を進めます。
④児童・生徒の郷土愛及び文化財愛護意識の醸成	次代の大野市を支える児童・生徒の郷土愛及び文化財愛護意識の醸成に向けて、現在の校外学習以外に、大野市の文化財を授業に取り込んだ独自の教育プログラムの作成を関係機関とともに検討していきます。
⑤市民の文化財に対する関心や保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出	大野市の文化財に対する市民の関心や保護意識の醸成が図れるよう、現在の講演会活動を中心とする取り組みを継続するとともに、来訪者が楽しく文化財に「見て・触れて・学べる」機会の創出を進めていきます。
⑥無形民俗文化財の保護の推進	民俗芸能をはじめとする地域の歴史文化を色濃く反映する無形民俗文化財の保護に向け、後継者育成支援とともに映像による記録化を進め、その価値を広く周知します。
⑦観光や地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討	文化財を観光や地域づくりに活用できるよう関係機関と調整を進め、文化財を活用した新たな取り組みを検討します。

3

4

5

1 第4節 保存・調査研究・活用の措置

2 前節の方針を受け、文化財の保存・調査研究・活用に関する措置（具体的な事業と事業
3 主体、事業スケジュールなど）を設定します（保存・調査研究・活用の課題と方針と措置
4 の対応は、P76～77表15を参照。）。

5 大野市では、第六次大野市総合計画に基づき文化財・教育・まちづくり・産業・環境な
6 どについて、関係する施策による事業を実施しています。今後も文化財の保存・調査研究・
7 活用に有効な事業を大野市地域計画の措置として適用させ、より推進していきます。

8 なお、文化財の保存・調査研究・活用の措置を進めるに当たっては、国・県などの補助
9 金が活用できるよう関係機関と協議し、財源確保に努めます。

10 また、大野市を取り巻く社会情勢や財源状況により、各種事業内容やスケジュールなど
11 の変更や追加を行う場合があります。

12

13 ※各方針に対応する措置の一覧の「事業主体」欄の凡例は、以下のとおりです。

14

15 凡例 市民：市民、地域住民、事業者
16 所有者など：所有者、保存団体、管理団体
17 教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関
18 行政：国・県・市

19 ※各方針に対応する措置の一覧の「事業期間」欄の凡例は、以下のとおりです。

20

21 凡例 ◎：期間内で重点的に取り組みを行う年度・期間がある場合
22 ○：期間内で取り組みを行う年度・期間がある場合

23

24 方針①系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし

25

26 大野市地域計画の作成に当たって確認した国・県・市の指定等文化財やその他の多くの
27 未指定文化財について、それらの保存・調査研究・活用を図るため、まず個々の文化財が
28 持つ価値のさらなる把握と、新たな文化財の掘り起こしを目的とした調査研究を進めます。

29 有形文化財のうち古文書資料は、大野市の歴史のさらなる解明のため、これまで収集し
30 てきた資料の公開を図り、より多くの研究者が調査研究できるように取り組むとともに、
31 市外流出の防止に努めます。民俗芸能や祭礼などの無形民俗文化財は、由来や起源、どの
32 ようにして伝わってきたのかなど、市内外の類似の文化財との比較検討を行い、さらなる
33 価値を見出していきます。また、その調査研究成果については、映像や報告書による記録
34 化ならびに公開を進めます。

35 埋蔵文化財の発掘調査や試掘調査、これらの調査成果に基づく調査研究は、県や関係機
36 関と連携し、技術や情報の共有を図りながら進めていきます。

37 また、新種の化石が産出されるなど、全国的に見ても重要な古生代や中生代の地層や、
38 これらから産出される化石の調査研究は、県立恐竜博物館をはじめ、関係機関と共同して

1 取り組みを進めます。

2 現段階で知られていない新たな文化財については、講座やワークショップの機会を通じ
3 て、市民の協力のもと聞き取りなどで情報を集め、調査した後、データベースに追加して
4 いきます。

5

6 **表7 方針①に対応する措置の一覧**

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
「文化財カルテ」の 作成	文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。	所有者など 行政	◎	○
文化財の調査の実施	文化財の新たな指定などに向け、あらゆる文化財について調査研究を進めます。	教育・研究機関 行政	◎	○
『奥越史料』の発刊	郷土の歴史や自然について執筆された論文をまとめた冊子『奥越史料』を発刊します。	行政	○	○
古文書資料の収集	郷土に係る古文書関係資料の収集を行います。	行政	◎	○

7

8

9

10

1 方針②指定文化財の上位指定や未指定文化財の指定、「おおの遺産」の認証など

2

3 文化財の調査によって確認された新たな歴史的な価値や、新たに発見された史料などに
 4 ついて、市指定文化財であれば県指定や国指定の文化財など、より上位の指定を目指しま
 5 す。これまでに確認されている未指定の文化財や、大野市地域計画作成の過程で発見され
 6 た未指定の文化財については、さまざまな調査研究により新たな価値を明らかにし、必要
 7 に応じて、文化財の指定や登録、「おおの遺産」の認証を進めます。

8 なお、これらの措置を進めるに当たっては、大野市文化財保護審議会における検討や指
 9 導・助言を得ながら進めます。

10

11 表8 方針②に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
文化財の指定や登録	文化財の調査によって得られた結果に基づいて、新たな文化財の指定や上位の指定に取り組みます。	行政	◎	○
「おおの遺産」の認証	「おおの遺産」の候補の調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組みます。	所有者など 行政	◎	○
文化財保護審議会の開催	文化財の指定についての諮問に対する調査や答申を行います。	行政	○	○

12

13

14

1 方針③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、災害復旧に向けた体制整備

2
3 市内の各地域で守られてきた文化財は、そこに暮らす住民の減少や高齢化などによる文
4 化財保護の意識の希薄化や管理団体の弱体化により、労力や経費の負担が増大し、維持管
5 理や修復が困難となってきています。また、美術工芸品や古文書などの有形文化財は、素
6 材が脆弱な物が多く、自然災害や火災で破損すると、以前のように元に戻すことは困難で
7 す。これらのことから、文化財のき損や滅失、市外への散逸などが発生しないよう、文化
8 財の保護を推進していく必要があります。

9 そのために、まず指定などの文化財については、文化財所有者や管理者に対して、修復
10 への支援や文化財の保存管理に対する助言、文化財が持つ価値や歴史的な背景の説明など
11 を行い、文化財に対する保護意識の向上を図ります。

12 また、廃棄や紛失、市外への散逸の可能性の高い、古文書や彫刻、屏風、工芸品などの
13 資料は、温湿度管理や虫害、保管スペースなどの問題により保管が困難なことから、博物
14 館での保管を検討し、所有者の理解を得ながら、寄贈や寄託などの対応を進めます。

15 さらに、全国では文化財の被災や盗難といった事件や事故が発生していることから、大
16 野市においても緊急時における、より迅速な対応が求められています。

17 今後は、大野市の文化財のデータベースを基に、国・県・市指定や国登録などの指定区
18 分、建造物や美術工芸品などの文化財の分野別に、各文化財の状態や保管状況などをまと
19 めた「文化財カルテづくり」を進めた上で、文化財の現状把握を図り、保護や保全につな
20 げます。さらに文化財の被災や盗難などに際して、迅速な対応が図れるよう、文化財の所
21 有者や管理者、管理団体、地域住民との連携を深め、文化財を守る体制の整備を進めます。

22 また、化石の無断採取などの防止に向け、市内の化石産出地において実施している化石
23 パトロールを、対象を指定文化財に拡大し、県が実施している文化財パトロールと連携し
24 て実施できるよう検討します。さらに、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて実施し
25 ている文化財の防火訓練や査察などを、今後も継続して実施していきます。

26
27 表9 方針③に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
指定文化財の維持 管理	指定文化財を良好な状態で管理し、保存 を図るための計画づくりや、補修、清掃な どの維持管理を行います。	所有者など 行政	○	○
指定文化財の保存 修復	指定文化財の保存修理や保存整備を行いま す。	所有者など 行政	○	○
市指定文化財「大 野市民俗資料館」 の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館 (市指定)を適正に管理し、一般公開しま す。	行政	◎	◎
指定文化財の保存 修理に対する支援	指定文化財の修理事業の支援を行いま す。	所有者など 行政	○	○

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
文化財防火訓練・ 査察の実施	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練、防火査察を実施します。	所有者など 行政	○	○
指定文化財の保護 パトロールの実施	指定文化財の状態の把握や破損の早期発見を目的としたパトロールを実施します。	行政	○	○
博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	行政	◎	○
郷土資料の購入	郷土に関する資料を購入し、市外への散逸を防止します。	行政	○	○

1

2

1 方針④児童・生徒の郷土愛及び文化財愛護意識の醸成

2

3 地域の伝統や文化財などを継承していく担い手は、地域の子どもたちであり、学校教育
4 や地域教育の場などを活用して、文化財の大切さを伝えることは重要な取り組みです。

5 大野市では、児童・生徒の郷土愛と文化財の愛護意識を醸成し、地域で大切に守られて
6 きた身近な文化財を郷土学習などで活用できるよう、文化財の周知に取り組みます。

7 市内の小・中学校で郷土の文化財について学習できるよう、文化財担当者が学校に出向
8 き授業を行う出前授業や、城跡などの史跡の現地案内など、文化財をより身近に感じて
9 らえる機会を設けます。

10 また、博物館や本願清水イトヨの里では、気軽に学べるよう施設の展示内容を充実する
11 とともに、分かりやすい表現での展示解説などを行います。そのほか、郷土史について調
12 べられるコーナーを設置し、質問や疑問に対応するカンファレンスなども行います。

13 現在、実施している小学生が地域の伝統芸能を学び、披露する「結の故郷ふるさと芸能
14 発表会」を、地域や保存団体、学校、公民館と協力して、今後も継続して実施していきま
15 す。

16

17 表 10 方針④に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
小学生の郷土芸能 の体験	小学生を対象に、踊りや里神楽、太鼓 など地域に伝わる郷土芸能に親しむ機 会を作ります。	教育・研究機関 行政	○	○
子ども向け歴史イ ベントの実施	史跡めぐりや、古文書体験など歴史イ ベントを実施します。また郷土の歴史 調べなどに協力します。	教育・研究機関 行政	○	○
文化財の出前授業 の実施	小・中学生を対象に、学校を訪問して 文化財に関する授業を行ったり、実際 の文化財を見ながら解説したりしま す。	教育・研究機関 行政	○	○
児童生徒による文 化財情報の発信活 動の実施	児童・生徒が地域の自然や文化、歴 史、偉人、観光資源などについて学習 し地域の課題解決などの内容を企画・ 提案する学習を行います。また学習成 果はCMコンテストに応募して発信を 行います。	教育・研究機関 行政	◎	○

18

19

1 方針⑤市民の文化財に対する関心や保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る
 2 機会の創出

3
 4 大野市の文化財保護に取り組む次世代の育成に向けた取り組みとして、市民を対象とし
 5 た文化財の普及啓発活動を積極的に進めます。

6 博物館や武家屋敷などでの企画展の実施や、そのほかの文化施設との連携による展示や
 7 講座、体験会などを行います。また、普段は非公開の文化財の公開などを進め、市内の文
 8 化財について、見たり、聞いたり、感じたりできる機会の創出を図ります。

9 さらに、「広報おおの」や市公式ホームページに加えて、SNS（ソーシャルネットワー
 10 サービス）を活用した文化財の情報発信を積極的に進めます。「おおの城まつり」や「大野
 11 市総合文化祭」などのイベントで、伝統芸能の踊りや伝統食の体験ができるようにするな
 12 ど、さまざまな場所や施設で「見て・触れて・学べる」機会を設けます。

13 これらの取り組みにより、市民だけではなく来訪者にも、文化財の価値を感じてもらい、
 14 多くの方々に大野市の文化財の支援者となってもらえるよう取り組みます。

15
 16 表 11 方針⑤に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
文化財情報の発信	文化財のさまざまな情報を、ホームページやパンフレット、冊子などにまとめ情報発信します。	市民 所有者など 行政	◎	○
特別展・企画展の開催	歴史博物館において、郷土の歴史や文化財をテーマにした特別展や企画展を開催します。	行政	◎	◎
博物館資料の展示品の解説の充実と体験機会の創出の実施	博物館の展示資料について解説を充実させるとともに、実物に触れたり、使ってみたりなどの体験できる展示を行います。	行政	◎	○
古文書資料の活用	収集した古文書資料を一般に公開し、市民や学校、研究機関が活用しやすいようにします。	行政	○	○
文化財の一般公開	普段はなかなか見ることができない民間所有の文化財の一般公開を行います。	所有者など 行政	○	○
SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した情報発信	文化財の保護活動や公開、イベントなど、文化財に関するさまざまな取り組みをFacebook やスマートフォンのアプリを活用して発信します。	所有者など 行政	◎	○
文化財標柱の設置	指定文化財やそのほか城跡や古墳などがある場所に文化財の名称や概要を表示した標柱を設置します。	行政	◎	○

1 方針⑥無形民俗文化財の保護の推進

2

3 市民の高齢化と人口減少により、特に古くからの生活や習わしを物語る無形民俗文化財
4 は、担い手の減少が進んでいることから、さらなる保存・継承の取り組みが必要な状況と
5 なっており、地域の結び付きが重要な役割を果たしています。

6 大野市では、踊りや里神楽、風習などの伝統文化を「おおの遺産」に認証して、支援活
7 動を進めています。また、踊りと里神楽の一部は、動画で撮影し、インターネット上で公
8 開しています。市内には、公開している伝統芸能以外にも踊りや歌などの民俗芸能、祭礼
9 や神事などの風俗風習、農業や林業に関する民俗技術などの無形民俗文化財があります。
10 これらの文化財については、関係団体との協力により、情報収集や、録音・録画などの記
11 録化と、記録した物の公開により保存・継承を図っていきます。

12 また、現在、実施している「結ゆいの故郷くにふるさと芸能発表会」を今後も継続して実施し、
13 児童・生徒に踊りの練習の機会を設けることで、次世代につなげる取り組みを進めていき
14 ます。

15 今後も、大野市の歴史や古くからの生活や習わしを知る上で重要な無形民俗文化財につ
16 いて、さまざまな取り組みを進め、保存・継承に努めます。

17

18 表 12 方針⑥に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
無形民俗文化財の 保存育成に対する 支援	市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗 文化財保存団体の活動を支援します。	所有者など 行政	◎	○

19

20

1 方針⑦観光や地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討

2
3 近年、文化財を観光や地域づくりの面で活用し、文化財の保護につなげようという取り
4 組みが盛んになってきています。平成 31 年（2019）4 月に文化財保護法が改正され、これ
5 まで以上に文化財の活用に焦点があてられるようになってきました。

6 大野市では文化財を活用することで、観光や地域づくりの形成に資することができるよ
7 うな取り組みを行います。

8 特に、城下町「越前おおの」のシンボルの一つである県指定史跡「越前大野城跡」（大野
9 地区）や市内のそのほかの中世の城館跡について、「全国城郭管理者協議会」をはじめとす
10 る全国の関係自治体や団体で構成する協議会で、その活用方策について積極的な相互交流・
11 意見交換を行い、城や城下町を核とした観光振興に取り組みます。そのほか、近隣の自治
12 体間で協力し、道の駅や鉄道駅を中心とした周遊観光を図ります。

13 市街地では、実施中の「七間朝市にぎわい創出事業」を継続して実施し、城下町の観光
14 資源化などを進めていきます。

15 また「越前おおの結ステーション」や、重点道の駅「越前おおの^{あらしま}荒島の郷」を中心に、
16 市街地に加え、市街地周辺地域の文化財も含めて紹介し、市全体の魅力を体感できる取り
17 組みを関係機関と連携し創出します。

18
19 表 13 方針⑦に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
越前大野城の維持 管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。	行政	◎	◎
登録有形文化財の 観光活用	平成大野屋本店洋館(国登録)と二階蔵(国登録)、平蔵(国登録)をまちなか観光の拠点として適切に活用します。	所有者など 行政	◎	○
文化財の発信プロ モーションの取り 組み	文化財の情報をメディアやPR広告などにより発信する取り組みを行います。	市民 所有者など 行政	◎	○
地域資源のブラン ド化の推進	これまで築いてきた越前おおのブランドを磨き上げ、各産業分野で稼ぐ力に具現化するため計画を推進します。	市民 所有者など 行政	◎	○
古民家ギャラリー の活用	小コレクター運動などの絵画の展示と企画展を開催します。	所有者など 行政	◎	◎

20

21

1 方針⑧文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討

2

3 無形民俗文化財をはじめ、有形文化財、記念物などさまざまな文化財について、保存・
4 継承の担い手確保に向けた取り組みが必要です。

5 地域の伝統や文化財などを継承していく担い手は、地域の子どもたちであり、学校教育
6 の場を活用して文化財の大切さを伝えることは重要な取り組みです。

7 このため「結の故郷ふるさと芸能発表会」を今後も継続して実施し、郷土芸能に対する
8 理解と踊り手の確保に努めます。

9 今後は、無形民俗文化財の担い手を、保存団体や地域など民間の団体の協力を求めるな
10 どの検討が必要です。関係する団体を集めた意見交換会を開催し、保存・継承に向けた方
11 策について協議します。

12 このほか、郷土料理や食材の保存・継承についても、新たな担い手を生み出せるよう普
13 及啓発に努めるとともに、関係部局や関係機関との連携調整を進めます。

14

15 表 14 方針⑧に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
生涯学習推進計画 の事業の推進	伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の 課題解決に関する学習を進めます。	行政	◎	◎

16

17

1 表 15-1 保存・調査研究・活用の課題と方針と措置の対応

【事業主体】 市民：市民、地域住民、事業者／所有者など：所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関／行政：国・県・市

まちの将来像	教育理念	基本理念 (将来像)	保存・活用の課題	方針	方針に対応する措置										
					No.	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)		対応する 方針				
									前半(R4~R7)	後半(R8~R12)					
将来像	第六次大野市 総合計画	教育に 関する大綱	文化財を生かした人づくり ・まちづくり	文化財保護を担う後継者の減少	① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	1 「文化財カルテ」の作成	文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。	所有者など行政	◎	○	①				
結住地人のみ域がま続がつちけつながいがり						2 古文書資料の収集	郷土に関する古文書関係資料の収集を行います。	行政	◎	○	①				
基本目標						3 文化財の指定や登録	文化財の調査によって得られた結果に基づいて、新たな文化財の指定や上位の指定に取り組みます。	行政	◎	○	②				
						輝く地域がまち	4 「おおの遺産」の認証	「おおの遺産」の候補の調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組みます。	所有者など行政	◎	○	②			
目指す姿						5 文化財保護審議会の開催	文化財の指定についての諮問に対する調査や答申を行います。	行政	○	○	②				
施策						6 指定文化財の維持管理	指定文化財を良好な状態で管理し、保存を図るための計画づくりや、補修、清掃などの維持管理を行います。	所有者など行政	○	○	③				
						郷土の歴史や文化の魅力を	7 指定文化財の保存修復	指定文化財の保存修理や保存整備を行います。	所有者など行政	○	○	③			
						市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち	8 市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館(市指定)を適正に管理し、一般公開します。	行政	◎	◎	③			
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信し活用します						大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、人づくり・まちづくりを推進します。	保存	歴史的建造物などの管理放棄によるき損や滅失	⑤ 市民の文化財に対する関心や保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出	9 指定文化財の保存修理に対する支援	指定文化財の修理事業の支援を行います。	所有者など行政	○	○	③
										10 文化財防火訓練・査察の実施	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練、防火査察を実施します。	所有者など行政	○	○	③
	11 指定文化財の保護パトロールの実施	指定文化財の状態の把握や破損の早期発見を目的としたパトロールを実施します。	行政	○	○					③					
	12 博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	行政	◎	○					③					
	13 郷土資料の購入	郷土に関する資料を購入し、市外への散逸を防止します。	行政	○	○					③					
	14 文化財標柱の設置	指定文化財やそのほか城跡や古墳などがある場所に文化財の名称や概要を表示した標柱を設置します。	行政	◎	○					⑤					
	15 無形民俗文化財の保存育成に対する支援	市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	所有者など行政	◎	○					⑥					
1 文化の振興と継承を推進し活用します	調査研究	文化財の内容や価値を把握するための調査の推進	① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	16 越前大野城の維持管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。	行政	◎	◎	⑦						
				17 生涯学習推進計画の事業の推進	伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の課題解決に関する学習を進めます。	行政	◎	◎	⑧						
1 文化の振興と継承を推進し活用します	調査研究	文化財の内容や価値を把握するための調査の推進	① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	18 文化財の調査の実施	文化財の新たな指定などに向け、あらゆる文化財について調査研究を進めます。	教育・研究機関 行政	◎	○	①						
				19 『奥越史料』の発刊	郷土の歴史や自然について執筆された論文をまとめた冊子『奥越史料』を発刊します。	行政	○	○	①						
1 「文化財カルテ」の作成					文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。	所有者など行政	◎	○	①						

第5章 関連文化財群の設定と措置

第1節 関連文化財群の設定

第3章第1節にて、大野市の5つの歴史文化の特徴を示しました。これらの歴史文化は、自然環境と共存し、暮らしてきた、大野市ならではの特徴です。この大野らしさを反映した歴史文化の特徴を大きな枠組みとして位置付け、大野市の歴史文化を物語る上で欠かせない要素である主な文化財の集まりを、関連文化財群として設定しました。

関連文化財群とは、指定・未指定を含む有形・無形の多種多様な文化財を、歴史文化の特徴に基づく関連性（ストーリー）に沿って、一定のまとまりで捉えたものです。関連文化財群は地域の歴史的・地理的な関連性に基づき設定されますが、必ずしも連続した空間性や区域を伴うとは限りません。

■■ 関連文化財群の考え方 ■■

① 関連文化財群のテーマ：

歴史文化の特徴から、大野市を表す特筆すべきものであること。

② 主な構成文化財：

関連文化財群のテーマやストーリーを説明する文化財

※「関連文化財群のテーマ」や「主な構成文化財」に取り上げられない時代や文化財も保存や活用の対象となります。

歴史文化の特徴		関連文化財群のテーマ
①	人と地域がつなが 「交流の文化」	<1> 原始・古代の人々の営み
		<2> 町や村に暮らす人々の交流
		<3> 華開く「進取の気象」
②	戦時の城から泰平の大野へ 「城・城下町の文化」	<4> 戦乱の時代と大野盆地の城郭群
		<5> 大野城の築城と城下町の形成・発展
③	今も息づく 「祈りと祭りの文化」	<6> 地域に息づく多様な信仰形態
		<7> 受け継がれる芸能
④	自然と共に生きる 「暮らしの文化」	<8> 自然の恵みと暮らし
		<9> 食の営み
⑤	大野に残る 「太古の記憶」	<10> 化石が物語る大地の歴史
		<11> 山と盆地の豊かな自然環境

1 第2節 関連文化財群のストーリーと構成文化財

2 本節では、各関連文化財群のストーリーと主な構成文化財を説明します。主な構成文化
3 財のうち、個人情報に関わるものは分布図には表示していません。 ※全ての構成文化財
4 は、資料編 15 を参照のこと。

6 <1> 原始・古代の人々の営み



17 写真 20 大矢戸古墳

19 ■ ■ ストーリー ■ ■

20 周囲を山々に囲まれ、森林や河川から豊かな恵みをいただく^{さんしすいめい}山紫水明の地「大野」
21 は、古くより人々が生活する場でした。大野における人々の活動の始まりは、縄文
22 時代草創期までさかのぼることができます。縄文時代の人々は、山麓部の川の流域
23 や湧水地での生活を主としており、土器や石器、住居跡が確認されています。出土
24 した土器の中には、北陸地方や関西地方、東海地方の特徴を持つものもあり、縄文
25 時代からほかの地方と人や物の移動・交流があったことが分かります。

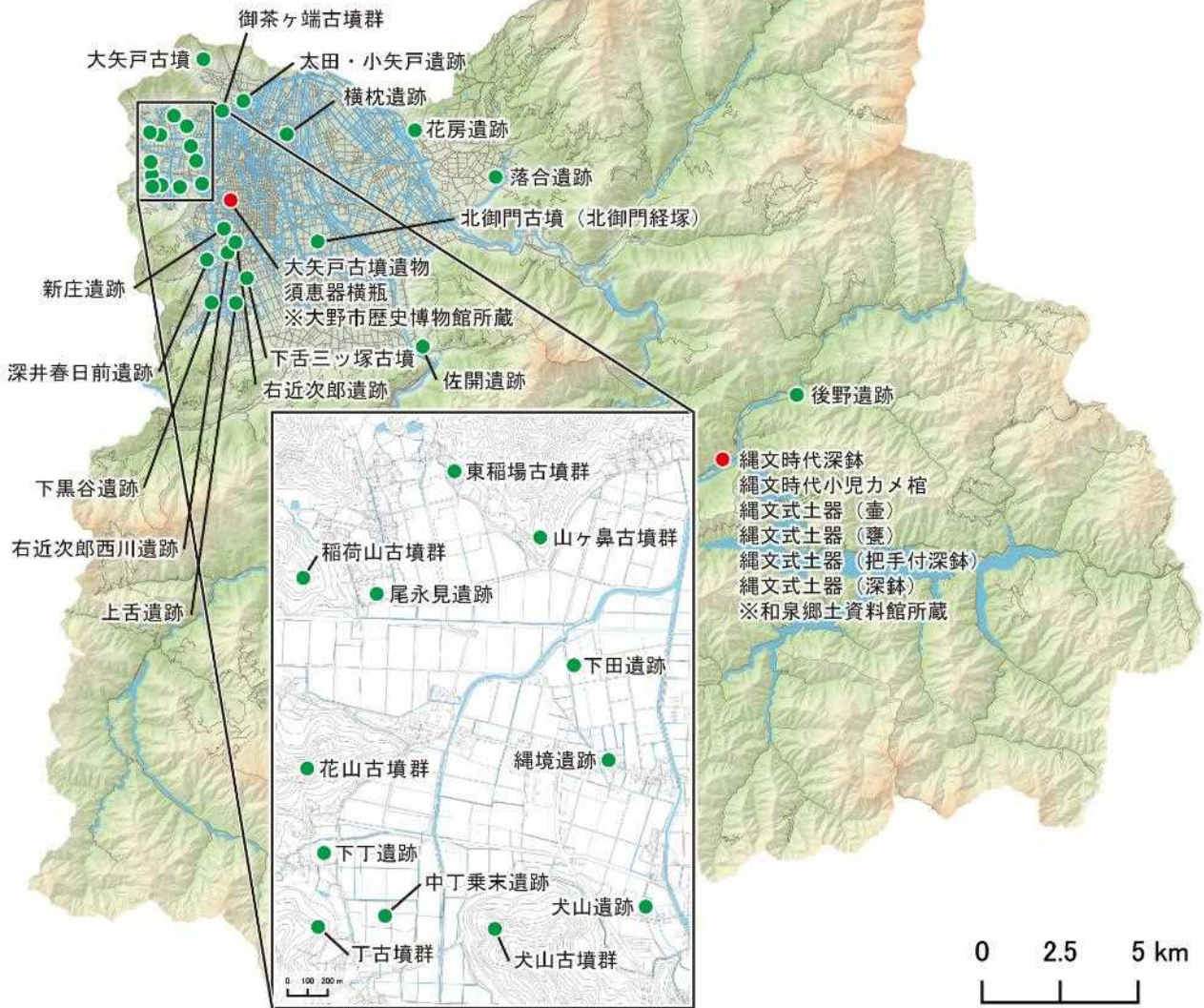
26 やがて時代が過ぎ、水稻耕作の伝来によって、人々の生活の舞台は山地から低地
27 へと遷移していきました。大野でも、主に^{あかね}赤根川・^{きよたき}清滝川流域で、弥生時代におけ
28 る人々の生活の痕跡が発見されています。また、大野では産出しない^{へきぎょく}碧玉や、緑色
29 凝灰岩などを用いて製作された^{くだたま}管玉の^{てつぞく}工房跡、鉄鍬・ヤリガンナなどの鉄器が確認
30 されており、縄文時代に引き続き、他地方との交流が行われていたことが分かりま
31 す。

32 さらに時代は下り、大和政権成立後は大野にも古墳の築造が行われるようになり
33 ました。山麓部を中心に、古墳が多く築造され、古墳の形態や出土品などから、当
34 時の有力首長の存在や首長権の変遷をうかがうことができます。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

凡例

- 指定等文化財
- 未指定文化財



〈1〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【市指定史跡】 角野前坂縄文遺跡、小谷堂縄文遺跡

【市指定考古資料】 縄文時代深鉢、縄文時代小児カメ棺、縄文式土器(壺)、縄文式土器(甕)、縄文式土器(把手付深鉢)、縄文式土器(深鉢)、大矢戸古墳遺物、須恵器横瓶

【埋蔵文化財包蔵地】 太田・小矢戸遺跡、山ヶ鼻古墳群、東稲場古墳群、尾永見遺跡、下田遺跡、下丁遺跡、中丁乗末遺跡、縄境遺跡、犬山遺跡、新庄遺跡、深井春日前遺跡、右近次郎西川遺跡、右近次郎遺跡、下舌三ッ塚古墳群、下黒谷遺跡、上舌遺跡、横枕遺跡、佐開遺跡、落合遺跡、後野遺跡、御茶ヶ端古墳群、大矢戸古墳、稲荷山古墳群、花山古墳群、丁古墳群、犬山古墳群、北御門古墳(北御門経塚)、花房遺跡、角野前坂遺跡(市指定の角野前坂縄文遺跡と同文化財)、小谷堂遺跡(市指定の小谷堂縄文遺跡と同文化財)

※埋蔵文化財包蔵地のうち、一部未調査遺跡については掲載していません(詳細は資料編を参照。)

25

1 主要な構成要素の説明



後野遺跡

後野遺跡は、和泉地区の石徹白川流域の後野地係に位置する縄文時代早期から後期にかけての集落跡です。昭和 50 年（1975）の水田の圃場整備事業によって発掘調査が行われ、縄文時代中期の土器が出土しました。また、住居跡 5 棟や、炉、柱跡などの遺構が確認されました。この遺跡から出土した深鉢など 9 点の縄文土器は、市の文化財に指定されています。



佐開遺跡

佐開遺跡は、上庄地区の真名川上流部の佐開地係に位置する縄文時代中期から晩期にかけての集落跡です。昭和 48 年（1973）に水田の圃場整備事業に先立って発掘調査が行われました。遺跡は、標高約 260m と約 230m の高さの違う二つの場所から、それぞれ縄文土器が出土しました。標高約 260m の場所からは、縄文時代中期の遺物が、標高約 230m の場所からは、縄文時代晩期の遺物がそれぞれ出土しました。遺跡からは住居跡 1 棟が確認されました。



右近次郎遺跡

右近次郎遺跡は、大野盆地西部の木本扇状地末端にある右近次郎に位置する縄文時代前期から後期まで続いた遺跡です。昭和 49 年（1974）の発掘調査で、縄文時代の中期から後期の住居跡 15 棟や、縄文時代中期の小竪穴 4 基が確認されました。そのうち 3 棟の住居跡からは、川原石を使用した石組みの炉が発見されています。また、出土した縄文土器は約 5,000 点で、深鉢形の土器などさまざまな型式の土器が発見されました。なかでも釣手土器は大把手、小把手が各々一対付けられており、外側に煤が付着していたことから、ランプのような使われ方をしたのではないかと考えられています。



下舌三ツ塚古墳群

下舌三ツ塚古墳群は、大野盆地西部の小山地区の下舌に位置しています。6 世紀から 7 世紀にかけての円墳で、平地に北古墳、南古墳、中古墳と呼ばれる 3 基の古墳が近い位置にまとまっていることからこの名称が付けられています。古墳の直径は 20m 以上で、なかでも一番大きい中古墳は、直径が約 23.5m、高さが約 3.0m で、古墳を囲うように周濠とよばれる溝も一部で確認できます。大野盆地において、直径 20m を超える円墳は、数基しか確認できていないことから、大野盆地における権力者の古墳ではないかと考えられています。

1 <2> 町や村に暮らす人々の交流



12 写真 21 七間朝市

14 ■ ■ ストーリー ■ ■

15 室町時代末期、織田信長の家臣である金森長近は、亀山の地に城下町を作りました。
16 城下町の形成によって、町は商工業の中心地としても栄え、さまざまな商売が
17 行われました。江戸時代に入り大野藩が成立した後も、人口の増加や町の拡大によ
18 って商工業はさらに発展していきました。

19 大野には、福井城下から美濃郡上城下に通じる主要な街道・美濃街道が通過し、
20 古くから越前と、美濃や飛騨を結節する重要な役割を果たしてきました。このため、
21 他地方との交流や物資・文化の流入が盛んに行われるとともに、山と里は絶えず相
22 互の恵みを交換し、互いの生活を豊かなものとしてきました。また、大野の城下町
23 を起点に、山村や鉾山など周辺地域を結ぶ複数の街道が延び、人と地域が結ばれて
24 きました。

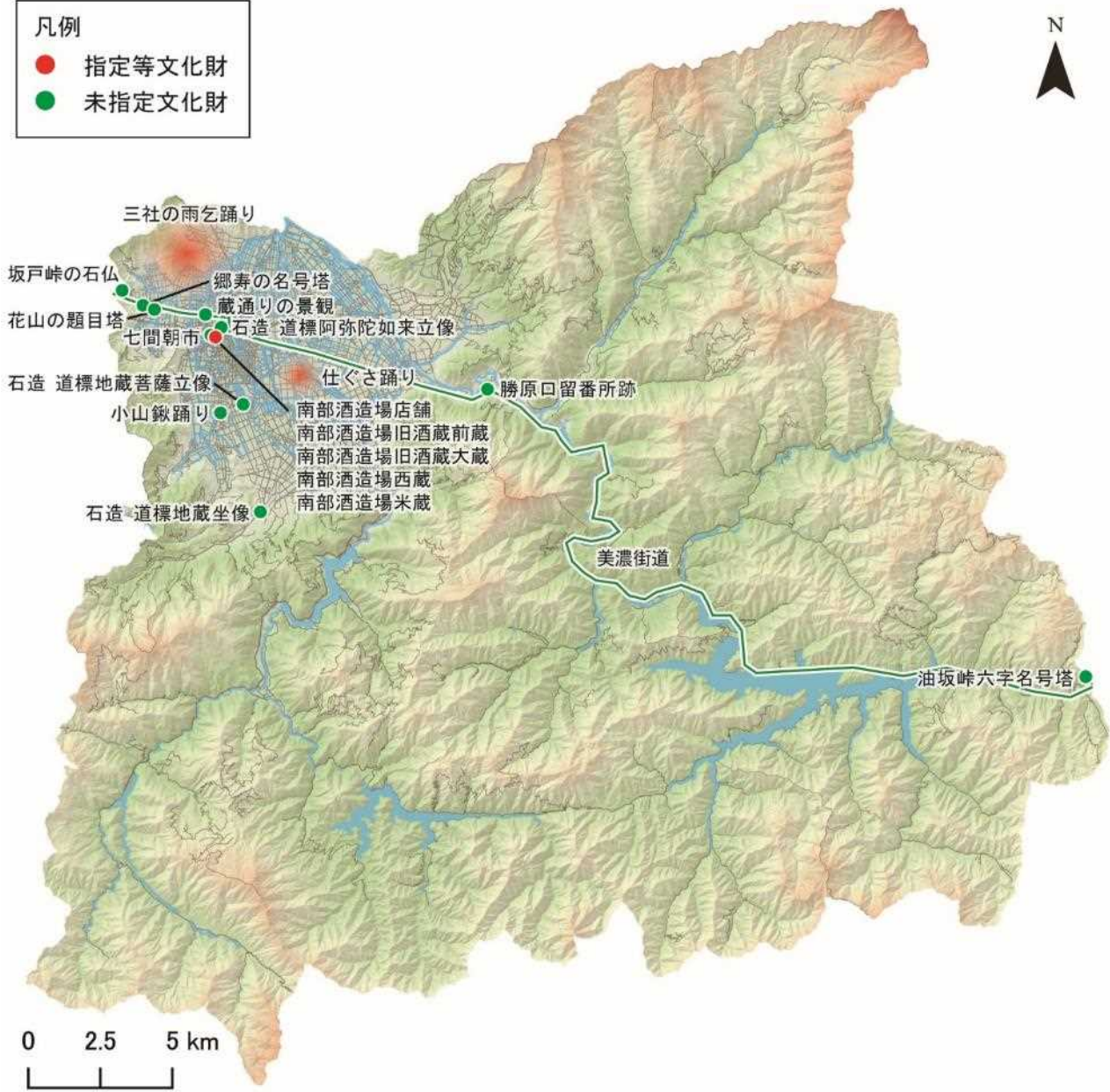
25 現在も七間通り（大野地区）で続く七間朝市は、長近が開いた市に由来するとさ
26 れ、実に 400 年以上の歴史があり、大野市を代表する催事の一つとなっています。
27 また、五番通りでは昭和初期まで夜市も開かれており、農村の生産物を通じて農村
28 と町に住む人々をつないできました。

29 農地や山地の集落では、市指定無形民俗文化財「仕ぐさ踊り」(下庄地区)や「三
30 社の雨乞い踊り」(乾側地区)など、農作業に関連した民俗芸能が生まれ、村内の人々
31 の交流の場となってきました。これらの民俗芸能は今も住民の手により守られ続け
32 ています。こうした民俗芸能は、かつての村の生活を今に伝えているものの一つと
いえます。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

凡例

- 指定等文化財
- 未指定文化財



〈2〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

<p>【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照</p> <p>【国登録建造物】 南部酒造場店舗、南部酒造場旧酒蔵前蔵、南部酒造場旧酒蔵大蔵、南部酒造場西蔵、南部酒造場米蔵</p> <p>【市指定古文書など】 短冊手鑑、武田耕雲斎遺留日本地図</p> <p>【市指定無形民俗文化財】 三社の雨乞踊り、仕ぐさ踊り</p> <p>【おおの遺産】 七間朝市</p> <p>【未指定文化財】 蔵通りの景観、郷寿の名号塔、花山の題目塔、小山鉦踊り、石造 道標地藏菩薩立像、石造 道標阿弥陀如来立像、石造 道標地藏坐像、勝原口留番所跡、坂戸峠の石仏、油坂峠六字名号塔、美濃街道</p>
--

26

1 主要な構成要素の説明

	<p>美濃街道（乾側、下庄、大野、富田、五箇、和泉、上庄、西谷地区）</p> <p>福井城下と美濃・飛騨を結び、米の輸送路になっていた美濃街道は、大野に多くの富をもたらしました。</p> <p>大野城下町では水落から本町通り・七間通り・五番通り・横町通りを通っており、今でもこの通り沿いには米にまつわる商店が立ち並んでいます。</p> <p>城下町を抜けると、五箇・和泉地区を通る「東道」、上庄・西谷・和泉地区を通る「西道」、上庄・和泉地区を通る「中道」と枝分かれして、それぞれ美濃方面へと続いていました。</p>
	<p>七間朝市（大野地区）</p> <p>金森長近による城下町整備の頃から開かれているといわれています。</p> <p>天和2年（1682）の記録によれば、当時は月に9回開かれており、時間も夕方までだったようです。</p> <p>藩主が七間通りを通行する日には、市を六間通りに移動させました。また、藩主の生母などが通行する際には、生母一行と市が片側ずつに寄って街路を譲り合っていました。ほとんどは市を動かさず生母一行が八間通りを通行したようです。</p> <p>このように藩主による保護を受けた七間通りの市は当地の経済の中心地として発展を遂げ、街路沿いには大店が並びました。</p>
	<p>石造 道標地藏菩薩立像（大野地区）・石造 道標阿弥陀如来立像（大野地区）・石造 道標地藏坐像（上庄地区）</p> <p>かつては三体とも、現在の県道大野・松ヶ谷線に立っていました。この道は木本から笹又峠を越えて、西谷秋生を経て美濃に至っていることから、美濃街道と称されていました。</p> <p>笏谷石製の台座や光背には、美濃街道の道筋を示すために、文字が刻まれています。</p> <p>一つの街道に道標地藏などが三体も立てられるのは珍しく、美濃街道がいかに重要な街道だったのかを物語ります。</p>



油坂峠六字名号塔（和泉地区）

越前と美濃の境に位置する油坂峠は南北朝動乱の頃から軍略上重要な位置を占めるようになり、その様子は『太平記』などにもたびたび登場しています。

天正3年（1575）の織田信長による越前一向一揆討伐の際には、郡上を治めていた遠藤氏の軍勢が油坂峠を守護していた一揆軍を打ち破りました。遠藤氏はその勢いそのまま金森長近と合流し、大野郡の一向一揆平定へとつながりました。

江戸時代になると経済面で重要な街道となり物資の輸送が活発に行われるようになりました。特に元禄5年（1692）以降、郡上藩が越前国内に69の村を所領するようになると、油坂峠は年貢米や諸物資の輸送のほか、若猪野代官所（勝山市）との連絡などのために、一層重要になりました。

このように、軍事的・経済的・政治的に重要だった油坂峠では、さまざまな理由によって命を落とす者も少なくなく、いつの頃か名号塔が立てられました。

1

2

1 <3> 華開く「進取の気象」
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

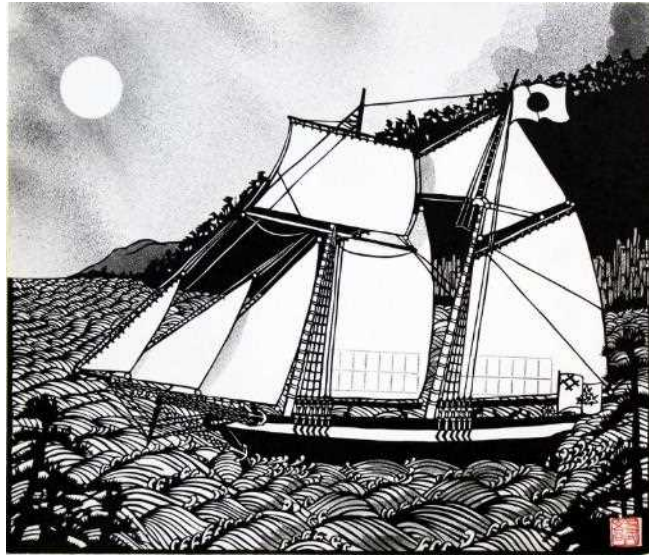


写真 22 大野丸

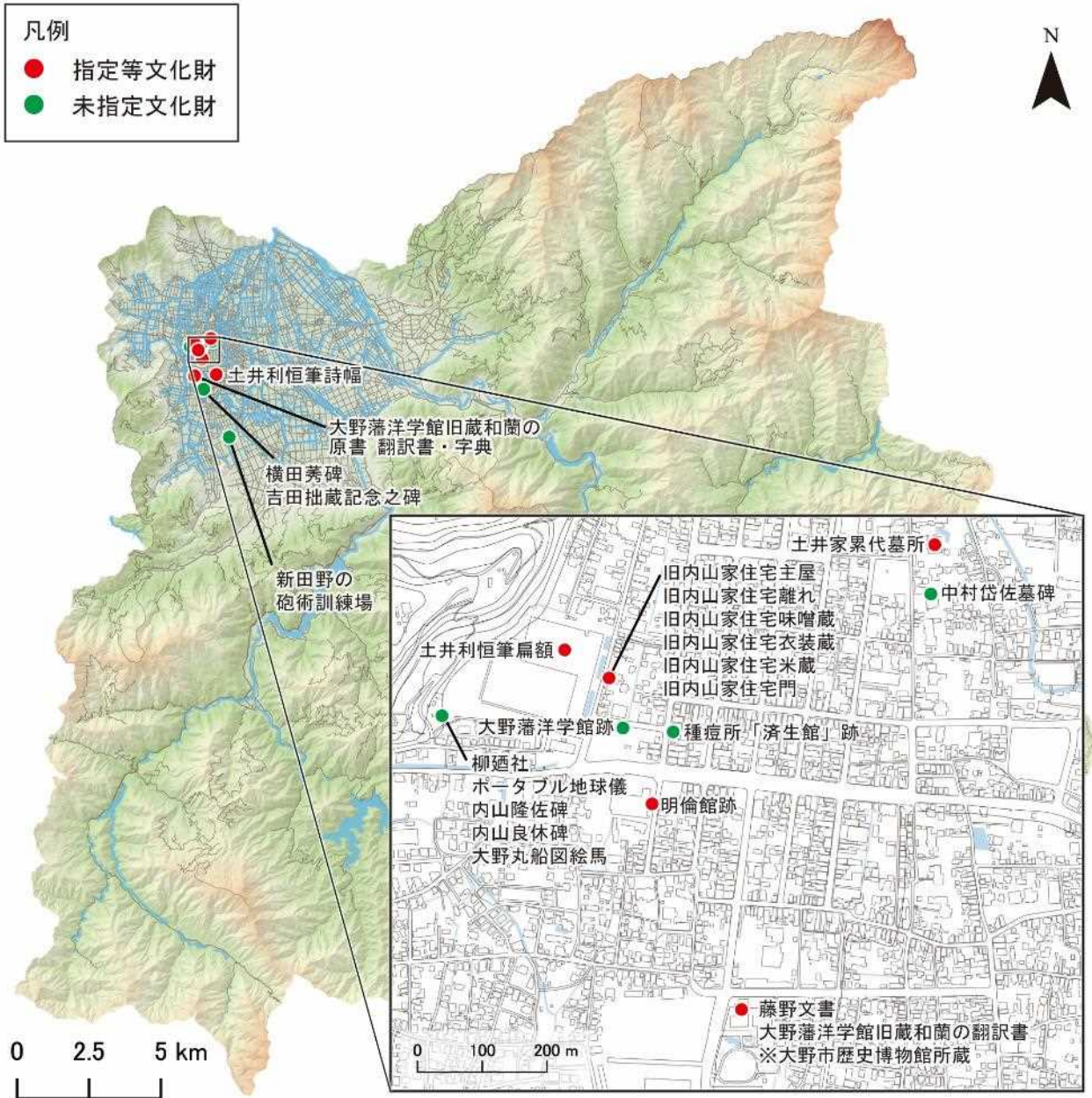
15 ■ ■ ストーリー ■ ■

16 大野市の市民性を表す言葉の一つに「進取の気象」があります。これは新しいこ
17 とに果敢に挑戦する気質を意味し、古くから育まれてきた大野人の特徴です。大野
18 の歴史文化にも、今日の気風につながる人々の活動を認めることができます。

19 「進取の気象」を示す代表的な人物が、江戸時代後期の大野藩主・土井利忠です。
20 利忠は、藩民一体となって藩政や財政を立て直すために、藩校「明倫館」を開設し
21 ました。明倫館では藩士の子もだけでなく、町民の子もたちも学ぶことができ、
22 後に大野藩を支えていく人材を育成しました。明倫の心は、今も大野市の教育理念
23 に受け継がれています。

24 また、利忠は、藩営病院の設立と種痘の実施、蝦夷地開拓、地場産品の振興や洋
25 学振興など、先進的な諸施策を打ち出し、内山良休・隆佐の兄弟が財政再建に尽
26 力しました。諸藩に先んじて行った洋式帆船「大野丸」の航海、蘭学の研究と洋学
27 館の開設、藩の商社「大野屋」を通じた全国各地との積極的な交易は、大野におい
28 て進取の気象が開花した時代と言えます。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25



〈3〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【国登録建造物】 旧内山家住宅主屋、旧内山家住宅離れ、旧内山家住宅味噌蔵、旧内山家住宅衣装蔵、旧内山家住宅米蔵、旧内山家住宅門

【市指定史跡】 明倫館跡、土井家累代墓所

【市指定古文書など】 土井利恒筆扁額、土井利恒筆詩幅、藤野文書、大野藩洋学館旧蔵和蘭の原書 翻訳書・字典、大野藩病院旧蔵医学書、大野藩洋学館旧蔵和蘭の翻訳書

【未指定文化財】 新田野の砲術訓練場、柳廼社、ポータブル地球儀、中村岱佐墓碑、中村矩倫碑、内山隆佐碑、内山良休碑、横田莠碑、大野丸船図絵馬、大野藩洋学館跡、種痘所「済生館」跡、吉田拙蔵記念之碑

26

1 主要な構成要素の説明

	<p>国登録有形文化財「旧内山家住宅」(大野地区)</p> <p>幕末期、多額の借財に困窮していた大野藩は、藩主土井利忠の主導の下、「財政再建」「人材育成」を大きな柱とした藩政改革を行いました。その際、藩営銅山の再開発や藩営商店の全国への出店、洋式帆船の建造、洋学研究の振興、北方開拓など、従来の概念にとらわれない近代的な発想の下で利忠を支えたのが、内山七郎右衛門良休と隆佐良隆の兄弟でした。</p> <p>こうした取り組みは大野藩の借財を大きく軽減しただけではなく、その精神は現在にも大野市教育理念として受け継がれています。</p> <p>旧内山家住宅は、明治15年(1882)頃、内山七郎右衛門の没後に建設された建物ですが、それ以前の生活の様式などを偲ぶことができることから、国の登録有形文化財に登録されています。</p>
	<p>市指定史跡「土井家累代墓所」(大野地区)</p> <p>錦町(通称寺町)に建つ善導寺(浄土宗)が土井家の菩提寺です。</p> <p>土井家墓地は善導寺南西にある善導寺旧寺地にあり、歴代藩主の墓が6基(初代・2代・4代・6代・7代・8代)、9代当主の墓が1基、童子の墓が2基、童女の墓が4基、側室の墓が5基、不明が1基並んでいます。</p> <p>当所のほか、かつて東京の浄土宗誓願寺に3代・4代・5代・6代・10代の墓がありましたが、今は北多摩に移転されて合葬されています。</p>
 	<p>市指定史跡「明倫館跡」(大野地区)</p> <p>従来、藩校は藩士の育成のために建てられた教育機関でしたが、藩政改革により新たな人材の発掘や育成に取り組んだ大野藩では、藩士の子弟のみならず町人の子であっても、希望する者には藩校への入学を認めました。</p> <p>そのため、武家屋敷と町屋敷の境(現在の結ステーション付近)に藩校を建て、武家・町人共に通学がしやすいように配慮しました。</p> <p>明倫館で育った人材は、大野藩の商業や鉱業などを盛んにし、藩財政の再建に大きく貢献したと言われています。このことに基づき、平成21年(2009)に策定された「大野市教育理念」では、大野の教育の全てを貫く普遍の理念を「明倫」と決めました。</p>

1 <4> 戦乱の時代と大野盆地の城郭群



写真 23 朝倉義景墓

11 ■ ■ ストーリー ■ ■

12 古代の律令政治が衰え、貴族の世から武士の時代へと移行行く中、大野も混乱の
13 時代へと入っていきました。「青葉の笛」(和泉地区)は、源平の争乱の際、朝日の
14 里に落ち延びてきた頼朝の兄である源義平と、里の娘おみつとの悲恋を物語るもの
15 として知られ、大野市の歴史文化を構成する要素の一つとして市民から大切に守ら
16 れ続けています。

17 そして、鎌倉時代末期から戦国時代は、大野は戦乱の時代とも呼べる状態でした。

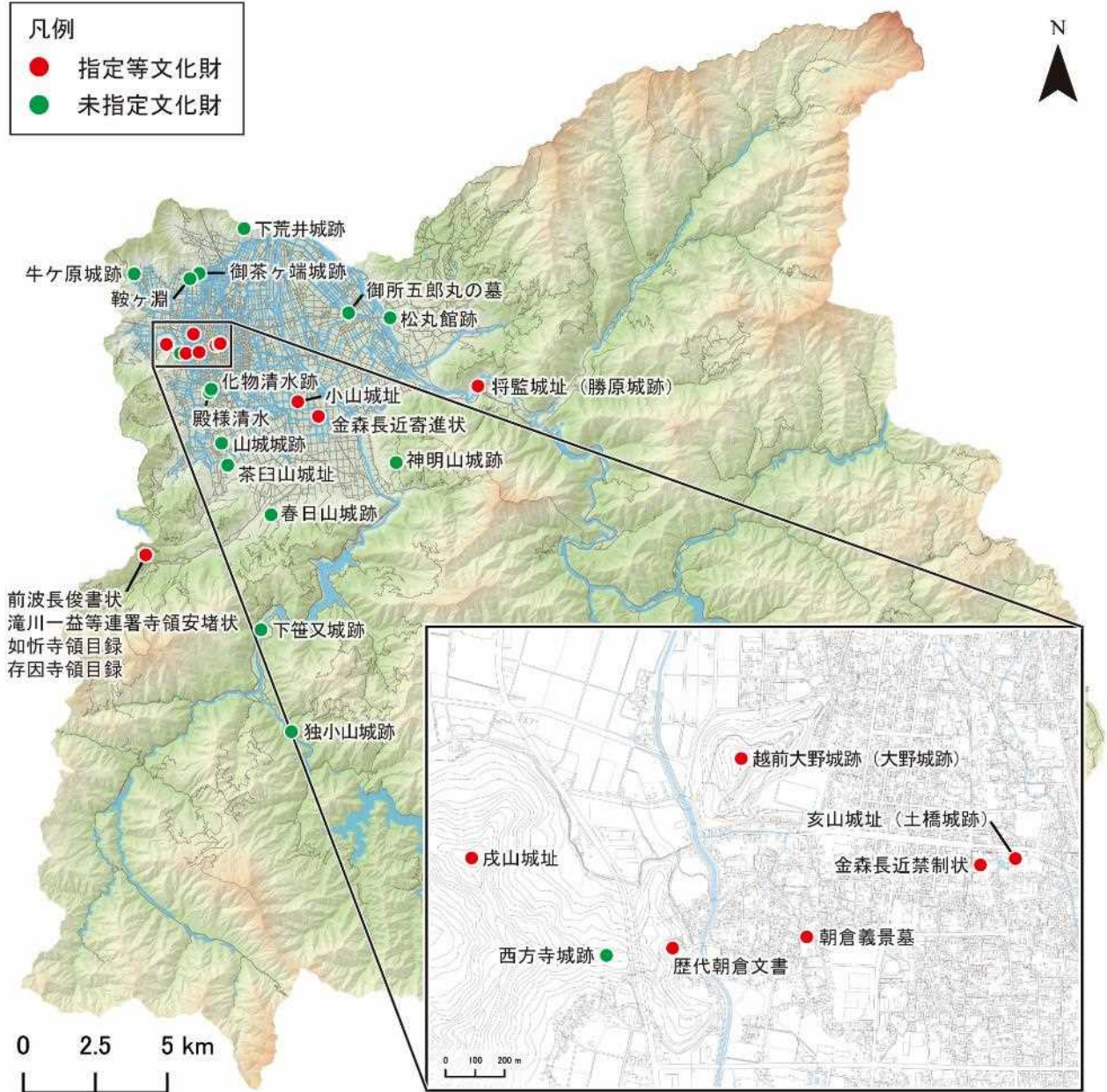
18 鎌倉時代末期、全国で鎌倉幕府の倒幕に向けた動きが活発化しました。その頃、
19 大野では、北条氏の重臣である淡河右京亮時治あいかわうきょうのすけときはるが、北国の蜂起鎮圧のため牛原荘うしがはら
20 拠点うしがはらを置いていました。しかし、京で足利尊氏による六波羅探題攻略が成功すると、
21 時治の周囲で離反が相次ぎました。その後、牛ヶ原へ一気に攻め入った平泉寺衆徒
22 に追い詰められ、時治は妻子と共に赤根川の鞍ヶ淵あかね くらがぶちで自害して果てました。

23 室町時代、幕府要人の斯波高経しばが越前国の守護に任じられると、大野は斯波氏しばの
24 支配下となりました。大野盆地西部の戌山城いぬやまじょう、大野盆地中央の亥山城いやまじょうは、斯波氏しばに
25 による大野郡支配の軍事的・政治的拠点として機能しました。また、現地調査で堀や
26 曲輪などの遺構が確認されている小山城こやまじょうや将監城しょうげんじょうなど複数の山城も、この頃に築
27 かけられました。

28 応仁の乱の際、斯波氏家臣であった朝倉氏あさくらが下剋上を行い、大野を含む越前全域
29 は朝倉氏が支配することになりました。朝倉氏は一乗谷を本拠地とし、尾張・美濃
30 との結節点である大野を交通・軍事上の重要拠点と位置付け、朝倉氏一族が治めま
31 した。その後、越前に侵攻した織田信長に敗れた当主・朝倉義景よしかげは、大野で自害し、
32 朝倉氏は滅亡しました。朝倉氏滅亡後、大野郡の広域が信長の家臣である金森長近
33 の領地となりました。こうして大野にもようやく平穏な時が訪れることとなり、時
代は近世に向け大きく動き出していくこととなります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

- 凡例
- 指定等文化財
 - 未指定文化財



〈4〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【県指定史跡】 越前大野城跡

【市指定史跡】 小山城址、亥山城址、将監城址、戌山城址、朝倉義景墓

【市指定古文書など】 朝倉義景筆短冊、歴代朝倉文書、前波長俊書状、滝川一益等連署寺領安堵状、如忻寺領目録、存因寺領目録、朝倉義景書状、朝倉義景感状、朝倉景鏡感状、金森長近寄進状、金森長近禁制状

【市指定工芸品】 蓬萊山円鏡

【埋蔵文化財包蔵地】 御茶ヶ端城跡、下荒井城跡、牛ヶ原城跡、大野城跡（県指定の越前大野城跡と同文化財）、西方寺城跡、土橋城跡（市指定の亥山城址と同文化財）、山城城跡、茶臼山城址、小山城跡、春日山城跡、神明山城跡、勝原城跡（市指定の将監城址と同文化財）、独小山城跡、下笹又城跡、松丸館跡

【未指定史跡】 青葉の笛、鞍ヶ淵、御所五郎丸の墓、殿様清水、化物清水跡

25

1 主要な構成要素の説明



市指定史跡「朝倉義景墓」(大野地区)

天正元年(1573)、織田信長の軍勢に攻められ一乗谷を脱した越前の戦国大名・朝倉義景は大野郡に逃れましたが、一族の朝倉景鏡の裏切りにより自害しました。

この五輪塔は、寛政12年(1800)に慰霊のために曹源寺境内に建てられたものを、文政5年(1822)に現在地に移転したものです。

五輪塔向かって右後方には、義景に殉じた鳥居景近と高橋景倍の墓が並んでいます。さらにその後方には明治44年(1911)に建てられた高德院(義景の母)、祥順院(義景の夫人)、愛王丸(義景の次男)を合祀した墓が並びます。



市指定史跡「戌山城趾」(乾側地区)

南北朝時代、幕府管領の斯波義将の弟である義種によって犬山山頂に築かれたと言われています。義種は大野郡司として戌山城麓に居館を構えて越前・美濃間の国境を確固たるものにしました。その支配は九頭竜川の左岸、現在の勝山市鹿谷町や遅羽町にまで及んでいました。

応仁の乱によって斯波氏に代わり越前守護職を手中に収めた朝倉氏も、戌山城を中心に大野郡の支配体制を固めていきました。

現在も斯波氏・朝倉氏によるものと思われる郭群や堀切、畝状堅堀といった遺構を確認することができます。



市指定史跡「亥山城址」(大野地区)

暦応年間(1338~1341)に、新田義貞の一族である堀口氏政が築城したと言われています。現在、日吉神社(日吉町)が鎮座する場所が、亥山城の跡と考えられていますが、平安・鎌倉時代の文書によれば、今の亀山も亥山と呼ばれていたようです。

応仁の乱を経て朝倉氏が越前国を手中に収めると、朝倉孝景(初代)は弟の光玖を大野郡司としました。

寺町の光玖寺は、天正7年(1579)に光玖の居館の跡地に建てられたものと言われています。



市指定文化財「滝川一益等連署寺領安堵状」（上庄地区）

戦禍によって寺領が荒廃した宝慶寺は、越前守護代の前波長俊を通じて、信長による寺領安堵の朱印状が出されるようお願いしました。

この書状は、その願い出に対する北之庄三人衆（明智光秀、羽柴秀吉、滝川一益）からの応答で、宝慶寺に100石を安堵しています。

信長の朱印状が出される前に北之庄三人衆が寺領を安堵し、年貢などの収納を認めていることから、そうした権限をこの三人衆は持っていたことが分かります。

1
2
3

1 <5> 大野城⁴の築城と城下町の形成・発展



写真 24 越前大野城

■■ストーリー■■

11 金森長近は初め^{いぬやま}戌山城に入りましたが、ほどなく亀山とその周辺を城郭整備の地
12 とし、大野城を築城しました。また、亀山の東側では、旧土橋庄（今の日吉町周辺）
13 にあった町を当地へ移転させ、城下町の建設を進めました。長近によって築かれた
14 大野城は、江戸時代中期の大火で焼失しました。天守以外はその後再建されたもの
15 の、明治維新を迎え、石垣を除く城の施設は取り壊されました。昭和43年（1968）
16 に再建された越前大野城は大野市のシンボルであり、近年「天空の城」としてブラ
17 ンド化されています。

18 長近は、城下町を東西、南北各6筋の道により短冊状に区画し、武家屋敷や町屋
19 敷を配置しました。また、城下町南東の湧水地・本願清水^{ほんがんしょうず}（大野地区）を水源とし、
20 豊かな水環境を生かした城下の整備を進めました。大野城の堀や池には湧水がたた
21 えられ、城下町を南北に通る各街路には上水路を、各屋敷の背中合わせの境には、
22 「^{せわ}背割り水路」（大野地区）と呼ばれる生活排水用の下水路を設置しました。長近に
23 よる城下町の整備は、現在の大野市街地の原型となっています。

24 江戸時代の大野城下は奥越地域における政治・経済の中心地として、さらに発展
25 していきました。幕末、城下町には約6,000人が居住しており、さまざまな職種の
26 商工業者が集積し、大きな賑わいを形成していました。また、江戸時代の城下町で
27 は、芹川用水を境に武家と町人の居住区域が明確に区分されました。なお、複数宗
28 派の寺院が同一地点に集まる寺町が形成されたのは、江戸時代のことです。

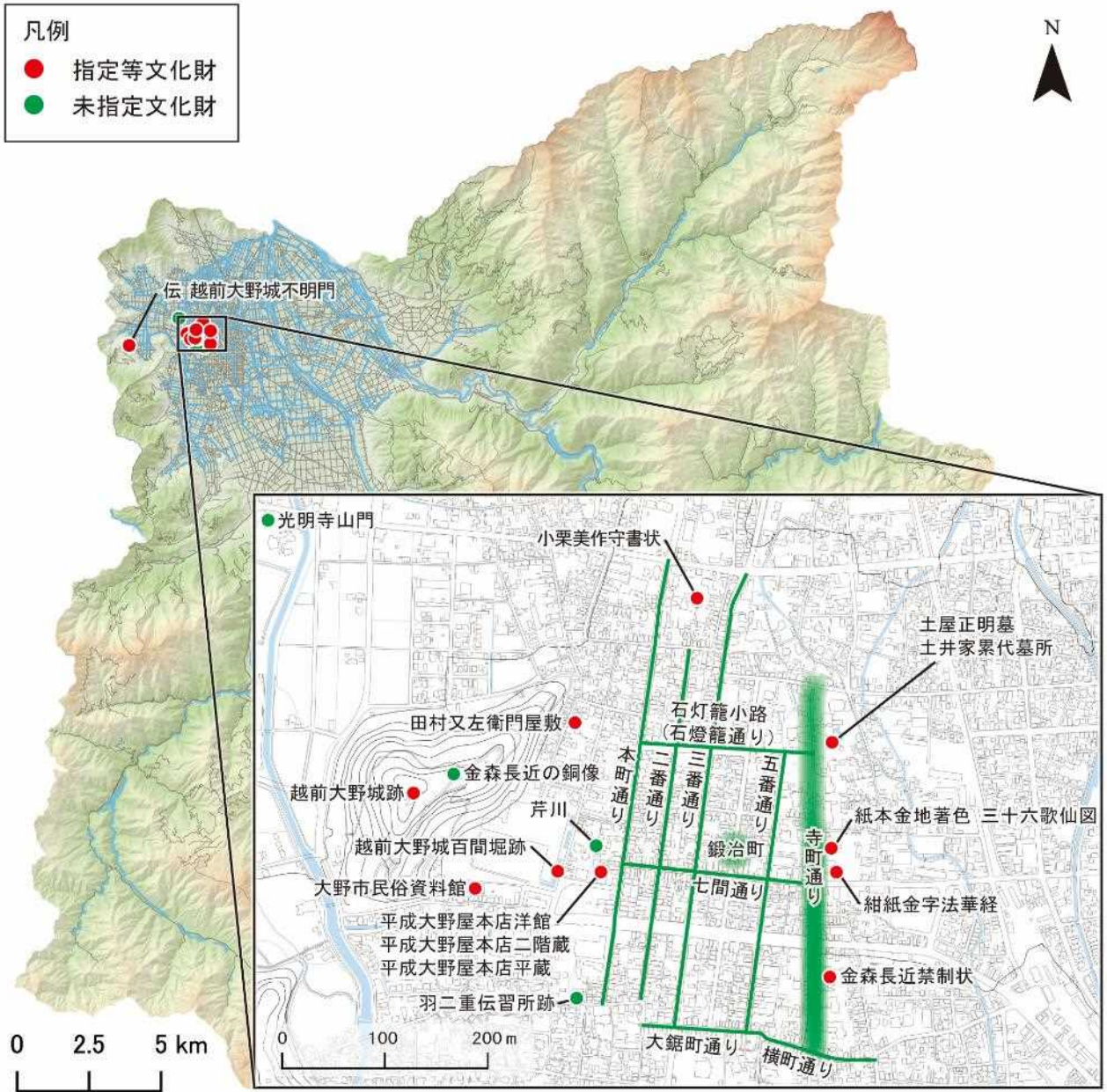
29 明治時代以降になると、旧城下町を含む市街地は、繊維業でも大いに栄えました。
30 江戸時代から蚕を飼い、生糸、絹織物の生産は行われていましたが、明治時代中期
31 から大正時代にかけて、輸出用の羽二重生産が盛んとなり、工場数も増加しました。

32 城下町の名残は、今も古い町並みや地割、地名、武家屋敷などに残っており、平
33 成9年（1997）には建設省（当時）によって「都市景観100選」に選定されまし
た。

⁴ 長近が建てた城を「大野城」、昭和43年（1968）に再建された城を「越前大野城」、県指定史跡の名称を「越前大野城跡」としています。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

- 凡例
- 指定等文化財
 - 未指定文化財



〈5〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【国登録建造物】 平成大野屋本店洋館、平成大野屋本店二階蔵、平成大野屋本店平蔵

【県指定史跡】 越前大野城跡

【県指定絵画】 紙本金地著色 三十六歌仙図

【県指定古文書など】 紺紙金字法華経

【市指定史跡】 土屋正明墓、土井家累代墓所、越前大野城百間堀跡、田村又左衛門家屋敷

【市指定建造物】 大野市民俗資料館、伝 越前大野城不明門

【市指定古文書など】 武田耕雲斎筆扁額、小栗美作守書状、金森長近禁制状、大野郡鍛冶座文書

【市指定工芸品】 高橋吉重作 脇差

【未指定文化財】 石灯笼小路、金森長近の銅像、芹川、光明寺山門（伝旧大野城塙門）、寺町通り、本町通り、二番通り、三番通り、五番通り、七間通り、大鋸町通り、横町通り、羽二重伝習所跡、鍛冶町、背割り水路

1 主要な構成要素の説明

	<p>県指定史跡「越前大野城跡」(大野地区)</p> <p>織田信長による越前一向一揆平定の際の恩賞として大野郡の3分の2を与えられた金森長近は、亀山に大野城を築きました。</p> <p>大野城は亀山山頂を本丸とし、東麓に二の丸、三の丸を置き、二重の堀と川をつなぐ梯郭式でした。</p> <p>江戸時代の絵図によれば、本丸内には大天守・小天守・天狗書院の3棟が連結式で建っており、いずれも入母屋造り檜皮葺で、御殿風の建物だったようです。</p> <p>明治5年(1872)に破却されましたが、昭和43年(1968)に再建されています。</p>
	<p>市指定史跡「越前大野城百間堀跡」(大野地区)</p> <p>亀山山頂の本丸、その東麓の二の丸、三の丸を囲むように、内堀、外堀が掘られていました。この外堀を「百間堀」と呼びました。かつては豊富な湧水が満ち、現在の2倍の深さがあったと言われています。</p> <p>明治の廃城以降、年々埋め立てられていき、今は「学びの里めいりん」の前の34mだけが当時の姿を留めています。</p>
	<p>国登録有形文化財「平成大野屋本店洋館」(大野地区)</p> <p>昭和12年(1937)に大野織物工業協同組合の織物検査場として建設されました。織物検査室を真北に向け、北面に大きな連続窓を設けている点に特徴があります。</p> <p>絹織物の生産地として栄えた大野城下町を象徴した建物です。</p>
	<p>寺町通り(大野地区)</p> <p>城下町の東端から北東隅にかけて矩の字型に寺院が立ち並ぶ街区があり、「寺町」と通称されています。</p> <p>寺院が宗派ごとに固まっていないのが大野の寺町の特徴です。</p> <p>大野藩主・土井家の菩提寺であった善道寺の墓地には、土井家累代の墓石が並んでいます。</p>



七間通り（大野地区）

藩主が通行する「大手道」とともに、「市」が開かれ大野城下の経済の中心地として発展した七間町には、藩の御用商人を務める大店が立ち並びました。

江戸時代から明治初期まで、南北に平行する六間町や八間町は、それぞれ本町から五番町、寺町によって分割されていたのに対し、七間町はそのまま東西に貫通する独立した町として管理・運営がなされていました。

また、七間通りより南を「上町」（三番上町など）、北を「下町」（四番下町など）と呼んでおり、城下町のなかでも特別な位置を与えられていたことが分かります。



背割り水路（大野地区）

本願清水（大野地区）を水源として城下町を北流する水路は、道路中央を流れる上水路と、家屋の後ろを流れる排水路に分かれていました。

排水路は背中合わせに立ち並ぶ家屋の間を流れることから、「背割り水路」と呼ばれています。

野菜屑など有機物を多く含んだ排水は、城下町北部の村々の田畑の実りに欠かせないものでした。



芹川（大野地区）

背割り水路のなかでも、現在の国登録有形文化財「平成大野屋本店平蔵」（大野地区）の横を流れている水路を「芹川」と呼んでいました。芹川の西は武家屋敷、東は町屋敷であり、その境としての機能を持っていました。

江戸時代の絵図によれば芹川の西側（武家屋敷側）には塀が立っており、外部からの侵入を防いでいたようです。



1
2
3

1 <6> 地域に息づく多様な信仰形態



写真 25 南専寺庭園

■■ストーリー■■

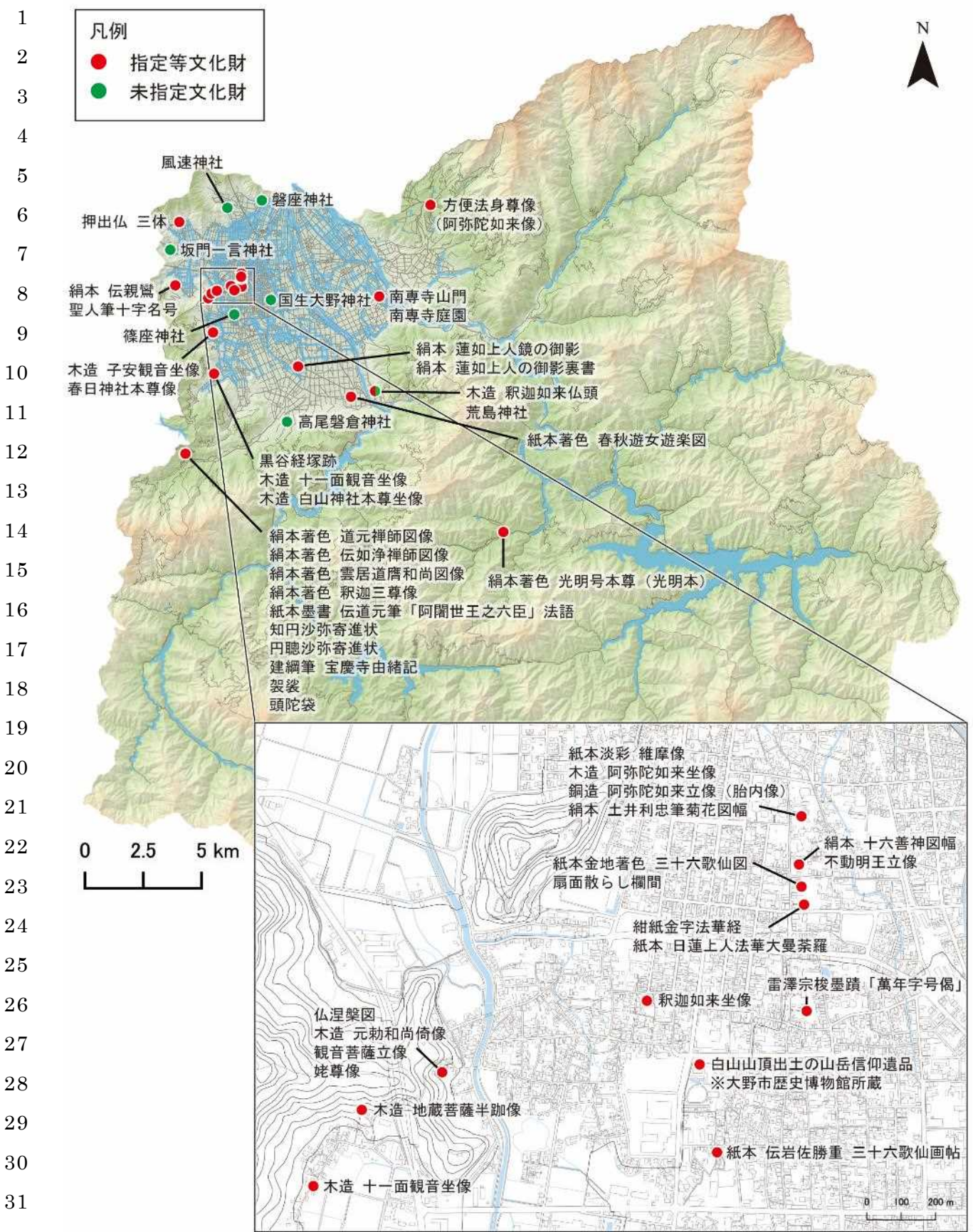
12 大野の周囲を囲む山々は、古くから人々の信仰の舞台となってきました。白山信
13 仰を開いたことで知られる奈良時代の僧侶・^{たいちょう}泰澄が開山したとされる^{あらしまだけ}荒島岳（標高
14 1,523m）は、その一つです。^{あらしまだけ}荒島岳は、平安時代に編まれた『延喜式』では「阿羅
15 ^{しまがたけ}志摩我多気」、^{わみょうるいじゅしょう}『倭名類聚抄』では「大山」と呼ばれ、^{あらしま}荒島神社が創建されました。ま
16 た、^{きょうがだけ}経ヶ岳（標高 1,625m）や^{いふりやま}飯降山（標高 884m）にも、山岳信仰の遺跡があり
17 ます。『延喜式』^{じんみょうちよう}神名帳の旧大野郡の式内社 9 座のうち市内には 7 座あり、このう
18 ち 4 座（^{あらしま}荒島神社など）が山岳（自然）への信仰を示しています。

19 白山信仰は、奈良時代以前の原始的な山岳信仰に由来し、市内には同信仰に関連
20 する彫刻や多くの白山神社が残り、大野における白山信仰の広がりを示しています。

21 中世以降、永平寺（永平寺町）に中心を置く曹洞宗や^{よしざきごぼう}吉崎御坊（あわら市）を中
22 心とする浄土真宗が力を付けていきます。宝慶寺（^{かみしょう}上庄地区）は、曹洞宗寺院で、
23 曹洞宗開祖道元と師弟関係にあった寂円が開山した寺院として、貴重な仏教文化を
24 伝える資料が多く伝承されています。宝慶寺以外にも市内に残る寺院にはさまざま
25 な仏像が伝わっているほか、地域で大切に守られてきた地蔵尊や、名号塔・題目塔・
26 ^{ほうきょういんどう}宝篋印塔などの石造物を今も見ることができ、さらに、地区の浄土真宗寺院や道場
27 では、法事や浄土真宗の宗祖・親鸞聖人を敬う報恩講（ほんこさん）が受け継がれ
28 ています。

29 各地区の寺社ではさまざまな信仰の形として祭礼行事が行われ、^{ご か}五箇地区^{しもうちなみ}下打波
30 の白山神社・中神神社の祭礼は、全住民が大野市街地などへ移転した後も、旧住民
31 たちが集う機会として今も毎年 8 月に祭礼が続けられています。

32 このほかにも、不動明王祭（大野地区）や、乳の出がよくなるという伝承がある
33 乳地蔵のご祈祷（大野地区）といった、祭礼行事が伝わっています。



〈6〉の主な構成文化財の分布 (背景図に基盤地図情報を使用)

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【県指定建造物】南専寺山門

【県指定名勝】南専寺庭園

【県指定絵画】絹本着色 道元禅師図像、絹本着色 伝如浄禅師図像、絹本着色 雲居道膺和尚図像、絹本着色 釈迦三尊像、絹本着色 光明号本尊（光明本）、紙本淡彩 維摩像、紙本金地著色 三十六歌仙図、紙本着色 春秋遊女遊楽図、紙本墨画淡彩 鷲鷹図屏風

【県指定古文書など】紙本墨書 伝道元筆「阿闍世王之六臣」法語、紺紙金字法華経

【県指定彫刻】木造 阿弥陀如来坐像、銅造 阿弥陀如来立像（胎内像）

【市指定史跡】黒谷経塚跡

【市指定絵画】紙本 日蓮上人法華大曼荼羅、絹本 十六善神図幅、絹本 土井利忠筆菊花図幅、紙本 伝岩佐勝重 三十六歌仙画帖、絹本 蓮如上人鏡の御影、方便法身尊像（阿弥陀如来像）、仏涅槃図、方便法身尊像（絵像）及び裏書き

【市指定古文書など】絹本 伝親鸞聖人筆十字名号、絹本 蓮如上人の御影裏書、雷澤宗梭墨蹟「萬年字号偈」、御文章第五帖、知円沙弥寄進状、円聰沙弥寄進状、建綱筆 宝慶寺由緒記、松平直久捷書

【市指定彫刻】木造 元勅和尚倚像、木造 十一面観音坐像、木造 白山神社本尊坐像、木造 子安観音坐像、春日神社本尊像、石造 不動明王立像、木造 阿弥陀如来立像及び胎内経、不動明王立像、釈迦如来坐像、観音菩薩立像、阿弥陀如来立像及び木仏免許状、姥尊像、扇面散らし欄間、木造 釈迦如来仏頭、木造 十一面観音坐像、木造 地藏菩薩半跏像

【市指定工芸品】押出仏 三体、白山山頂出土の山岳信仰遺品

【市指定史料】袈裟、頭陀袋

【市指定有形民俗文化財】投げ賽銭跡のある壇縁および内陣

【おおの遺産】行人岩

【未指定文化財】三社神社、白山神社、春日神社、清瀧神社、高尾磐倉神社、荒島神社、篠座神社、坂門一言神社、風速神社、磐座神社、国生大野神社、八幡神社、宝慶寺、曹源寺、善導寺、専福寺、最勝寺、南専寺、雲乗寺、黒谷観音堂、瑞祥寺、市内各所の名号塔・題目塔、各所の道場、百姓一揆殉難の碑、白山神社の祇園祭り、白山神社祭礼、あぶらや地藏尊まつり、座禅岩、古文書類 53 件 など

1 主要な構成要素の説明

	<p>県指定文化財「南専寺山門」(富田地区)</p> <p>寛文12年(1672)頃に永平寺境内に作られた4代福井藩主光通の正室・清池院の廟所門を、安永9年(1780)に移築して、山門として再建されました。屋根は向唐破風の銅板葺(当初は桧皮葺)で、笏谷石の棟石などを置いています。彫刻は、兎や龍、菊葉、鳳凰、波、紅葉などが彫られ、彩色の跡も残っています。</p> <p>福井藩に関わる17世紀中頃の様式を留める霊廟建築であるとともに、安永9年(1780)の移築には玄之源左衛門が関わっており、永平寺大工の作品例としても貴重です。</p>
	<p>市指定文化財「姥尊像」(大野地区)</p> <p>洞雲寺では地藏菩薩として伝えられてきましたが、調査の結果、姥尊像であることが分かりました。</p> <p>洞雲寺の建つ地にはかつて天台系の寺院が建っていました。洞雲寺本堂内で本尊の横に祀られる市指定文化財「観音菩薩立像」(大野地区)はかつての本尊だったと言われており、白山信仰に根差した寺院だったようです。</p> <p>現在、姥尊は立山信仰において女人を救済する宗教行事「布橋灌頂」の中心的な尊像として祀られていますが、白山信仰にゆかりのある当地に姥尊が伝えられたことから、白山信仰でも「布橋灌頂」が行われていた可能性が出てきました。</p>
	<p>宝慶寺(上庄地区)</p> <p>日本に曹洞宗を伝えた道元禅師を慕って中国(宋)から来日した寂円禅師によって、弘安元年(1278)に建てられました。</p> <p>道元と寂円の師である天童山景德寺(中国浙江省寧波市)の如浄禅師の死を看取った寂円は、来日後、「塔主」として如浄の霊廟祭祀を担当し、永平寺教団の中で重要な役を担っていました。道元没後、永平寺を離れた寂円によって建てられた宝慶寺は寂円派の拠点となり、江戸中期まで永平寺住持(住職)を輩出して教団を支えました。</p> <p>宝慶寺が「日本曹洞宗第二道場」とされる所以です。</p>
	<p>県指定名勝「南専寺庭園」(富田地区)</p> <p>池を中心とした回遊式林泉庭園です。正面の築山上に三尊石組が生まれ、対岸の汀には礼拝石が据えられています。池中には鶴島・亀島と思われる二つの島があり、鶴島には、自然石の石橋が架けられています。向かって左手の導水路の途中には滝石組が生まれ、滝副石も見られます。</p> <p>数カ所に後世の補修が見られますが、遺存状況は良好で、江戸中期と思われる作庭当初の姿が良く残っています。</p>



篠座神社（大野地区）

大野市内で最も古い縁起を持ち、大野郡に9座あった式内社の一つに数えられます。

白山信仰を開いた泰澄大師が休憩をしていたところ、天空から当地が「林泉の勝地」であるとする神の声が聞こえたため、祠を立て祀ったのが始まりとされています。

春分と秋分の日、太陽が本殿背後にある「飯降山」山頂に沈む際、太陽、山頂、本殿、鳥居、参道のそれぞれの中心が1本の直線上に並ぶことから、かつては「飯降山」を御神体とした信仰があったとも考えられます。

1

2

3

1 <7> 受け継がれる芸能



12 写真 26 篠座神社の里神楽

15 ■ ■ ストーリー ■ ■

16 大野には、さまざまな性格を持つ多くの芸能や歌謡が伝わっています。

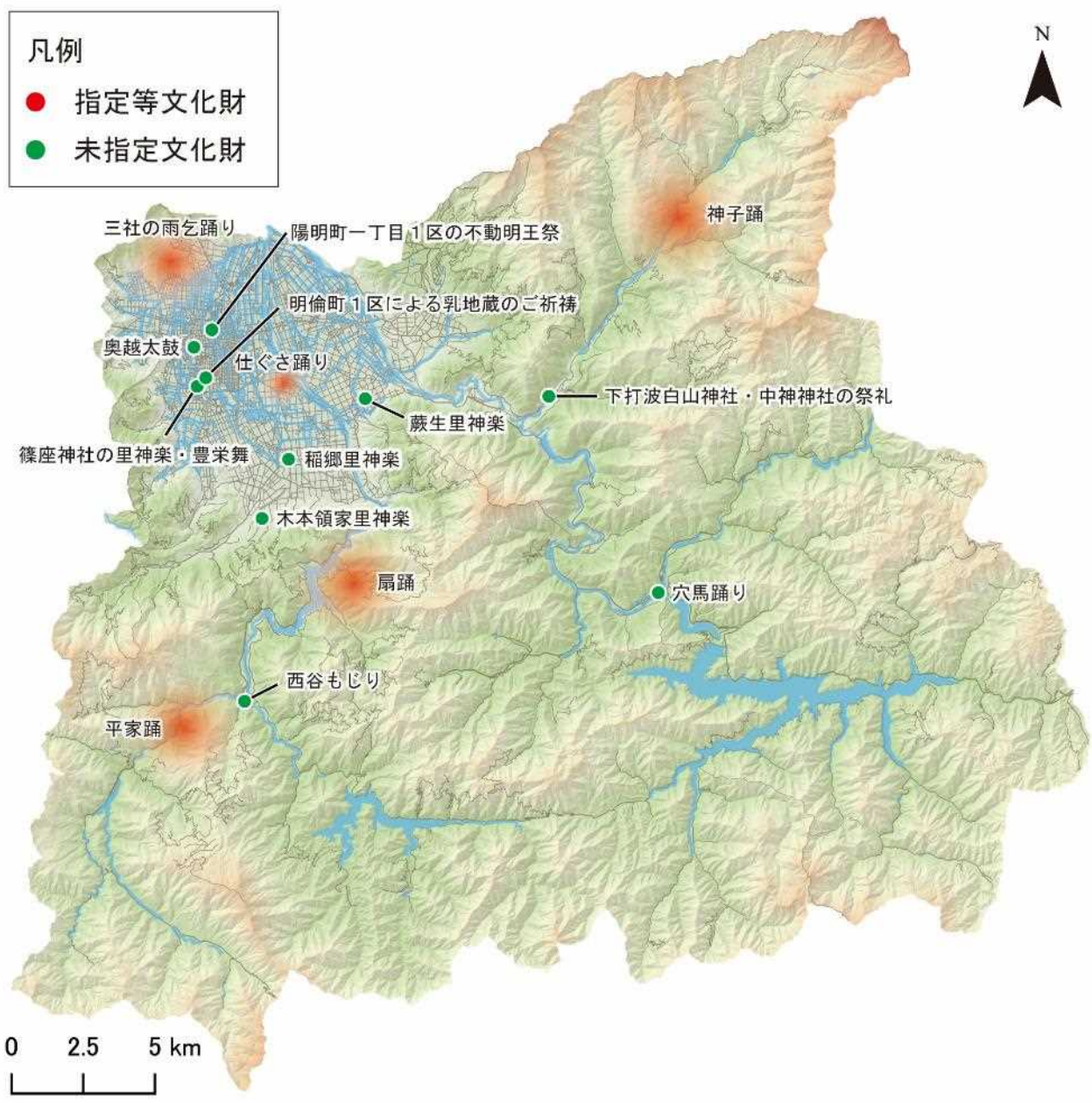
17 例えば、かすりを着て鋤を持って踊る小山鋤踊り（小山地区）や面谷の鉾山で踊
18 られた出鉾の祭り踊り（和泉地区）、粟の脱穀・精白をしながら白の周囲で歌われた
19 粟かち歌（五箇地区）、紙すきや農作業の動作を取り入れたしっちょいな（大野市全
20 域）は、日々の生活の中から生まれたものであり、笠鈴や飾り花を手を持って盆踊
21 りに踊った笠踊り（五箇地区）は、祝宴の席などで踊る「御前踊り」として祝祭の
22 芸能の面を持っています。

23 さらに、平安時代に始まったとされている篠座神社の里神楽（大野地区）を代表
24 とする里神楽は、人々の娯楽として演じられてきました。また、五箇地区の県指定
25 無形民俗文化財「神子踊」、西谷地区の県指定無形民俗文化財「平家踊」、上庄地区
26 の県指定無形民俗文化財「扇踊」は、平家の落人伝説が基となった芸能として知ら
27 れています。

28 これら芸能や歌謡のほかにも、寺社の境内で催された勧進相撲は人々の生活を潤
29 し、結び付きを強める娯楽として、親しまれる存在でした。また、祭礼時の縁日屋
30 台は、非日常の楽しみとされてきました。

31 日常的な娯楽としては、江戸時代には蓮光寺で同行の人々が日を定めて謡曲をう
32 たいあう「謡講」が開かれていました。また、女性たちの息抜きの場となった観音
講などもありました。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25



〈7〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

<p>【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照</p> <p>【県指定無形民俗】 神子踊、平家踊、扇踊</p> <p>【市指定無形民俗】 三社の雨乞踊り、仕ぐさ踊り</p> <p>【市指定彫刻】 鼻高面、猿楽の尉面</p> <p>【おのの遺産】 蕨生 里神楽、篠座神社の里神楽・豊栄舞、木本領家里神楽、稲郷里神楽、奥越太鼓、木本区初午だんご撒き、篠座神社の福もちまき、白山神社・中神社の祭礼、陽明町一丁目1区の不動明王祭、明倫町1区による乳地藏のご祈祷</p> <p>【未指定文化財】 乳地藏、しっちょいな、豊栄舞、西谷もじり、出鉦の祭り踊り、ねこの子踊り、笠踊り、栗かち歌、穴馬踊り、白山神社の祇園祭り、白山神社祭礼、あぶらや地藏尊まつり</p>

26

1 主要な構成要素の説明



県指定無形民俗文化財「神子踊」(五箇地区)

上打波の中洞、桜久保、木野の各地区で踊られてきたもので、七月踊、神代踊、お庭踊とも言われています。

起源には、「白山を開いた泰澄大師に披露した」や「平家の人々が都を慕って踊った」などの説があります。

「かんこ」の語源にも諸説がありますが、腰に下げた羯鼓(かつこ・かんこ、締め太鼓)で音頭を取ることを由来とする説が有力です。



篠座神社の里神楽

里神楽

宮廷の御神楽(みかぐら)に対し、民間で演じられる神楽を「里神楽」といいます。大野市内には4つの里神楽が伝えられています。

起源がもっとも古いのは篠座神社の里神楽(大野地区)で、平安時代と考えられています。一時途絶えていましたが、平成7年(1995)に復興し、以後は毎年実施されています。

天狗と春日明神がお酒を飲みかわしていると、獅子王が眠っていることに気づきます。獅子王が「大天狗」を「赤大根」と聞き間違えることで三者の仲は深まり、「獅子三番叟」「乱獅子」へと移っていきます。お酒を飲んで酔い潰れる姿や、滑稽なしぐさなどが、観衆の笑いを誘います。一時途絶えていましたが、平成7年(1995)から、再び毎年実施するようになりました。



稲郷里神楽

稲郷里神楽(上庄地区)はいつから始まったのか不明ですが、天狗面の裏に「延宝九年」と記されています。

春日明神が婿になっているなどの相違はありますが、篠座神社のものと同じ流れで演目が進められています。



蕨生里神楽

蕨生里神楽(富田地区)も篠座神社のものを手本にしたと言われていますが、最後の乱獅子では頭(カシラ)の役が大きく反り返る勇壮な姿を見せ、観衆から歓声があがります。



木本領家里神楽

木本領家里神楽(上庄地区)は明治38年(1905)に篠座神社のものを伝承しました。蕨生と同じく、最後の乱獅子での勇壮な姿は、観衆から歓声があがります。

1 <8> 自然の恵みと暮らし



写真 27 鬼谷川堰堤

■■ストーリー■■

10 大野市では古くから自然を生かした暮らしが育まれてきました。豊かな山林は、
11 古代より建築資材や燃料、食料、薬草などさまざまな資源をもたらし、木地製品、
12 ^{すきがみ}漉紙、木炭などの特産物が生まれました。

13 ^{おもだに}面谷では銅採掘が行われ、幕末における大野藩の財政立て直しの基盤となるとと
14 もに、近代の大野市の産業を支える重要な基盤でした。

15 明治時代には、市内で葉たばこや桑・麻などが栽培され、刻みたばこや羽二重な
16 どの製品が生産されるなどして、人々の生活を豊かにしてきました。

17 一方、戦後、^{くずりゅう}九頭竜川水系の水力を利用した発電が行われ、わが国の産業や生活
18 を支えるエネルギーを生み出しています。

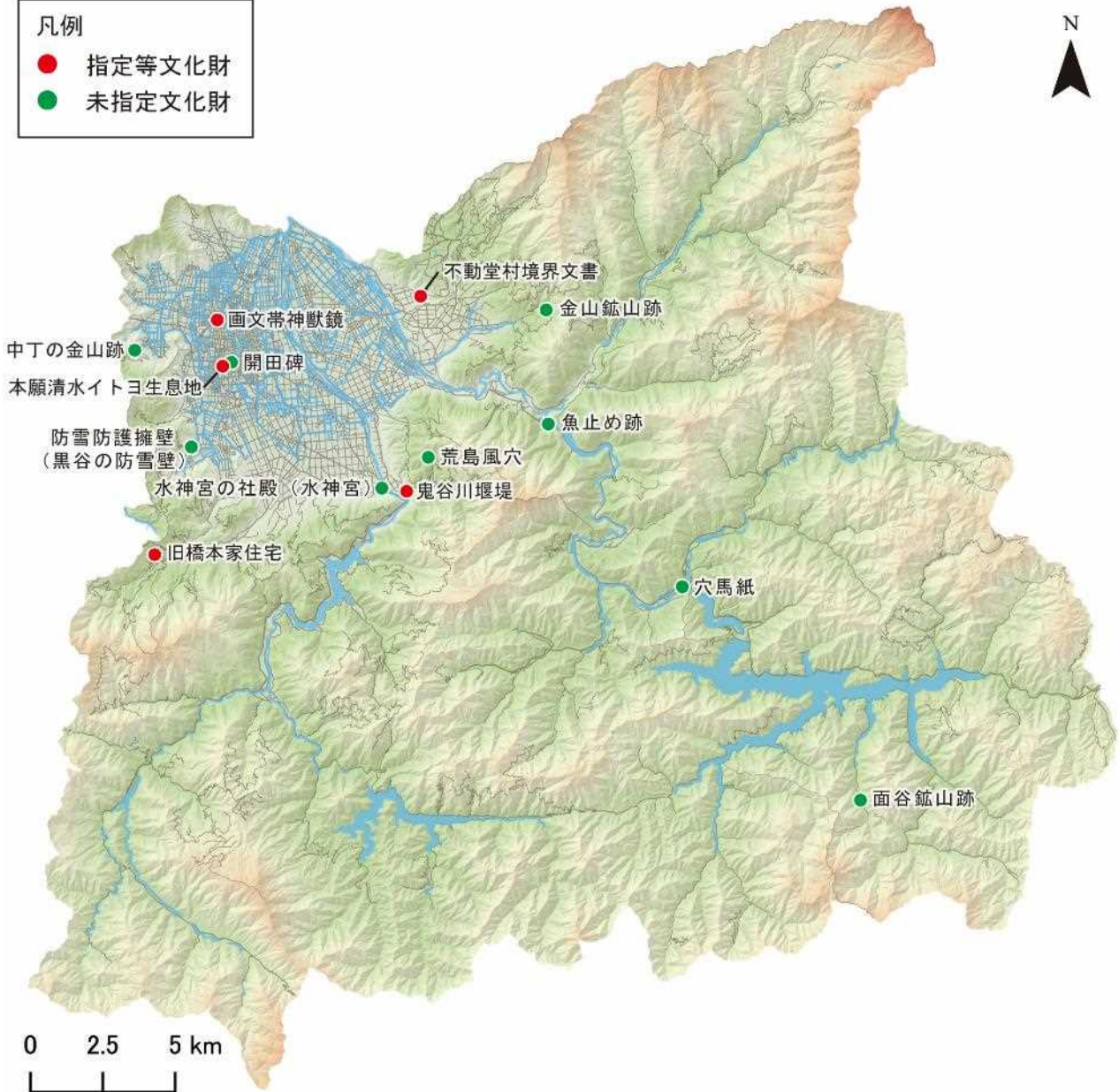
19 水に関しては、盆地内での豊かな水環境を生かした水文化が生まれました。町に
20 は「^{しょうず}清水」と呼ばれる豊富な湧水場が設けられ、日常生活に利用されていました。
21 ^{おしょうず}御清水は上流から順に、飲料水、野菜などの洗い場など、使い方が定められており、
22 水を大切に使う意識が表れています。

23 豊かな自然は人々に恵みを与える一方で、時に厳しさももたらしました。大野市
24 は全域が特別豪雪地帯に指定され、雪害に見舞われることもあるため、蔵の屋根を
25 支える頬杖や耐雪目的の民具などに暮らしの工夫をうかがうことができます。さら
26 に庭木を雪から守る「雪吊り」や保存用の^{つぐら}雪蔵なども、雪深い大野市の特長と言え
27 ます。雪崩を防ぐ防雪防護擁壁（黒谷の防雪壁）（^{おやま}小山地区）には、永遠の無事故と
28 安全を願った壁画が描かれています。

29 また、盆地では、豪雨によって洪水が度々発生し、その記録は、江戸時代から多
30 く残されています。城下町では、特に春先に、^{あらしまだけ}荒島岳から盆地内に吹き降ろす強風
31 と相まって大火も発生しました。当時の^{おおの}大野町の広域が焼失した明治21年(1888)
32 の大火を含め、江戸時代中期から明治時代にかけて、計8回の大火が起こりました。
33 大火を受け、町屋敷から武家屋敷への延焼を防ぐため、本町と七間の角から曹源寺
34 までの西側は「火除け地」の空き地となっていました。延焼を防ぐ袖壁が設けられ
た長屋は、まちなかの至る所で見ることができます。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

- 凡例
- 指定等文化財
 - 未指定文化財



〈 8 〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【国指定建造物】 旧橋本家住宅

【国指定天然記念物】 本願清水イトヨ生息地

【国登録建造物】 鬼谷川堰堤

【市指定彫刻】 備荒倉扁額

【市指定古文書など】 不動堂村境界文書、武田耕雲斎遺留日本地図

【市指定工芸品】 瑞花双鳳八稜鏡、画文帯神獸鏡

【おおの遺産】 穴馬紙

【未指定文化財】 中丁の金山跡、防雪防護擁壁（黒谷の防雪壁）、魚止め跡、水神社、開田碑、面谷鉱山跡、金山鉱山跡、荒島風穴、耐雪用具〔ばんば・ござ帽子・フカグツ・シャナクミ〕、雪蔵跡

25

1 主要な構成要素の説明



国指定重要文化財「旧橋本家住宅」(上庄地区)

江戸時代中期 18 世紀頃の建物です。間口六間奥行き四間、入母屋造り茅葺平入の建物で、越前Ⅱ型と呼ばれる形式に分類されます。

屋内中央には、炉の設けられた広さ約四間四方のニワ（土座）があります。ニワの左手には、板床を張った広さ八畳ほどの上ザシキと下ザシキがあり、上ザシキの前に、幅一間ほどの板敷きの部分が設けられています。

当時は個人の部屋はなく、ニワに藁やむしろを敷いて、家族と一緒に寝起きをしていました。

屋根はススキなどの植物で葺き、柱は近隣で伐採されるケヤキを使っています。家屋の補修を自分たちで行っていたため、材料もすぐに手に入るものを使っていました。



国登録有形文化財「鬼谷川堰堤」(上庄地区)

九頭竜川水系鬼谷川の下流部に建設された石造砂防堰堤です。砂防法が施行された当初である明治 30 年（1897）に築かれており、当時の堰堤の構造形式をよく示しています。

また、河床を安定させているため、周囲の緑の回復にも役立っています。



水神社の社殿 (上庄地区)

真名川は、五條方地籍堀兼で急に流れを北に変え平野部に流れ込むため、小字大ヶ市でしばしば堤防が決壊し、大野盆地全体に洪水の被害をもたらしました。

幕末にかかれた大野の地誌『深山木』にも「まな川ハ（略）いきほひあらく、ゆくべき川をバ、ゆかずして、かみしもの里も、ミなおしなかしつべし、されバ、いとたかきつゝみを、ながくつきて、これをとどむるを、ほりかねのつゝミとはいへり」（真名川は勢いが荒く、川筋を外れ上流の里も下流の里も押し流してしまうので、高い堤防を長く築き、洪水を留めた。これを「堀兼の堤」という。）と書かれており、いかに暴れ川だったかを知ることができます。

川を鎮めるため、大ヶ市に建てられたのが水神社です（現在は移転しています。）。



防雪防護擁壁（黒谷の防雪壁）（小山地区）

雪崩防護のために作られたもので、高さ 15.5m、全長は 300m あります。

昭和 2 年（1927）2 月、豪雪による雪崩で 3 軒が雪に流され多数の人が亡くなりました。昭和 56 年（1981）にも雪崩が起こり、その後集落を雪崩から守るための「防雪壁」が設置されました。

現在の擁壁は平成 8 年（1996）に設置された新しいものですが、その設置された経緯には、これまでの雪との戦いが物語られています。

1

2

3

1 <9> 食の営み



11 写真 28 上庄さといも

13 ■ ■ ストーリー ■ ■

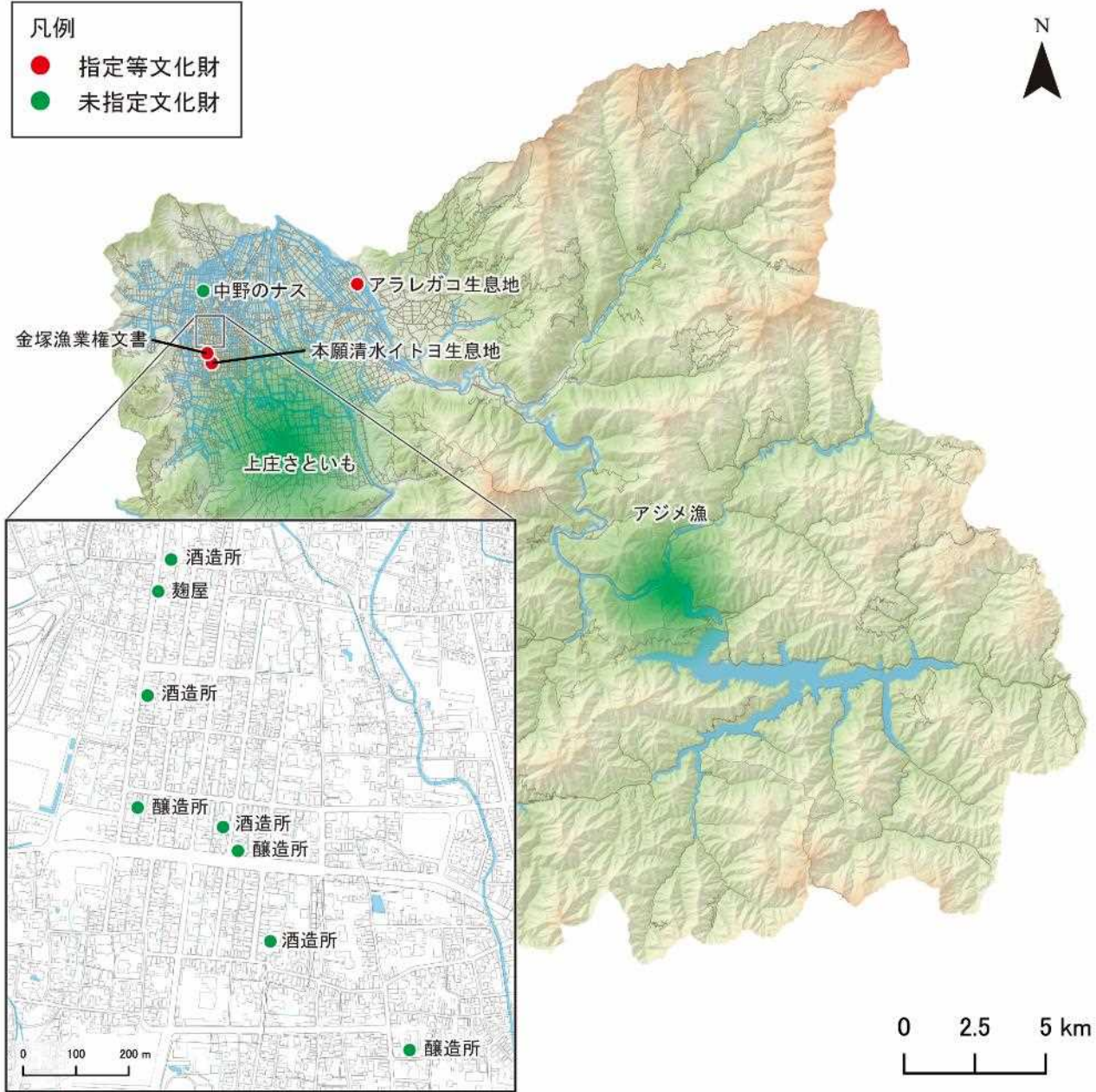
14 山間地が多く、冬季の降雪が多い大野市では、気候風土に合わせた生活が形作ら
15 れてきました。自然と密着した人々の生活は、特に食によく表れており、和泉地区
16 などの山地の集落では、小さめのジャガイモを煮て食べる「カッチンコウボ」、上部
17 は赤紫、下部は白色に分かれるカブで、漬物などにして食べる「穴馬カブラ」、味噌
18 を冬の間ボール状にして乾燥させた上で4月に洗い、塩水で桶に仕込む「穴馬味噌」、
19 ヤツガシラ芋の茎の酢漬け「スコ」などの郷土料理や食文化が残されています。

20 また、山間地では田畑が少ないため、米や麦の代わりに稗^{ひえ}を常食とすることがあ
21 ったり、長期保存のきく栃の実を使った栃団子^{かみしょう}（上庄地区）を救荒食料としたりし
22 ていました。また、ギンバリ（うるい）やワラビ、ゼンマイなどを乾燥させ、保存
23 食としていました。

24 盆地内では、豊富な湧水を生かした日本酒や醤油などの醸造、九頭竜川^{くずりゅう}などでは
25 アユやアジメドジョウやアラレガコの漁が行われ、甘露煮や唐揚げなどは郷土の味
26 となっています。このほかにも、半夏生鯖^{はげっしょさば}（大野市全域）は、江戸時代から続く大
27 野市の季節を表す食として、人々の生活に根付いた風習です。また、大野在来そば、
28 サトイモの煮っころがし、ナスのころ煮（汁気がなくなるまで水と醤油で煮しめる）
29 や田楽、でっち羊かんは市民に愛される郷土の味です。昔から各家庭や報恩講（ほ
30 んこさん）での料理としても親しまれています。近代に入り、ホルモン料理「とん
31 ちゃん」が食され、郷土料理となりました。さらに近年では、醤油カツ丼などの新
32 しい食も生まれています。醤油カツ丼は、平成に入ってから定番になったもので、
33 いまでは専用の醤油の開発なども行われています。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

- 凡例
- 指定等文化財
 - 未指定文化財



〈9〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】 ※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【国指定天然記念物】本願清水イトヨ生息地、アラレガコ生息地

【市指定古文書】走り川漁業権文書、金塚漁業権文書

【おおの遺産】アジメ漁

【未指定文化財】半夏生鯖、上庄さといも、中野のナス、大野在来そば、日本酒〔酒造所〕、味噌、醤油〔醸造所〕・麴〔麴屋〕、各清水など、とんちゃん、でっち羊かん、醤油カツ井

※市内での位置が定まらないものは、分布図に示していません。

26

1 主要な構成要素の説明

 	<p>半夏生鯖（大野市全域）</p> <p>夏至から数えて11日目を「半夏生」といいます。農家は、この日を畑仕事や水稻の田植えを終える目安としていました。</p> <p>大野では、この日に夏のスタミナ源として鯖を食べる風習があり、この鯖を「半夏生鯖」といいます。</p> <p>いつから始まったのかははっきりしませんが、安政元年（1855）に農家で半夏生鯖代の振る舞いがあったことが古文書に記録されています。また、別の古文書（年未詳）によれば、上級藩士が現在の越前町にあった飛地「西方領」から大量に鯖を仕入れていたようです。</p>
	<p>日本酒</p> <p>豊かな湧水に恵まれた大野では、美濃街道を中心として、現在の4軒以外にも多くの酒蔵が営まれていました。</p> <p>これら造り酒屋は、江戸時代には御用商人として藩の財政を支えていたほか、明治5年（1872）に洞雲寺の山の景観を守るために献金をするなど、大野の経済の一翼を担っていました。</p> <p>大野の地下水は硬度が45度から57度の軟水であり、醗酵の緩い、いわゆるソフトな酒造りに適していました。現在は酒造技術の発達により、甘口・辛口のいずれの酒も造り分けられるようになりました。</p>
	<p>でっち羊かん</p> <p>冬の風物詩として欠かせないお菓子で、名水に恵まれた大野を代表するお菓子です。</p> <p>名前の由来は諸説あります。</p> <ul style="list-style-type: none">・かつて奉公に出ていた丁稚が故郷への土産として安価な水羊羹を買った。・丁稚でも簡単に作ることができる。・三温糖より価格の下がる黒砂糖を使うことから、質が低いことを意味する。



上庄さといも（上庄地区）

「大野在来」と呼ばれる在来系統のサトイモです。肉質が非常に緻密で固くしまっていることから煮崩れしにくく、モチモチとした食感が特徴です。

こうした特徴は、当地が山から流れた土の堆積でできた扇状地であり、砂質壤土からなる排水良好な圃場であることや、盆地特有の昼夜の温度差が大きいことに起因します。

来歴は定かではなく、地域の各農家が自家用として受け継いできたため系統も雑多でしたが、昭和 47 年（1972）から「大野在来」の系統選抜が行われ、「上庄さといも」の系統が選抜されました。

その後も優良種芋の選抜方法を徹底するなど系統の維持管理が図られており、立地条件と気候が相まって「上庄さといも」の品種特性を高めています。

1

2

1 <10> 化石が物語る大地の歴史



写真 29 シュードニューケニセラス・ヨコヤマイの化石

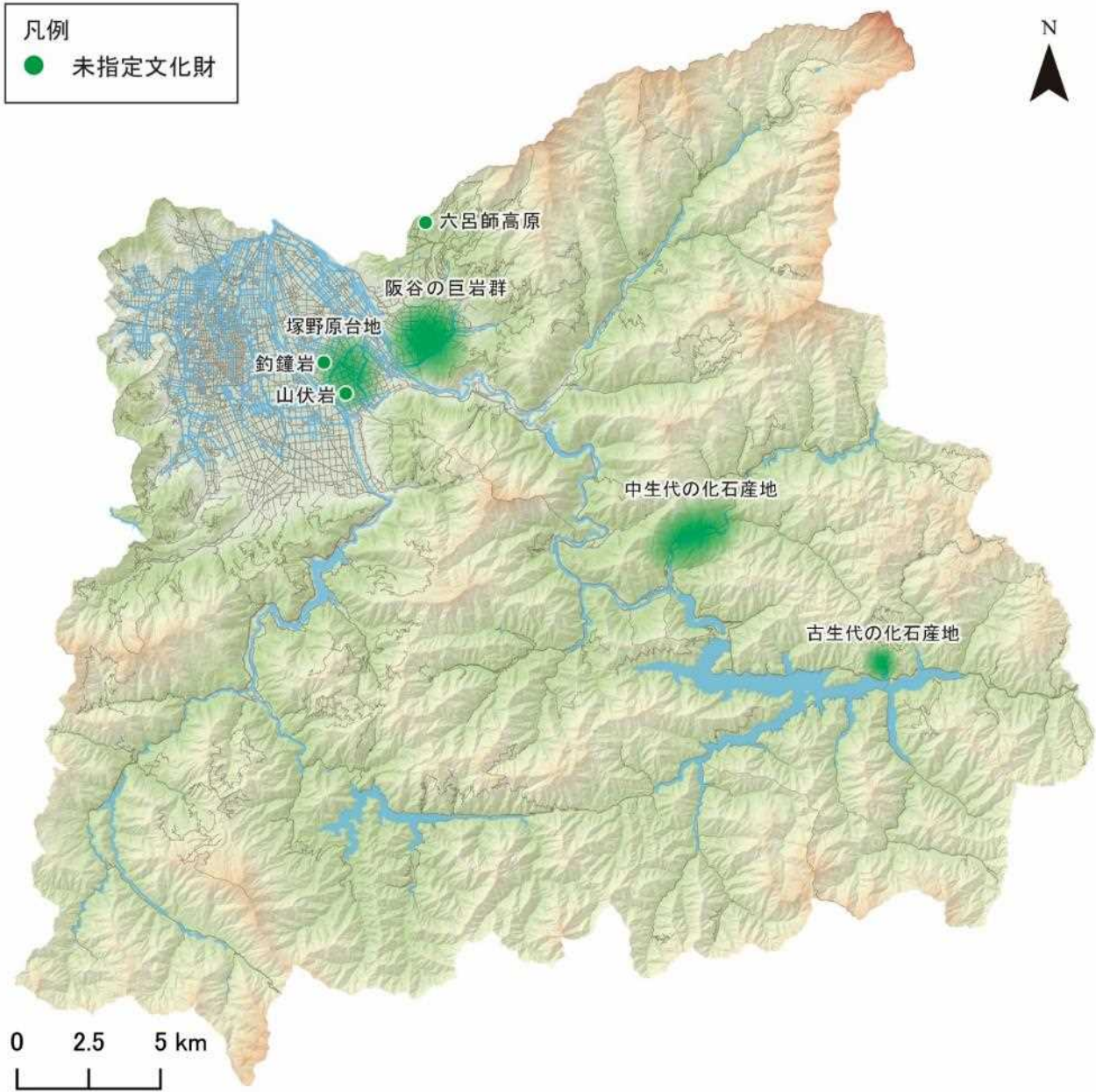
12 ■■ストーリー■■

13 大野盆地は、盆地周辺の山地が形成された後、断層運動で地盤が陥没した結果、
14 その原型が生まれました。その後、河川による土砂の堆積を中心に、^{きょうがだけ}経ヶ岳の噴火
15 による火砕泥流の堆積や河川による侵食も加わり、現在の盆地の地形が形成されて
16 いきました。盆地を囲む山地のうち、^{きょうがだけ}経ヶ岳、^{あらしまだけ}荒島岳、^{いぶりやま}飯降山は、大野市を代表す
17 る山です。東部の^{きょうがだけ}経ヶ岳はかつて火山であり、約 100 万年前に^{きょうがだけ}経ヶ岳が噴火した際
18 の火砕泥流によって形成されました。現在も、当時の泥流によって運ばれてきた溶
19 岩の巨大なブロックが^{さかだに}阪谷地区内に点在しています。また、^{さかだに}阪谷地区には、約 1 万
20 年前に^{きょうがだけ}経ヶ岳山頂部が崩壊した際に、^{つかはらの}六呂師高原や塚原野台地が形成され、流出し
21 た泥流によってできた泥丘も残っています。

22 ^{くずりゅう}九頭竜川上流部では、過去と現在の自然をつなぐさまざまな化石が産出していま
23 す。例えば、古生代の地層からは三葉虫やハチノスサンゴといった海の生物、ジュ
24 ラ紀の地層からはアンモナイトやイノセラムスといった海の生物、白亜紀の地層か
25 らはティラノサウルス類やイグアノドン類などの恐竜や陸生植物の化石が発見され
26 ています。

27 大野市では古生代から中生代にかけてのアジア大陸東縁に位置していた海と陸の
28 情報を記録する地層が広く分布しており、東アジアを代表する化石研究の拠点の一
29 つとなっています。特に、^{いずみ}和泉地区は全国有数のアンモナイトの化石の産出地とし
30 て知られています。国内初のジュラ紀アンモナイトの化石は、明治時代の初期に^{しもやま}下山
31 (^{いずみ}和泉地区)で発見されました。また、「シュードニューケニセラス・ヨコヤマイ」
32 と名付けられたアンモナイトは、大野市と中国チベットでのみ発見報告がある大変
33 珍しい種類です。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26



〈10〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

【主な構成文化財】※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照

【未指定文化財】山伏岩、釣鐘岩、阪谷の巨岩群、阪谷の泥流丘（流れ山）、六呂師高原、塚原野台地、古生代の化石と化石産地（白馬洞周辺）、中生代の化石と化石産地（皿貝～後野の石徹白川沿い）

※位置が特定できない「阪谷の泥流丘」は分布図に示していません。

27

1 主要な構成要素の説明

	<p>古生代の化石（三葉虫）</p> <p>昭和 51 年（1976）にエンクリヌルス類というシルル紀（約 4 億 4000 万年前）の三葉虫の尾の一部が大野市箱ヶ瀬の白馬洞近くで発見されました。三葉虫は、古生代の海に生息していた節足動物の仲間です。シルル紀の三葉虫は、日本列島の極限られた場所のみで産出する貴重なものです。</p>
	<p>中生代の化石（アンモナイト）</p> <p>シュードニューケニセラス・ヨコヤマイは、中期ジュラ紀の地層である九頭竜層群貝皿層（約 1 億 6600 万年前）から発見されているアンモナイトです。大野市を代表する種類の一つで、近年中国チベットからも本種とよく似たアンモナイトが発見されています。</p>
	<p>中生代の化石（恐竜）</p> <p>国内最古級のティラノサウルス類の歯は、平成 8 年（1996）に前期白亜紀の地層である手取層群伊月層（約 1 億 2700 万年前）から発見されました。この化石は、まだ小型だった初期のティラノサウルス類のものであり、日本のティラノサウルス類の起源を知る上で重要な資料となっています。</p>

2

3

1 <11> 山と盆地の豊かな自然環境



12 写真 30 荒島岳と里芋畑

14 ■ ■ ストーリー ■ ■

15 大野市は、大野盆地とその三方を囲む山地からなります。盆地内には九頭竜川、
16 真名川、清滝川、赤根川の4河川が平行して北に流れています。この山地や河川が
17 紡ぐ美しい自然環境は、大野固有の美しい自然景観を生み出すとともに、大野市の
18 歴史文化の母体です。

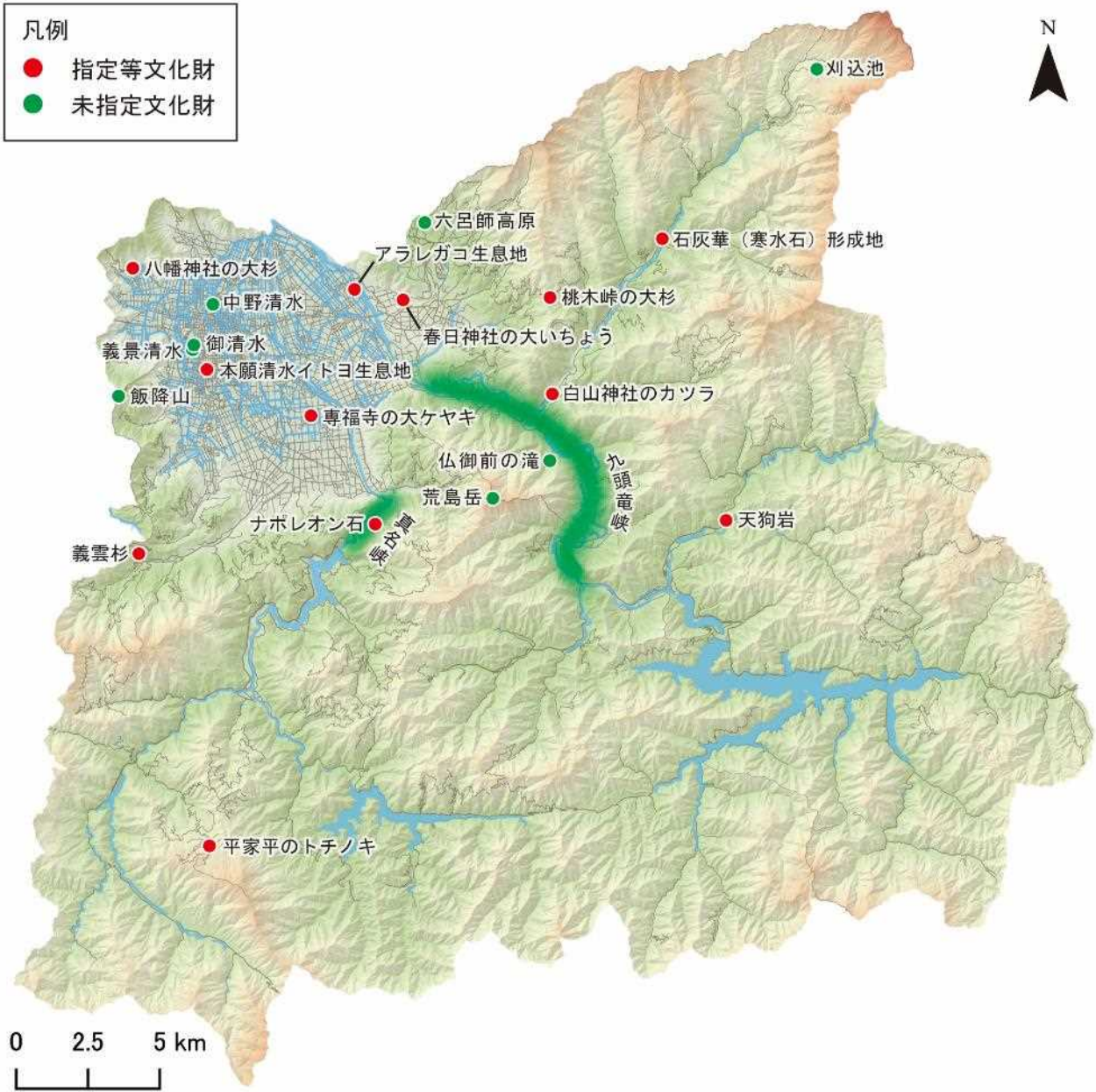
19 南東部の荒島岳は「大野富士」とも呼ばれ、日本百名山に選ばれています。かつ
20 ては別の巨大な山の一部でしたが、調査研究により西部の飯降山と同様に、長きに
21 わたる侵食や風化によって現在の山地地形となったことが分かっています。

22 大野市は、約1,900mの標高差のある地形を持つことから、幅広い垂直分布を持
23 つ豊かな植物相が認められ、植物学上重要な地域となっています。これらの地域は、
24 白山国立公園や奥越高原県立自然公園の自然公園に指定され、保護と適切な利用が
25 図られています。さらに、神社の神木などとして大木や多くの樹木が地域住民によ
26 り守られています。また、国特別天然記念物の（ニホン）カモシカ、国天然記念物
27 のイヌワシやヤマネのほか、多様な動物が生息する良好な環境があります。

28 盆地では、山地から浸透した地下水は、豊富に湧き出ており大野市では清水と呼
29 ばれています。本願清水（大野地区）の湧水には、淡水型のイトヨが生息し、国天
30 然記念物「本願清水イトヨ生息地」として大切に保護されています。また、アラレ
31 ガコが生息する九頭竜川も、「アラレガコ生息地」（阪谷・富田、下庄地区）として
32 国天然記念物に指定、保護されています。

大野の歴史文化は、このような豊かな自然環境の中で育まれてきました。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26




〈11〉の主な構成文化財の分布（背景図に基盤地図情報を使用）

<p>【主な構成文化財】※全ての構成文化財は、資料編 15 を参照</p> <p>【国指定天然記念物】専福寺の大ケヤキ、本願清水イトヨ生息地、アラレガコ生息地、イヌワシ、ヤマネ</p> <p>【国指定特別天然記念物】(ニホン) カモシカ ※指定名称は「カモシカ」</p> <p>【県指定天然記念物】白山神社のカツラ</p> <p>【市指定天然記念物】義雲杉、春日神社の大いちょう、ナポレオン石、桃木峠の大杉、八幡神社の大杉、石灰華(寒水石)形成地、平家平のトチノキ、天狗岩</p> <p>【未指定文化財】中野清水、義景清水、御清水、仏御前の滝、六呂師高原、九頭竜峽、真名峽、刈込池、飯降山、荒島岳</p>
--

27

1 主要な構成要素の説明

	<p>県指定天然記念物「白山神社のカツラ」(五箇地区)</p> <p>下打波白山神社の石鳥居近くの斜面に、神木として保護されています。根廻り約 15m、地上から約 2.8mのところまで主幹が多く支幹にわかれています。</p> <p>白山を開山した泰澄大師がこの地で食事をし、使った箸を地に刺したところ、このカツラに成長したとの伝説があります。</p>
	<p>御清水 (大野地区)</p> <p>かつて市内のいたるところで地下水が湧出していましたが、なかでも泉町の御清水は最も大きく整備されており、「大清水」と呼ばれていました。</p> <p>江戸時代、この辺りは大野藩の中級武士が住んでおり、生活用水として使っていたことから、「殿様清水」とも呼ばれていました。</p> <p>湧出部には「臼」という枠が設けられ、飲用にはここから汲みだしていたため、臼内は汚さないように細心の注意が払われていました。</p> <p>上流部から順に「飲食物の冷やし場」「野菜などの洗い場」「洗濯場」などに区切られて使われていました。</p>
	<p>国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」(大野地区)</p> <p>金森長近が大野城下町を整備した際に、元あった湧水地を浚渫して広げたとされており、城下町の水源となっています。</p> <p>名前の由来は、「浚渫に本願寺門徒が関わった」や「本願寺という名の寺院が近くに建っていた」などと言われています。</p> <p>淡水型イトヨが生息する南限地として、国の天然記念物に指定されており、大野の名水のシンボルとなっています。</p>
	<p>国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」(上庄地区)</p> <p>目通りの周囲約 10.5m、高さ約 8 mのケヤキ巨木です。</p> <p>国の天然記念物に指定された昭和 10 年(1935)には高さが 16mありましたが、その後の落雷により幹が裂けたため、8 mの高さで切られました。</p> <p>その後、幹が雨水の浸透によって腐朽が進行したため、昭和 59 年(1984)に屋根が設けられています。</p> <p>樹幹のところどころに穴やコブがある老木ですが、樹勢はなお盛んです。</p>

	<p>市指定天然記念物「平家平のトチノキ」(西谷地区)</p> <p>高さ約 26m、幹周り約 7 m、樹齢は 400 年以上と推定される巨木です。</p> <p>トチノキは木目が美しいことから家具材として伐採されることが多いですが、旧西谷村では栃の実が食用になることを重視し、区民同士で伐採を禁じていました。</p>
	<p>国指定天然記念物「アラレガコ生息地」(阪谷、富田、下庄地区)</p> <p>カサゴ目カジカ科の淡水魚です。</p> <p>通常、川底に石のようにじっといますが、産卵のために 11 月末から 12 月頃、川を下る習性があります。「アラレガコ」とは成熟卵を持った白い腹を上にし、霰に打たれながら川を下るといふ伝承に由来する名前で、標準和名はカマキリといいます。鰓蓋に鎌のような鋭いトゲがあり、アユをひっかけて食べるという伝承からアユカケとも呼ばれています。</p> <p>かつて、大野市から福井市にかけての九頭竜川流域ではアラレガコ漁が有名でしたが、近年は生息域の環境悪化により、生息数が減少しています。</p>

1

2

1 第3節 関連文化財群の保存・活用に関する措置

2 大野市の関連文化財群とそのストーリーは、大野ならではの歴史文化の特徴を示してい
3 ます。関連文化財群を有効にまちづくりに活用することで、文化財の持つ人と人、人と地
4 域をつなぐ力を大きく拡張することができます。

5 これまでにも大野市では、城下町に残る伝統的町家・土蔵や町並み、清水^{しょうず}などを生かし、
6 良好な景観形成に向けたまちづくりに取り組んできました。今後も、これまでの取り組み
7 を継続させつつ、文化財を守り育て、魅力を高めていくまちづくりへとさらに発展させて
8 いく必要があります。

9 そこで本節では、関連文化財群ごとに、保存・活用に関する措置（具体的な事業と事業
10 主体、事業スケジュールなど）を設定します（関連文化財群に対応する措置の一覧は、P134
11 ～135表27を参照。）。

12 関連文化財群全体に共通することとして、各関連文化財群を構成する文化財について、
13 現状を把握するための調査を進め、情報収集と保存・活用に向けた検討を行います。また、
14 大野市の歴史や文化について理解いただき文化財保護意識の醸成が図れるよう、関連文化
15 財群ごとのストーリーを基にした郷土学習を学校教育ならびに社会教育の各場面で進めて
16 いくとともに、観光やまちづくりに活用できるよう関係部局及び関係機関などと連携した
17 取り組みを進めます。

18

19 ※各方針に対応する措置の一覧の「事業主体」欄の凡例は、以下のとおりです。

20

21 凡例 市民：市民、地域住民、事業者
22 所有者など：所有者、保存団体、管理団体
23 教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関
24 行政：国・県・市

25

26

27 関連文化財群〈1〉原始・古代の人々の営み

28

29 本関連文化財群は、市内の縄文時代から奈良・平安時代までの遺跡と、遺跡から出土す
30 る土器や石器などの遺物を合わせた埋蔵文化財を主体としています。埋蔵文化財は土地に
31 埋蔵されており、開発行為により一度破壊されると二度と元に戻らないことから、いかに
32 開発事業と調整し、保護していくかが大きな課題となっており、市民や開発事業者などへ
33 の周知が重要であり、その重要性を認識してもらう必要があります。

34 周知の具体的な方法として、遺跡の位置を示した遺跡地図の公開や、発掘調査時の現地
35 説明会の開催、出土遺物の展示、文化財標柱の設置、調査報告書の作成などを行い、市内
36 の埋蔵文化財について市民などの理解を深めていきます。特に、重要な価値を持つと見ら
37 れる遺跡や遺物については、文化財の指定や国の登録有形文化財への登録に向けた取り組

1 みを進めます。

2

3 **表 16 関連文化財群〈1〉に対応する措置の一覧**

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
遺跡や出土遺物の調査の実施	遺跡の有無確認を行うとともに、開発行為の影響が遺跡に及ぶ場合は、発掘調査を実施します。また出土遺物は博物館で活用できるよう調査研究を進めます。	行政	◎	○
遺跡調査結果の周知	遺跡地図を公開し、埋蔵文化財の場所や時代、遺跡の内容、過去の発掘の有無などを周知します。	行政	○	○

4

5

6 **関連文化財群〈2〉町や村に暮らす人々の交流**

7

8 大野市は古くから北陸地方や東海地方、近畿地方など、さまざまな地域との交流を通し
9 て独自の文化を育んできました。なかでも、越前と美濃や飛騨を結ぶ美濃街道、また、そ
10 のほかの道を通して、物資や文化が運ばれてきました。

11 これらの道沿いには、道標や峠の仏像などが今も残されていることから、ルート調査を
12 行い、ルートと関連する文化財の把握を行います。

13 山と里の歴史と文化を語る上で重要な民俗芸能や生業なりわいに関する技術や道具などについ
14 ては、聞き取りなどによる情報収集や、録音・録画などの記録化を進めるとともに、記録
15 化したデータを基に調査研究を進め、その保存・継承を図ります。

16 町と村に暮らす人々の交流を示す文化財については、おおの遺産「七間朝市」(大野地区)
17 を含む商店街のイベントやおおの城まつり、大野市総合文化祭などを通して、市民はもと
18 より県内外の人々に大野市の歴史と文化について知ってもらう取り組みを進めていきます。

19

20 **表 17 関連文化財群〈2〉に対応する措置の一覧**

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
市民が民俗芸能に参加できる場所づくり	おおの城まつりを通して、民俗芸能の継承を兼ねたイベントや踊り教室を実施します。	所有者など 行政	○	○
民俗芸能を発表する機会の創出	大野市総合文化祭の開催などを通して、民俗芸能を発表する機会を設けます。	所有者など 行政	○	○
城下町のにぎわい創出への支援	城下町の各通りで行うイベントを支援し、魅力ある商店街づくりを促進するとともに、来訪者数の増加と、回遊性と売上の向上を図ります。	市民 所有者など 行政	○	○

歴史の道調査の実施	美濃街道をはじめとする、古来から近代まで往来のあった主要なルートについて調査します。	行政	◎	○
-----------	--	----	---	---

1
2
3
4

関連文化財群<3>華開く「進取の気象」

5 市民や来訪者に本関連文化財群に関する歴史的背景や価値、魅力などの理解を図るため、
6 大野藩が翻訳出版した書籍や、蝦夷地探検などで活躍した洋式帆船「大野丸」、大野藩主・
7 土井利忠としただの下で藩政改革に活躍した藩士や医師などに関する資料、藩主隠居所や国登録有
8 形文化財「旧内山家住宅」(大野地区)の各建造物などの資料について調査し、文化財とし
9 ての価値が明らかになったものについては、一般公開していきます。

10 あわせて、「大野市教育理念」でうたわれている「進取の気象」や「明倫の心」が、今後
11 も市民に継承されるよう、生涯学習や学校教育における啓発活動について、関係部局や関
12 係機関と連携し推進します。

13

表 18 関連文化財群<3>に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)	
			令和 4～7	令和 8～12
国登録有形文化財「旧内山家住宅」の一般公開	幕末大野藩の藩政改革に尽力した家老の内山良休ゆかりの国登録有形文化財「旧内山家住宅」を一般公開します。	行政	○	○
大野藩に関する資料調査の実施	幕末大野藩が全国に先駆けて取り組んだ洋学について、全国の蘭学史との比較研究を行います。	行政	◎	○
博物館施設における資料の収集・保管(幕末資料)	歴史博物館において、幕末の藩政改革に関連する資料を収集・保管・展示します。	行政	○	○
博物館資料の展示品の解説(藩政改革)	歴史博物館の展示資料について解説を行い、幕末期の大野藩の活躍を周知します。	行政	○	○

15
16

関連文化財群<4>戦乱の時代と大野盆地の城郭群

18

19 天空の城として、近年、全国的に知られるようになった「越前大野城」の築城に先駆け、
20 市内にはいくつもの城館が造られました。越前の戦国大名、朝倉氏の居城として一乗谷城
21 に次ぐ規模の戌山城いぬやまじょうや、応仁の乱の発端の一つとなった斯波氏しばの家督争いの舞台となった
22 土橋城などの遺構は、今も確認することができます。

23 市指定史跡「戌山城跡いぬやまじょう」(乾側地区いぬいかわ)は、登山道の草刈りと登山道整備を行い、遺跡の保
24 護と来訪者の安全確保を図っています。また、市指定史跡「朝倉義景墓よしかげ」(大野地区)は、

1 定期的に清掃を行うとともに隣接する休憩所にパンフレットを設置し、文化財の価値の周
 2 知を図っています。今後も継続して文化財の保護と周知を図っていきます。

3 さらに、市民や来訪者などに本関連文化財群に関する価値やそのストーリーに興味を持
 4 ってもらえるよう、室町時代に大野で勢力を持った^{しほ}斯波氏や朝倉氏、金森氏に関する資料
 5 の調査研究を行います。また、市指定史跡「^{いぬやまじょう}戌山城址」（^{いぬいかわ}乾側地区）、市指定史跡「^{こやまじょう}小山城
 6 址」（^{かみしょう}上庄地区）をはじめとする市内に残る大小さまざまな城館跡についても城跡の確認調
 7 査を行い、博物館における展示やホームページなどでの周知を行います。

8

9 **表 19 関連文化財群〈4〉に対応する措置の一覧**

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
城郭に関する調査 の実施	全国の自治体や団体と協力し、調査や交 流を行います。	行政	◎	○
城館跡の調査の実 施	市内に残る城や館跡、それぞれの縄張り などについての調査を行います。	行政	◎	○
城郭に関する調査 結果の周知	城跡の調査結果をホームページやパンフ レットなどで広く周知します。	市民 所有者など 行政	○	◎

10

11

12 関連文化財群<5>大野城の築城と城下町の形成・発展

13

14 県指定史跡「越前大野城跡」（大野地区）や城下町は、全国から多くの方々が訪れる大野
 15 市の観光スポットで、越前大野城は、市民にとって「越前おおの」を代表するシンボルの
 16 一つとなっています。

17 これらの文化財を、より良好な状態で次世代に保存・継承していく取り組みが必要です。
 18 越前大野城については、山頂部に残る野面積みの石垣の劣化に対する保存整備や、遊歩道
 19 の整備などについて検討していく必要があります。越前大野城跡の保存整備に当たっては、
 20 県教育委員会と協議し、文化財の価値を損ねないような整備を行います。城下町では、歴
 21 史的な町なみの保全に向け、継続して歴史的建造物の保存や景観の保全に取り組みます。

22 大野城外堀の土居を転用した築山が庭園に残る市指定史跡「田村又左衛門家屋敷」（大野
 23 地区）は、大野藩上級武家屋敷の様相を留める貴重な遺構であり、また国登録有形文化財
 24 「平成大野屋本店」（大野地区）の各建造物は、明治時代から昭和時代にかけて絹織物の生
 25 産地として発展した歴史を代表する建造物です。かつての「大野治安裁判所」（後に「大野
 26 区裁判所」に改称）である市指定文化財「大野市民俗資料館」（大野地区）は、和洋が混在
 27 した建築様式として近代大野の発展を物語っています。これら大野市の貴重な文化財を適
 28 切に保存・活用していけるよう取り組みます。

29

1 表 20 関連文化財群〈5〉に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
県指定史跡「越前大野城跡」の調査と保存整備	県指定史跡「越前大野城跡」の石垣や遺構の調査を行い、傷んでいる箇所については修復を行います。	行政	◎	◎
越前大野城の維持管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。	所有者など 行政	◎	○
越前大野城の情報発信	天空の城として知られる越前大野城を観光コンテンツとして活用するため、城の情報や城主とのゆかりの地などを来訪者に情報発信します。	市民 行政	○	○
歴史文化施設の周遊イベントの開催	歴史博物館や民俗資料館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、本願清水イトヨの里、COCONO アートプレイスなど、市内の文化施設の周遊促進を図るための事業を実施します。	行政	○	○
市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」の一般公開	大野藩の上級武士であった市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」を一般公開します。	行政	○	○
まちなか観光施設への誘客	御清水や新堀清水などのまちなか観光施設への誘客を行います。	市民 所有者など 行政	○	○
七間朝市への誘客	「おおの遺産」である七間朝市の魅力向上を図り、朝市への誘客を行います。	市民 所有者など 行政	○	○

2

3

4 関連文化財群〈6〉地域に息づく多様な信仰形態

5

6 大野市は山地と盆地において、それぞれに特色ある歴史や文化を形成してきており、そ
7 の代表的なものとして多様な信仰形態があります。

8 特に白山信仰は、市内において色濃くその影響が残っています。大野市における白山信
9 仰の広がりやその影響について、市民や来訪者に理解してもらえるよう、関連する美術工
10 芸品や史料などについて博物館で収集・保管、調査研究、展示・公開を進めていきます。
11 また、白山信仰の開祖・泰澄^{たいちよう}の伝承がある県指定天然記念物「白山神社のカツラ」（五箇地
12 区）や市指定天然記念物「桃木峠^{もものきとうげ}の大杉」（五箇地区）については、その由来や、信仰の対
13 象として守り伝えられてきたことなどを情報発信し、文化財の理解につなげます。

14 そのほか、地域で守り伝えられてきた多様な信仰を表す祭礼行事は、大野市の歴史文化
15 を理解する上で大切なものであるため、適切に文化財の保存や活用を進めていきます。

16

17

1 表 21 関連文化財群〈6〉に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
仏像・神像調査の実施	市内の仏像や神像、信仰の対象となった遺跡や建築物などを対象に調査を行います。	行政	◎	○
仏像・神像調査結果の周知	調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。	所有者など 行政	○	◎

2

3

4 関連文化財群〈7〉受け継がれる芸能

5

6 大野市の歴史文化を物語る伝統芸能には、白山麓で踊り継がれてきた県指定無形民俗文化財「神子踊」（五箇地区）や、平家の落人を由来とする県指定無形民俗文化財「平家踊」（西谷地区）などがあり、地域で大切に守り伝えられてきました。しかし、現在、担い手の高齢化や減少などにより、民俗芸能の保存・継承への取り組みが課題となっています。

10 大野市では、「おおの遺産」の認証制度を設けるとともに、映像による記録化を進め、保存団体の活動を支援しています。今後も保存・継承に向けた活動を支援するとともに、特に重要な民俗芸能については、文化財指定や国の有形民俗文化財の登録に向けた取り組みを進めていきます。

14 さらに、市民の民俗芸能の保護についての理解が進むよう、行事やイベントなどの機会を利用した披露の場の提供や、担い手育成活動を進めます。

16

17 表 22 関連文化財群〈7〉に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
「おおの遺産」の伝承活動への支援	「おおの遺産」認証団体の保存・継承に向けた活動に対して支援します。	所有者など 行政	○	○
「おおの遺産」の情報発信	認証を受けた「おおの遺産」をインターネットを活用して広報します。	所有者など 行政	○	○
「おおの遺産」候補の調査の実施	結の故郷伝統文化伝承条例に基づく「おおの遺産」の認証候補となる伝統芸能や年中行事、風習など伝統文化について調査を行います。	所有者など 行政	◎	○
無形民俗文化財の記録保存	市内に伝わる踊りや歌、祭礼、神事などを録音・録画したものをアーカイブ化し、公開します。	行政	◎	○
無形民俗文化財関係団体の交流会の実施	無形民俗文化財の保存団体の代表者による、今後の保存・継承に向けた意見交換会を開催します。	行政	◎	○

18

19

1 関連文化財群<8>自然の恵みと暮らし

2

3 山地と盆地、雪深い土地柄、豊潤な水など、大野市に住む人々は地形や気候に根付いた
4 暮らしをしてきました。しかしながら、生活様式の変化や山間部から平地部への移住など
5 により、少しずつ変化もしてきています。

6 大野市の地形や風土の中で育まれてきた暮らしの文化の保存・活用に向けて、大野市地
7 域計画作成に当たり収集した文化財データベースを基に、さらに調査を進めます。

8 豪雪地帯における江戸時代中期の山村の暮らしを物語る国指定重要文化財「旧橋本家住
9 宅」(上庄地区)については、今後も年間を通して囲炉裏で火を焚くなど、維持管理に努め
10 るとともに、建物とそこに暮らした生活なども現地において解説するなど、さまざまな観
11 点から文化財の保存と活用を図ります。

12 また、既に途絶えてしまった生業については、関係の資料の収集・保管、調査研究、展
13 示・公開を博物館を中心に進めていきます。

14

15 表 23 関連文化財群<8>に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)	
			令和 4～7	令和 8～12
国指定重要文化財「旧橋本家住宅」の維持管理	国指定重要文化財「旧橋本家住宅」の良好な状態での保存を図ります。茅葺き屋根と建物の梁や柱を湿気や虫害などから守るため、年間を通じた囲炉裏への火入れや、災害時の対応、一般公開などを行います。	行政	○	○
暮らしに関する資料の展示	大野市民俗資料館では、まちや村での暮らしに関する道具などの有形民俗文化財を展示します。	行政	○	○
民俗資料の調査の実施	既に無住となった地域の暮らしや習わしについて、聞き取りや文献などでの記録保存を行います。	行政	○	◎

16

17

18 関連文化財群<9>食の営み

19

20 暮らしを物語るものとして「衣」「住」のほかに「食」があります。

21 閉鎖された山間部に位置する大野市では、長期間の保存が可能な伝統的な発酵食や伝統
22 食が今も伝えられています。

23 大野市では、学校給食でおおの遺産「アジメ漁」(和泉地区)で収穫されたアジメドジョ
24 ウを使った料理やサトイモの茎を使ったスコ(和泉地区)と呼ばれる料理など、児童・生
25 徒に郷土の食材を使用した郷土料理を提供してきました。このような郷土料理に触れる機

1 会を、今後も継続して行います。

2 また、昔ながらの調理道具や食事道具は、大野市民俗資料館にて、収集・保管、調査研
3 究、展示・公開を進めるとともに、食に関する^{なりわい}生業などの「おおの遺産」への認証を行
4 います。

5 大野市の歴史文化の一端を示す伝統食の保存・活用については、^{はげっしよきぼ}半夏生鯖(大野市全域)
6 は既にイベントなどを通して普及啓発が図られていますが、そのほかの伝統食についても、
7 普及啓発や掘り起こしなどについて、関係部局と連携して検討していきます。

8

9 **表 24 関連文化財群〈9〉に対応する措置の一覧**

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)	
			令和 4～7	令和 8～12
食に関連した道具 などの展示	大野市民俗資料館では、食に関係する道 具などの有形民俗文化財を展示します。	行政	○	○
伝統食を体感でき るイベントの実施	地元食材の提供や食文化の普及と継承を 行うイベントを実施します。	市民 所有者など 行政	○	○
伝統食の調査の実 施	伝統食を対象に、材料や作り方、保存方法 などについて調査し、発信します。	行政	◎	○
食文化のブランド 化と地域でのふる まい	食文化のブランド化を図り、観光資源と して提供をできる体制を充実させる。	市民 行政	◎	○

10

11

12 関連文化財群<10>化石が物語る大地の歴史

13

14 大野市には、古生代からの地層が広く分布しており、新種の化石や恐竜化石など全国的
15 に貴重な化石が発掘され、今後も新たな発見が期待されています。

16 大野市は、日本で初めてアンモナイト化石が発見された場所であり、これまでもさまざ
17 まなアンモナイトの化石が発見されていることから、アンモナイトについて調査し、図録
18 を刊行しています。今後も調査を継続して、アンモナイトをはじめとする古生代から中生
19 代にかけての化石について調査研究を進めていきます。

20 また、福井県内では、恐竜化石などを活用した取り組みが進められています。このこと
21 から、大野市でも恐竜化石をはじめとするさまざまな化石について福井県立恐竜博物館や
22 関係機関と連携して、地質学のフィールドとしての調査研究と、保存・活用の取り組みを
23 実施していきます。

24 そのほか、^{いずみ}和泉地区にある大野市化石発掘体験センターでの化石発掘体験事業や^{いずみ}和泉郷
25 土資料館での展示などにより、市民や来訪者にその価値と魅力を伝えていきます。

26 また、調査研究の成果は、企画展や特別展を通して、市民や来訪者に分かりやすく情報

1 発信するとともに、ニュース性があるものについては広く広報していきます。また、化石
 2 の盗掘や乱獲によって学術的にも貴重な化石が、持ち去られたり損傷したりしないようパ
 3 トロールを実施し、産出地の保護にも務めていきます。

4

5 **表 25 関連文化財群〈10〉に対応する措置の一覧**

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
化石の情報発信拠点の整備	化石の調査成果の情報発信を行う拠点として和泉郷土資料館を整備します。	行政	◎	○
地層と化石の調査成果の発表	地層と化石の調査研究成果を企画展や講座などで発表します。また化石や地層の見学会を実施します。	教育・研究機関 行政	○	○
化石発掘体験センターの活用	地元で産出された岩石を使った化石の発掘体験ができる施設「化石発掘体験センターHOROSSA!」の活用を図ります。	行政	○	○
地層と化石の調査研究	地層と化石について、調査研究を進めます。調査に当たっては福井県立恐竜博物館をはじめ関係機関と共同で進めます。	教育・研究機関 行政	○	○
地層や化石の保護パトロールの実施	化石の無断採取の防止を目的とした化石保護監視員によるパトロールを実施します。	市民 行政	○	○

6

7

8 **関連文化財群〈11〉山と盆地の豊かな自然環境**

9

10 大野市の地形は、盆地とそれ以外の山地や河川、高原などで構成されており、この特徴
 11 ある地形は、豊かな自然環境をもたらしてくれています。

12 大野市では、これまでもこの自然環境とそれに育まれてきた天然記念物などの文化財を
 13 保護してきました。淡水型イトヨの保護については、国指定天然記念物「本願清水イトヨ
 14 生息地」（大野地区）において、イトヨとイトヨが生息できる水環境の保護・保全に取り組
 15 んでいます。本願清水（大野地区）に隣接する学習施設「本願清水イトヨの里」では、イ
 16 トヨの調査研究や、児童・生徒に対する学校の学習支援、講座や企画展による普及活動な
 17 どを行っており、今後も継続して取り組んでいきます。

18 また、国指定天然記念物（ニホン）カモシカの保護区域として白山山系と伊吹比良山系
 19 の2カ所が設定されています。これまで年1回の通常調査に加え、10年ごとに実施される
 20 特別調査に対する調査協力を行ってきました。今後も継続して調査に協力し、カモシカの
 21 保護に取り組みます。

22 近年、星空保護の活動を進めており、世界ダークスカイ協会の星空保護区への認定や星
 23 空保護の全国大会などを実施し、豊かな自然環境の保全について普及啓発を図ります。

24 大野市の豊かな自然を次世代に継承するため博物館や生涯学習センター、公民館などで、

1 市民を対象とする普及啓発活動を進めていきます。

2

3 表 26 関連文化財群〈11〉に対応する措置の一覧

事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間（年度）	
			令和 4～7	令和 8～12
国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境整備	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の整備と学習施設の展示リニューアルを行います。	行政	◎	○
国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの保護活動の実施	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の保護活動を小・中学生の協力を得て実施することで、文化財を身近に感じ、保護の必要性を知る機会とします。	市民 教育・研究機関 行政	○	○
本願清水イトヨの里の管理運営	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の学習施設である本願清水イトヨの里において資料の展示や企画展を開催します。	行政	○	○
星空保護区の認定に向けた取り組み	星空保護区の認定に向けた取り組みを進めます。	市民 教育・研究機関 行政	◎	
日本一の星空情報の発信	星空保護区の認定を受け、六呂師高原の日本一の星空を観光資源として活用します。	市民 行政	◎	○
自然や産地を体感できるイベントの実施	和泉地区の自然や文化、農林産物が体感できるイベントを実施します。	市民 行政	○	○
自然体験できる施設の整備	自然を体感できる仏御前の滝・麻那姫湖青少年旅行村などの施設や麻那姫像を維持管理します。	行政	○	○
自然災害の記録調査の実施	過去に起きた自然災害に関する記録とそれに関係する言い伝えや備えなどについて調査します。	行政	○	○

4

5

表 27-1 関連文化財群の措置一覧

【事業主体】市民：市民、地域住民、事業者／所有者など：所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関／行政：国・県・市

まちの将来像	教育理念 教育に関する大綱	基本理念 (将来像)	関連文化財群に対応する措置					該当する関連文化財群														
			No.	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)		<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	<6>	<7>	<8>	<9>	<10>	<11>			
							前半 (R4~R7)	後半 (R8~R12)														
将来像	第六次大野市 総合計画	教育理念 教育に関する大綱	基本理念 (将来像)	関連文化財群に対応する措置					該当する関連文化財群													
結住地人 のみ域が ま続がつ ちけつな が いたが り				文化財を生かした人づくり ・まちづくり	大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、人づくり・まちづくりに生か	明倫の心を重んじて育てよう大野人	1 遺跡や出土遺物の調査の実施	遺跡の有無確認を行うとともに、開発行為の影響が遺跡に及ぶ場合は、発掘調査を実施します。また出土遺物は博物館で活用できるよう調査研究を進めます。	行政	◎	○	○										
基本目標				2 遺跡調査結果の周知	遺跡地図を公開し、埋蔵文化財の場所や時代、遺跡の内容、過去の発掘の有無などを周知します。	行政	○	○	○													
輝くまち				3 市民が民俗芸能に参加できる場所づくり	おおの城まつりを通して、民俗芸能の継承を兼ねたイベントや踊り教室を実施します。	所有者など 行政	○	○		○												
地域みんな でつな が り				4 民俗芸能を発表する機会の創出	大野市総合文化祭の開催などを通して、民俗芸能を発表する機会を設けます。	所有者など 行政	○	○		○												
目指す姿				5 城下町のにぎわい創出への支援	城下町の各通りで行うイベントを支援し、魅力ある商店街づくりを促進するとともに、来訪者数の増加と、回遊性と売上の向上を図ります。	市民 所有者など 行政	○	○		○												
発信されているまち				6 歴史の道調査の実施	美濃街道をはじめとする、古来から近代まで往来のあった主要なルートについて調査します。	行政	◎	○		○												
市民が文化や芸術に親しみ、 文化財や伝統文化が継承され、 郷土の歴史や文化の魅力が				7 国登録有形文化財「旧内山家住宅」の一般公開	幕末大野藩の藩政改革に尽力した家老の内山良休ゆかりの国登録有形文化財「旧内山家住宅」を一般公開します。	行政	○	○			○											
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				8 大野藩に関する資料調査の実施	幕末大野藩が全国に先駆けて取り組んだ洋学について、全国の蘭学史との比較研究を行います。	行政	◎	○			○											
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します				9 博物館施設における資料の収集・保管(幕末資料)	歴史博物館において、幕末の藩政改革に関連する資料を収集・保管・展示します。	行政	○	○			○											
1 文化遺産の振興と継承を推進します				10 博物館資料の展示品の解説(藩政改革)	歴史博物館の展示資料について解説を行い、幕末期の大野藩の活躍を周知します。	行政	○	○			○											
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				11 城郭に関する調査の実施	全国の自治体や団体と協力し、調査や交流を行います。	行政	◎	○				○										
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します				12 城館跡の調査の実施	市内に残る城や館跡、それぞれの縄張りなどについての調査を行います。	行政	◎	○				○										
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				13 城郭に関する調査結果の周知	城跡の調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。	市民 所有者など 行政	○	◎				○										
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します				14 県指定史跡「越前大野城跡」の調査と保存整備	県指定史跡「越前大野城跡」の石垣や遺構の調査を行い、傷んでいる箇所については修復を行います。	行政	◎	◎					○									
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				15 越前大野城の維持管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。	所有者など 行政	◎	○						○								
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します				16 越前大野城の情報発信	天空の城として知られる越前大野城を観光コンテンツとして活用するため、城の情報や城主とのゆかりの地などを来訪者に情報発信します。	市民 行政	○	○						○								
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				17 歴史文化施設の周遊イベントの開催	歴史博物館や民俗資料館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、本願清水イトヨの里、COCONO アートプレイスなど、市内の文化施設の周遊促進を図るための事業を実施します。	行政	○	○							○							
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します				18 市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」の一般公開	大野藩の上級武士であった市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」を一般公開します。	行政	○	○							○							
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				19 まちなか観光施設への誘客	御清水や新堀清水などのまちなか観光施設への誘客を行います。	市民 所有者など 行政	○	○							○							
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します				20 七間朝市への誘客	「おおの遺産」である七間朝市の魅力向上を図り、朝市への誘客を行います。	市民 所有者など 行政	○	○							○							
3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します				21 仏像・神像調査の実施	市内の仏像や神像、信仰の対象となった遺跡や建築物などを対象に調査を行います。	行政	◎	○							○							
2 文化遺産・自然遺産を推進し 1 文化芸術の振興と継承を推進します	22 仏像・神像調査結果の周知	調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。	所有者など 行政	○	◎							○										

表 27-1 関連文化財群の措置一覧

【事業主体】市民：市民、地域住民、事業者／所有者など：所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関／行政：国・県・市

まちの将来像	教育理念	基本理念 (将来像)	関連文化財群に対応する措置				該当する関連文化財群																			
			No.	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)		<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	<6>	<7>	<8>	<9>	<10>	<11>							
							前半 (R4~R7)	後半 (R8~R12)																		
将来像	第六次大野市総合計画	教育に関する大綱	文化財を生かした人づくり ・まちづくり 大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。	23	「おおの遺産」の伝承活動への支援	「おおの遺産」認証団体の保存・継承に向けた活動に対して支援します。	所有者など行政	○	○							○										
結住地人のみ域がま続がっちけつなながいがる				24	「おおの遺産」の情報発信	認証を受けた「おおの遺産」をインターネットを活用して広報します。	所有者など行政	○	○									○								
基本目標				25	「おおの遺産」候補の調査の実施	結の故郷伝統文化伝承条例に基づく「おおの遺産」の認証候補となる伝統芸能や年中行事、風習など伝統文化について調査を行います。	所有者など行政	◎	○										○							
				26	無形民俗文化財の記録保存	市内に伝わる踊りや歌、祭礼、神事などを録音・録画したものをアーカイブ化し、公開します。	行政	◎	○										○							
				27	無形民俗文化財関係団体の交流会の実施	無形民俗文化財の保存団体の代表者による、今後の保存・継承に向けた意見交換会を開催します。	行政	◎	○										○							
				28	国指定重要文化財「旧橋本家住宅」の維持管理	国指定重要文化財「旧橋本家住宅」の良好な状態での保存を図ります。茅葺き屋根と建物の梁や柱を湿気や虫害などから守るため、年間を通した囲炉裏への火入れや、災害時の対応、一般公開などを行います。	行政	○	○											○						
				29	暮らしに関する資料の展示	大野市民俗資料館では、まちや村での暮らしに関する道具などの有形民俗文化財を展示します。	行政	○	○											○						
				30	民俗資料の調査の実施	すでに無住となった地域の暮らしや習わしについて、聞き取りや文献などでの記録保存を行います。	行政	○	◎											○						
				31	食に関連した道具などの展示	大野市民俗資料館では、食に関する道具などの有形民俗文化財を展示します。	行政	○	○												○					
				32	伝統食を体感できるイベントの実施	地元食材の提供や食文化の普及と継承を行うイベントを実施します。	市民所有者など行政	○	○												○					
				33	伝統食の調査の実施	伝統食を対象に、材料や作り方、保存方法などについて調査し、発信します。	行政	◎	○												○					
				34	食文化のブランド化と地域でのふるまい	食文化のブランド化を図り、観光資源として提供をできる体制を充実させる。	市民行政	◎	○												○					
35				化石の情報発信拠点の整備	化石の調査成果の情報発信を行う拠点として和泉郷土資料館を整備します。	行政	◎	○													○					
36				地層と化石の調査成果の発表	地層と化石の調査研究成果を企画展や講座などで発表します。また化石や地層の見学会を実施します。	教育・研究機関行政	○	○													○					
37				化石発掘体験センターの活用	地元で産出された岩石を使った化石の発掘体験ができる施設「化石発掘体験センターHOROSSA!」の活用を図ります。	行政	○	○														○				
38				地層と化石の調査研究	地層と化石について、調査研究を進めます。調査に当たっては福井県立恐竜博物館をはじめ関係機関と共同で進めます。	教育・研究機関行政	○	○														○				
39				地層や化石の保護パトロールの実施	化石の無断採取の防止を目的とした化石保護監視員によるパトロールを実施します。	市民行政	○	○														○				
目指す姿				3	郷土の歴史や文化の魅力を発信します	市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、歴史や文化の魅力が発信されます	2	文化遺産の振興と継承を推進します	1	文化芸術の振興と継承を推進します	◎	○													○	
				40	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境整備	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の整備と学習施設の展示リニューアルを行います。	行政	◎	○																○	
				41	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの保護活動の実施	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の保護活動を小・中学生の協力を得て実施することで、文化財を身近に感じ、保護の必要性を知る機会とします。	市民教育・研究機関行政	○	○																○	
				42	本願清水イトヨの里の管理運営	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の学習施設である本願清水イトヨの里において資料の展示や企画展を開催します。	行政	○	○																○	
				43	星空保護区の認定に向けた取り組み	星空保護区の認定に向けた取り組みを進めます。	市民教育・研究機関行政	◎																	○	
				44	日本一の星空情報の発信	星空保護区の認定を受け、六呂師高原の日本一の星空を観光資源として活用します。	市民行政	◎	○																○	
	45	自然や産地を体感できるイベントの実施	和泉地区の自然や文化、農林産物が体感できるイベントを実施します。	市民行政	○	○																○				
	46	自然体験できる施設の整備	自然を体感できる仏御前の滝・麻那姫湖青少年旅行村などの施設や麻那姫像を維持管理します。	行政	○	○																○				
47	自然災害の記録調査の実施	過去に起きた自然災害に関する記録とそれに関する言い伝えや備えなどについて調査します。	行政	○	○																○					

第6章 推進体制

第1節 庁内の運営体制

大野市の文化財行政の体制は表 28、文化財の保存・活用に当たって連携を行う関連部局や関連機関については表 29 のとおりです。

また、災害時の文化財の救出や復旧など、非常時における文化財の保存については、県や庁内関係部署との連携体制の構築を目指します。

表 28 文化財行政の体制

組織		主な業務内容	構成
教育委員会 事務局	生涯学習 ・文化財保護課	生涯学習、文化財保護・活用 〈生涯学習グループ〉 生涯学習推進計画、青年活動、生涯学習人材活用、わく湧くお届け講座 〈文化財保護グループ〉 文化財の保護・調査研究・活用、歴史資料の整理及び公開活用、史跡などの管理、大野市地域計画、化石関係資料の収集・調査研究・活用、文化財保護審議会の運営	—
	博物館	〈大野市歴史博物館〉 大野市の縄文時代から近代までの歴史資料の収集・調査研究・展示公開 〈大野市民俗資料館〉 民俗資料の収集・調査研究・展示公開	—
	大野市図書館	図書、雑誌の閲覧と貸出／読書会、講演会、おはなし会など読書活動を推進する事業の開催	—
教育委員会の 附属機関	大野市文化財保護 審議会	文化財の保存及び活用に関する重要事項についての調査審議、教育委員会への建議	7名 以内

※大野市地域計画の進捗確認や見直しに当たる組織や方法などについては改めて検討する。

※令和〇年（〇）〇月時点

表 29 連携を行う関連部局・関連機関

組織	主な連携内容	
庁内の 関連部局	教育総務課	小・中学校・幼稚園教育の運営、学校給食の運営・食育指導など
	観光交流課	観光の広報宣伝、観光イベント、観光産業の振興、観光資源の整備活用、自然公園の管理・活用、星空保護区の取り組み など
	産業政策課	商工業振興、創業・新分野開拓支援、雇用創出、商工労働関係団体への支援、商店街振興、制度融資、越前おおの産業ブランド力向上 など
	農業林業振興課	農業振興、林業振興、水産業振興、越前おおの型 食・農業・農村ビジョン、農村集落の活性化 など

	地域文化課	自治会、市民協働、地域支援、公民館、地域おこし協力隊、文化・芸術の振興、文化団体への支援 など
	環境・水循環課	水環境の推進・普及啓発、地下水保全対策 など
福井県		文化財保護にかかる各種指導、文化財の調査・研究ならびに指定等、指定等文化財の保護
国	文化庁	地域計画の認定、各文化財の指定等ならびに保護・指導

※令和〇年（〇）〇月時点

表 30 文化財の保存・活用に関わる庁内部署

組織	文化財に関わる業務内容
政策推進課	総合計画を通じた文化財に関する施策の推進 など
建設整備課	道路整備、河川整備 など
交通住宅まちづくり課	景観形成、公共交通の運営・指導 など
防災防犯課	防災、自主防災組織の育成、空き家対策 など
消防予防課	火災予防の普及・啓発・指導 など

※令和〇年（〇）〇月時点

第2節 市民などとの協働体制

大野市には、各地区または各自治会の文化活動を行う市民グループやおおの遺産の保存・継承を担う各団体などがあります。今後は、これらのグループや団体などと連携して、大野市の文化財の保存・活用を目指していくこととします。

なお、おおの遺産の保存・継承を担う団体などについては、表 31 にまとめました。

1. 市民グループとの協働

市民グループとの連携により、文化財を取り巻く環境が活性化し、文化財の保存・活用が進むことを期待しています。

例えば、大野市の歴史・文化の愛好家やボランティアガイドなどさまざまな文化活動を行う団体と連携することで、文化財の積極的な活用のアイデアが生まれ、さらに団体の活動を支援することで、市民の文化財に対する関心を引き起こすことができます。特に活用により保存につながる活動が重要です（対象事業は、P76～77 表 15「保存・調査研究・活用の課題と方針と措置の対応表」を参照。）。

2. 文化財の保存・継承団体との協働

おおの遺産の保存・継承を担う団体や無形民俗文化財の保存団体は、大野市の文化財を保存・継承する団体です。大野市では、各団体の育成支援を行い、該当する文化財の保存・継承を進めていきます。

表 31 文化財の保存・継承団体

1 指定文化財保存・継承団体

扇踊保存会
福井県指定無形民俗文化財の「扇踊」(上庄地区)は市街地から東南へ16km離れた、上庄地区の若生子に伝えられた踊りで「御殿踊」ともいわれ、8月15日に踊られました。ダム建設で住民が市内へ移住し、大野地区に保存会を置いていましたが、現在は活動を休止しています。
神子踊保存会
福井県指定無形民俗文化財の「神子踊」(五箇地区)は上打波で踊られてきたもので、七月踊、神代踊、お庭踊とも言われています。 昔は盆に踊られていましたが、地区の過疎化によりその機会が失われたことから、神子踊保存会では、8月14日に市内で「神子踊大会」を開催して踊っています。
平家踊保存会
西谷地区巢原は、平安末期、源平の合戦で敗れた平家の落人が隠れ住んだところと伝えられています。福井県指定無形民俗文化財の「平家踊」(西谷地区)は、落人とその子孫が、むかしの栄華を思い、はるかに京の都をしのびつつ、歌い踊りつがれてきたといわれ、哀愁に満ちた内容です。現在は活動を休止しています。
雨乞い踊り保存会
市指定無形民俗文化財の「三社の雨乞踊り」(乾側地区)は、牛ヶ原庄内の坂戸・尾永見・大門3村共同の鎮守が三社であり、昔は3村共同で雨乞い行事を行っていたといわれています。現在は尾永見に保存会が置かれています。
仕ぐさ踊り保存会
市指定無形民俗文化財の「仕ぐさ踊り」(下庄地区)は菖蒲池で伝承されている踊りで、殿様の前でも踊ったことがあるといえます。現在は、8月盆の15・16日の夜、白山神社境内で浴衣がけの軽装で楽しめます。他所へ出かけて披露するときは菅笠・たすきを着用することになっています。

2

3 「おおの遺産」保存・継承団体

大野市朝市出荷組合
おおの遺産「七間朝市」(大野地区) 七間通りで開かれる朝市は、金森長近が城下町を整備した際に開いた市が始まりとされます。近隣の農家が野菜などを持ち寄り、町の人々の食料調達場として続いてきました。現在は出荷組合が結成され、朝市の継続に努めています。
里神楽実行委員会
おおの遺産「蕨生 里神楽」(富田地区) 大野市蕨生の住民で構成される団体で、神楽は明治15年(1882)に、篠座神社の里神楽に習い、以後、春祭りに奉納しています。
篠座神社獅子舞保存会
おおの遺産「篠座神社の里神楽・豊栄舞」(大野地区) 篠座神社で行われている神楽の起源は最も古く、平安時代と考えられています。一時途絶えていましたが、平成7年(1995)から、再び毎年実施するようになりました。 豊栄舞は平成24年(2012)から、小学生が巫女の舞をしています。
木本領家区
おおの遺産「木本領家里神楽」(上庄地区) 木本領家里神楽は明治38年(1905)に、篠座神社の神楽を伝承し、豊作を感謝し秋祭りに奉納するものです。小中学生のみこしや踊りを行い、地域の若い世代が関わりを持てるよう工夫しています。
木本区
おおの遺産「木本区初午だんご撒き」(上庄地区) 大火事の故事から、火除けの行事として伝わるものです。木本は5つの行政区からなり、それぞれが団子を作って持ち寄り、参拝客に団子をまきます。
篠座神社総代会

<p>おおの遺産「篠座神社の福もちまき」(大野地区)</p> <p>篠座神社の福もちまきは昭和 50 年 (1975) から始めたものですが、市内外から多くの方が福を求めて参拝します。</p>
<p>篠座神社と篠座町 (旧家 23 軒)</p>
<p>おおの遺産「篠座町の旧家が持ち回る神明講」(大野地区)</p> <p>篠座町の旧家が持ち回る神明講は篠座神社を含め、元々の集落 (篠座村) を構成している旧家で継承されている伊勢講の影響を受けた行事です。年 3 回行っています。</p>
<p>上大納区</p>
<p>おおの遺産「上大納左義長」(和泉地区)</p> <p>上大納で行われる左義長は旧暦小正月にナラ、杉、わらで左義長構造物を作り、各戸で用意した裁縫の上達を願う「つつみ」と字の上達を願う「書初め」を付けます。現在は 2 月 14 日に行われています。</p>
<p>尾永見神社</p>
<p>おおの遺産「尾永見伊勢講」(乾側地区)</p> <p>尾永見伊勢講では伊勢代参は行っていません。伊勢神宮奉納のための「お神田」がありましたが、その跡に石碑を立て保存しています。料理の献立の決まりを続けています。</p>
<p>鍬掛伊勢講保存会</p>
<p>おおの遺産「鍬掛伊勢講」(小山地区)</p> <p>鍬掛伊勢講では伊勢神宮の代参人を決め、代表の代参後には「はばきぬぎ」をして、お札やお神酒を分け合うという伊勢講の形をよく残しています。</p>
<p>大矢戸区</p>
<p>おおの遺産「行人岩」(下庄地区)</p> <p>道元禅師由来の修験遺跡として多くの修験者がこの岩屋で修業をしたと伝わっています。参拝者が増えたことから、大矢戸区が登山道を含めて保存活動を続けています。</p>
<p>土布子区</p>
<p>おおの遺産「伊勢講」(富田地区)</p> <p>江戸時代、洪水が起きた時に集落の伊勢堂という祠に流木が引っ掛かり濁流が左右に分かれ難を逃れたことから、伊勢講を行うようになったとの言い伝えがあります。味噌を濁流に、大根を流木に見立てて食べることで水害を封じます。講の当番はその年に大根を多く作り、約 50~60 本を準備します。大根を煮たり講に参加したりするのは男性のみで、講が終わると女性や子どもにも大根がふるまわれます。</p>
<p>下打波区</p>
<p>おおの遺産「下打波白山神社・中神神社の祭礼」(五箇地区)</p> <p>白山神社は、泰澄が白山開山の折に山内家に宿泊した時に朴の木で作ったイザナミノミコトが御神体であり、県指定天然記念物のカツラの木(「白山神社のカツラ」)が境内にあります。また、中神神社は、江戸時代に平べえという人が洪水後の川に流れてきた仏像をお祀りしたことが始まりの集落の神社で、字、名字が中神となったいわれでもあります。</p> <p>下打波区の全戸は、昭和 48 年 (1973) 頃までに住居を大野市街地などに移しましたが、住民が集まる機会を持つために、毎年 8 月 17 日に両神社に集まって祭礼を行い、絆を深めています。</p>
<p>稲郷青年会</p>
<p>おおの遺産「稲郷里神楽」(上庄地区)</p> <p>大野市稲郷で行われる里神楽の始まりは不明ですが、天狗の面には「延宝 9 年」(1681 年)と墨書されていることから、その頃には既に舞われていたものと考えられます。村人の安全と五穀豊穡を願い、9 月第 2 日曜日に八幡神社に奉納される里神楽です。</p> <p>境内に土俵が作られ、神楽の終了後に子ども相撲が行われます。</p>
<p>陽明町一丁目 1 区</p>
<p>おおの遺産「陽明町一丁目 1 区の不動明王祭」(大野地区)</p> <p>昭和 2 年 (1927) に町内で発見された不動明王像(石像)を有志で祀ってきました。昭和 14 年 (1939) にお御堂を建てて安置し、不動明王祭りを始めたものです。8 月第 1 土曜日夕方から大宝寺による法要を行います。</p>

<p>平成 21 年（2009）に町内の寄進により御堂の建て替えと雨雪を避けるための建屋を造り、区で管理しています。また、日々のお花やお茶のお供えも区民が継続しています。</p>
<p>明倫町 1 区</p>
<p>おおの遺産「明倫町 1 区による乳地蔵のご祈祷」（大野地区）</p> <p>区民の裏庭にあった地蔵を「もっと大通りに出て、世の中の人のために働きたい」という夢のお告げにより、本願清水（糸魚町）近くに祀られるようになったと言い伝えられます。</p> <p>この地蔵に、米をお供えして、その米を 1 週間、本願清水に浸してお参りし、その米でおかゆを炊いて食べると、乳の出がよくなるという伝承があります。</p> <p>4 月の篠座神社祭礼前の土・日に、地蔵堂の清掃と、明倫町の曹源寺による祈祷をしています。</p>
<p>穴馬紙大すきの会</p>
<p>おおの遺産「穴馬紙」（和泉地区）</p> <p>穴馬紙は、江戸の初めより旧穴馬村ですかれ、当時は年貢として納められていました。水に強く丈夫で虫が付きにくいのが特長で、障子紙や帳簿などに使われ、冬の副業として盛んに紙すきが行われていました。</p> <p>戦後間もなく廃れましたが、旧和泉村教育委員会に在籍していた社会教育指導員が中心となって復活させ、和泉小学校児童の卒業証書作りを通して穴馬紙を伝えてきました。</p> <p>数年前に和泉公民館職員が作業を引き継ぎ、地元の有志が加わり、平成 29 年（2017）に「穴馬紙大すきの会」を発足しました。</p>
<p>奥越太鼓保存会</p>
<p>おおの遺産「奥越太鼓」（大野地区）</p> <p>荘園時代より大野の地で行われてきた太鼓は、やがて「豊年太鼓」や「雨乞い太鼓」として発展し、人々に親しまれ伝承されてきました。</p> <p>第二次世界大戦によって衰退しましたが、昭和 36 年（1961）、大野商工会議所と奥越観光連盟が中核となり、今日の「奥越太鼓保存会」の前身である「奥越曲太鼓朋友会」が結成されました。幼児から成人まで多くの市民に伝統芸能を伝承し、奥越太鼓の保存・育成に努めています。</p>
<p>奥越漁業協同組合「アジメ漁」保存研究会</p>
<p>おおの遺産「アジメ漁」（和泉地区）</p> <p>アジメとはアジメドジョウの略で、中部・近畿地方の河川中、上流域に分布する日本固有の純淡水魚です。アジメ漁はその捕獲の特徴から「アジメ落し」、「滝分け」ともいわれ、その発祥は定かではありませんが、大正時代には行われていたと推測され、その伝統漁法は和泉地区で現在も引き継がれています。6 月下旬に入札により仕掛け場所を決定し、9 月末まで捕獲が行われています。</p>

1

2 **その他の無形民俗文化財保存団体**

<p>穴馬民踊保存会</p>
<p>穴馬踊り（和泉地区）の元は道場での踊りが主で、畳を上げ、下駄で床板を鳴らしながら踊ったものです。シッコイチョイの歌詞には源義平の伝説が含まれます。</p>
<p>小山鍬おどり保存会</p>
<p>小山地区での 1 年の農作業の様子を表したもので、かすりを着て、鍬を持って踊ります。</p>
<p>西谷もじり保存会</p>
<p>廃村になった西谷村でモジリ袖の着物で踊ったことが名前の由来となっています。元は正月の間に 1 日ずつ集落を変えながら踊りました。</p>
<p>越前大野おどり保存会</p>
<p>お盆の時期に行われるおおの城まつりで「大野音頭」「御前踊り」「しっちょいな節」を伝承しています。小学校などでも踊りの指導を行っています。</p>
<p>上庄踊り振興会</p>
<p>上庄地区には、その昔、干ばつから村人を救うため、自らの命をささげた麻那姫（まなひめ）の伝説が語り継がれています。この麻那姫伝説を後世に語り継ぎ、地域おこしの一つとして「麻那姫音頭」が作られました。毎年、小学生が踊りを覚えて地区内外のイベントで披露しています。</p>

3

下庄史跡めぐり踊り会
『ふるさと「下庄」巡り旅』は下庄地区を広く知ってもらう活動の一環として平成 29 年（2017）に歌が、平成 30 年（2018）に踊りが制作されました。歌詞には下庄地区の名所旧跡が次々登場します。
結の故郷里芋音頭愛好会
結の故郷・里芋音頭は、大野市制 60 周年・結の故郷発祥祭のイベントで初めて披露されたもので、大野市出身のシャンソンシンガーが作詞作曲を、地元の舞踊家が振付を行いました。

1

※令和〇年（〇）〇月時点

資料編

1		
2		
3	1. 大野市文化財保存活用地域計画策定協議会委員名簿	139
4	2. 大野市文化財地域計画策定庁内ワーキンググループ名簿	140
5	3. 大野市文化財保存活用地域計画策定の経過	141
6	4. 大野市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱	143
7	5. 大野市文化財保存活用検討ワーキンググループ設置要綱.....	144
8	6. 大野市に生息する動物	145
9	7. 和泉地区の地質時代・層序と化石産出例	150
10	8. 災害の記録	151
11	9. 指定等文化財の一覧.....	154
12	10. おおの遺産一覧	160
13	11. 文化庁以外の省庁や団体の制度による選定	160
14	12. 大野市埋蔵文化財包蔵地一覧	160
15	13. 各種文化財調査に関連する主な書籍(市史を除く)	165
16	14. 博物館などでの企画展	166
17	15. 関連文化財群の構成文化財の一覧	168
18	16. 未指定文化財の一覧.....	191
19		
20		
21		
22		

1 1. 大野市文化財保存活用地域計画策定協議会委員名簿

2

任期 令和元年〇月〇日～令和4年3月31日

区分	氏名	所属・役職	専門
有識者	◎門井 直哉	福井大学教育学部教授	歴史地理学
	○高嶋 猛	高嶋建築研究所所長	建造物・景観
	大河内 勇介	福井県立歴史博物館学芸員	古文書
	高津 琴博	大野市文化財保護審議会副会長	記念物・自然史
市民代表等	常見 悦郎	大野市区長連合会会長 (～令和2年度)	地域振興
	本多 精治	大野市区長連合会会長 (令和3年度)	地域振興
	飯田 俊市郎	大野市商工会議所専務理事	商工振興
	新井 俊成	大野市観光協会会長	観光振興
文化財保存団体	幅口 隆一	神子踊保存会代表	
文化財所有者	大門 哲爾	善導寺副住職	
行政関係者	中川 佳三	福井県教育庁生涯学習・文化財課参事 (～令和2年度)	
	中森 敏晴	福井県教育庁生涯学習・文化財課主任 (令和3年度)	
行政関係者	川端 秀和	大野市政策局局長 (令和元年度)	
	真田 正幸	大野市政策局局長 (令和2年度)	
	吉田 克弥	大野市行政経営部部長 (令和3年度)	
	朝日 俊雄	大野市産経建設部部長	
	堂下 昭仁	大野市地域経済部部長 (令和3年度)	
	清水 啓司	大野市教育委員会事務局局長 (～令和2年度)	
	真田 正幸	大野市教育委員会事務局局長 (令和3年度)	

3 ◎協議会会長 ○協議会副会長

4

1 2. 大野市文化財地域計画策定庁内ワーキンググループ名簿

2 委嘱期間 令和元年〇月〇日～令和3年3月31日

所属部局課名	氏名
総合政策課	主 査 雨山 直人
総務課 地域振興室	○企画主査 廣田 直樹
商工観光振興課	企画主査 五十川 美香子
建築営繕課	課長補佐 山田 努
教育総務課	課長補佐 松下 裕子
生涯学習課	◎課長補佐 宮山 玉緒

3 ◎ワーキンググループ委員長 ○副委員長

4

5 委嘱期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

所属部局課名	氏名
産業政策課	主 査 藤田 託也
観光交流課	課長補佐 大久保克紀
交通住宅街づくり課	課長補佐 砂子 淳一
地域文化課	◎企画主査 廣田 直樹
防災防犯課	○企画主査 辻 映至
教育総務課	企画主査 藤本久美子

6 ◎ワーキンググループ委員長 ○副委員長

7

8

1 3. 大野市文化財保存活用地域計画策定の経過

2

年月日		内容	
令和元年度	1月29日(水)	第1回策定協議会	
	2月15日(土)	市民活動グループとのワークショップ	
	3月20日(木)	庁内検討ワーキンググループ会議	
	3月3日(火)	市民活動グループとのワークショップ	
	3月	第2回策定協議会(書面開催)	
令和2年度	9月24日(木)	第3回策定協議会	
	11月2日(月)	下庄公民館聞き取り調査	
	11月12日(木)	阪谷地区ワークショップ	
	11月13日(金)	和泉公民館聞き取り調査	
	11月17日(火)	下庄地区ワークショップ	
	11月22日(日)	小山地区ワークショップ	
	11月24日(火)	小山地区ワークショップ	
	11月27日(金)	第4回策定協議会	
	2月18日(木)	庁内検討ワーキンググループ会議	
	2月25日(木)	大野地区ワークショップ	
	2月26日(金)	五箇地区ワークショップ	
	3月5日(金)	上庄地区ワークショップ	
	3月9日(火)	大野地区ワークショップ	
	3月12日(金)	和泉地区ワークショップ	
	3月15日(月)	富田地区ワークショップ	
	3月16日(火)	第5回策定協議会	
	令和3年度	6月26日(土)	文化財シンポジウム
		7月14日(水)	庁内検討ワーキンググループ会議
8月2日(月)		第6回策定協議会	
8月11日(水)		乾側地区ワークショップ	
8月30日(月)		大野市定例教育委員会 進捗報告	
10月19日(火)		大野市定例教育委員会 進捗報告	
10月28日(木)		第7回策定協議会	
12月〇日(〇) ~〇日(〇)		パブリックコメント	
〇月〇日(〇)		第8回策定協議会	

3

4

1
2
3
4



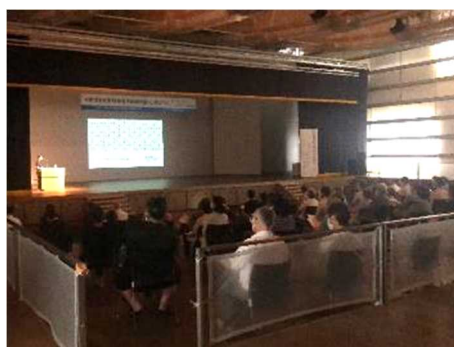
第1回協議会開催の様子



市民活動グループとのワークショップの様子



ワークショップ（阪谷地区）の様子



文化財シンポジウムの様子

4. 大野市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱

(平成31年4月26日教委告示第14号)

(設置)

第1条 文化財保護法(昭和25年法律第214号)第183条の9の規定に基づき、大野市文化財保存活用地域計画(以下「地域計画」という。)を策定するため、大野市文化財保存活用地域計画策定協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

(1) 地域計画の策定に関すること。

(2) 前号に掲げるもののほか、地域計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、教育委員会が委嘱又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 関係機関又は関係団体の推薦を受けた者

(3) 文化財保存活用団体

(4) 公募による者

(5) 市職員

(6) 教育委員会事務局職員

(7) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者

3 委員の任期は、地域計画の策定の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 協議会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により決定する。

3 委員長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(ワーキンググループ)

第6条 協議会の円滑な運営を図るため、協議会にワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループ員は、市職員及び教育委員会事務局職員の中から、教育委員会が委嘱又は任命する。

3 ワーキンググループに関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、教育委員会文化財課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、告示の日から施行する。

5. 大野市文化財保存活用検討ワーキンググループ設置要綱

(令和元年12月27日教委訓令第4号)

(設置)

第1条 大野市文化財保存活用地域計画（以下「地域計画」という。）の策定に必要な文化財の保存活用の方針及び措置について検討するため、大野市文化財保存活用検討ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 ワーキンググループの所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 地域計画の策定に係る調査及び研究に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、地域計画の策定に関し必要と認められること。

(組織)

第3条 ワーキンググループは、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる課の職員の中から教育委員会が任命する。

- (1) 企画総務部政策局総合政策課
- (2) 企画総務部総務課
- (3) 産経建設部商工観光振興課
- (4) 産経建設部建築営繕課
- (5) 教育委員会事務局教育総務課
- (6) 教育委員会事務局生涯学習課
- (7) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

3 委員の任期は、任命の日から所掌事務終了の日までとする。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 ワーキンググループに委員長1人及び副委員長1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により決定する。

3 委員長は、ワーキンググループを統括し、会議の議長を務める。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 ワーキンググループの会議は、委員長が必要に応じて招集する。

(庶務)

第6条 ワーキンググループの庶務は、教育委員会事務局文化財課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年12月27日から施行する。

1 6. 大野市に生息する動物

2

3 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類

4 (『大野市史』自然編・『福井県の絶滅のおそれのある野生動物』より作成)

福井県レッドデータブックの 카테고리
 ・Ⅰ類(県域絶滅危惧Ⅰ類)・Ⅱ類(県域絶滅危惧Ⅱ類)
 ・準絶(県域準絶滅危惧)・要注(要注目)
 ・地域(絶滅の恐れのある地域個体群)

類	目・科等	種
哺乳類	トガリネズミ科	ホンシュウトガリネズミ、ジネズミ、カワネズミ(準絶)
	モグラ科	ヒミズモグラ、コモグラ、アズマモグラ、コウベモグラ
	コウモリ目	キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ(準絶)、トウヨウヒナコウモリ、ヤマコウモリ、テングコウモリ(Ⅱ類)
	オナガザル科	ニホンザル
	ウサギ科	トウホクノウサギ
	リス科	ニホンリス、ホンシュウモモンガ、ニホンモモンガ(準絶)、ニッコウムササビ、ムササビ(要注)
	ヤマネ科	ヤマネ(準絶)
	ネズミ科	ヤチネズミ、ハタネズミ、クマネズミ、アカネズミ、ドブネズミ、ハツカネズミ、ヒメネズミ、カヤネズミ(準絶)、スミスネズミ
	クマ科	ツキノワグマ
	イヌ科	ホンドタヌキ、ホンドキツネ
	イタチ科	ニホンテン、ニホンイタチ、イイズナ、ホンドオコジョ(準絶)、ニホンアナグマ
	ジャコウネコ科	ハクビシン
	イノシシ科	イノシシ
	シカ科	ホンシュウシカ
	ウシ科	ニホンカモシカ
鳥類	カイツブリ科	カイツブリ、ハジロカイツブリ
	ミズナギドリ科	オオミズナギドリ
	ウ科	カワウ
	サギ科	ゴイサギ、コサギ(Ⅱ類)、アオサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ(準絶)
	カモ科	マガン、オシドリ(Ⅱ類)、カルガモ、マガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、スズガモ、カワアイサ(要注)、ホオジロガモ(要注)
	タカ科	イヌワシ、クマタカ(Ⅰ類)、ツミ(準絶)、オオタカ(Ⅰ類)、ノスリ(地域)、ハイタカ(地域)、サシバ(準絶)、トビ、オジロワシ(Ⅰ類)、オオワシ(Ⅰ類)
	ハヤブサ科	チョウゲンボウ(要注)、ハヤブサ(Ⅱ類)
	キジ科	キジ、ヤマドリ、ウズラ(Ⅱ類)
	クイナ科	バン、ヒクイナ
	チドリ科	コチドリ、イカルチドリ(準絶)、ケリ
	シギ科	イソシギ、タシギ、アオシギ(準絶)、オオジシギ(Ⅱ類)、ヤマシギ(準絶)
	カモメ科	カモメ
	ハト科	キジバト、アオバト、ドバト
	カッコウ科	カッコウ、ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチ
	フクロウ科	コノハズク(準絶)、アオハズク、オオコノハズク(準絶)、フクロウ、トラフズク
	ヨタカ科	ヨタカ(Ⅱ類)
	アマツバメ科	アマツバメ、ハリオアマツバメ(要注)
	カワセミ科	ヤマセミ(Ⅰ類)、アカショウビン(準絶)、カワセミ

類	目・科等	種
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ（Ⅰ類）
	キツツキ科	アオゲラ、アカゲラ、オオアカゲラ（準絶）、コゲラ
	ヒバリ科	ヒバリ
	ツバメ科	ツバメ、コシアカツバメ（準絶）、イワツバメ
	カラス科	ハシボソガラス、ハシブトガラス、カケス、ホシガラス、コクマルガラス、ホシガラス（要注）
	カラ科	シジュウカラ、ヤマガラ、コガラ、ヒガラ、エナガ、コジュウカラ
	サンショウクイ科	サンショウクイ（要注）
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ
	カワガラス科	カワガラス
	ミソサザイ科	ミソサザイ
	ヒタキ科	ルリビタキ（地域）、コマドリ（地域）、コルリ、マミジロ（要注）、キビタキ、オオルリ、サメビタキ、コサメビタキ（準絶）、サンコウチョウ、ノビタキ、イツヒヨドリ、エゾビタキ
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ（要注）
	イワヒバリ科	イワヒバリ（Ⅰ類）、カヤクグリ（要注）
	セキレイ科	セグロセキレイ、キセキレイ、ハクセキレイ、ビンズイ、タヒバリ
	レンジャク科	キレンジャク、ヒレンジャク
	モズ科	モズ、チゴモズ、アカモズ
	ムクドリ科	ムクドリ、コムクドリ
	メジロ科	メジロ
	スズメ科	スズメ、ニューナイスズメ（準絶）
	アトリ科	カワラヒワ、ウソ、イカル、アトリ、マヒワ、ハギマシコ、ベニマシコ、イスカ、シメ
	ホオジロ科	ホオジロ、アオジ、ホオアカ、ミヤマホオジロ、カシラダカ、クロジ（地域）、ノジコ（Ⅱ類）
	コウノトリ科	コウノトリ（Ⅰ類）
	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ（Ⅰ類）
	ミサゴ科	ミサゴ（準絶）
	キバシリ科	キバシリ（準絶）
	ウグイス科	ウグイス、ヤブサメ（要注）
	ツグミ科	ツグミ、トラツグミ、クロツグミ、シロハラ、アカハラ、マミチャジナイ、ジョウビタキ
	ヨシキリ科	オオヨシキリ、コヨシキリ
	ムシクイ科	メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ
	ククイタダキ科	ククイタダキ
爬虫類	イシガメ科	ニホンイシガメ（準絶）
	スッポン科	ニホンスッポン（準絶）
	ヤモリ科	ニホンヤモリ
	トカゲ科	ニホントカゲ
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ
	タカチホヘビ科	タカチホヘビ（要注）
	ナミヘビ科	シマヘビ、ジムクリ、アオダイショウ、シロマダラ（要注）、ヒバカリ（要注）、ヤマカガシ
	クサリヘビ科	ニホンマムシ
両生類	サンショウウオ科	クロサンショウウオ（準絶）、ハコネサンショウウオ、ヒダサンショウウオ（準絶）
	イモリ科	アカハライモリ（要注）

類	目・科等	種
	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル、ナガレヒキガエル（準絶）、アズマヒキガエル（要注）
	アマガエル科	ニホンアマガエル
	アカガエル科	タゴガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル（要注）、ツチガエル、カジカガエル、ナガレタゴガエル（準絶）
	アオガエル科	モリアオガエル、シュレーゲルアオガエル

- 1
2 大野市に生息する動物（魚類）
3 （『大野市史』自然編・『福井県の絶滅のおそれのある野生動物』より作成）

類	水域	種
魚類	笹生川ダムより上流、雲川ダムより上流、打波川の嵐谷口より上流の水域	イワナ（Ⅱ類）、アマゴ、カジカ大卵型（準絶）、アジメドジョウ（Ⅱ類）、オイカワ、ウグイ、タカハヤ、アブラハヤ
	笹生川ダムから下流麻那姫湖までの間、雲川ダムから下流麻那姫湖までの間、九頭竜川の下山地積から下の仏原ダムまでの間、打波川の嵐谷口砂防ダムから下流勝原第3発電所の下手の取入ダムまでの間	アマゴ、カジカ大卵型（準絶）、アジメドジョウ（Ⅱ類）、アカザ（Ⅱ類）、ヨシノボリ類、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、スナヤツメ南方種（Ⅱ類）、アユ、ニジマス、ギギ、カネヒラ、イワナ（Ⅱ類）
	笹生川ダム、雲川ダム、麻那姫湖、仏原ダム	コイ、ハス三方湖産（Ⅰ類）、ワカサギ（Ⅱ類）、アユ、イワナ（Ⅱ類）、ニジマス、アマゴ、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、ニゴイ、ギンブナ、ギギ、トウヨシノボリ
	麻那姫湖より下流の真名川、勝原第3発電所下手のダムから下流、下新井までの九頭竜川の水域	ウグイ、オイカワ、アユ、アマゴ、ヤマメ（Ⅱ類）、イワナ（Ⅱ類）、アブラハヤ、カジカ大卵型（準絶）、ヨシノボリ類、アジメドジョウ（Ⅱ類）、アカザ（Ⅱ類）、カマツカ、ニホンウナギ（Ⅰ類）、コイ、ニジマス
	赤根川・清滝川、湧水地	フナ類、コイ、ナマズ、ウグイ、オイカワ、カワムツ、ヤリタナゴ、アブラハヤ、ニホンウナギ（Ⅰ類）、ドジョウ（要注）、イトヨ太平洋型（陸封型）（Ⅰ類）、ヤマメ（Ⅱ類）、スナヤツメ南方種（Ⅱ類）

- 4
5 大野市に生息する動物（昆虫類）（『福井県の絶滅のおそれのある野生動物』より作成）

目	科	種
チョウ目	セセリチョウ科	スジグロチャバネセセリ（北海道・本州・九州亜種）（準絶）、ギンイチモンジセセリ（要注）
	アゲハチョウ科	ギフチョウ（準絶）
	シロチョウ科	ツマグロキチョウ（Ⅱ類）
	シジミチョウ科	クロシジミ（Ⅰ類）、ゴマシジミ（八方尾根・白山亜種）（Ⅱ類）、ヒメシジミ（本州・九州亜種）（要注）、ムモンアカシジミ（要注）
	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン（Ⅱ類）、オオムラサキ（準絶）
	ジャノメチョウ科	ツマジロウラジャノメ（本州亜種）（Ⅱ類）、ベニヒカゲ（準絶）
	ドクガ科	スゲドクガ（準絶）
	シャクガ科	ソウウンクロオビナミシャク（要注）
	ヤママユガ科	オナガミズアオ（要注）

目	科	種
	スズメガ科	スキバハウジャク（要注）
	ヤガ科	カギモンハナオイアツバ（要注）、キシタアツバ（要注）、コシロシタバ（要注）、ミヤマキシタバ（要注）、ヒメシロシタバ（要注）、ギンモンアカヨトウ（要注）、アルプスギンウワバ（要注）
トンボ目	イトトンボ科	モートンイトトンボ（準絶）、ルリイトトンボ（準絶）
	ヤンマ科	カトリヤンマ（Ⅱ類）、アオヤンマ（準絶）
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ（要注）
	サナエトンボ科	キイロサナエ（準絶）
	エゾトンボ科	カラカネトンボ（準絶）、エゾトンボ（要注）
	トンボ科	カオジロトンボ（Ⅰ類）、ハッチョウトンボ（要注）、ミヤマアカネ（要注）
カワゲラ目	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ（要注）
バッタ目	バッタ科	カワラバッタ（Ⅰ類）、ハクサンミヤマヒナバッタ（準絶）
	ヒバリモドキ科	カワラスズ（要注）
カメムシ目	コオイムシ科	タガメ（Ⅰ類）、コオイムシ（Ⅱ類）、オオコオイムシ（要注）
	タイコウチ科	ヒメミズカマキリ（Ⅰ類）
	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ（準絶）
	セミ科	アカエゾゼミ（要注）
	ハナカメムシ科	ズイムシハナカメムシ（要注）
コウチュウ目	オサムシ科	カワラハンミョウ（Ⅰ類）、アイヌハンミョウ（要注）、マガタマハンミョウ（要注）、ハクサンクロナガオサムシ（要注）、ハクサンホソヒメクロオサムシ（要注）
	ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ（Ⅰ類）、ゲンゴロウ（Ⅰ類）、クロゲンゴロウ（準絶）、コウベツブゲンゴロウ（要注）
	クワガタムシ科	ツヤハダクワガタ（関東地方～紀伊半島亜種）（Ⅱ類）、オオクワガタ（Ⅱ類）、ルリクワガタ（要注）、マダラクワガタ（要注）
	コガネムシ科	ツノコガネ（Ⅱ類）、オオチャイロハナムグリ（準絶）
	コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ（準絶）
	ミズスマシ科	ミズスマシ（準絶）、コオナガミズスマシ（要注）
	ガムシ科	コガムシ（準絶）、ガムシ（準絶）、スジヒラタガムシ（要注）、シジミガムシ（要注）
	カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ（準絶）、トラフカミキリ（要注）、コトラカミキリ（要注）、アサカミキリ（要注）
	タマムシ科	アオナガタマムシ（要注）、サビナカボソタマムシ（要注）、シナノキチビタマムシ（要注）
	ムキヒゲホソカタムシ科	イノウエホソカタムシ（要注）
	ミツギリゾウムシ科	ホソミツギリゾウムシ（要注）
ハチ目	セイボウ科	ヤマトセイボウモドキ（Ⅰ類）、ミヤマツヤセイボウ（Ⅰ類）
	ギングチバチ科	シモヤマギングチ（Ⅰ類）、アギトギングチ（Ⅰ類）、カワラアワフキバチ（Ⅰ類）、マエダテツチスガリ（Ⅰ類）、フクイジガバチモドキ（Ⅱ類）、シモヤマジガバチモドキ（Ⅱ類）、タケウチギングチ（Ⅱ類）、タイセツギングチ（Ⅱ類）、ニトベギングチ（Ⅱ類）、キュビギングチ（Ⅱ類）、ニッコウツヤアナバチ（Ⅱ類）、アカオビケラトリバチ（準絶）、ニッポンハナダカバチ（準絶）、ガロアギングチ（要注）、ササキリギングチ（要注）、ニッポンアワフキバチ（要注）、ヤマトスナハキバチ（要注）
	ムカシハナバチ科	コムカシハナバチ（Ⅰ類）
	ヒメハナバチ科	ヤスマツヒメハナバチ（要注）

目	科	種
	カギバラバチ科	ザウターカギバラバチ（Ⅱ類）
	アリ科	アカヤマアリ（Ⅱ類）、エゾアカヤマアリ（Ⅱ類）、ケブカツヤオオアリ（Ⅱ類）、トゲアリ（要注）
	ドロバチ科	ハグロフタオビドロバチ（Ⅱ類）、フカイオオドロバチ（準絶）、オオハムシドロバチ（要注）
	スズメバチ科	ヤドリホオナガスズメバチ（Ⅱ類）、チャイロスズメバチ（要注）
	アナバチ科	フジジガバチ（Ⅱ類）、フクイアナバチ（準絶）
	コハナバチ科	ミドリコハナバチ（Ⅱ類）
	ハキリバチ科	タイリクハキリバチ（Ⅱ類）、マイマイツツハナバチ（Ⅱ類）、クズハキリバチ（要注）
	ミツバチ科	エサンキマダラハナバチ（Ⅱ類）、ナガマルハナバチ（Ⅱ類）、イカズチキマダラハナバチ（要注）、ナミルリモンハナバチ（要注）、クロマルハナバチ（要注）
	シリアゲコバチ科	オキナワシリアゲコバチ（準絶）
	アリバチ科	ツネキアリバチモドキ（準絶）
	コンボウハバチ科	ホシアシブトハバチ（要注）
	ハバチ科	ルリコシアカハバチ（要注）
	ヤドリキバチ科	トサヤドリキバチ（要注）
	ツチバチ科	ウチダハラナガツチバチ（要注）
	クモバチ科	スギハラクモバチ（要注）、ムツボシクモバチ（要注）、フタモンクモバチ（要注）、キオビクモバチ（要注）
シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	ハクサンシリアゲ（準絶）
	ガガンボモドキ科	ホシガガンボモドキ（要注）
ハエ目	ガガンボ科	アヤヘリガガンボ（要注）
	ホビヒメガガンボ科	ウスキシマヘリガガンボ（要注）、ヒメハスオビガガンボ（要注）
	ヒメガガンボ科	キバラガガンボ（要注）
	ニセヒメガガンボ科	アルプスニセヒメガガンボ（要注）
	カ科	トワダオオカ（要注）
	クサアブ科	ネグロクサアブ（要注）、キンシマクサアブ（要注）
トビケラ目	アシエダトビケラ科	クチキトビケラ（準絶）
	ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ（要注）

1

2

3

1 7. 和泉地区の地質時代・層序と化石産出例

2

地質年代		層序		産出化石
中生代	白亜紀	足羽層群相当層	平家岳累層	植物化石
		手取層群	知那洞谷層	植物化石
			後野層	鳥脚類の足跡化石、植物化石
			伊月層	非海棲貝類、植物化石、魚鱗 鳥類の足跡化石、獣脚類及び鳥脚類の足跡化石 ティラノサウルス類・イグアノドン類・カルノサウルス類の歯、真三錐歯類の歯、トリティロドン類の歯
			大淵層	産出無し
			葦谷層	植物化石
			山原層	三角貝
	ジュラ紀	九頭竜層群	山原坂層	アンモナイト、三角貝
			貝皿層	アンモナイト、ペレムナイト、イノセラムス等の海棲二枚貝類、植物化石、魚鱗、ウミユリ
			栴餅山層	アンモナイト、ペレムナイト
			大井谷層	ペレムナイト
			下山層	産出なし
		左門岳累層	放散虫	
	三畳紀		産出なし	
時代未詳の地層		大谷層	礫よりフズリナ、サンゴ、ウミユリ	
		本戸層	礫中よりフズリナ、コケムシ、ウミユリ、有孔虫、石灰藻、サンゴ、二枚貝	
		芦谷層	産出なし	
古生代	ペルム紀	野尻層群	フズリナ、三葉虫、腕足類、ウミユリ、コケムシ	
	石炭紀	長野層	フズリナ	
		藤倉谷層	サンゴ	
	デボン紀	上穴馬層	サンゴ、三葉虫、層孔虫類、腕足類、ウミユリ、腹足類、頭足類	
	シルル紀	子馬巢谷層	放散虫、三葉虫	
シルル紀	影路層	放散虫		

3 (注)

4 ・新生代の地質については、本市にて化石が産出されないことから記載を省略しています。

5 ・大谷層、本戸層、芦谷層については、その地質時代が定まっていません。

6

7

8

9

1 8. 災害の記録

2

3 過去の主な風水害（『大野市地域防災計画資料編』より引用）

年月日	名称・種別	被災状況等
昭和 34 年 8 月 12～14 日	大雨（台風 7 号）	建物流出：2、一部損壊：1、床上浸水：71、 床下浸水：729
昭和 34 年 9 月 25～26 日	伊勢湾台風	死者：39、負傷者：1、行方不明：14、全壊・流出： 49、家屋半壊：13、床上浸水：253、床下浸水：345
昭和 35 年 8 月 11～13 日	台風 11 号	死者：1、家屋流出：1、床下浸水：54、崖崩れ：2
昭和 35 年 8 月 29～30 日	台風 16 号	全壊：1、家屋流出：1、半壊：1、床上浸水：4、 床下浸水：37
昭和 36 年 9 月 16 日	第 2 室戸台風	負傷者：2、全壊・流出：19、家屋半壊：109、 床上浸水：236、床下浸水：717
昭和 39 年 7 月 8～9 日	梅雨前線	床上浸水：13、床下浸水：53、山崩れ：5
昭和 39 年 9 月 25 日	台風 20 号	床下浸水：1、崖崩れ：1
昭和 40 年 7 月 11～24 日	梅雨前線	死者：4、負傷者：8、建物全壊：11、建物半壊：21、 床下浸水：30、崖崩れ：5
昭和 40 年 9 月 10 日	暴風雨（台風 23 号）	死者：2、負傷者：7、建物全壊：11、建物半壊：21、 非住家被害：47
昭和 40 年 9 月 14～15 日	奥越豪雨	死者：5、負傷者 10、行方不明：1、全壊・流出：318、 家屋半壊：58、床上浸水：910、床下浸水：1370
昭和 40 年 9 月 17～18 日	台風 24 号	家屋半壊：1、床上浸水：1、崖崩れ：1
昭和 43 年 8 月 29 日	台風 10 号	床上浸水：30、崖崩れ：3
昭和 49 年 7 月 24 日	落雷	死者：1
昭和 49 年 8 月 29 日	土砂崩れ	死者：3、軽傷：2
昭和 50 年 8 月 23 日	台風 6 号	崖崩れ、道路流出：5
昭和 54 年 6 月 20～ 7 月 2 日	集中豪雨	床上浸水：1、床下浸水：10
昭和 54 年 9 月 4 日	台風 12 号	床上浸水：1、床下浸水：4
昭和 54 年 9 月 30 日～ 10 月 1 日	台風 16 号	床上浸水：1、床下浸水：3
昭和 56 年 7 月 1～3 日	集中豪雨	床上浸水：7、床下浸水：12
昭和 60 年 6 月 21～ 7 月 14 日	梅雨前線	死者：2、床下浸水：6
昭和 60 年 9 月 12 日	大雨	床下浸水：3
昭和 62 年 7 月 14 日	大雨	床下浸水：7
平成元年 9 月 2～7 日	豪雨	床下浸水：39
平成 3 年 9 月 27 日～ 28 日	台風 19 号	重傷者：1、軽傷者：4、一部損壊：9
平成 5 年 7 月 13～14 日	大雨	床下浸水：1、土砂崩れ：1
平成 7 年 7 月 14 日	大雨	床下浸水：6、土砂崩れ：3
平成 7 年 7 月 21 日	土砂崩れ	負傷者：2
平成 10 年 8 月 7 日	集中豪雨	土砂崩れ：10、橋梁流出：1
平成 10 年 8 月 14 日	集中豪雨	道路冠水：1
平成 10 年 9 月 23 日	台風 7 号	一部損壊：8、床下浸水：1、非住家損壊：30
平成 11 年 9 月 15 日	台風 16 号	林道決壊：5、農道損壊：2
平成 16 年 7 月 18 日	福井豪雨	床上浸水：10、床下浸水：46、土石流：2
平成 16 年 10 月 20 日	台風 23 号	床下浸水：5、護岸崩壊：2

年月日	名称・種別	被災状況等
平成 17 年 7 月 4 日	大雨	道路冠水：1
平成 18 年 7 月 18～19 日	平成 18 年 7 月 豪雨	土砂崩れ：1、路肩・法面崩壊等：7、護岸崩壊：2
平成 20 年 8 月 28 日	集中豪雨	床上浸水：1
平成 23 年 7 月 7 日	大雨	道路冠水：1
平成 23 年 9 月 17 日	台風 15 号	道路冠水：1

1

2 過去の主な雪害（『大野市地域防災計画資料編』より引用）

年月日	名称・種別	被災状況等
昭和 36 年 2 月 25 日	雪崩	死者：1
昭和 37 年 2 月 11 日	雪崩	死者：1、重傷者：2
昭和 38 年 1 月～2 月	大雪（38 豪雪）	重傷者：2、軽症者：3、全半壊：27、床上浸水：13、床下浸水：75
昭和 42 年 2 月 25 日	雪崩	死者：1、負傷者：1
昭和 43 年 （日付記載なし）	大雪	死者：2、負傷者：1
昭和 43 年 3 月 8 日	雪崩	死者：1、負傷者：2
昭和 45 年 12 月 11 日	雪崩	負傷者：3
昭和 45 年 12 月 12 日	雪崩	死者：1、負傷者：1
昭和 52 年 2 月 23 日	雪崩	死者：1
昭和 52 年 （日付記載なし）	大雪	死者：1、重傷者：7、軽傷者：1、床下浸水：24
昭和 56 年 （日付記載なし）	大雪（56 豪雪）	死者：2、重傷者：13、軽傷者：10、家屋全壊：19、家屋半壊：5、一部損壊：1,322、床上浸水：20、床下浸水：379
昭和 59 年 （日付記載なし）	大雪（59 豪雪）	死者：1、重傷者：7、軽傷者：2
昭和 60 年 （日付記載なし）	大雪	死者：3、重傷者：2、軽傷者：6
平成 5 年 2 月 1 日	雪崩	死者：1
平成 18 年 （日付記載なし）	平成 18 年 豪雪	死者：4、重傷者：9、軽傷者：23、家屋全壊：21、家屋半壊：6、一部損壊：216、床下浸水：21
平成 22 年 （日付記載なし）	大雪	重傷者：5、軽傷者：12、家屋半壊：1、一部損壊：7、床下浸水：4、床上浸水：1、非家屋全壊：3
平成 23 年 （日付記載なし）	大雪	死者：3、重傷者：4、軽傷者：16、家屋一部損壊：89、床下浸水：1、非家屋全壊：6、非家屋半壊：9、一部損壊：54
平成 24 年 （日付記載なし）	大雪	死者：1、重傷者：4、軽傷者：8、非家屋半壊：1、一部損壊：1、床下浸水：2
平成 30 年 （日付記載なし）	大雪	死者：2、重傷者：12、軽傷者：8、家屋全壊：1、家屋（空家）全壊：2、非家屋全壊：1、一部損壊：52、建築物以外：4

3

4

1 過去の主な震災（『大野市地域防災計画資料編』より引用）

年月日	名称・種別	被災状況等
明治 24 年 10 月 28 日	濃尾地震	死者：3、負傷者：8、全壊：24、半壊：20、一部損壊：238、道路破裂：20、山崩れ：19
昭和 23 年 6 月 28 日	福井地震	死者：6
昭和 36 年 8 月 19 日	北美濃地震	全半壊：11、一部損壊：11、崖崩れ：9
平成元年 5 月 2 日		道路被害：4、橋梁被害：1、砂防被害：1、鉄道不通：1、農業施設：1
平成 8 年 2 月 7 日		一部損壊：13

2

3 過去の大火（「大火の歴史 大野市公式ウェブサイト」から引用）

年月日	名称	損害
宝永 8 年 2 月 4 日	大野藩の役所火事	角櫓をはじめ家中 56 軒焼失
正徳 4 年 3 月 5 日	比丘尼町彦左衛門火事	焼失家屋、寺院など 194 棟
安永 4 年 4 月 8 日	太郎兵衛火事	大野城御本丸武器庫をはじめ町にて民家 1,075 戸、御家中 230 戸、土蔵 280 棟、寺院 26 寺全焼、死者 2 名、中野村 8 割焼失
安永 9 年 3 月 9 日	吉左エ門火事	民家 377 戸、土蔵 1 棟、寺院 13 寺焼失
寛政元年 4 月 17 日	蓮光寺火事	中心街民家 986 棟、御家中一部焼失
文政 5 年 3 月 5 日	長四郎火事	民家 785 棟全焼
文政 10 年 5 月 19 日	大根葉火事	城内に飛火し御新宅、矢蔵、御殿をはじめ武家、民家など計 1,000 余棟を焼失
明治 21 年 4 月 8 日	大野町明治の大火	民家 1,113 戸、半焼 14 戸、空家 45 戸、土蔵 322 棟、小学校 1 棟、治安裁判所 1 棟、寺院 2 棟、死者 3 名、重軽傷者 79 名
明治 32 年 6 月 18 日	大野町二度目の大火	民家 741 戸、半焼 7 戸、土蔵全焼 76 棟、同半焼 4 棟、警察署、税務署、郵便電信局 死者 1 名、行方不明 1 名、負傷者 19 名

4

5

6

1 9. 指定等文化財の一覧

2

3 国指定文化財

No.	名称	種別	員数	指定年月日	所在地	管理者
1	旧橋本家住宅	建造物	1棟	昭和44年12月18日	宝慶寺	大野市
2	専福寺の大ケヤキ	天然記念物	1樹	昭和10年6月7日	友兼	専福寺
3	本願清水イトヨ生息地	天然記念物	1件	昭和9年5月1日	糸魚町	大野市
4	アラレガコ生息地	天然記念物	1件	昭和10年6月7日	九頭竜川	福井県

4

5

6

7

8

9



旧橋本家住宅



専福寺の大ケヤキ



本願清水イトヨ生息地

1 県指定文化財

No.	名称	種別	員数	指定年月日	所在地	管理者
5	南専寺山門	建造物	1棟	平成25年3月22日	下唯野	南専寺
6	絹本着色 道元禅師図像	絵画	1幅	昭和37年5月15日	宝慶寺	宝慶寺
7	絹本着色 伝如浄禅師図像	絵画	1幅	昭和37年5月15日	宝慶寺	宝慶寺
8	絹本着色 雲居道膺和尚図像	絵画	1幅	昭和37年5月15日	宝慶寺	宝慶寺
9	絹本着色 釈迦三尊像	絵画	1幅	昭和37年5月15日	宝慶寺	宝慶寺
10	絹本着色 光明号本尊(光明本)	絵画	1幅	昭和44年4月1日	上大納	浄楽寺
11	紙本淡彩 維摩像	絵画	1幅	平成26年3月28日	錦町	善導寺
12	紙本金地著色 三十六歌仙図	絵画	六曲半双	令和2年8月4日	錦町	円立寺
13	紙本着色 春秋遊女遊楽図	絵画	二曲一隻	令和2年8月4日	今井	西応寺
14	紙本墨画淡彩 鷲鷹図屏風	絵画	六曲一双	令和3年9月7日	錦町	円立寺
15	紙本墨書 伝道元筆「阿闍世王之六臣」法語	書跡	1巻	昭和37年5月15日	宝慶寺	宝慶寺
16	紺紙金字法華経	書跡	10巻	昭和50年6月3日	錦町	妙典寺
17	木造 阿弥陀如来坐像 銅造 阿弥陀如来立像(胎内像)	彫刻	2軀	平成6年5月24日	錦町	善導寺
18	南専寺庭園	名勝	1件	平成25年3月22日	下唯野	南専寺
19	神子踊	民俗芸能	1組	昭和34年9月1日	上打波	神子踊保存会
20	平家踊	民俗芸能	1組	昭和37年5月15日	巢原	平家踊保存会
21	扇踊	民俗芸能	1組	昭和39年6月5日	上若生子 下若生子	扇踊保存会
22	越前大野城跡	史跡	1件	昭和44年12月18日	城町	大野市
23	白山神社のカツラ	天然記念物	1樹	昭和34年9月1日	下打波	白山神社

2
3
4
5
6



南専寺山門



白山神社のカツラ



紙本着色 春秋遊女遊楽図

1 市指定文化財

No.	名称	種別	員数	指定年月日	所在地	管理者
24	大野市民俗資料館	建造物	1棟	昭和42年8月19日	城町	大野市
25	伝 越前大野城不明門	建造物	1棟	平成22年2月26日	中丁	真乗寺
26	紙本 日蓮上人法華大曼荼羅	絵画	1幅	昭和33年7月17日	錦町	妙典寺
27	絹本 十六善神図幅	絵画	1幅	昭和33年7月17日	錦町	大宝寺
28	絹本 土井利忠筆菊花図幅	絵画	1幅	昭和36年1月26日	錦町	善導寺
29	紙本 伝岩佐勝重三十六歌仙画帖	絵画	6帖	昭和40年1月22日	天神町	天満宮
30	絹本 蓮如上人鏡の御影	絵画	1幅	昭和53年3月1日	稲郷(上据)	しがらみ最勝寺
31	方便法身尊像(阿弥陀如来像)	絵画	1幅	昭和62年7月16日	南六呂師	雲乗寺
32	仏涅槃図	絵画	1幅	昭和62年7月16日	清滝	洞雲寺
33	方便法身尊像(絵像)及び裏書き	絵画	1幅	昭和56年7月1日	角野前坂	前坂区長
34	短冊手鑑	書跡	1冊	昭和33年7月17日	横枕	個人
35	朝倉義景筆短冊	書跡	1点	昭和33年7月17日	中野町1	個人
36	武田耕雲斎筆扁額	書跡	1面	昭和39年12月22日	元町	個人
37	絹本 伝親鸞聖人筆十字名号	書跡	1幅	昭和42年8月19日	中丁	真乗寺
38	絹本 蓮如上人の御影裏書	書跡	1幅	昭和53年3月1日	稲郷(上据)	しがらみ最勝寺
39	土井利恒筆扁額	書跡	1点	昭和55年5月27日	城町	有終西小学校
40	土井利恒筆詩幅	書跡	1幅	昭和55年5月27日	春日2	有終南小学校
41	雷澤宗俊墨蹟「萬年字号偈」	書跡	1点	昭和62年7月16日	日吉町	瑞祥寺
42	御文章第五帖	書跡	1冊	昭和56年7月1日	角野前坂	前坂区長
43	木造元勅和尚倚像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	清滝	洞雲寺
44	備荒倉扁額	彫刻	1点	昭和33年7月17日	萩ヶ野	個人
45	木造 十一面観音坐像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	下黒谷	佛性寺
46	木造 白山神社本尊坐像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	下黒谷	白山神社
47	木造 十一面観音坐像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	鍬掛	地蔵庵
48	木造 地蔵菩薩半跏像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	鍬掛	洪泉寺
49	木造 子安観音坐像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	深井	春日神社
50	春日神社本尊像	彫刻	3軀	昭和33年7月17日	深井	春日神社
51	扇面散らし欄間	彫刻	1面	昭和33年7月17日	錦町	円立寺
52	石造 不動明王立像	彫刻	1軀	昭和33年7月17日	上荒井	個人
53	木造 釈迦如来仏頭	彫刻	1基	昭和46年2月25日	佐開	荒島神社
54	木造 阿弥陀如来立像及び胎内経	彫刻	1軀	昭和46年2月25日	北御門	北御門区
55	鼻高面	彫刻	1面	昭和46年2月25日	北御門	北御門区
56	猿楽の尉面	彫刻	1面	昭和55年11月26日	上舌	個人
57	不動明王立像	彫刻	1軀	平成5年5月26日	錦町	大宝寺
58	釈迦如来坐像	彫刻	1軀	平成5年5月26日	明倫町	曹源寺
59	観音菩薩立像	彫刻	1軀	平成5年5月26日	清滝	洞雲寺
60	阿弥陀如来立像及び木仏免許状	彫刻	1軀	昭和56年7月1日	角野前坂	前坂区長
61	姥尊像	彫刻	1軀	平成18年3月27日	清滝	洞雲寺
62	歴代朝倉文書	古文書	2巻	昭和33年7月17日	清滝	洞雲寺
63	前波長俊書状	古文書	1通	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺

No.	名称	種別	員数	指定年月日	所在地	管理者
64	滝川一益等連署寺領安堵状	古文書	1通	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
65	知円沙弥寄進状	古文書	1通	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
66	円聰沙弥寄進状	古文書	1通	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
67	如忻寺領目録	古文書	1通	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
68	建綱筆 宝慶寺由緒記	古文書	1巻	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
69	存因寺領目録	古文書	1通	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
70	走り川漁業権文書	古文書	1点	昭和33年7月17日	泉町	個人
71	朝倉義景書状	古文書	1通	昭和33年7月17日	中野町1	個人
72	朝倉義景感状	古文書	1通	昭和33年7月17日	中野町1	個人
73	朝倉景鏡感状	古文書	1通	昭和33年7月17日	中野町1	個人
74	不動堂村境界文書	古文書	1点	昭和33年7月17日	不動堂	春日神社
75	小栗美作守書状	古文書	1通	昭和33年7月17日	要町	教願寺
76	金森長近寄進状	古文書	1通	昭和33年7月17日	友兼	専福寺
77	松平直久掟書	古文書	1点	昭和34年12月17日	友兼	専福寺
78	金森長近禁制状	古文書	1通	昭和36年1月26日	日吉町	恵光寺
79	金塚漁業権文書	古文書	8点	昭和40年1月22日	天神町	天神町区
80	大野郡鍛冶座文書	古文書	7点	昭和48年3月30日	元町	個人
81	藤野文書	古文書	20点	平成元年6月26日	天神町	大野市歴史博物館
82	大野藩洋学館旧蔵和蘭の原書 翻訳書、字典	典籍	原典48冊 翻訳和書10冊	昭和33年7月17日	新庄	大野高等学校
83	大野藩病院旧蔵医学書	典籍	31冊	昭和33年7月17日	本町	個人
84	大野藩洋学館旧蔵和蘭の翻訳書	典籍	16冊	昭和33年7月17日	天神町	大野市歴史博物館
85	蓬萊山円鏡	工芸品	1面	昭和33年7月17日	中野町1	個人
86	瑞花双鳳八稜鏡	工芸品	1面	昭和33年7月17日	中野町1	個人
87	画文帯神獸鏡	工芸品	1面	昭和33年7月17日	要町	教願寺
88	高橋吉重作 脇差	工芸品	1口	昭和39年12月22日	春日1	個人
89	押出仏 三体	工芸品	3体	昭和46年2月25日	牛ヶ原	八幡神社
90	白山山頂出土の山岳信仰遺品	工芸品	4点	平成元年6月26日	天神町	大野市歴史博物館
91	武田耕雲斎遺留日本地図	史料	2枚	昭和33年7月17日	木本	個人
92	大矢戸古墳遺物	史料	3点	昭和33年8月27日	天神町	大野市歴史博物館
93	須恵器横瓶	史料	1点	昭和33年11月3日	天神町	大野市歴史博物館
94	袈裟	史料	3領	平成5年5月26日	宝慶寺	宝慶寺
95	頭陀袋	史料	3肩	平成5年5月26日	宝慶寺	宝慶寺
96	縄文時代深鉢	考古資料	1点	昭和47年7月14日	朝日	和泉郷土資料館
97	縄文時代深鉢	考古資料	1点	昭和47年7月14日	朝日	和泉郷土資料館
98	縄文時代小児カメ棺	考古資料	1点	昭和47年7月14日	朝日	和泉郷土資料館
99	縄文式土器（壺）	考古資料	1点	昭和51年12月22日	朝日	和泉郷土資料館
100	縄文式土器（甕）	考古資料	1点	昭和51年12月22日	朝日	和泉郷土資料館
101	縄文式土器（把手付深鉢）	考古資料	1点	昭和51年12月22日	朝日	和泉郷土資料館
102	縄文式土器（深鉢）	考古資料	1点	昭和51年12月22日	朝日	和泉郷土資料館

No.	名称	種別	員数	指定年月日	所在地	管理者
103	縄文式土器（深鉢）	考古資料	1点	昭和51年12月22日	朝日	和泉郷土資料館
104	縄文式土器（深鉢）	考古資料	1点	昭和51年12月22日	朝日	和泉郷土資料館
105	三社の雨乞踊り	民俗芸能	1組	昭和42年5月18日	牛ヶ原	雨乞踊り保存会
106	仕ぐさ踊り	民俗芸能	1組	昭和46年2月25日	菖蒲池	仕ぐさ踊り保存会
107	投げ賽銭跡のある壇縁 および内陣	風俗慣習	1基	昭和56年7月1日	角野前坂	前坂区長
108	黒谷経塚跡	史跡	1基	昭和33年7月17日	下黒谷	下黒谷区
109	明倫館跡	史跡	1件	昭和33年7月17日	明倫町	大野市
110	朝倉義景墓	史跡	1基	昭和33年7月17日	泉町	大野市
111	土屋正明墓	史跡	1基	昭和33年7月17日	錦町	善導寺
112	小山城址	史跡	1件	昭和33年7月17日	北御門	北御門、 医王寺、 森政領家
113	亥山城址	史跡	1件	昭和33年7月17日	日吉町	日吉神社
114	将監城址	史跡	1件	昭和33年7月17日	西勝原	西勝原区
115	戌山城址	史跡	1件	昭和35年5月11日	犬山	犬山区
116	土井家累代墓所	史跡	1件	昭和40年1月22日	錦町	善導寺
117	越前大野城百間堀跡	史跡	1件	昭和42年5月18日	城町	大野市
118	角野前坂縄文遺跡	史跡	1件	昭和47年7月14日	角野前坂	個人
119	小谷堂縄文遺跡	史跡	1件	昭和47年7月14日	小谷堂	個人
120	田村又左衛門家屋敷	史跡	1件	平成21年3月26日	城町	個人
121	義雲杉	天然記念物	1樹	昭和33年7月17日	宝慶寺	宝慶寺
122	春日神社の大いちょう	天然記念物	1樹	昭和33年7月17日	不動堂	春日神社
123	ナポレオン石	天然記念物		昭和40年7月29日	下若生子	
124	桃木峠の大杉	天然記念物	1樹	昭和42年8月19日	上打波 (嵐)	森林管理 署ほか
125	八幡神社の大杉	天然記念物	2樹	昭和46年2月25日	牛ヶ原	八幡神社
126	石灰華（寒水石）形成地	天然記念物		平成4年10月28日	下打波	個人
127	平家平のトチノキ	天然記念物	1樹	平成8年9月26日	巢原	大野市
128	天狗岩	天然記念物	1件	昭和61年8月25日	後野	後野区長

1 国登録文化財

No.	名称	種別	員数	登録年月日	所在地	管理者
129	平成大野屋本店洋館	建造物	1棟	平成10年9月2日	元町	大野市
130	平成大野屋本店二階蔵	建造物	1棟	平成10年9月2日	元町	大野市
131	南部酒造場店舗	建造物	1棟	平成13年11月20日	元町	個人
132	南部酒造場旧酒蔵前蔵	建造物	1棟	平成13年11月20日	元町	個人
133	南部酒造場旧酒蔵大蔵	建造物	1棟	平成13年11月20日	元町	個人
134	南部酒造場西蔵	建造物	1棟	平成13年11月20日	元町	個人
135	南部酒造場米蔵	建造物	1棟	平成13年11月20日	元町	個人
136	鬼谷川堰堤	建造物	1基	平成15年9月19日	佐開	福井県
137	旧内山家住宅主屋	建造物	1棟	平成30年5月10日	城町	大野市
138	旧内山家住宅離れ	建造物	1棟	平成30年5月10日	城町	大野市
139	旧内山家住宅味噌蔵	建造物	1棟	平成30年5月10日	城町	大野市
140	旧内山家住宅衣装蔵	建造物	1棟	平成30年5月10日	城町	大野市
141	旧内山家住宅米蔵	建造物	1棟	平成30年5月10日	城町	大野市
142	旧内山家住宅門	建造物	1棟	平成30年5月10日	城町	大野市
143	平成大野屋本店平蔵	建造物	1棟	平成30年11月2日	元町	大野市

2

3

4

5

6

7

8

9

10



旧内山家住宅



平成大野屋本店洋館



南部酒造場

1 10. おおの遺産一覧

2

NO.	名称	分野	団体名等	認証日
1	七間朝市	生活	大野市朝市出荷組合	平成 29 年 3 月 27 日
2	蕨生里神楽	伝統芸能	里神楽実行委員会	
3	篠座神社の里神楽・豊栄舞	伝統芸能	篠座神社獅子舞保存会	
4	木本領家里神楽	伝統芸能	木本領家区	
5	木本区初午だんご撒き	年中行事	木本区	
6	篠座神社の福もちまき	年中行事	篠座神社総代	
7	篠座町の旧家が持ち回る神明講	年中行事	篠座神社と篠座町旧家 23 軒	
8	上大納左義長	年中行事	上大納区	
9	尾永見伊勢講	年中行事	尾永見神社	
10	鍬掛伊勢講	年中行事	鍬掛伊勢講保存会	
11	行人岩	景観	大矢戸区	
12	伊勢講	年中行事	土布子区	
13	下打波白山神社・中神社の祭礼	年中行事	下打波地区	
14	稲郷里神楽	伝統芸能	稲郷青年会	
15	陽明町一丁目 1 区の不動明王祭	年中行事	陽明町一丁目 1 区	平成 31 年 3 月 14 日
16	明倫町 1 区による乳地蔵のご祈祷	年中行事	明倫町 1 区	
17	穴馬紙	生業	穴馬紙大すきの会	令和 2 年 3 月 23 日
18	奥越太鼓	伝統芸能	奥越曲太鼓朋友会	
19	アジメ漁	生業	奥越漁業協同組合「アジメ漁」 保存研究会	令和 3 年 2 月 28 日

3

4

5 11. 文化庁以外の省庁や団体の制度による選定

6

名称	地区等	選定年等	
旧建設省選定「都市景観百選」	大野城下町	大野城下町全域	平成 9 年
旧環境庁選定「名水百選」	御清水	泉町	昭和 60 年
旧国土庁選定「水の郷百選」	湧水群	大野市全域	平成 8 年
環境省選定「日本の重要湿地 500」	大野市の湧水	大野市全域	平成 13 年
日本森林学会認定「林業遺産」	越前オウレンの栽培技術	五箇地区他	平成 26 年

7

8

9 12. 大野市埋蔵文化財包蔵地一覧

10

No.	遺跡名	種別	所在地	時代	現況
1	大矢戸古墳	古墳	大矢戸	古墳時代	山林
2	大矢戸遺跡	散布地	大矢戸		水田
3	小矢戸九紋目遺跡	散布地	小矢戸		水田
4	太田・小矢戸遺跡	集落跡	小矢戸	縄文時代・弥生時代・飛鳥時代～中世	水田
5	太田山下遺跡	散布地	太田		水田
6	御茶ヶ端古墳群	古墳	太田	古墳時代	山林
7	御茶ヶ端城跡	城跡	太田	中世	山林

No.	遺跡名	種別	所在地	時代	現況
8	目録古墳群	古墳	矢	古墳時代	
9	矢前田遺跡	散布地	矢	奈良時代・平安時代	水田
10	城目古墳群	古墳	矢	古墳時代	山林
11	矢西畑遺跡	散布地	矢	古墳時代～中世	畑
12	山ヶ鼻古墳群	古墳	牛ヶ原・矢	弥生時代・古墳時代	山林
13	六反田遺跡	散布地	牛ヶ原	弥生時代・古墳時代	水田
14	東稲場古墳群	古墳	牛ヶ原	古墳時代	山林
15	中大門遺跡	散布地	牛ヶ原	縄文時代	水田
16	天神堂遺跡	散布地	牛ヶ原	奈良時代・平安時代・中世	水田
17	尾永見遺跡	集落跡	牛ヶ原	縄文時代～中世	宅地・水田
18	庄林西小柴遺跡	散布地	庄林		水田
19	庄林深見遺跡	散布地	庄林	古墳時代～中世	水田
20	下荒井城跡	城跡	西大月・東大月	中世	山林
21	磐座神社遺跡	祭祀跡	東大月		水田
22	西大月遺跡	散布地	西大月		水田
23	南新在家縄手遺跡	散布地	南新在家		水田
24	中津川黒之上遺跡	散布地	中津川	奈良時代・平安時代	水田
25	南新在家松本遺跡	散布地	南新在家	奈良時代・平安時代・中世	水田
26	森目遺跡	散布地	森目		水田
27	富嶋遺跡	散布地	富嶋		水田
28	牛ヶ原城跡	城跡	牛ヶ原	中世	水田
29	稻荷山古墳群	古墳	牛ヶ原	古墳時代	山林
30	坂戸下遺跡	散布地	牛ヶ原		水田
31	坂戸遺跡	散布地	牛ヶ原	古墳時代	道路・水田
32	花山古墳群	古墳	牛ヶ原	古墳時代	山林
33	滝本遺跡	散布地	牛ヶ原	弥生時代・古墳時代	水田
34	寺町遺跡	散布地	牛ヶ原	弥生時代・古墳時代・中世	水田
35	下田遺跡	集落跡	牛ヶ原	縄文時代～中世	水田
36	矢狭間遺跡	散布地	矢		水田
37	西市遺跡	散布地	西市		水田
38	中野遺跡	散布地	中野	奈良時代・平安時代・中世	水田・工場
39	庄林大尾遺跡	散布地	庄林	古墳時代	水田
40	庄林広繁田遺跡	散布地	庄林	奈良時代・平安時代	水田
41	中津川阿弥陀遺跡	散布地	中津川		水田
42	下丁遺跡	散布地	下丁	弥生時代・古墳時代・中世	水田
43	丁古墳群	古墳	中丁	古墳時代	山林
44	中丁堂ノ下遺跡	散布地	中丁	中世・近世	水田
45	中丁乗末遺跡	散布地	中丁	弥生時代・古墳時代	水田
46	中丁堂明下遺跡	散布地	中丁	奈良時代・平安時代	水田
47	犬山村下遺跡	散布地	犬山	奈良時代～近世	水田
48	縄境遺跡	集落跡	牛ヶ原	縄文～古墳時代・中世・近世	宅地・水田
49	犬山遺跡	集落跡	犬山	弥生時代・古墳時代・中世	宅地・水田
50	大野城跡	城跡	城町	近世	学校・公園
51	犬山古墳群	古墳	犬山	古墳時代	山林
52	戌山城跡	城跡	犬山	中世	山林
53	上丁畔遺跡	散布地	上丁		水田

No.	遺跡名	種別	所在地	時代	現況
54	上丁茶原遺跡	散布地	上丁	古墳時代	水田
55	清滝遺跡	散布地	清滝	中世	水田
56	西方寺城跡	城跡	鍬掛	中世	山林
57	土橋城跡	城跡	日吉町	中世	神社
58	鍬掛東山遺跡	散布地	鍬掛	弥生時代・古墳時代・中世	水田
59	鍬掛穴田遺跡	散布地	鍬掛		水田
60	飯降遺跡	散布地	飯降		水田
61	飯降古墳群	古墳	飯降	古墳時代	山林
62	新庄遺跡	集落跡	新庄	縄文時代～古墳時代・中世	水田・宅地
63	深井江尻遺跡	散布地	深井	弥生時代・古墳時代	水田
64	深井春日前遺跡	散布地	深井	弥生時代・古墳時代	水田
65	右近次郎桜町遺跡	散布地	右近次郎		水田
66	右近次郎西川遺跡	散布地	右近次郎	弥生時代・古墳時代	水田
67	右近次郎遺跡	集落跡	右近次郎	縄文時代・弥生時代・中世	宅地・水田
68	春日野遺跡	散布地	春日野	奈良時代～中世	水田
69	南春日野遺跡	散布地	南春日野		水田
70	大桜遺跡	散布地	大桜		水田
71	下舌荒井道遺跡	散布地	下舌		水田
72	下舌三ツ塚古墳群	古墳	下舌	古墳時代	林
73	下舌遺跡	散布地	下舌	縄文時代	宅地・水田
74	下黒谷遺跡	集落跡	下黒谷	縄文時代～中世	水田
75	下黒谷経塚	経塚	下黒谷	平安時代	山林
76	上黒谷大門遺跡	散布地	上黒谷		水田
77	上黒谷重馬遺跡	散布地	上黒谷		水田
78	上舌遺跡	散布地	上舌	弥生時代～中世	水田
79	御城山古墳群	古墳	上舌	古墳時代	山林
80	山城城跡	城跡	上舌	中世	山林
81	千歳遺跡	散布地	千歳	弥生時代～平安時代	水田
82	阿難祖地頭方藪田遺跡	散布地	阿難祖地頭方		水田
83	茶臼山城跡	城跡	上舌	中世	山林
84	阿難祖領家岸ノ下遺跡	散布地	阿難祖領家	縄文時代	水田
85	横枕遺跡	集落跡	横枕	縄文時代・弥生時代・奈良時代～近世	水田
86	友江遺跡	散布地	友江		水田
87	中保坪ノ内遺跡	散布地	中保		水田
88	中保小政戸遺跡	散布地	中保		水田
89	菖蒲池遺跡	散布地	菖蒲池	古墳時代～中世	水田
90	吉遺跡	散布地	吉		水田
91	下据遺跡	散布地	下据		水田
92	下据新堂野遺跡	散布地	下据		水田
93	中据西川遺跡	散布地	中据		水田
94	西据遺跡	散布地	西据		水田
95	北御門城山遺跡	散布地	北御門	奈良時代～中世	水田
96	北御門古墳	古墳	北御門	古墳時代	水田
97	猪島塚田遺跡	散布地	猪島		水田
98	医王寺遺跡	散布地	猪島	縄文時代	水田
99	小山城跡	城跡	猪島	中世	山林
100	北御門高土井遺跡	散布地	猪島		水田
101	森政地頭塚之上遺跡	散布地	友兼		水田
102	千歳南田遺跡	散布地	千歳	弥生時代	水田

No.	遺跡名	種別	所在地	時代	現況
103	阿難祖地頭方平田遺跡	散布地	阿難祖地頭方	縄文時代・弥生時代	水田
104	阿難祖地頭方柴桑遺跡	散布地	阿難祖地頭方		水田
105	榎観音堂遺跡	散布地	榎	縄文時代	水田
106	榎遺跡	散布地	榎	縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代	水田
107	中据嶋林遺跡	散布地	中据		水田
108	中据江添遺跡	散布地	中据		水田
109	中据遺跡	散布地	中据	弥生時代～平安時代	水田
110	下郷遺跡	散布地	下郷	中世	水田
111	森政地頭門前遺跡	散布地	森政地頭		水田
112	友兼遺跡	散布地	友兼	中世	水田
113	御給遺跡	散布地	御給	奈良時代・平安時代・中世	水田
114	開発遺跡	散布地	開発		水田
115	東山遺跡	散布地	東山	奈良時・平安時代	水田
116	稲郷鋤折遺跡	散布地	稲郷		水田
117	野中遺跡	散布地	野中	奈良時代・平安時代・中世	水田
118	五条方遺跡	散布地	五条方	奈良時代・平安時代・中世	水田
119	据遺跡	散布地	稲郷	縄文時代	学校
120	木本大塚遺跡	散布地	木本		学校
121	木本大袖遺跡	散布地	木本		水田
122	西山一ツ屋遺跡	散布地	西山		水田
123	西山宮ノ下遺跡	散布地	西山		水田
124	岩田遺跡	散布地	森山	縄文時代	水田
125	平沢領家遺跡	散布地	平沢領家	平安時代・中世	水田
126	今井遺跡	散布地	今井	奈良時代・平安時代	水田
127	神明山城跡	城跡	佐開	中世	山林
128	佐開遺跡	集落跡	佐開	縄文時代	水田
129	田野遺跡	散布地	田野		水田
130	土打遺跡	散布地	土打		水田
131	花房遺跡	散布地	花房	縄文時代	水田
132	松丸館跡	館跡	松丸	中世	宅地・水田
133	七板遺跡	散布地	七板	中世	水田
134	新塚原遺跡	散布地	新塚原	中世	水田
135	下唯野遺跡	散布地	下唯野	古墳時代～平安時代	水田
136	蕨生遺跡	散布地	蕨生	縄文時代～平安時代	水田
137	蓑道遺跡	散布地	蓑道		水田
138	落合遺跡	散布地	落合	縄文時代・弥生時代	水田
139	伏石遺跡	散布地	伏石	奈良時代・平安時代	水田
140	中谷遺跡	散布地	小黑見	縄文時代	水田
141	勝原城跡	城跡	西勝原	中世	山林
142	下秋生遺跡	散布地	下秋生	縄文時代	荒地
143	独小山城	城跡	黒当戸	中世	
144	温見遺跡	散布地	温見	縄文時代	
145	温見経塚	経塚	温見	中世	神社・荒地
146	経ヶ岳経塚	経塚	経ヶ岳	中世	山林
147	下笹又城跡	城跡	下笹又	中世	山林
148	牛ヶ原城跡（三社之城跡）	城跡	牛ヶ原	中世	山林
149	春日山城跡	城跡	木本	中世・近世	山林
150	明倫遺跡	散布地	明倫町	近世	宅地
151	後野遺跡	集落跡	後野	縄文時代	水田

No.	遺跡名	種別	所在地	時代	現況
152	角野前坂遺跡	集落跡	角野前坂	縄文時代	畑地
153	朝日前坂遺跡	散布地	朝日前坂	縄文時代	畑地
154	三面遺跡	散布地	三面	縄文時代	荒地
155	小谷堂遺跡	集落跡	小谷堂	縄文時代	荒地
156	持穴遺跡	散布地	持穴	縄文時代	ダム
157	下半原遺跡	散布地	下半原	縄文時代	ダム
158	中伊勢遺跡	散布地	中伊勢	縄文時代	荒地
159	下山遺跡	散布地	下山	中世・近世	水田・宅地・山林
160	貝皿遺跡	散布地	貝皿	縄文時代・中世・近世	水田・宅地

1

1 13. 各種文化財調査に関連する主な書籍(市史を除く)

2

書名	発行	刊行年
『奥越史料 1～36号』	大野市教育委員会	昭和45年～
『重要文化財橋本家住宅移築修理工事報告書』	大野市	昭和48年12月
『大野盆地における陸封型イトヨの生態』	大野市教育委員会	昭和48年12月
『上庄のあゆみ』	上庄公民館	昭和51年8月
『奥越前の民俗芸能』	大野市文化協会	昭和52年5月
『いずみ村の地質と化石』	和泉村教育委員会	昭和52年10月
『郷土資料目録 昭和53年3月31日現在』	大野市郷土歴史館	昭和53年3月
『大野市文化財調査報告書 第1冊 山ヶ鼻古墳群』	大野市教育委員会	昭和55年3月
『大野市文化財調査報告書 第2冊 右近次郎遺跡1』	大野市教育委員会	昭和57年3月
『天然記念物本願清水イトヨ生息地緊急調査報告書』	大野市教育委員会	昭和59年3月
『大野市文化財調査報告書 第3冊 右近次郎遺跡Ⅱ』	大野市教育委員会	昭和60年3月
『歴史と史跡 大野』	大野市	昭和63年8月
『大野市文化財調査報告書 第5冊 山ヶ鼻古墳群Ⅱ』	大野市教育委員会	平成5年3月
『絵図が語る大野』	大野市歴史民俗資料館	平成6年6月
『水の民俗』	大野市歴史民俗資料館	平成8年8月
『越前大野の城下町と町家』	財団法人日本ナショナルトラスト	平成11年3月
『福井県の民俗芸能-福井県民俗芸能緊急調査報告書-』	福井県教育委員会	平成15年3月
『大野のあゆみ 改訂版』	大野市	平成16年7月
『奥越前、未公開・新出文化財展 白山信仰の遺宝を中心に』	大野市歴史民俗資料館	平成16年10月
『福井県歴史の道調査報告書 第5集 美濃街道・勝山街道(永平寺道・白山禅定道)』	福井県教育委員会	平成17年3月
『田村家住宅の建築的調査研究 調査報告書』	大野市教育委員会	平成17年3月
『白山の金山』	大野市歴史博物館	平成18年9月
『陶芸の交流-美濃街道がつなぐ産業と文化-』	大野市歴史博物館	平成20年9月
『歴史的建造物の総合調査』	大野市教育委員会	平成22年3月
『越前大野城-金森領国から土井大野藩へ-』	大野市歴史博物館	平成22年9月
『山と海の殖産興業』	大野市歴史博物館	平成23年10月
『福井県の近代和風建築 -福井県近代和風建築総合調査報告書-』	福井県教育委員会	平成24年3月
『大野出目家の能面 井伊家の名品(彦根城博物館蔵を中心に)』	大野市歴史博物館	平成26年10月
『ふるさと探訪 下庄の名所・史跡』	下庄をよくする会	平成27年3月
『ふるさと大野 再発見! 和泉の化石』	大野市教育委員会	平成28年1月
『福井県大野市長野産後期ジュラ紀アンモナイト』	大野市教育委員会	平成31年2月
『指定文化財建造物 大野市民俗資料館保存活用計画』	大野市教育委員会	平成31年2月

3

4

1 14. 博物館等での企画展

2

3 大野市歴史博物館での実施

No.	展示会名称	実施年月日	内容
1	特別屏風展	昭和 62 年 8 月 12 日 ～16 日	これまで公開されていなかった市内に 収蔵されている秘蔵の屏風を展示。
2	特別展 土井家	昭和 63 年 7 月 30 日 ～8 月 28 日	おおの城まつりに協賛し、大野藩主土 井家に関する資料を市内各所から集め て展示。図録作成。
3	越前大野刀剣展	昭和 63 年 10 月 29 日 ～11 月 27 日	大野市に伝来した刀剣を一堂に集めて 展示。
4	特別展 能面 大野出目家とその 周辺	平成元年 6 月 10 日 ～7 月 16 日	大野郡出身といわれる面打ち家「大野 出目家」の作品を能楽資料館の名品を 中心に展示した。図録作成。
5	特別展 岡島コレクション	平成元年 8 月 12 日 ～11 月 5 日	大野市出身の岡島辰五郎氏が収集した 美術工芸資料を展示。
6	特別展 駕籠	平成 2 年 7 月 28 日 ～9 月 2 日	大野土井家や市内寺院で使われた駕籠 を展示。リーフレット作成。
7	特別展 道元とゆかりの高僧	平成 3 年 8 月 11 日 ～9 月 16 日	宝慶寺や永平寺が所蔵する、日本曹洞 宗の開祖である道元とその弟子たち に関する資料を展示した。図録作成。
8	市制 40 周年記念特別展 絵図が語る大野	平成 6 年 6 月 28 日 ～8 月 21 日	城・町・村の歴史を物語るさまざまな 絵図を集めて展示した。図録作成。
9	終戦 50 周年企画展 戦時中の暮らし	平成 7 年 8 月 12 日 ～8 月 27 日	終戦 50 周年に当たり、大野の戦時中の 暮らしを物語る資料を集め紹介した。
10	特別展 水の民俗	平成 8 年 8 月 10 日 ～9 月 8 日	水に関する民具・伝説等を収集し、展 示した。図録作成。
11	特別展 藩船 大野丸物語	平成 11 年 2 月 20 日 ～3 月 28 日	幕末大野藩の活躍を物語る「大野丸」 の誕生から破船までの資料を網羅し た。
12	特別展 大野藩と蘭学	平成 13 年 2 月 17 日 ～3 月 25 日	大野藩が収蔵していた多くの蘭学資料 を展示し、大野藩の先見性を再認識し た。
13	収蔵品展 屏風の中の花と鳥	平成 15 年 10 月 11 日 ～11 月 9 日	収蔵している室町時代末から近現代に かけての貴重な絵画屏風を展示した。
14	企画展 大野の 50 年 ～あのころわたしは～	平成 16 年 4 月 17 日 ～5 月 9 日	市政 50 周年に当たり、市政トピックス から写真を選びすぐり、大野の歩みを 振り返った。
15	奥越前、未公開・新出文化財展 ～白山信仰の遺宝を中心に～	平成 16 年 10 月 8 日 ～12 月 4 日	白山信仰にかかわる遺宝を中心に新出 の文化財も展示した。図録作成。
16	特別展 白山の金山	平成 18 年 9 月 2 日 ～11 月 5 日	白山に連なる山々に生成された鉱脈は 幕末の改革における資金源として重要 視された。その奥越前の鉱産を展示し た。図録作成。
17	特別展 白山 ～越前の修験道～	平成 19 年 9 月 1 日 ～9 月 30 日	白山信仰のゆかりの地に残された遺品 と遺跡を取り上げた。図録作成。
18	特別展 陶芸の交流 ～美濃街道がつなぐ産業と文化 ～	平成 20 年 9 月 13 日 ～11 月 30 日	越前焼を中心として、その陶芸が北陸 と美濃東海地方と交流の中で発展して きた歴史を取り上げた。図録作成。
19	越前大野城築城 400 年祭記念特 別展 越前大野城 ～金森領国から土井大野藩へ～	平成 22 年 9 月 4 日 ～12 月 26 日	築城 400 年を記念して開催。大野城に かかわる資料や歴史を紹介した。図録 作成。
20	土井利忠生誕 200 年記念特別展 山と海の殖産興業 ～大野藩の構造改革～	平成 23 年 10 月 1 日 ～12 月 4 日	山間の小藩がいかにして幕末の藩政改 革を成し遂げたのかを、資料で紹介し た。図録作成。

4

5

No.	展示会名称	実施年月日	内容
21	結の故郷発祥祭記念特別展 大野出目家の能面 ～井伊家の名品（彦根城博物館蔵）を中心に～	平成26年10月11日 ～11月3日	大野郡出身といわれる面打ち家「大野出目家」の作品を、かつて彦根藩井伊家が所蔵していた名品を中心に展示した。図録作成。
22	企画展 大野の美意識	平成27年10月10日 ～11月23日	大野に伝わる美術工芸資料を展示した。
23	企画展 土井利敬コレクション展	平成29年1月5日 ～1月31日	土井家から寄贈された資料を展示した。
24	企画展 天狗党と大野	平成29年10月28日 ～12月24日	幕末に大野藩に侵攻してきた天狗党に関する資料を展示した。
25	企画展 藩政改革を支えた面谷銅山	平成30年8月11日 ～9月9日	大野藩の財政立て直しに役立った面谷銅山の資料を展示し、藩政改革を振り返った。
26	企画展 藩政改革の光と影	令和元年8月10日 ～11月4日	大野藩の藩政改革の成功面とその裏側の軋轢を示す資料を展示した。
27	企画展 絵図に見る越前大野城と江戸屋敷	令和2年8月8日 ～10月11日	江戸から明治初めまでの大野城絵図と江戸にあった土井家の江戸屋敷図を紹介した。

1

2 大野市民俗資料館での実施

No.	展示会名称	実施年月日	内容
1	昭和れとろ展 あの時君は若かった	平成28年8月12日 ～8月16日	昭和を物語るレコードや映画のポスターを展示した。
2	企画展 ほんこさん	平成29年11月18日 ～11月30日	市内に伝わる「ほんこさん料理」を紹介した。また、内山家において実際にほんこさん料理を食べていただいた。
3	企画展 昭和の食 ちょっと昔の食事道具	平成29年8月5日 ～9月24日	昭和初期から戦争・高度経済成長期を経た食事や食事道具を通して人々の生活の変容について展示した。
4	企画展 昭和43年1968	平成30年6月23日 ～10月21日	昭和43年に開かれた福井国体の資料と、その当時を物語る資料を展示した。

3

4 和泉郷土資料館での実施

No.	展示会名称	実施年月日	内容
1	企画展 恐竜時代の水生生物たち	平成28年7月8日 ～9月4日	和泉地区で発見された白亜紀の水生爬虫類コリストデラ類の化石などを展示した。
2	企画展 新恐竜王国ふくい	平成29年7月21日 ～11月5日	大野市から産出した白亜紀前期の化石の特徴、その当時の環境について展示した。
3	企画展 ジュラシックアンモナイトーオックスフォードイアン の海	平成30年7月20日 ～11月4日	北陸地方で発見されたジュラ紀後期の化石を展示し、当時の海の環境や生き物たちの生活を紹介した。
4	企画展 おおの恐竜発掘－新発見への挑戦	令和元年7月19日 ～11月4日	大野市の恐竜化石発見の歴史と最新の調査研究による新発見について紹介した。
5	企画展 穴馬の民具	令和元年11月3日 ～令和2年3月29日	穴馬に伝わってきた民具を展示し、和泉地区の暮らしの一端を紹介した。
6	企画展 地質時代と化石 ～大野に眠る4億年の歴史～	令和2年7月22日 ～11月8日	大野市の地質を特徴づける岩石・化石を展示し、大野の大地の成り立ちについて紹介した。

5

6

1 15. 関連文化財群の構成文化財一覧

2

3 <1> 原始・古代の人々の営み

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	市指定文化財	大矢戸古墳遺物	史料	3点	天神町
2		須恵器横瓶	史料	1点	天神町
3		縄文時代深鉢	考古資料	1点	朝日
4		縄文時代深鉢	考古資料	1点	朝日
5		縄文時代小児カメ棺	考古資料	1点	朝日
6		縄文式土器（壺）	考古資料	1点	朝日
7		縄文式土器（甕）	考古資料	1点	朝日
8		縄文式土器（把手付深鉢）	考古資料	1点	朝日
9		縄文式土器（深鉢）	考古資料	1点	朝日
10		縄文式土器（深鉢）	考古資料	1点	朝日
11		縄文式土器（深鉢）	考古資料	1点	朝日
12		角野前坂縄文遺跡	史跡	1件	角野前坂
13		小谷堂縄文遺跡	史跡	1件	小谷堂
14	埋蔵文化財包蔵地	大矢戸古墳	遺跡（史跡）	1基	大矢戸
15		大矢戸遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	大矢戸
16		小矢戸九紋目遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	小矢戸
17		太田・小矢戸遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	小矢戸・太田
18		太田山下遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	太田
19		御茶ヶ端古墳群	遺跡（史跡）	9基	太田
20		目録古墳群	遺跡（史跡）	8基	矢
21		矢前田遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	矢
22		城目古墳群	遺跡（史跡）	6基	矢
23		矢西畑遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	矢
24		山ヶ鼻古墳群	遺跡（史跡）	20基	牛ヶ原・矢
25		六反田遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
26		東稲場古墳群	遺跡（史跡）	8基	牛ヶ原
27		中大門遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
28		天神堂遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
29		尾永見遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
30		庄林西小柴遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	庄林
31		庄林深見遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	庄林
32		磐座神社遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	東大月・西大月
33		西大月遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	西大月
34		南新在家縄手遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	南新在家
35		中津川黒之上遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	中津川
36		南新在家松本遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	南新在家
37		森目遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	森目
38		富島遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	富島
39		稲荷山古墳群	遺跡（史跡）	8基	牛ヶ原
40		坂戸下遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
41		坂戸遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
42		滝本遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
43		寺町遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
44		下田遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	牛ヶ原
45		矢狭間遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	矢
46		西市遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	西市
47		中野遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	中野
48		庄林大尾遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	庄林
49		庄林広繁遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	庄林
50		中津川阿弥陀遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	中津川
51		下丁遺跡	遺跡（史跡）	1カ所	下丁
52	花山古墳群	遺跡（史跡）	6基	牛ヶ原	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
53	埋蔵文化財包蔵地	丁古墳群	遺跡(史跡)	13基	中丁
54		中丁堂ノ下遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中丁
55		中丁乗末遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中丁
56		中丁堂明下遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中丁
57		犬山村下遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	犬山
58		縄境遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	牛ヶ原
59		犬山遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	犬山
60		犬山古墳群	遺跡(史跡)	12基	犬山
61		上丁畔遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	上丁
62		上丁柴原遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	上丁
63		清滝遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	清滝
64		鍬掛東山遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	鍬掛
65		鍬掛穴田遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	鍬掛
66		飯降遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	飯降
67		飯降古墳群	遺跡(史跡)	4基	飯降
68		新庄遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	新庄
69		深井江尻遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	深井
70		深井春日前遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	深井
71		右近次郎桜町遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	右近次郎
72		右近次郎西川遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	右近次郎
73		右近次郎遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	右近次郎
74		春日野遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	春日野
75		南春日野遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	南春日野
76		大桜遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	大桜
77		下舌荒井道遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下舌
78		下舌三ッ塚古墳群	遺跡(史跡)	3基	下舌
79		下舌遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下舌
80		下黒谷遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下黒谷
81		下黒谷経塚	遺跡(史跡)	1基	下黒谷
82		上黒谷大門遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	上黒谷
83		上黒谷重馬遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	上黒谷
84		上舌遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	上舌
85		御城山古墳群	遺跡(史跡)	38基	上舌
86		山城城跡	遺跡(史跡)	1カ所	上舌
87		千歳遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	千歳
88		阿難祖地頭方藪田遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	阿難祖地頭方
89		阿難祖領家岸ノ下遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	阿難祖領家
90		横枕遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	横枕・南新在家
91		友江遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	友江
92		中保坪ノ内遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中保
93		中保小政戸遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中保
94		菖蒲池遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	菖蒲池
95		吉遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	吉
96		下据遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下据
97		下据新堂野遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下据
98		中据西川遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中据
99		西据遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	西据
100		北御門城山遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	北御門
101		北御門古墳	遺跡(史跡)	1基	北御門
102		猪島塚田遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	猪島
103		医王寺遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	猪島
104		北御門高土井遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	北御門
105		森政地頭塚ノ上遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	森政地頭
106		千歳南田遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	千歳
107		阿難祖地頭方平田遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	阿難祖地頭方
108		阿難祖地頭方柴桑遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	阿難祖地頭方
109		榎観音堂遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	榎

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
110	埋蔵文化財包蔵地	榎遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	榎
111		中据嶋林遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中据
112		中据江添遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中据
113		中据遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中据
114		下郷遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下郷
115		森政地頭門前遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	森政地頭
116		友兼遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	友兼
117		御給遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	御給
118		開発遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	開発
119		東山遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	東山
120		稲郷鋤折遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	稲郷
121		野中遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	野中
122		五条方遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	五条方
123		据遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	稲郷
124		木本大塚遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	木本
125		木本大袖遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	木本
126		西山一ツ屋遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	西山
127		西山宮ノ下遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	西山
128		岩田遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	森山
129		平沢領家遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	平沢領家
130		今井遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	今井
131		佐開遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	佐開
132		田野遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	田野
133		土打遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	土打
134		花房遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	花房
135		七坂遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	七坂
136		新塚原遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	新塚原
137		下唯野遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下唯野
138		蕨生遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	蕨生・下唯野
139		衰道遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	衰道
140		落合遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	落合
141		伏石遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	伏石
142		中谷遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	小黒見
143		下秋生遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下秋生
144		温見遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	温見
145		後野遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	後野
146		角野前坂遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	角野前坂
147		朝日前坂遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	朝日前坂
148		三面遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	三面
149		小谷堂遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	小谷堂
150		持穴遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	持穴
151		下半原遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下半原
152		中伊勢遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	中伊勢
153		下山遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	下山
154		貝皿遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	貝皿
155	未指定文化財	右近次郎遺跡出土品	考古資料	1件	天神町
156		山ヶ鼻古墳群出土品	考古資料	1件	天神町
157		山ヶ鼻遺跡出土古銭	考古資料	1件	天神町
158		赤根川左岸古墳群出土品	考古資料	1件	天神町
159		落合遺跡遺物	考古資料	1件	天神町

1 <2> 町や村に暮らす人々の交流

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	市指定文化財	短冊手鑑	書跡	1冊	横枕
2		武田耕雲斎遺留日本地図	史料	2枚	木本
3		三社の雨乞踊り	民俗芸能	1組	牛ヶ原
4		仕ぐさ踊り	民俗芸能	1組	菖蒲池
5	国登録文化財	南部酒造場店舗	建造物	1棟	元町
6		南部酒造場旧酒蔵前蔵	建造物	1棟	元町
7		南部酒造場旧酒蔵大蔵	建造物	1棟	元町
8		南部酒造場西蔵	建造物	1棟	元町
9		南部酒造場米蔵	建造物	1棟	元町
10	おおの遺産	七間朝市	風俗慣習	1件	元町
11	未指定文化財	郷寿の名号塔	建造物	1件	牛ヶ原
12		花山の題目塔	建造物	1件	下丁
13		明如上人御巡錫記念碑	建造物	1件	西勝原
14		坂戸峠改修記念碑	建造物	1件	牛ヶ原
15		坂戸峠歌碑	建造物	1件	牛ヶ原
16		君が代橋架橋記念碑	建造物	1件	菖蒲池
17		琴洞橋	建造物	1件	仏原
18		明如上人御巡錫記念碑	建造物	1件	下山
19		明如上人御巡錫記念碑	建造物	1件	朝日
20		明如上人御巡錫記念碑	建造物	1件	野尻
21		油坂峠六字名号塔	建造物	1件	
22		清水の句碑	建造物	1件	東市布
23		石造 道標地藏菩薩立像	彫刻	1件	大桜
24		石造 道標阿弥陀如来立像	彫刻	1件	錦町
25		石造 道標地藏坐像	彫刻	1件	木本
26		石造 馬頭観音坐像	彫刻	1件	榎
27		坂戸峠の石仏	彫刻	1件	坂戸
28		サックリ	衣服		
29		小山歎踊り	民俗芸能	1件	小山地区全域
30		栗かち歌	民俗芸能	1件	上打波
31		勝原口留番所跡	遺跡(史跡)	1件	勝原
32		蔵通りの景観	景観		中野、中野町
33		美濃街道	景観		
34		蝶の水	清水・水路	1件	上半原

2

1 <3> 華開く「進取の気象」

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	市指定文化財	土井利恒筆扁額	書跡	1点	城町
2		土井利恒筆詩幅	書跡	1幅	春日2
3		藤野文書	古文書	20点	天神町
4		大野藩洋学館旧蔵和蘭の原書 翻訳書、字典	典籍	原典 48冊 翻訳和 書 10冊	新庄
5		大野藩病院旧蔵医学書	典籍	31冊	本町
6		大野藩洋学館旧蔵和蘭の翻訳 書	典籍	16冊	天神町
7		明倫館跡	史跡	1件	明倫町
8		土井家累代墓所	史跡	1件	錦町
9	国登録文化財	旧内山家住宅主屋	建造物	1棟	城町
10		旧内山家住宅離れ	建造物	1棟	城町
11		旧内山家住宅味噌蔵	建造物	1棟	城町
12		旧内山家住宅衣装蔵	建造物	1棟	城町
13		旧内山家住宅米蔵	建造物	1棟	城町
14		旧内山家住宅門	建造物	1棟	城町
15	未指定文化財	柳廼社	建造物	1件	城町
16		良休社蔵	建造物	1件	中野
17		中村岱佐墓碑	建造物	1件	錦町
18		中村矩倫碑	建造物	1件	城町
19		内山隆佐碑	建造物	1件	城町
20		内山良休碑	建造物	1件	城町
21		横田莠碑	建造物	1件	篠座町
22		吉田拙蔵記念之碑	建造物	1件	篠座町
23		絹本著色 土井利忠画像	絵画	1件	城町
24		紙本著色 吉田拙蔵画像	絵画	1件	天神町
25		大野丸船図絵馬	絵画	1件	城町
26		ランビキ（蘭引）	工芸品	1件	城町
27		エレキテル（電気治療器）	工芸品	1件	城町
28		ポータブル地球儀	工芸品	1件	城町
29		古望遠鏡	工芸品	1件	城町
30		アネロイド・バロメーター	工芸品	1件	城町
31		小銃弾丸鑄造用ヤットコ	工芸品	1件	城町
32		絹本墨書 杉田成卿筆蘭字扁 額	書跡	1件	城町
33		新田野の砲術訓練場	遺跡（史跡）	1件	篠座町
34	大野藩洋学館跡	遺跡（史跡）	1件	城町	
35	種痘所「済生館」跡	遺跡（史跡）	1件	元町	

2

1 <4> 戦乱の時代と大野盆地の城郭群

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	県指定文化財	越前大野城跡	史跡	1件	城町
2	市指定文化財	朝倉義景筆短冊	書跡	1点	中野町1
3		歴代朝倉文書	古文書	2巻	清滝
4		前波長俊書状	古文書	1通	宝慶寺
5		滝川一益等連署寺領安堵状	古文書	1通	宝慶寺
6		如忻寺領目録	古文書	1通	宝慶寺
7		存因寺領目録	古文書	1通	宝慶寺
8		朝倉義景書状	古文書	1通	中野町1
9		朝倉義景感状	古文書	1通	中野町1
10		朝倉景鏡感状	古文書	1通	中野町1
11		金森長近寄進状	古文書	1通	友兼
12		金森長近禁制状	古文書	1通	日吉町
13		蓬萊山円鏡	工芸品	1面	中野町1
14		朝倉義景墓	史跡	1基	泉町
15		小山城址	史跡	1件	北御門
16		亥山城址	史跡	1件	日吉町
17		将監城址	史跡	1件	西勝原
18		戌山城址	史跡	1件	犬山
19		埋蔵文化財包蔵地	御茶ヶ端城跡	遺跡(史跡)	1カ所
20	下荒井城跡		遺跡(史跡)	1カ所	西大月・東大月
21	牛ヶ原城跡		遺跡(史跡)	1カ所	牛ヶ原
22	戌山城跡		遺跡(史跡)	1カ所	犬山
23	西方寺城跡		遺跡(史跡)	1カ所	鍬掛
24	土橋城跡		遺跡(史跡)	1カ所	日吉町
25	山城城跡		遺跡(史跡)	1カ所	上舌
26	茶臼山城址		遺跡(史跡)	1カ所	上舌
27	小山城跡		遺跡(史跡)	1カ所	森政地頭
28	松丸館跡		遺跡(史跡)	1カ所	松丸
29	神明山城跡		遺跡(史跡)	1カ所	佐開
30	勝原城跡		遺跡(史跡)	1カ所	勝原
31	独小山城跡		遺跡(史跡)	1カ所	黒当戸
32	下笹又城跡		遺跡(史跡)	1カ所	下笹又
33	牛ヶ原城跡(三社之城跡)		遺跡(史跡)	1カ所	牛ヶ原
34	春日山城跡		遺跡(史跡)	1カ所	木本
35	未指定文化財	青葉の笛	工芸品	1件	朝日
36		舌城跡	遺跡(史跡)	1件	上舌
37		躑躅山城跡	遺跡(史跡)	1件	清滝
38		神楽岡城跡	遺跡(史跡)	1件	蕨生
39		鶴澤城跡	遺跡(史跡)	1件	富嶋
40		筋生嶋城跡	遺跡(史跡)	1件	下麻生嶋
41		向城跡	遺跡(史跡)	1件	東勝原
42		クタラギ砦跡	遺跡(史跡)	1件	下秋生
43		鞍ヶ淵	遺跡(史跡)	1件	西市
44		御所五郎丸の墓	遺跡(史跡)	1件	土打
45		御所五郎丸の子の墓	遺跡(史跡)	1件	土打
46		加藤宗月居館跡(加藤四郎兵衛康寛)	遺跡(史跡)	1件	木本
47		殿様清水	清水・水路	1件	右近次郎
48		化物清水跡	清水・水路	1件	右近次郎
49		みくら清水	清水・水路	1件	犬山
50		山王神社の堀	清水・水路	1件	日吉町

1 <5> 大野城の築城と城下町の形成・発展

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	県指定文化財	紙本金地著色 三十六歌仙図	絵画	六曲半 双	錦町
2		紺紙金字法華経	書跡	10巻	錦町
3		越前大野城跡	史跡	1件	城町
4	市指定文化財	大野市民俗資料館	建造物	1棟	城町
5		伝 越前大野城不明門	建造物	1棟	中丁
6		武田耕雲斎筆扁額	書跡	1面	元町
7		小栗美作守書状	古文書	1通	要町
8		金森長近禁制状	古文書	1通	日吉町
9		大野郡鍛冶座文書	古文書	7点	元町
10		高橋吉重作 脇差	工芸品	1口	春日 1
11		土屋正明墓	史跡	1基	錦町
12		土井家累代墓所	史跡	1件	錦町
13		越前大野城百間堀跡	史跡	1件	城町
14		田村又左衛門家屋敷	史跡	1件	城町
15	国登録文化財	平成大野屋本店洋館	建造物	1棟	元町
16		平成大野屋本店二階蔵	建造物	1棟	元町
17		平成大野屋本店平蔵	建造物	1棟	元町
18	埋蔵文化財包蔵地	大野城跡	遺跡(史跡)	1カ所	城町
19		戌山城跡	遺跡(史跡)	1カ所	犬山
20		明倫遺跡	遺跡(史跡)	1カ所	明倫町
21	未指定文化財	金森長近の銅像	建造物	1件	城町
22		五番通りに残るこうど	建造物	1件	元町
23		新堀川沿いに残るこうど	建造物	1件	城町
24		光明寺山門(伝旧大野城鳩門)	建造物	1件	犬山
25		大野藩札	工芸品	1件	城町
26		羽二重伝習所跡	遺跡(史跡)	1件	泉町
27		釈迦師川	名勝地(名勝)		元町
28		本町通り	景観		
29		二番通り	景観		
30		三番通り	景観		
31		四番通り	景観		
32		鍛冶町	景観		
33		五番通り	景観		
34		寺町通り	景観		
35		横町通り	景観		
36		大鋸町通り	景観		
37		六間通り	景観		
38		七間通り	景観		
39		八間通り	景観		
40		石灯籠小路	景観		
41		正善寺町通り	景観		
42		芹川	清水・水路	1件	泉町、城町
43		背割り水路	清水・水路	1件	

1 <6> 地域に息づく多様な信仰形態

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	県指定文化財	南専寺山門	建造物	1棟	下唯野
2		絹本着色 道元禪師図像	絵画	1幅	宝慶寺
3		絹本着色 伝如浄禪師図像	絵画	1幅	宝慶寺
4		絹本着色 雲居道膺和尚図像	絵画	1幅	宝慶寺
5		絹本着色 釈迦三尊像	絵画	1幅	宝慶寺
6		絹本着色 光明号本尊（光明本）	絵画	1幅	上大納
7		紙本淡彩 維摩像	絵画	1幅	錦町
8		紙本金地著色 三十六歌仙図	絵画	六曲半双	錦町
9		紙本着色 春秋遊女遊楽図	絵画	二曲一隻	今井
10		紙本墨画淡彩 鷲鷹図屏風	絵画	六曲一双	錦町
11		紙本墨書 伝道元筆「阿闍世王之六臣」法語	書跡	1巻	宝慶寺
12		紺紙金字法華経	書跡	10巻	錦町
13		木造 阿弥陀如来坐像 銅造 阿弥陀如来立像（胎内像）	彫刻	2軀	錦町
14		南専寺庭園	名勝	1件	下唯野
15	市指定文化財	紙本 日蓮上人法華大曼荼羅	絵画	1幅	錦町
16		絹本 十六善神図幅	絵画	1幅	錦町
17		絹本 土井利忠筆菊花図幅	絵画	1幅	錦町
18		紙本 伝岩佐勝重 三十六歌仙画帖	絵画	6帖	天神町
19		絹本 蓮如上人鏡の御影	絵画	1幅	稲郷（上据）
20		方便法身尊像（阿弥陀如来像）	絵画	1幅	南六呂師
21		仏涅槃図	絵画	1幅	清滝
22		方便法身尊像（絵像）及び裏書き	絵画	1幅	角野前坂
23		絹本 伝親鸞聖人筆十字名号	書跡	1幅	中丁
24		絹本 蓮如上人の御影裏書	書跡	1幅	稲郷（上据）
25		雷澤宗梭墨蹟「萬年字号偈」	書跡	1点	日吉町
26		御文章第五帖	書跡	1冊	角野前坂
27		木造元勅和尚倚像	彫刻	1軀	清滝
28		木造 十一面観音坐像	彫刻	1軀	下黒谷
29		木造 白山神社本尊坐像	彫刻	1軀	下黒谷
30		木造 十一面観音坐像	彫刻	1軀	鍬掛
31		木造 地蔵菩薩半跏像	彫刻	1軀	鍬掛
32		木造 子安観音坐像	彫刻	1軀	深井
33		春日神社本尊像	彫刻	3軀	深井
34		扇面散らし欄間	彫刻	1面	錦町
35		石造 不動明王立像	彫刻	1軀	上荒井
36		木造 釈迦如来仏頭	彫刻	1基	佐開
37		木造 阿弥陀如来立像及び胎内経	彫刻	1軀	北御門
38		不動明王立像	彫刻	1軀	錦町
39		釈迦如来坐像	彫刻	1軀	明倫町
40		観音菩薩立像	彫刻	1軀	清滝
41		阿弥陀如来立像及び木仏免許状	彫刻	1軀	角野前坂
42		姥尊像	彫刻	1軀	清滝
43		知円沙弥寄進状	古文書	1通	宝慶寺

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地	
44	市指定文化財	円聰沙弥寄進状	古文書	1通	宝慶寺	
45		建綱筆 宝慶寺由緒記	古文書	1巻	宝慶寺	
46		松平直久掟書	古文書	1点	友兼	
47		押出仏 三体	工芸品	3体	牛ヶ原	
48		白山山頂出土の山岳信仰遺品	工芸品	4点	天神町	
49		袈裟	史料	3領	宝慶寺	
50		頭陀袋	史料	3肩	宝慶寺	
51		投げ賽銭跡のある壇縁および内陣	風俗慣習	1基	角野前坂	
52		黒谷経塚跡	史跡	1基	下黒谷	
53		埋蔵文化財包蔵地	温見経塚	遺跡(史跡)	1基	温見
54	経ヶ岳経塚		遺跡(史跡)	1基	経ヶ岳	
55	おおの遺産	伊勢講	風俗慣習	1件	土布子	
56		木本区初午だんご撒き	風俗慣習	1件	木本	
57		篠座神社の福もちまき	風俗慣習	1件	篠座町	
58		尾永見伊勢講	風俗慣習	1件	牛ヶ原	
59		鍬掛伊勢講	風俗慣習	1件	鍬掛	
60		下打波白山神社・中神社の祭礼	風俗慣習	1件	下打波	
61		陽明町一丁目1区の不動明王祭	風俗慣習	1件	陽明町	
62		明倫町1区による乳地蔵のご祈祷	風俗慣習	1件	糸魚町	
63		篠座神社の里神楽・豊栄舞	民俗芸能	1件	篠座町	
64		篠座町の旧家が持ち回る神明講	民俗芸能	1件	篠座町	
65		上大納左義長	民俗芸能	1件	上大納	
66		行人岩	遺跡(史跡)	1カ所	大矢戸	
67		未指定文化財	柳廻社	建造物	1件	城町
68			白山神社名号塔	建造物	1件	中野
69	大神宮		建造物	1件	中野	
70	太田題目塔		建造物	1件	太田	
71	毘沙門天堂		建造物	1件	中津川	
72	中保名号塔		建造物	1件	中保	
73	三社神社		建造物	1件	牛ヶ原	
74	郷寿の名号塔		建造物	1件	牛ヶ原	
75	花山の題目塔		建造物	1件	下丁	
76	蓮如上人の碑		建造物	1件	上丁	
77	北野元峰禅師の記念碑		建造物	1件	下舌	
78	埴安姫神社 弁財天堂		建造物	1件	蔵生	
79	大將軍の碑		建造物	1件	木落	
80	明如上人御巡錫記念碑		建造物	1件	上野	
81	水神社		建造物	1件	五條方	
82	黒谷山の金毘羅社・祠		建造物	1件	黒谷	
83	宝篋印塔		建造物	1件	日吉町	
84	五輪塔		建造物	1件	日吉町	
85	五輪塔		建造物	1件	城町	
86	宝篋印塔		建造物	1件	明倫町	
87	金森顕順碑		建造物	1件	友兼	
88	穴馬道開鑿殉難供養碑		建造物	1件	日吉町	
89	八幡神社		建造物	1件	稲郷	
90	西応寺		建造物	1件	今井	
91	天理教麻生嶋分教会		建造物	1件	下麻生嶋	
92	百姓一揆殉難の碑		建造物	1件	西据	
93	明如上人御巡錫記念碑		建造物	1件	西勝原	
94	明如上人御巡錫記念碑		建造物	1件	下山	
95	明如上人御巡錫記念碑	建造物	1件	朝日		

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
96	未指定文化財	明如上人御巡錫記念碑	建造物	1件	野尻
97		油坂峠六字名号塔	建造物	1件	東市布
98		白山神社	建造物	1件	中野町
99		風速神社	建造物	1件	大矢戸
100		磐座神社	建造物	1件	西大月
101		黒谷観音堂(仏性寺)	建造物	1件	下黒谷
102		稲荷神社	建造物	1件	七板
103		専福寺	建造物	1件	友兼
104		善導寺	建造物	1件	錦町
105		宝慶寺	建造物	1件	宝慶寺
106		洞雲寺	建造物	1件	清瀧
107		岫慶寺	建造物	1件	日吉町
108		曹源寺	建造物	1件	明倫町
109		教願寺	建造物	1件	要町
110		本伝寺	建造物	1件	本町
111		明源寺	建造物	1件	明倫町
112		最勝寺	建造物	1件	明倫町
113		法蓮寺	建造物	1件	要町
114		浄勝寺	建造物	1件	錦町
115		永伝寺	建造物	1件	錦町
116		託縁寺	建造物	1件	元町
117		瑞祥寺	建造物	1件	日吉町
118		恵光寺	建造物	1件	日吉町
119		蓮光寺	建造物	1件	日吉町
120		円和寺	建造物	1件	元町
121		光玖寺	建造物	1件	元町
122		妙典寺	建造物	1件	元町
123		円立寺	建造物	1件	錦町
124		大雄院	建造物	1件	元町
125		大宝寺	建造物	1件	錦町
126		長興寺	建造物	1件	錦町
127		願成寺	建造物	1件	錦町
128		長勝寺	建造物	1件	錦町
129		誓念寺	建造物	1件	錦町
130		日吉神社	建造物	1件	日吉町
131		神明神社	建造物	1件	大和町
132		熊野神社	建造物	1件	高砂町
133		奥之院	建造物	1件	日吉町
134		徳巖寺	建造物	1件	明倫町
135		観月寺	建造物	1件	明倫町
136		春日神社	建造物	1件	春日1
137		円徳寺	建造物	1件	日吉町
138		地蔵庵	建造物	1件	春日3
139		篠座神社	建造物	1件	篠座町
140		天満神社	建造物	1件	篠座町
141		清瀧神社	建造物	1件	清瀧
142		唯教寺	建造物	1件	中野町
143		白山神社	建造物	1件	庄林
144		真浄寺	建造物	1件	庄林
145		白山神社	建造物	1件	太田
146		賢龍寺	建造物	1件	小矢戸
147	禪師峰寺	建造物	1件	西大月	
148	白山神社	建造物	1件	中津川	
149	愛宕神社	建造物	1件	南新在家	
150	白山神社	建造物	1件	横枕	
151	清瀧神社	建造物	1件	友江	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
152	未指定文化財	専光寺	建造物	1件	友江
153		白山神社	建造物	1件	菖蒲池
154		願了寺	建造物	1件	中荒井
155		善勝寺	建造物	1件	中荒井
156		正善寺	建造物	1件	矢
157		坂門一言神社	建造物	1件	牛ヶ原
158		八幡神社	建造物	1件	牛ヶ原
159		八幡神社	建造物	1件	牛ヶ原
160		寶光寺	建造物	1件	牛ヶ原
161		浄信寺	建造物	1件	牛ヶ原
162		栄照寺	建造物	1件	牛ヶ原
163		白山神社	建造物	1件	下丁
164		教覚寺	建造物	1件	下丁
165		白山神社	建造物	1件	中丁
166		真乗寺	建造物	1件	中丁
167		少毘古神社	建造物	1件	上丁
168		白山神社	建造物	1件	犬山
169		光明寺	建造物	1件	犬山
170		春日神社	建造物	1件	下舌
171		白山神社	建造物	1件	上舌
172		白山神社	建造物	1件	阿難祖地頭方
173		八坂神社	建造物	1件	阿難祖領家
174		少名彦神社	建造物	1件	上黒谷
175		白山神社	建造物	1件	下黒谷
176		少名彦神社	建造物	1件	上荒井
177		春日神社	建造物	1件	深井
178		飯降神社	建造物	1件	飯降
179		白山神社	建造物	1件	鍬掛
180	洪泉寺	建造物	1件	鍬掛	
181	八幡神社	建造物	1件	新庄	
182	春日神社	建造物	1件	右近次郎	
183	白山神社	建造物	1件	宝慶寺	
184	高尾磐倉神社	建造物	1件	木本	
185	神明神社	建造物	1件	木本	
186	光徳寺	建造物	1件	木本	
187	薬師堂	建造物	1件	木本	
188	稲荷堂	建造物	1件	木本	
189	八坂神社	建造物	1件	森山	
190	白山神社	建造物	1件	西山	
191	日吉神社	建造物	1件	平沢	
192	白山神社	建造物	1件	今井	
193	荒島神社	建造物	1件	佐開	
194	日吉神社	建造物	1件	五條方	
195	稲荷神社	建造物	1件	野中	
196	八幡神社	建造物	1件	稲郷	
197	最勝寺	建造物	1件	稲郷	
198	神明神社	建造物	1件	東山	
199	八幡神社	建造物	1件	御給	
200	専福寺	建造物	1件	御給	
201	靈祥寺	建造物	1件	御給	
202	八幡神社	建造物	1件	友兼	
203	加茂神社	建造物	1件	開発	
204	日吉神社	建造物	1件	森政領家	
205	熊野神社	建造物	1件	猪島	
206	正信寺	建造物	1件	猪島	
207	白山神社	建造物	1件	中据	
208	白山神社	建造物	1件	下据	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
209	未指定文化財	日吉神社	建造物	1件	北御門
210		城腰寺	建造物	1件	北御門
211		白山神社	建造物	1件	吉
212		福正寺	建造物	1件	吉
213		国生大野神社	建造物	1件	東中
214		榎神社	建造物	1件	榎
215		白山神社	建造物	1件	木落
216		埴安姫神社	建造物	1件	蕨生
217		健速神社	建造物	1件	下唯野
218		南専寺	建造物	1件	下唯野
219		八幡神社	建造物	1件	土打
220		白山神社	建造物	1件	上野
221		白山神社	建造物	1件	富嶋
222		南専寺	建造物	1件	富嶋
223		春日神社	建造物	1件	森目
224		八幡神社	建造物	1件	新田
225		八幡神社	建造物	1件	新河原
226		八幡神社	建造物	1件	土布子
227		白山神社	建造物	1件	下麻生嶋
228		福聚寺	建造物	1件	下麻生嶋
229		八幡神社	建造物	1件	上麻生嶋
230		白山神社	建造物	1件	田野
231		八幡神社	建造物	1件	井ノ口
232		塚原神社	建造物	1件	塚原
233		白山神社	建造物	1件	伏石
234		常興寺	建造物	1件	伏石
235	白山神社	建造物	1件	柿ヶ嶋	
236	徳善寺	建造物	1件	柿ヶ嶋	
237	八幡神社	建造物	1件	八町	
238	白山神社	建造物	1件	森本	
239	白山神社	建造物	1件	松丸	
240	傳心寺	建造物	1件	松丸	
241	八幡神社	建造物	1件	萩ヶ野	
242	気多神社	建造物	1件	花房	
243	春日神社	建造物	1件	不動堂	
244	先請寺	建造物	1件	不動堂	
245	白山神社	建造物	1件	石谷	
246	八幡神社	建造物	1件	大月	
247	神明神社	建造物	1件	大月	
248	神明神社	建造物	1件	御領	
249	神明神社	建造物	1件	橋爪	
250	少名彦神社	建造物	1件	蓑道	
251	佛照寺	建造物	1件	蓑道	
252	白山神社	建造物	1件	堂嶋	
253	円徳寺	建造物	1件	堂嶋	
254	御鍛神社	建造物	1件	小黒見	
255	白山神社	建造物	1件	南六呂師	
256	雲乗寺	建造物	1件	南六呂師	
257	白山神社	建造物	1件	上打波	
258	白山神社	建造物	1件	下打波	
259	白山神社	建造物	1件	東勝原	
260	即現寺	建造物	1件	東勝原	
261	八幡神社	建造物	1件	西勝原	
262	八幡神社	建造物	1件	佛原	
263	白山神社	建造物	1件	佛原	
264	牛頭山神社	建造物	1件	阿難祖領家	
265	庭ノ神社	建造物	1件	花房	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
266	未指定文化財	コレラの墓	建造物	1件	平沢
267		円通庵	建造物	1件	歟掛
268		藤昌庵	建造物	1件	木本
269		観音堂	建造物	1件	木本
270		神明社	建造物	1件	金山
271		各所の道場	建造物		
272		絹本着色 阿弥陀如来像	絵画	1件	友江
273		絹本着色 仏涅槃図	絵画	1件	清滝
274		絹本着色 親鸞聖人像	絵画	1件	明倫町
275		絹本着色 山越阿弥陀図	絵画	1件	犬山
276		絹本着色 顕如上人像	絵画	1件	元町
277		絹本着色 聖徳太子像	絵画	1件	明倫町
278		絹本着色 浄土七高僧図	絵画	1件	明倫町
279		絹本着色 当麻曼荼羅図	絵画	1件	錦町
280		紙本着色 阿弥陀三尊二十五菩薩来迎図	絵画	1件	錦町
281		絵馬	絵画	3件	木本
282		絵馬	絵画	1件	稲郷
283		乳地藏	彫刻	1件	糸魚町
284		横枕御水地藏尊	彫刻	1件	横枕
285		毘沙門通りの金剛童子	彫刻	1件	陽明町
286		六地藏	彫刻	6件	小山地区全域
287		流れの地藏	彫刻	1件	蕨生
288		廻り地藏	彫刻	1件	蕨生
289		馬の首地藏	彫刻	1件	下唯野
290		富嶋の六地藏	彫刻	6件	富嶋
291		おけや地藏	彫刻	6件	土打
292		栗原の六地藏	彫刻	6件	上野
293		道案内地藏	彫刻	6件	上野
294		下麻生嶋の六地藏	彫刻	6件	下麻生嶋
295		子授地藏	彫刻	1件	下麻生嶋
296		頭の重い地藏	彫刻	1件	森目
297		三体地藏	彫刻	3件	下麻生嶋
298		もりじぞう	彫刻	9件	森目
299		岩崎用水にある不動明王	彫刻	1件	木本
300		白山神社のかわそさん	彫刻	1件	中野町
301		高尾磐倉神社の御神体	彫刻	1件	木本
302	白山神社の木像	彫刻	1件	堂本	
303	黒谷山の金毘羅社・石像	彫刻	1件	黒谷	
304	木造 南無仏太子像	彫刻	1件	錦町	
305	木造 十一面観音坐像	彫刻	1件	日吉町	
306	木造 地藏菩薩立像	彫刻	1件	錦町	
307	石造 観世音立像	彫刻	1件	吉	
308	石造 道標地藏菩薩立像	彫刻	1件	大桜	
309	石造 道標阿弥陀如来立像	彫刻	1件	錦町	
310	石造 道標地藏坐像	彫刻	1件	木本	
311	石造 馬頭観音坐像	彫刻	1件	榎	
312	飯降神社 木造 十一面観音像	彫刻	1件	飯降	
313	飯降神社 石造 観音菩薩立像	彫刻	1件	飯降	
314	飯降神社 石造 地藏菩薩立像	彫刻	1件	飯降	
315	飯降神社奥の院 木造 十一面観音像	彫刻	1件	飯降	
316	飯降神社奥の院 木造 聖観音坐像	彫刻	1件	飯降	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
317	未指定文化財	飯降神社奥の院 木造 阿弥陀如来坐像	彫刻	1件	飯降
318		飯降神社奥の院 石造 阿弥陀如来坐像	彫刻	1件	飯降
319		飯降神社奥の院 石造 観音坐像	彫刻	1件	飯降
320		玄之の竜	彫刻	1件	宝慶寺
321		御給の延命地蔵	彫刻	1件	御給
322		地蔵菩薩坐像	彫刻	1件	下麻生嶋
323		石造千手観音菩薩像	彫刻	1件	花房
324		石造 薬師如来坐像	彫刻	1件	金山
325		小黒見道場の仏像	彫刻	1件	小黒見
326		経ヶ岳登山口絶壁の地蔵	彫刻	1件	
327		山の神様	彫刻	1件	菘道
328		不動明王像	彫刻	1件	不動堂
329		坂戸峠の石仏	彫刻	1件	坂戸
330		寺文書	古文書	45件	
331		神社文書	古文書	7件	
332		公的機関文書	古文書	1件	
333		堂守の碑	工芸品	1件	中野
334		経塚壺	工芸品	1件	本町
335		鳳凰文磬	工芸品	1件	錦町
336		雲文磬	工芸品	1件	錦町
337		喚鐘	工芸品	1件	下黒谷
338		喚鐘	工芸品	1件	清滝
339		銅鑄造 鰐口	工芸品	1件	下黒谷
340		銅鑄造 鰐口	工芸品	1件	今井
341		喚鐘	工芸品	1件	錦町
342		絹本著色 十字名号本尊	書跡	1件	上野
343		花餅	食文化		阿難祖地頭方
344		報恩講の大根めし	食文化		阿難祖地頭方
345		御所五郎丸の墓	遺跡(史跡)	1件	土打
346		御所五郎丸の子の墓	遺跡(史跡)	1件	土打
347		座禅岩	遺跡(史跡)	1件	宝慶寺
348		光徳寺跡	遺跡(史跡)	1件	木本
349		裸半兵衛の墓	遺跡(史跡)	1件	森山
350		香葉寺跡	遺跡(史跡)	1件	友兼
351		北御門経塚	遺跡(史跡)	1件	北御門
352		松平但馬守の墓	遺跡(史跡)	1件	木本
353		蓮如上人の腰掛け岩	遺跡(史跡)	1件	松丸
354		弘法大師あるいは蓮如上人の腰掛け石	遺跡(史跡)	1件	八町
355		一本木	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	庄林
356	弘法杉	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	木本	
357	二本松	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	森山	
358	いぼおとし岩	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	田野	
359	弁慶岩	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	阿難祖地頭方	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
360	未指定文化財	地頭方の洞窟	動物、植物、 地質鉱物(天然記念物)	1件	阿難祖地頭方
361		篠座神社の御霊泉	清水・水路	1件	篠座町
362		坂戸の白水	清水・水路	1件	牛ヶ原

1

1 <7> 受け継がれる芸能

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	県指定文化財	神子踊	民俗芸能	1件	上打波
2		平家踊	民俗芸能	1件	巢原
3		扇踊	民俗芸能	1件	上若生子 下若生子
4	市指定文化財	鼻高面	彫刻	1件	北御門
5		猿楽の尉面	彫刻	1件	上舌
6		三社の雨乞踊り	民俗芸能	1件	牛ヶ原
7		仕ぐさ踊り	民俗芸能	1件	菖蒲池
8	おおの遺産	下打波白山神社・中神社の祭礼	風俗慣習	1件	下打波
9		陽明町一丁目1区の不動明王祭	風俗慣習	1件	陽明町
10		明倫町1区による乳地蔵のご祈祷	風俗慣習	1件	糸魚町
11		蕨生里神楽	民俗芸能	1件	蕨生
12		篠座神社の里神楽・豊栄舞	民俗芸能	1件	篠座町
13		木本領家里神楽	民俗芸能	1件	木本
14		稲郷里神楽	民俗芸能	1件	稲郷
15		奥越太鼓	民俗芸能	1件	
16	おおの遺産関係	篠座里神楽の面（獅子頭）	芸能用具	1件	篠座町
17		篠座里神楽の面（獅子頭）	芸能用具	1件	篠座町
18		篠座里神楽の面（天狗面）	芸能用具	1件	篠座町
19		篠座里神楽の面（天狗面）	芸能用具	1件	篠座町
20		篠座里神楽の面（天狗面）	芸能用具	1件	篠座町
21		篠座里神楽の面（春日明神）	芸能用具	1件	篠座町
22		篠座里神楽の面（およめさん）	芸能用具	1件	篠座町
23		篠座里神楽の面（およめさん）	芸能用具	1件	篠座町
24		篠座里神楽の面（男性面）	芸能用具	1件	篠座町
25		篠座里神楽の面（鈴）	芸能用具	1件	篠座町
26		篠座里神楽の面（ひょうたん）	芸能用具	1件	篠座町
27		篠座里神楽の面（ササラ）	芸能用具	1件	篠座町
28		篠座里神楽の面（御幣）	芸能用具	1件	篠座町
29	未指定文化財	乳地蔵	彫刻	1件	糸魚町
30		しっちょいな	民俗芸能	1件	
31		西谷もじり	民俗芸能	1件	
32		出鉢の祭り踊り	民俗芸能	1件	面谷
33		ねこの子踊り	民俗芸能	1件	上打波、下打波
34		笠踊り	民俗芸能	1件	上打波
35		栗かち歌	民俗芸能	1件	上打波
36		穴馬踊り	民俗芸能	1件	

1 <8> 自然の恵みと暮らし

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	国指定文化財	旧橋本家住宅	建造物	1棟	宝慶寺
2		本願清水イトヨ生息地	天然記念物	1件	糸魚町
3	市指定文化財	備荒倉扁額	彫刻	1点	萩ヶ野
4		不動堂村境界文書	古文書	1点	不動堂
5		瑞花双鳳八稜鏡	工芸品	1面	中野町1
6		画文帯神獸鏡	工芸品	1面	要町
7		武田耕雲斎遺留日本地図	史料	2枚	木本
8	国登録文化財	鬼谷川堰堤	建造物	1基	佐開
9	おおの遺産	穴馬紙	生業	1件	朝日ほか
10	未指定文化財	防雪防護擁壁（黒谷の防雪壁）	建造物	1件	下黒谷
11		赤根川どんど	建造物	1件	清滝
12		水神社	建造物	1件	五條方
13		「水」の文字のある蔵	建造物	1件	下舌
14		「水」の文字のある蔵	建造物	1件	糸魚町
15		「水」の文字のある蔵	建造物	1件	国時町
16		開田碑	建造物	1件	春日
17		煙草乾燥場	建造物	1件	
18		秋葉灯籠	工芸品	1件	春日
19		ござ帽子	衣服		
20		フカグツ	衣服		
21		シャナクミ	衣服		
22		漁に使用する民具	民具	1件	
23		ばんば	民具		
24		タバコ栽培	生業		
25		蚕座	生業		
26		マユ籠	生業		
27		炭窯	生業		
28		出鉢の祭り踊り	民俗芸能	1件	面谷
29		仙扇鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	上若生子
30		太尾鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	堂嶋
31		小黒見鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	小黒見
32		面谷鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	持穴
33		志目木鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	宝慶寺
34		宝慶寺鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	宝慶寺
35		真名川鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	巢原
36		大雲鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	巢原
37		巢原鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	巢原
38		温見・夜叉谷鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	温見
39		大月鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	橋爪
40		長滝鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	上大納
41		勝原鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	勝原
42		金山鉢山跡	遺跡(史跡)	1件	金山
43		下若生子石灰岩鉢床	遺跡(史跡)	1件	下若生子
44		福井炭鉢跡	遺跡(史跡)	1件	下打波
45		中丁の金山跡	遺跡(史跡)	1件	中丁
46		雪蔵跡	遺跡(史跡)	1件	城町
47		魚止め跡	遺跡(史跡)	1件	仏原
48		用心池	遺跡(史跡)	1件	本町
49		西山石灰採掘跡	遺跡(史跡)	1件	西山
50		荒島風穴	遺跡(史跡)	1件	佐開
51		阿難祖地頭方の清水	清水・水路	1件	阿難祖地頭方
52		弥生公園の清水跡	清水・水路	1件	弥生町

1 <9> 食の営み

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	国指定文化財	本願清水イトヨ生息地	天然記念物	1件	糸魚町
2		アラレガコ生息地	天然記念物	1件	九頭竜川
3	市指定文化財	走り川漁業権文書	古文書	1件	泉町
4		金塚漁業権文書	古文書	8件	天神町
5	おおの遺産	アジメ漁	生業	1件	
6	未指定文化財	稗飯	食文化		
7		嵐カブラ	食文化		上打波
8		報恩講料理	食文化		
9		お講さまの料理	食文化		
10		栃団子	食文化		
11		頭飯	食文化		
12		岩魚飯	食文化		
13		鱒飯	食文化		
14		鯖鮓	食文化		
15		栃餅	食文化		
16		雑穀餅	食文化		
17		身欠鯨	食文化		
18		エリコ	食文化		
19		柿エリコ	食文化		
20		オツケ団子	食文化		
21		アエモン（和え物）アッポ	食文化		
22		アズキアッポ	食文化		
23		スナナ	食文化		
24		土用餅	食文化		
25		アジメ鮓	食文化		
26		アジメの煮付け	食文化		
27		穴馬カブラの切漬	食文化		
28		穴馬味噌	食文化		
29		鮓	食文化		
30		鱈汁	食文化		
31		鯨汁	食文化		
32		エゴマのおつゆ	食文化		
33		コデナ	食文化		
34		ナンボ	食文化		
35		こう汁	食文化		
36		ワラビ鮓	食文化		
37		山ブキの塩漬	食文化		
38		ギンバリ（ギボウシ）の乾燥	食文化		
39		ワラビとゼンマイの乾燥	食文化		
40		カッチンコウボ	食文化		
41		ウサギの骨団子	食文化		
42		ウサギの骨しゃぶり	食文化		
43		ウサギの肉のころ煮	食文化		
44		ダイコンのクルミ和え	食文化		
45		ダイコンのエゴマ和え	食文化		
46		熊飯	食文化		
47		ブト	食文化		
48		鯨漬	食文化		
49		スコ	食文化		
50		コンカ漬	食文化		
51		味噌漬	食文化		
52		はまな味噌	食文化		
53		水漬	食文化		
54		切漬の味噌煮	食文化		
55		初午団子	食文化		

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
56	未指定文化財	一六まめのお祝い	食文化		下山
57		半夏生鯖	食文化		
58		冬至南京	食文化		
59		焼米	食文化		
60		上庄里イモ	食文化		
61		中野のナス	食文化		中野
62		上打波小池のワサビ	食文化		上打波
63		大野在来そば	食文化		
64		日本酒	食文化		
65		醤油	食文化		
66		麴	食文化		
67		でっち羊かん	食文化		
68		とんちゃん	食文化		
69		醤油カツ丼	食文化		

1

1 <10> 化石が物語る大地の歴史

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
1	未指定文化財	阪谷の巨岩群	名勝地(名勝)		南六呂師
2		阪谷の泥流丘	名勝地(名勝)		南六呂師
3		六呂師高原	名勝地(名勝)		南六呂師
4		塚原野台地	名勝地(名勝)		塚原
5		山伏岩	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	蕨生
6		釣鐘岩	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	塚原
7		影路層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	野尻
8		子馬巢谷層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	箱ヶ瀬、伊勢
9		上穴馬層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	大谷
10		藤倉谷層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	中島
11		長野層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
12		野尻層群化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	大谷、長野
13		本戸層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
14		大谷層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
15		左門岳累層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
16		九頭竜層群大井谷層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
17		九頭竜層群栃餅山層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
18		九頭竜層群貝皿層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	長野、箱ヶ瀬、下打波
19		九頭竜層群山原阪層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
20		手取層群長野頁岩層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	長野

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
21	未指定文化財	石徹白亜層群山原層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
22		石徹白亜層群葦谷層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
23		石徹白亜層群伊月層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	角野、下半原、後野、下打波
24		赤岩亜層群後野層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	後野、下打波
25		赤岩亜層群知那洞谷層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	
26		足羽層群相当層平家岳累層化石産地・産出化石	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1件	

1 < 1 1 > 山と盆地の豊かな自然環境

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地	
1	国指定文化財	専福寺の大ケヤキ	天然記念物	1 樹	友兼	
2		本願清水イトヨ生息地	天然記念物	1 件	糸魚町	
3		アラレガコ生息地	天然記念物	1 件	九頭竜川	
4	県指定文化財	白山神社のカツラ	天然記念物	1 樹	下打波	
5	市指定文化財	義雲杉	天然記念物	1 樹	宝慶寺	
6		春日神社の大いちょう	天然記念物	1 樹	不動堂	
7		ナポレオン石	天然記念物		下若生子	
8		桃木峠の大杉	天然記念物	1 樹	上打波(嵐)	
9		八幡神社の大杉	天然記念物	2 樹	牛ヶ原	
10		石灰華(寒水石)形成地	天然記念物		下打波	
11		平家平のトチノキ	天然記念物	1 樹	巢原	
12		天狗岩	天然記念物	1 件	後野	
13		未指定文化財	乳地蔵	彫刻	1 軀	糸魚町
14			鳩ヶ湯	遺跡(史跡)	1 件	上打波
15			赤根川	名勝地(名勝)		
16			砂山	名勝地(名勝)		清瀧
17	仏御前の滝		名勝地(名勝)		仏原	
18	六呂師高原		名勝地(名勝)		南六呂師	
19	九頭竜峡		名勝地(名勝)		西勝原	
20	真名峡		名勝地(名勝)		下若生子	
21	刈込池		名勝地(名勝)		上打波	
22	荒島岳		名勝地(名勝)		仏原	
23	飯降山		名勝地(名勝)		深井	
24	能郷白山		名勝地(名勝)		温見	
25	経ヶ岳		名勝地(名勝)		上打波	
26	未滝		名勝地(名勝)		飯降	
27	二ノ宿の滝		名勝地(名勝)		南六呂師	
28	花山峠の水場		名勝地(名勝)	1 件	牛ヶ原	
29	白山神社の大ケヤキ		動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1 件	菖蒲池	
30	御清水		清水・水路	1 件	泉町	
31	本願清水		清水・水路	1 件	糸魚町	
32	新堀清水		清水・水路	1 件	泉町	
33	お馬屋池		清水・水路	1 件	城町	
34	義景清水		清水・水路	1 件	泉町	
35	中野清水		清水・水路	1 件	中野町	
36	馬清水		清水・水路	1 件	篠座町	
37	上荒井清水		清水・水路	1 件	上荒井	
38	木本薬師堂の清水		清水・水路	1 件	木本	
39	殿様清水		清水・水路	1 件	右近次郎	
40	化物清水跡		清水・水路	1 件	右近次郎	

No.	指定など	名称	種別	員数	所在地
41	未指定文化財	こせき清水	清水・水路	1件	泉町
42		中荒井の清水	清水・水路	1件	中荒井
43		みくら清水	清水・水路	1件	犬山
44		ふくべ清水	清水・水路	1件	春日
45		存実の清水	清水・水路	1件	八町
46		阿難祖地頭方の清水	清水・水路	1件	阿難祖地頭方
47		弥生公園の清水跡	清水・水路	1件	弥生町
48		篠座神社の御霊泉	清水・水路	1件	篠座町
49		坂戸の白水	清水・水路	1件	牛ヶ原
50		伊月の湧水	清水・水路	1件	伊月
51		蝶の水	清水・水路	1件	上半原

1

2

1 16. 未指定文化財の一覧

2 ※個人の住宅等は所在地を地区名としています。

No.	名称	員数	種別	所在地
1	金森長近の銅像	1件	建造物	城町
2	柳廻社	1件	建造物	城町
3	白山神社名号塔	1件	建造物	中野
4	良休社蔵	1件	建造物	中野
5	大神宮	1件	建造物	中野
6	キリシタン燈籠	1件	建造物	中野
7	太田題目塔	1件	建造物	太田
8	毘沙門天堂	1件	建造物	中津川
9	中保名号塔	1件	建造物	中保
10	三社神社	1件	建造物	牛ヶ原
11	郷寿の名号塔	1件	建造物	牛ヶ原
12	花山の題目塔	1件	建造物	下丁
13	蓮如上人の碑	1件	建造物	上丁
14	吉田徳五郎村長頌徳碑	1件	建造物	下舌
15	北野元峰禅師の記念碑	1件	建造物	下舌
16	防雪防護擁壁（黒谷の防雪壁）	1件	建造物	下黒谷
17	埴安姫神社 弁財天堂	1件	建造物	蕨生
18	大將軍の碑	1件	建造物	木落
19	天皇陛下行幸記念碑	1件	建造物	塚原
20	明如上人御巡錫記念碑	1件	建造物	上野
21	五番通りに残るこうど	1件	建造物	元町
22	新堀川沿いに残るこうど	1件	建造物	城町
23	赤根川どんど	1件	建造物	清滝
24	水神社	1件	建造物	五條方
25	「水」の文字のある蔵	1件	建造物	下舌
26	「水」の文字のある蔵	1件	建造物	糸魚町
27	「水」の文字のある蔵	1件	建造物	国時町
28	黒谷山の金毘羅社・祠	1件	建造物	黒谷
29	開田碑	1件	建造物	春日
30	宝篋印塔	1件	建造物	日吉町
31	五輪塔	1件	建造物	日吉町
32	五輪塔	1件	建造物	城町
33	宝篋印塔	1件	建造物	明倫町
34	松村九山碑	1件	建造物	錦町
35	中村岱佐墓碑	1件	建造物	錦町
36	中村矩倫碑	1件	建造物	城町
37	内山隆佐碑	1件	建造物	城町
38	内山良休碑	1件	建造物	城町
39	横田莠碑	1件	建造物	篠座町
40	金森顯順碑	1件	建造物	友兼
41	穴馬道開鑿殉難供養碑	1件	建造物	日吉町
42	八幡神社	1件	建造物	稲郷
43	西応寺	1件	建造物	今井
44	西応寺庫裏	1件	建造物	今井
45	光明寺山門（伝旧大野城鳩門）	1件	建造物	犬山
46	T R 家住宅	1件	建造物	大野地区
47	南部畳店	1件	建造物	中挾 2
48	K T 家住宅	1件	建造物	大野地区
49	Y I 家住宅	1件	建造物	大野地区

No.	名称	員数	種別	所在地
50	Y T 家住宅	1 件	建造物	大野地区
51	Y I 家住宅	1 件	建造物	大野地区
52	MM 家住宅	1 件	建造物	大野地区
53	WK 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
54	MY 家住宅	1 件	建造物	大野地区
55	O Y 家住宅	1 件	建造物	大野地区
56	KA 家住宅	1 件	建造物	大野地区
57	HM 家住宅	1 件	建造物	大野地区
58	TK 家住宅	1 件	建造物	大野地区
59	加藤鉄工	1 件	建造物	本町
60	介護ショップ カワセ	1 件	建造物	本町
61	MH 家住宅	1 件	建造物	大野地区
62	MK 家住宅	1 件	建造物	大野地区
63	TS 家住宅	1 件	建造物	大野地区
64	高瀬本店	1 件	建造物	錦町
65	MS 家住宅	1 件	建造物	大野地区
66	IT 家住宅	1 件	建造物	大野地区
67	NH 家住宅	1 件	建造物	大野地区
68	美吉野旅館	1 件	建造物	本町
69	WS 家住宅	1 件	建造物	大野地区
70	やなぎや薬局	1 件	建造物	元町
71	大門屋	1 件	建造物	元町
72	UA 家住宅	1 件	建造物	大野地区
73	はんこ家さん大野店	1 件	建造物	元町
74	道具商 中道	1 件	建造物	元町
75	MM 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
76	IS 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
77	NK 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
78	MT 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
79	KH 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
80	SS 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
81	NK 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
82	SS 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
83	TN 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
84	NT 家住宅	1 件	建造物	乾側地区
85	NS 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
86	IM 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
87	SS 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
88	TT 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
89	SM 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
90	IS 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
91	TH 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
92	TY 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
93	ME 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
94	NT 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
95	YY 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
96	HH 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
97	TT 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
98	SY 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
99	TT 家住宅	1 件	建造物	下庄地区
100	TS 家住宅	1 件	建造物	富田地区
101	MO 家住宅	1 件	建造物	富田地区

No.	名称	員数	種別	所在地
102	MM家住宅	1件	建造物	富田地区
103	OS家住宅	1件	建造物	富田地区
104	MK家住宅	1件	建造物	富田地区
105	KT家住宅	1件	建造物	富田地区
106	DH家住宅	1件	建造物	富田地区
107	MA家住宅	1件	建造物	富田地区
108	MK家住宅	1件	建造物	富田地区
109	天理教麻生嶋分教会	1件	建造物	下麻生嶋
110	TK家住宅	1件	建造物	富田地区
111	MK家住宅	1件	建造物	富田地区
112	MS家住宅	1件	建造物	富田地区
113	MH家住宅	1件	建造物	富田地区
114	MT家住宅	1件	建造物	富田地区
115	DN家住宅	1件	建造物	下庄地区
116	IH家住宅	1件	建造物	下庄地区
117	DM家住宅	1件	建造物	下庄地区
118	TK家住宅	1件	建造物	下庄地区
119	MY家住宅	1件	建造物	下庄地区
120	滝波家長屋門	1件	建造物	中野町1
121	NK家住宅	1件	建造物	下庄地区
122	NH家住宅	1件	建造物	大野地区
123	SK家住宅	1件	建造物	下庄地区
124	UU家住宅	1件	建造物	下庄地区
125	US家住宅	1件	建造物	下庄地区
126	HK家住宅	1件	建造物	大野地区
127	SR家住宅	1件	建造物	大野地区
128	HH家住宅	1件	建造物	下庄地区
129	本伝寺庫裏	1件	建造物	本町
130	長勝寺庫裏	1件	建造物	錦町
131	大雄院庫裏	1件	建造物	元町
132	真乗寺土蔵	1件	建造物	中丁
133	KT家土蔵	1件	建造物	乾側地区
134	SZ家土蔵	1件	建造物	下庄地区
135	NK家蔵	1件	建造物	下庄地区
136	NK家薬医門	1件	建造物	下庄地区
137	MK家薬医門	1件	建造物	下庄地区
138	MN家住宅	1件	建造物	富田地区
139	KM家蔵	1件	建造物	富田地区
140	MA家蔵	1件	建造物	富田地区
141	AZ家住宅	1件	建造物	下庄地区
142	IY家住宅	1件	建造物	大野地区
143	旧岩治医院	1件	建造物	本町
144	林歌子生誕碑	1件	建造物	水落町
145	百姓一揆殉難の碑	1件	建造物	西据
146	TI家門	1件	建造物	上庄地区
147	煙草乾燥場	1件	建造物	
148	吉田徳五郎記念碑	1件	建造物	阿難祖地頭方
149	明如上人御巡錫記念碑	1件	建造物	西勝原
150	坂戸峠改修記念碑	1件	建造物	牛ヶ原
151	坂戸峠歌碑	1件	建造物	牛ヶ原
152	君が代橋架橋記念碑	1件	建造物	菖蒲池
153	琴洞橋	1件	建造物	仏原

No.	名称	員数	種別	所在地
154	明如上人御巡錫記念碑	1件	建造物	下山
155	明如上人御巡錫記念碑	1件	建造物	朝日
156	明如上人御巡錫記念碑	1件	建造物	野尻
157	油坂峠六字名号塔	1件	建造物	東市布
158	清水の句碑	1件	建造物	東市布
159	吉田拙蔵記念之碑	1件	建造物	篠座町
160	白山神社	1件	建造物	中野町
161	風速神社	1件	建造物	大矢戸
162	磐座神社	1件	建造物	西大月
163	黒谷観音堂（仏性寺）	1件	建造物	下黒谷
164	稲荷神社	1件	建造物	七板
165	専福寺	1件	建造物	友兼
166	善導寺	1件	建造物	錦町
167	宝慶寺	1件	建造物	宝慶寺
168	洞雲寺	1件	建造物	清瀧
169	岫慶寺	1件	建造物	日吉町
170	曹源寺	1件	建造物	明倫町
171	教願寺	1件	建造物	要町
172	本伝寺	1件	建造物	本町
173	明源寺	1件	建造物	明倫町
174	最勝寺	1件	建造物	明倫町
175	法蓮寺	1件	建造物	要町
176	浄勝寺	1件	建造物	錦町
177	永伝寺	1件	建造物	錦町
178	託縁寺	1件	建造物	元町
179	瑞祥寺	1件	建造物	日吉町
180	恵光寺	1件	建造物	日吉町
181	蓮光寺	1件	建造物	日吉町
182	円和寺	1件	建造物	元町
183	光玖寺	1件	建造物	元町
184	妙典寺	1件	建造物	元町
185	円立寺	1件	建造物	錦町
186	大雄院	1件	建造物	元町
187	大宝寺	1件	建造物	錦町
188	長興寺	1件	建造物	錦町
189	願成寺	1件	建造物	錦町
190	長勝寺	1件	建造物	錦町
191	誓念寺	1件	建造物	錦町
192	日吉神社	1件	建造物	日吉町
193	神明神社	1件	建造物	大和町
194	熊野神社	1件	建造物	高砂町
195	奥之院	1件	建造物	日吉町
196	徳巖寺	1件	建造物	明倫町
197	観月寺	1件	建造物	明倫町
198	春日神社	1件	建造物	春日1
199	円徳寺	1件	建造物	日吉町
200	地蔵庵	1件	建造物	春日3
201	篠座神社	1件	建造物	篠座町
202	天満神社	1件	建造物	篠座町
203	清瀧神社	1件	建造物	清瀧
204	唯教寺	1件	建造物	中野町
205	白山神社	1件	建造物	庄林

No.	名称	員数	種別	所在地
206	真浄寺	1件	建造物	庄林
207	白山神社	1件	建造物	太田
208	賢龍寺	1件	建造物	小矢戸
209	禪師峰寺	1件	建造物	西大月
210	白山神社	1件	建造物	中津川
211	愛宕神社	1件	建造物	南新在家
212	白山神社	1件	建造物	横枕
213	清瀧神社	1件	建造物	友江
214	専光寺	1件	建造物	友江
215	白山神社	1件	建造物	菖蒲池
216	願了寺	1件	建造物	中荒井
217	善勝寺	1件	建造物	中荒井
218	正善寺	1件	建造物	矢
219	坂門一言神社	1件	建造物	牛ヶ原
220	八幡神社	1件	建造物	牛ヶ原
221	八幡神社	1件	建造物	牛ヶ原
222	寶光寺	1件	建造物	牛ヶ原
223	浄信寺	1件	建造物	牛ヶ原
224	栄照寺	1件	建造物	牛ヶ原
225	白山神社	1件	建造物	下丁
226	教覚寺	1件	建造物	下丁
227	白山神社	1件	建造物	中丁
228	真乗寺	1件	建造物	中丁
229	少毘古神社	1件	建造物	上丁
230	白山神社	1件	建造物	犬山
231	光明寺	1件	建造物	犬山
232	春日神社	1件	建造物	下舌
233	白山神社	1件	建造物	上舌
234	白山神社	1件	建造物	阿難祖地頭方
235	八坂神社	1件	建造物	阿難祖領家
236	少名彦神社	1件	建造物	上黒谷
237	白山神社	1件	建造物	下黒谷
238	少名彦神社	1件	建造物	上荒井
239	春日神社	1件	建造物	深井
240	飯降神社	1件	建造物	飯降
241	白山神社	1件	建造物	鍬掛
242	洪泉寺	1件	建造物	鍬掛
243	八幡神社	1件	建造物	新庄
244	春日神社	1件	建造物	右近次郎
245	白山神社	1件	建造物	宝慶寺
246	高尾磐倉神社	1件	建造物	木本
247	神明神社	1件	建造物	木本
248	光徳寺	1件	建造物	木本
249	薬師堂	1件	建造物	木本
250	稻荷堂	1件	建造物	木本
251	八坂神社	1件	建造物	森山
252	白山神社	1件	建造物	西山
253	日吉神社	1件	建造物	平沢
254	白山神社	1件	建造物	今井
255	荒島神社	1件	建造物	佐開
256	日吉神社	1件	建造物	五條方
257	稻荷神社	1件	建造物	野中

No.	名称	員数	種別	所在地
258	八幡神社	1件	建造物	稲郷
259	最勝寺	1件	建造物	稲郷
260	神明神社	1件	建造物	東山
261	八幡神社	1件	建造物	御給
262	専福寺	1件	建造物	御給
263	霊祥寺	1件	建造物	御給
264	八幡神社	1件	建造物	友兼
265	加茂神社	1件	建造物	開発
266	日吉神社	1件	建造物	森政領家
267	熊野神社	1件	建造物	猪島
268	正信寺	1件	建造物	猪島
269	白山神社	1件	建造物	中据
270	白山神社	1件	建造物	下据
271	日吉神社	1件	建造物	北御門
272	城腰寺	1件	建造物	北御門
273	白山神社	1件	建造物	吉
274	福正寺	1件	建造物	吉
275	国生大野神社	1件	建造物	東中
276	榎神社	1件	建造物	榎
277	白山神社	1件	建造物	木落
278	埴安姫神社	1件	建造物	蕨生
279	健速神社	1件	建造物	下唯野
280	南専寺	1件	建造物	下唯野
281	八幡神社	1件	建造物	土打
282	白山神社	1件	建造物	上野
283	白山神社	1件	建造物	富嶋
284	南専寺	1件	建造物	富嶋
285	春日神社	1件	建造物	森目
286	八幡神社	1件	建造物	新田
287	八幡神社	1件	建造物	新河原
288	八幡神社	1件	建造物	土布子
289	白山神社	1件	建造物	下麻生嶋
290	福聚寺	1件	建造物	下麻生嶋
291	八幡神社	1件	建造物	上麻生嶋
292	白山神社	1件	建造物	田野
293	八幡神社	1件	建造物	井ノ口
294	塚原神社	1件	建造物	塚原
295	白山神社	1件	建造物	伏石
296	常興寺	1件	建造物	伏石
297	白山神社	1件	建造物	柿ヶ嶋
298	徳善寺	1件	建造物	柿ヶ嶋
299	八幡神社	1件	建造物	八町
300	白山神社	1件	建造物	森本
301	白山神社	1件	建造物	松丸
302	傳心寺	1件	建造物	松丸
303	八幡神社	1件	建造物	萩ヶ野
304	気多神社	1件	建造物	花房
305	春日神社	1件	建造物	不動堂
306	先請寺	1件	建造物	不動堂
307	白山神社	1件	建造物	石谷
308	八幡神社	1件	建造物	大月
309	神明神社	1件	建造物	大月

No.	名称	員数	種別	所在地
310	神明神社	1件	建造物	御領
311	神明神社	1件	建造物	橋爪
312	少名彦神社	1件	建造物	藁道
313	佛照寺	1件	建造物	藁道
314	白山神社	1件	建造物	堂嶋
315	円徳寺	1件	建造物	堂嶋
316	御鋤神社	1件	建造物	小黒見
317	白山神社	1件	建造物	南六呂師
318	雲乗寺	1件	建造物	南六呂師
319	白山神社	1件	建造物	上打波
320	白山神社	1件	建造物	下打波
321	白山神社	1件	建造物	東勝原
322	即現寺	1件	建造物	東勝原
323	八幡神社	1件	建造物	西勝原
324	八幡神社	1件	建造物	佛原
325	白山神社	1件	建造物	佛原
326	牛頭山神社	1件	建造物	阿難祖領家
327	庭ノ神社	1件	建造物	花房
328	コレラの墓	1件	建造物	平沢
329	円通庵	1件	建造物	鋤掛
330	藤昌庵	1件	建造物	木本
331	観音堂	1件	建造物	木本
332	神明社	1件	建造物	金山
333	各所の道場		建造物	
334	絹本著色 阿弥陀如来像	1件	絵画	友江
335	絹本著色 仏涅槃図	1件	絵画	清滝
336	絹本著色 親鸞聖人像	1件	絵画	明倫町
337	絹本著色 山越阿弥陀図	1件	絵画	犬山
338	絹本著色 顕如上人像	1件	絵画	元町
339	絹本著色 聖徳太子像	1件	絵画	明倫町
340	絹本著色 浄土七高僧図	1件	絵画	明倫町
341	絹本著色 当麻曼荼羅図	1件	絵画	錦町
342	紙本著色 阿弥陀三尊二十五菩薩来迎図	1件	絵画	錦町
343	絹本著色 土井利忠画像	1件	絵画	城町
344	紙本 雨森宗真画像	1件	絵画	城町
345	紙本著色 吉田拙蔵画像	1件	絵画	天神町
346	絵馬	3件	絵画	木本
347	絵馬	1件	絵画	稲郷
348	大野丸船図絵馬	1件	絵画	城町
349	乳地藏	1件	彫刻	糸魚町
350	横枕御水地藏尊	1件	彫刻	横枕
351	毘沙門通りの金剛童子	1件	彫刻	陽明町
352	六地藏	6件	彫刻	小山地区全域
353	流れの地藏	1件	彫刻	蕨生
354	廻り地藏	1件	彫刻	蕨生
355	馬の首地藏	1件	彫刻	下唯野
356	富嶋の六地藏	6件	彫刻	富嶋
357	おけや地藏	6件	彫刻	土打
358	栗原の六地藏	6件	彫刻	上野
359	道案内地藏	6件	彫刻	上野
360	下麻生嶋の六地藏	6件	彫刻	下麻生嶋
361	子授地藏	1件	彫刻	下麻生嶋

No.	名称	員数	種別	所在地
362	頭の重い地蔵	1件	彫刻	森目
363	三体地蔵	3件	彫刻	下麻生嶋
364	もりじぞう	9件	彫刻	森目
365	岩崎用水にある不動明王	1件	彫刻	木本
366	白山神社のかわそさん	1件	彫刻	中野町
367	高尾磐倉神社の御神体	1件	彫刻	木本
368	白山神社の木像	1件	彫刻	堂本
369	黒谷山の金毘羅社・石像	1件	彫刻	黒谷
370	木造 南無仏太子像	1件	彫刻	錦町
371	木造 十一面観音坐像	1件	彫刻	日吉町
372	木造 地蔵菩薩立像	1件	彫刻	錦町
373	石造 観世音立像	1件	彫刻	吉
374	石造 道標地蔵菩薩立像	1件	彫刻	大桜
375	石造 道標阿弥陀如来立像	1件	彫刻	錦町
376	石造 道標地蔵坐像	1件	彫刻	木本
377	石造 馬頭観音坐像	1件	彫刻	榎
378	飯降神社 木造 十一面観音像	1件	彫刻	飯降
379	飯降神社 石造 観音菩薩立像	1件	彫刻	飯降
380	飯降神社 石造 地蔵菩薩立像	1件	彫刻	飯降
381	飯降神社奥の院 木造 十一面観音像	1件	彫刻	飯降
382	飯降神社奥の院 木造 聖観音坐像	1件	彫刻	飯降
383	飯降神社奥の院 木造 阿弥陀如来坐像	1件	彫刻	飯降
384	飯降神社奥の院 石造 阿弥陀如来坐像	1件	彫刻	飯降
385	飯降神社奥の院 石造 観音坐像	1件	彫刻	飯降
386	玄之の竜	1件	彫刻	宝慶寺
387	御給の延命地蔵	1件	彫刻	御給
388	地蔵菩薩坐像	1件	彫刻	下麻生嶋
389	石造千手観音菩薩像	1件	彫刻	花房
390	石造 薬師如来坐像	1件	彫刻	金山
391	小黒見道場の仏像	1件	彫刻	小黒見
392	経ヶ岳登山口絶壁の地蔵	1件	彫刻	
393	山の神様	1件	彫刻	蓑道
394	不動明王像	1件	彫刻	不動堂
395	坂戸峠の石仏	1件	彫刻	坂戸
396	秋葉灯籠	1件	工芸品	春日
397	堂守の碑	1件	工芸品	中野
398	経塚壺	1件	工芸品	本町
399	瀬戸鉄釉刻文四耳壺（祖母懐壺）	1件	工芸品	元町
400	鉄造 釣燈籠	1件	工芸品	元町
401	松平直久（直良）下賜袴	1件	工芸品	稲郷
402	松平直久（直良）下賜時服・羽織	2件	工芸品	稲郷
403	鳳凰文磬	1件	工芸品	錦町
404	雲文磬	1件	工芸品	錦町
405	喚鐘	1件	工芸品	下黒谷
406	喚鐘	1件	工芸品	清滝
407	銅鑄造 鰐口	1件	工芸品	下黒谷
408	銅鑄造 鰐口	1件	工芸品	今井
409	喚鐘	1件	工芸品	錦町
410	茶糸威鉄錆地五枚胴具足	1件	工芸品	城町
411	火縄銃	1件	工芸品	天神町
412	土井家什器（火取香炉）	1件	工芸品	城町
413	土井家什器（文箱）	1件	工芸品	城町

No.	名称	員数	種別	所在地
414	土井家什器（香炉箱）	1件	工芸品	城町
415	土井家什器（挾箱）	1件	工芸品	城町
416	ランビキ（蘭引）	1件	工芸品	城町
417	エレキテル（電気治療器）	1件	工芸品	城町
418	ポータブル地球儀	1件	工芸品	城町
419	古望遠鏡	1件	工芸品	城町
420	アネロイド・バロメーター	1件	工芸品	城町
421	小銃弾丸鑄造用ヤットコ	1件	工芸品	城町
422	梅屋デコンボ	1件	工芸品	
423	大野藩札	1件	工芸品	城町
424	青葉の笛	1件	工芸品	朝日
425	絹本著色 十字名号本尊	1件	書跡	上野
426	土井利治（利知）筆書幅	1件	書跡	城町
427	土井利寛筆書幅	1件	書跡	城町
428	土井利貞筆色紙	2件	書跡	城町
429	土井利義筆短冊	1件	書跡	天神町
430	土井利恒筆墓碑銘	1件	書跡	城町
431	吉田拙蔵筆書幅	1件	書跡	天神町
432	横田莠筆書幅	1件	書跡	天神町
433	土田龍湾筆短冊	1件	書跡	天神町
434	林雲溪筆短冊	1件	書跡	天神町
435	布川正謙筆短冊	1件	書跡	天神町
436	布川正冲筆短冊	1件	書跡	天神町
437	布川源兵衛筆短冊	1件	書跡	天神町
438	尾崎弥右衛門筆短冊	1件	書跡	天神町
439	絹本墨書 杉田成卿筆蘭字扁額	1件	書跡	城町
440 ~610	家文書	171件	古文書	
611 ~655	寺文書	45件	古文書	
656 ~662	神社文書	7件	古文書	
663 ~721	公的機関文書	59件	古文書	
722	右近次郎遺跡出土品	1件	考古資料	天神町
723	山ヶ鼻古墳群出土品	1件	考古資料	天神町
724	山ヶ鼻遺跡出土古銭	1件	考古資料	天神町
725	赤根川左岸古墳群出土品	1件	考古資料	天神町
726	落合遺跡遺物	1件	考古資料	天神町
727	サックリ		衣服	
728	ミノ		衣服	
729	ござ帽子		衣服	
730	頭巾		衣服	
731	フカグツ		衣服	
732	シャナクミ		衣服	
733	雪ワラジ		衣服	
734	キビスマキ		衣服	
735	ハバキ		衣服	
736	カンジキ		衣服	
737	雪下駄		衣服	
738	漁に使用する民具	1件	民具	
739	渡し船関連の道具	1件	民具	柿ヶ島、下唯野間
740	ばんば		民具	

No.	名称	員数	種別	所在地
741	篠座里神楽の面（獅子頭）	1件	芸能用具	篠座町
742	篠座里神楽の面（獅子頭）	1件	芸能用具	篠座町
743	篠座里神楽の面（天狗面）	1件	芸能用具	篠座町
744	篠座里神楽の面（天狗面）	1件	芸能用具	篠座町
745	篠座里神楽の面（天狗面）	1件	芸能用具	篠座町
746	篠座里神楽の面（春日明神）	1件	芸能用具	篠座町
747	篠座里神楽の面（およめさん）	1件	芸能用具	篠座町
748	篠座里神楽の面（およめさん）	1件	芸能用具	篠座町
749	篠座里神楽の面（男性面）	1件	芸能用具	篠座町
750	篠座里神楽の面（鈴）	1件	芸能用具	篠座町
751	篠座里神楽の面（ひょうたん）	1件	芸能用具	篠座町
752	篠座里神楽の面（ササラ）	1件	芸能用具	篠座町
753	篠座里神楽の面（御幣）	1件	芸能用具	篠座町
754	花餅		食文化	阿難祖地頭方
755	稗飯		食文化	
756	嵐カブラ		食文化	上打波
757	報恩講料理		食文化	
758	お講さまの料理		食文化	
759	栃団子		食文化	
760	頭飯		食文化	
761	岩魚飯		食文化	
762	鱒飯		食文化	
763	鯖鮓		食文化	
764	栃餅		食文化	
765	雑穀餅		食文化	
766	身欠鯨		食文化	
767	エリコ		食文化	
768	柿エリコ		食文化	
769	オツケ団子		食文化	
770	アエモン（和え物）アッポ		食文化	
771	アズキアッポ		食文化	
772	スナナ		食文化	
773	土用餅		食文化	
774	アジメ鮓		食文化	
775	アジメの煮付け		食文化	
776	穴馬カブラの切漬		食文化	
777	穴馬味噌		食文化	
778	鮓		食文化	
779	鱈汁		食文化	
780	鯨汁		食文化	
781	エゴマのおつゆ		食文化	
782	コデナ		食文化	
783	ナンボ		食文化	
784	こう汁		食文化	
785	ワラビ鮓		食文化	
786	山ブキの塩漬		食文化	
787	ギンバリ（ギボウシ）の乾燥		食文化	
788	ワラビとゼンマイの乾燥		食文化	
789	カッチンコウボ		食文化	
790	ウサギの骨団子		食文化	
791	ウサギの骨しゃぶり		食文化	
792	ウサギの肉のころ煮		食文化	

No.	名称	員数	種別	所在地
793	ダイコンのクルミ和え		食文化	
794	ダイコンのエゴマ和え		食文化	
795	熊飯		食文化	
796	ブト		食文化	
797	鯨漬		食文化	
798	スコ		食文化	
799	コンカ漬		食文化	
800	味噌漬		食文化	
801	はまな味噌		食文化	
802	水漬		食文化	
803	切漬の味噌煮		食文化	
804	初午団子		食文化	
805	一六まめのお祝い		食文化	下山
806	半夏生鯖		食文化	
807	冬至南京		食文化	
808	焼米		食文化	
809	上庄さといも		食文化	
810	中野のナス		食文化	中野
811	上打波小池のワサビ		食文化	上打波
812	報恩講の大根めし		食文化	阿難祖地頭方
813	大野在来そば		食文化	
814	日本酒		食文化	
815	醤油		食文化	
816	麴		食文化	
817	でっち羊かん		食文化	
818	とんちゃん		食文化	
819	醤油カツ丼		食文化	
820	タバコ栽培		生業	
821	蚕座		生業	
822	マユ籠		生業	
823	炭窯		生業	
824	穴馬紙	1件	生業	朝日ほか
825	アジメ漁	1件	生業	
826	伊勢講	1件	風俗慣習	土布子
827	七間朝市	1件	風俗慣習	元町
828	木本区初午だんご撒き	1件	風俗慣習	木本
829	篠座神社の福もちまき	1件	風俗慣習	篠座町
830	尾永見伊勢講	1件	風俗慣習	牛ヶ原
831	鍬掛伊勢講	1件	風俗慣習	鍬掛
832	下打波白山神社・中神神社の祭礼	1件	風俗慣習	下打波
833	陽明町一丁目1区の不動明王祭	1件	風俗慣習	陽明町
834	明倫町1区による乳地藏のご祈祷	1件	風俗慣習	糸魚町
835	小山鍬踊り	1件	民俗芸能	小山地区全域
836	蕨生里神楽	1件	民俗芸能	蕨生
837	篠座神社の里神楽・豊栄舞	1件	民俗芸能	篠座町
838	木本領家里神楽	1件	民俗芸能	木本
839	篠座町の旧家が持ち回る神明講	1件	民俗芸能	篠座町
840	上大納左義長	1件	民俗芸能	上大納
841	稲郷里神楽	1件	民俗芸能	稲郷
842	しっちょいな	1件	民俗芸能	
843	西谷もじり	1件	民俗芸能	
844	出鉢の祭り踊り	1件	民俗芸能	面谷

No.	名称	員数	種別	所在地
845	ねこの子踊り	1件	民俗芸能	上打波、下打波
846	笠踊り	1件	民俗芸能	上打波
847	粟かち歌	1件	民俗芸能	上打波
848	穴馬踊り	1件	民俗芸能	
849	奥越太鼓	1件	民俗芸能	
850	舌城跡	1件	遺跡(史跡)	上舌
851	躑躅山城跡	1件	遺跡(史跡)	清滝
852	神楽岡城跡	1件	遺跡(史跡)	蕨生
853	鶴澤城跡	1件	遺跡(史跡)	富嶋
854	筋生嶋城跡	1件	遺跡(史跡)	下麻生嶋
855	向城跡	1件	遺跡(史跡)	東勝原
856	クタラギ砦跡	1件	遺跡(史跡)	下秋生
857	仙扇鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	上若生子
858	太尾鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	堂嶋
859	小黑見鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	小黑見
860	面谷鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	持穴
861	志目木鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	宝慶寺
862	宝慶寺鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	宝慶寺
863	真名川鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	巢原
864	大雲鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	巢原
865	巢原鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	巢原
866	温見・夜叉谷鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	温見
867	大月鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	橋爪
868	長滝鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	上大納
869	勝原鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	勝原
870	金山鉢山跡	1件	遺跡(史跡)	金山
871	下若生子石灰岩鉢床	1件	遺跡(史跡)	下若生子
872	福井炭鉢跡	1件	遺跡(史跡)	下打波
873	中丁の金山跡	1件	遺跡(史跡)	中丁
874	新田野の砲術訓練場	1件	遺跡(史跡)	篠座町
875	防空監視哨跡	1件	遺跡(史跡)	城町
876	雪蔵跡	1件	遺跡(史跡)	城町
877	行人岩	1件	遺跡(史跡)	大矢戸
878	鞍ヶ淵	1件	遺跡(史跡)	西市
879	御所五郎丸の墓	1件	遺跡(史跡)	土打
880	御所五郎丸の子の墓	1件	遺跡(史跡)	土打
881	深井鉢泉(一の谷温泉)跡	1件	遺跡(史跡)	深井
882	鳩ヶ湯	1件	遺跡(史跡)	上打波
883	魚止め跡	1件	遺跡(史跡)	仏原
884	用心池	1件	遺跡(史跡)	本町
885	大野藩洋学館跡	1件	遺跡(史跡)	城町
886	座禅岩	1件	遺跡(史跡)	宝慶寺
887	光徳寺跡	1件	遺跡(史跡)	木本
888	加藤宗月居館跡(加藤四郎兵衛康寛)	1件	遺跡(史跡)	木本
889	裸半兵衛の墓	1件	遺跡(史跡)	森山
890	西山石灰採掘跡	1件	遺跡(史跡)	西山
891	貝抜け(西山の大穴)	1件	遺跡(史跡)	西山
892	土蔵市右衛門家屋敷	1件	遺跡(史跡)	稲郷
893	香葉寺跡	1件	遺跡(史跡)	友兼
894	北御門経塚	1件	遺跡(史跡)	北御門
895	御所五郎丸館社	1件	遺跡(史跡)	土打
896	羽二重伝習所跡	1件	遺跡(史跡)	泉町

No.	名称	員数	種別	所在地
897	荒島風穴	1件	遺跡(史跡)	佐開
898	松平但馬守の墓	1件	遺跡(史跡)	木本
899	蓮如上人の腰掛け岩	1件	遺跡(史跡)	松丸
900	弘法大師あるいは蓮如上人の腰掛け石	1件	遺跡(史跡)	八町
901	勝原口留番所跡	1件	遺跡(史跡)	勝原
902	種痘所「済生館」跡	1件	遺跡(史跡)	元町
903	赤根川		名勝地(名勝)	
904	砂山		名勝地(名勝)	清瀧
905	阪谷の巨岩群		名勝地(名勝)	南六呂師
906	阪谷の泥流丘		名勝地(名勝)	南六呂師
907	仏御前の滝		名勝地(名勝)	仏原
908	六呂師高原		名勝地(名勝)	南六呂師
909	九頭竜峡		名勝地(名勝)	西勝原
910	真名峡		名勝地(名勝)	下若生子
911	刈込池		名勝地(名勝)	上打波
912	荒島岳		名勝地(名勝)	仏原
913	飯降山		名勝地(名勝)	深井
914	能郷白山		名勝地(名勝)	温見
915	経ヶ岳		名勝地(名勝)	上打波
916	未滝		名勝地(名勝)	飯降
917	二ノ宿の滝		名勝地(名勝)	南六呂師
918	花山峠の水場	1件	名勝地(名勝)	牛ヶ原
919	釈迦師川		名勝地(名勝)	元町
920	塚原野台地		名勝地(名勝)	塚原
921	カラマツ林	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	城町
922	一本木	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	庄林
923	白山神社の大ケヤキ	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	菖蒲池
924	弘法杉	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	木本
925	二本松	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	森山
926	山伏岩	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	蕨生
927	釣鐘岩	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	塚原
928	いぼおとし岩	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	田野
929	弁慶岩	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	阿難祖地頭方
930	地頭方の洞窟	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	阿難祖地頭方
931	影路層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	野尻
932	子馬巢谷層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	箱ヶ瀬、伊勢
933	上穴馬層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	大谷
934	藤倉谷層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	中島

No.	名称	員数	種別	所在地
935	長野層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
936	野尻層群化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	大谷、長野
937	本戸層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
938	大谷層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
939	左門岳累層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
940	九頭竜層群大井谷層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
941	九頭竜層群柄餅山層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
942	九頭竜層群貝皿層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	長野、箱ヶ瀬、下打波
943	九頭竜層群山原阪層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
944	手取層群長野頁岩層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	長野
945	石徹白亜層群山原層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
946	石徹白亜層群葦谷層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
947	石徹白亜層群伊月層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	角野、下半原、後野、下打波
948	赤岩亜層群後野層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	後野、下打波
949	赤岩亜層群知那洞谷層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
950	足羽層群相当層平家岳累層化石産地・産出化石	1件	動物、植物、地質 鉱物(天然記念物)	
951	本町通り		景観	
952	二番通り		景観	
953	三番通り		景観	
954	四番通り		景観	
955	鍛冶町		景観	
956	五番通り		景観	
957	寺町通り		景観	
958	横町通り		景観	
959	大鋸町通り		景観	
960	六間通り		景観	
961	七間通り		景観	
962	八間通り		景観	
963	石灯笼小路		景観	
964	正善町通り		景観	
965	大野競馬場跡	1件	景観	篠座町
966	蔵通りの景観	1件	景観	中野、中野町
967	美濃街道	1件	景観	
968	御清水	1件	清水・水路	泉町
969	本願清水	1件	清水・水路	糸魚町
970	新堀清水	1件	清水・水路	泉町
971	お馬屋池	1件	清水・水路	城町

No.	名称	員数	種別	所在地
972	義景清水	1件	清水・水路	泉町
973	中野清水	1件	清水・水路	中野町
974	馬清水	1件	清水・水路	篠座町
975	上荒井清水	1件	清水・水路	上荒井
976	木本薬師堂の霊泉	1件	清水・水路	木本
977	殿様清水	1件	清水・水路	右近次郎
978	化物清水跡	1件	清水・水路	右近次郎
979	こせき清水	1件	清水・水路	泉町
980	中荒井の清水	1件	清水・水路	中荒井
981	みくら清水	1件	清水・水路	犬山
982	ふくべ清水	1件	清水・水路	春日
983	存実の清水	1件	清水・水路	八町
984	阿難祖地頭方の清水	1件	清水・水路	阿難祖地頭方
985	山王神社の堀	1件	清水・水路	日吉町
986	弥生公園の清水跡	1件	清水・水路	弥生町
987	篠座神社の御霊泉	1件	清水・水路	篠座町
988	坂戸の白水	1件	清水・水路	牛ヶ原
989	伊月の湧水	1件	清水・水路	伊月
990	蝶の水	1件	清水・水路	上半原
991	芹川	1件	清水・水路	泉町、城町
992	背割り水路	1件	清水・水路	

大野市文化財保存活用地域計画

発行 令和〇年（〇）〇月
編集 大野市

〒912-0084 福井県大野市天神町2-4
（大野市歴史博物館内）

TEL 0779-65-5520

FAX 0779-65-5520



越前おおの



令和元年度～〇年度
文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)